平成30年度

アニュアルレポート 年報

独立行政法人 国立病院機構

京都医療センター

序　文

京都医療センターのアニュアルレポート平成30年度版をお届けいたします。近年、国は超少子高齢化時代の到来に備え、「地域医療構想」を実現すべく、地域包括ケアシステムの構築を推進いたしております。本院は京都府南部における最も重要な基幹病院であり、地域のみなさまのニーズに応え「高度急性期医療」を中心的に担う総合病院として、引き続き、全力を尽くしてまいります。そこで、平成最後の1年間を振り返りますと、本院と近隣医療機関との連携はますます緊密となり、紹介患者数、救急入院数、および手術数が増加し、在院日数は短縮し、「地域医療構想」の理想に近い状況となっています。幸い、病院経営もV字回復を達成することができました。これも地域のみなさまの温かなご支援と全職員の努力の結果であり、ここに改めて厚く御礼申し上げます。

さて、近未来を展望しつつ本院の運営方針を述べますと、診療の第一の柱はもちろん「救命救急医療」です。救急専門医が24時間複数常駐する「救命救急センター」を中心に、脳卒中、心筋梗塞、消化管出血、産科危機的出血などに対して、血管インターベンションを含め即座に対応できる体制をさらに充実させてまいります。また、新たに「ハイブリッド手術室」の建設にとりかかります。高齢化により心弁膜疾患が増加し心不全の発症が増えており、画像を見ながらカテーテルによる弁置換術などの心臓手術（TAVI）、あるいは精緻な整形外科手術を行えるようになります。ぜひご期待ください。

本院の第二の柱は「がんセンター」機能です。従来から、すべての臓器のがんに対して各診療科が高いレベルのがん診療を行える体制を整えており、本年から「がんゲノム医療」の保険診療も開始いたします。令和元年には、ロボット手術のダ・ヴィンチも最新型に更新いたしました。また、建設中であった「高精度リニアック治療棟」も令和2年から稼動いたします。いよいよ本院には、真の「高度型のがん治療センター」としての機能がすべて整うこととなりますので、皆さまのご期待にさらに答えてまいります。

さて、本院の第三の柱として、今後、「予防医療」にも力を尽くしてまいります。わが国は医療の進歩によって世界に類を見ない長寿社会を達成しましたが、今、健康長寿の実現が喫緊の課題であり、地域に密着した未病の取り組みが必須です。本院の「臨床研究センター」は糖尿病センター、内分泌センターとして機能し、肥満・フレイル対策、スポーツ医学、認知症予防にも力を注いでまいりました。このセンターを、近々に「予防医学・先端医療研究センター」として一新し、新たなビルを建設して、地域のゲノムコホート研究の基地とし、健康長寿のための臨床研究の発展と先端的医療の研究開発を目指します。また、このセンターを、地域の皆さまが健康増進のために楽しき集える場所にしたいと考えています。

今後も本院に対しまして、みなさまの暖かなご支援をよろしくお願いいたします。

院長　小西　郁生

京都医療センター診療年報　目次

序文 …… 1
京都医療センターの理念 …… 4
概要 …… 5
組織図 …… 14
幹部職員 …… 15
職員の状況 …… 16
診療実績 …… 18
総合内科／総合診療科 …… 21
膠原病・リウマチ内科 …… 23
血液内科 …… 25
内分泌・代謝内科 …… 26
糖尿病センター …… 37
腎臓内科 …… 51
腫瘍内科 …… 54
精神科 …… 56
神経内科 …… 58
呼吸器センター …… 63
消化器内科 …… 69
循環器内科 …… 79
小児科 …… 88
外科 …… 91
整形外科 …… 99
形成外科 …… 103
脳神経外科 …… 105
血管外科 …… 109
心臓外科 …… 111
皮膚科 …… 114
泌尿器科 …… 116
産科婦人科 …… 122
緩和ケア科 …… 129
眼科 …… 132
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 …… 136
麻酔科 …… 139
放射線科 …… 141

リハビリテーション科 …… 145
歯科口腔外科 …… 146
救命救急センター …… 150
健診センター …… 155
臨床研究センター …… 161
遺伝診療部 …… 168
医療安全管理部 …… 175
医療情報部 …… 178
感染制御部 …… 183
教育研修部 …… 188
地域医療部 …… 189
薬剤部 …… 196
臨床検査科 …… 200
病理診断科 …… 203
臨床栄養科 …… 205
医療技術部　臨床工学科 …… 208
看護部 …… 210
京都看護助産学校 …… 220
編集後記 …… 235

京都医療センターの理念

私たちは患者さんとともに病気に立ち向かい、
患者さんが安心できる医療を提供します。

□ 基本方針

一、常に高度で先進的な医療を導入し、地域の医療機関との連携を図り、急性期医療を中心とした質の高い医療を提供することで患者さんに信頼される病院となることを目指します。
一、十分な説明のうえで患者さんの同意を得た医療を提供します。
一、臨床医学の発展を常に念頭におき、臨床研究を積極的に推進し、新しい医療技術の研究開発に努めます。
一、教育研修病院として医師、看護師等、医療に従事する人材の育成に努めます。
一、職員の働きやすい職場環境であることが、安全で高度かつ効率的な医療提供に不可欠であると考え、職員の福利厚生の向上に努めます。

□ 患者さんの権利の尊重に関して

京都医療センターでは、患者さんと医療従事者との信頼関係のもとで患者さんとともに歩む病院をめざしています。ここに患者さんの権利に関する事項と守っていただく事項について記します。

【患者さんの権利に関する事項】

1. 尊厳ある人間として医療を受ける権利を大切にします。
2. 良質で適切な医療を平等に提供します。
3. 検査や治療について充分に理解していただけるように説明します。
4. 検査や治療について自ら選択する権利を尊重します。
5. 医療のどの段階においても他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利を尊重します。
6. 自分に関する医療情報の開示を求める権利を尊重します。
7. プライバシーを守ります。

【守っていただく事項】

1. 健康状態及び診療に必要な情報の提供をお願いします。
2. 医療内容について理解していただけない場合にはお知らせください。
3. 病院のルールを守り他の人に迷惑をかけないようにお願いします。

概要

（平成３１年４月１日現在）

1．施設の概要

（1）環　　境

京都市の南にある市内最大の人口を擁する伏見区のおおむね中央に位置し、伏見稲荷大社で有名な稲荷山の南麓に広がる深草地区に立地している。深草地区は「うづらの里」と呼ばれるように、かつては多くの鶉（うづら）が生息したことで知られる。南へ下がると伏見の酒造りの町があり、白壁の酒蔵が立ち並び独特の風情がある。東南部には桃山城の城下町桃山地区がある。桃山時代に伏見城の城下町として始まり、また江戸時代には淀川水運の重要な港町・宿場町としても栄えた地域である。

現在は、伏見城の城下町の伝統を受け継ぐ商業拠点である一方、京都市中心部や京都府南部、大阪方面へのベッドタウンとしての性格をもち、診療圏も二次医療圏にとどまらず、京都府南部地域はもとより大阪府北部及び滋賀県南部をはじめ他府県に及んでいる。

（2）沿　　革

明治４１年１１月（１９０８年）	京都衛戍病院として設立
昭和１２年（１９３７年）	京都陸軍病院と名称変更
昭和２０年１２月（１９４５年）	国立京都病院として厚生省に移管
昭和５３年　４月（１９７８年）	臨床研究部（内分泌代謝疾患）設置
昭和５９年１２月（１９８４年）	救命救急センター設置
昭和６３年１１月（１９８８年）	ＷＨＯより糖尿病協力センターに指定
平成　７年　４月（１９９５年）	開放型病院に認定
平成　７年　７月（１９９５年）	京都府エイズ治療拠点病院に指定
平成１０年　６月（１９９８年）	臓器提供施設に指定
平成１１年　３月（１９９９年）	国の政策医療「内分泌代謝疾患」の高度専門医療施設として位置付けられる
平成１２年　４月（２０００年）	（財）日本医療機能評価機構病院機能評価『一般病院種別・Ｂ』に認定
平成１４年　６月（２００２年）	地域医療連携室の開設
平成１５年１０月（２００３年）	臨床研究センター（内分泌代謝疾患）設置
平成１６年　４月（２００４年）	独立行政法人へ移行。京都医療センターと改称

平成１７年　４月　　（財）日本医療機能評価機構
（２００５年）　　病院機能評価『一般病院（Ver.4.0）』に認定
平成１９年　１月　　地域がん診療連携拠点病院に指定
（２００７年）
平成２０年　８月　　地域医療支援病院に指定
（２００８年）
平成２２年　６月　　（財）日本医療機能評価機構
（２０１０年）　　病院機能評価『一般病院（Ver.6.0）』に認定
平成２３年　１月　　新中央診療棟竣工　緩和ケア病棟開設
（２０１１年）
平成２６年　６月　　第２外来棟竣工
（２０１４年）
平成２７年　４月　　京都府災害拠点病院に指定
（２０１５年）
平成２７年　６月　　（財）日本医療機能評価機構『一般病院２（Ver.　1.　0）』
（２０１５年）　　『救急医療機能（Ver.　2.　0）』に認定
平成２８年１２月　　原子力災害拠点病院に指定
（２０１６年）
平成３０年　３月　　第二病棟８階（３８床）休棟
（２０１８年）
平成３０年　４月　　がんゲノム医療連携病院（京都大学）に指定
（２０１８年）

（３）医療圏・近隣医療機関の状況

●２次医療圏

・京都・乙訓医療圏

（京都市、向日市、長岡京市、大山崎町３市１町）

●２次医療圏内人口

・京都市　　１，４７３千人
・向日市　　５４千人
・長岡京市　　８０千人
・大山崎町　　１５千人　　計１，６２２千人

（４）職　員　数

●１，２７４名　（平成３１年４月１日現在）

・常勤職員　　９７５名
・期間職員　　３１名
・非常勤職員　　２３２名

（5）敷地・建物の状況

●所在地　京都府京都市伏見区深草向畑町１－１

●敷地面積　･･･　６６，２６７㎡

●建物面積

区　　分	建築年月	建築構造	建築面積	延床面積
病　　棟	Ｈ０１．０３	ＲＣ-８Ｆ	2,976㎡	18,748㎡
外来管理診療棟	Ｓ５８．０５	ＲＣ-４Ｆ	2,711㎡	10,840㎡
中央診療棟	Ｓ６０．０７	ＲＣ-５Ｆ	2,405㎡	13,301㎡
第２外来棟	Ｈ２６．０６	ＲＣ-３Ｆ	421㎡	1,228㎡
新中央診療棟	Ｈ２２．１２	ＲＣ-６Ｆ	1,952㎡	8,672㎡
臨床研究センター	Ｓ５３．０２	ＲＣ-４Ｆ	827㎡	3,117㎡
看 護 学 校	Ｈ１５．０３	ＲＣ-４Ｆ	3,298㎡	6,560㎡
その他（宿舎等）			4,550㎡	10,449㎡
合　　計			19,140㎡	72,915㎡

2．診療機能の状況

（1）病床数　　医療法病床数（一般病床）６００床

（2）診療科（３９科）

内科、血液内科、糖尿病内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、腫瘍内科、膠原病・リウマチ内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、心臓外科、血管外科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、小児外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産科婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、気管食道科、頭頸部外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、緩和ケア外科、歯科口腔外科、小児歯科、病理診断科、臨床検査科、救急科

（3）医療計画上の当院が担う機能

・地域がん診療連携拠点病院
・がんゲノム医療連携病院（京都大学）
・地域医療支援病院
・救命救急センター（三次、３０床）
・地域災害拠点病院
・原子力災害拠点病院
・緊急災害医療チーム（ＤＭＡＴ２チーム１０名）
・周産期医療２次病院（地域周産期母子医療センター）
・難病医療協力病院
・エイズ拠点病院
・急性期を担う医療機関（脳卒中、急性心筋梗塞）

（4）その他の主な機能

・緩和ケア病棟（２０床）
・外来化学療法センター
・ＥＲ（北米型救急外来）
・ＮＨＯ災害ブロック拠点病院
・国際医療協力施設
・臓器提供施設
・ＷＨＯ糖尿病協力センター
・健診センター
・人工透析センター
・（財）日本医療機能評価機構　病院機能評価　「一般病院２（Ver.1.0）」「救急医療機能（Ver.2.0）」認定
・遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設

（5）教育研究機能

・臨床研究センター
・臨床研修指定病院（管理型）
・附属京都看護助産学校（看護学科・助産学科）

（6）各学会認定専門医研修施設及び修練施設

日本内科学会、日本消化器学会、日本循環器学会、日本小児科学会、日本皮膚科学会、日本精神神経学会、日本外科学会、日本消化器外科専門医、日本整形外科学会、日本産婦人科学会、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医研修施設、日本周産期（新生児）専門医、日本眼科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本泌尿器科学会、日本脳神経外科学会、日本医学放射線学会、日本麻酔科学会、日本集中治療医学会、日本救急医学会、日本形成外科学会、日本手外科学会、日本神経学会、日本呼吸器外科基幹施設、日本消化器内視鏡学会、日本内分泌学会、日本腫瘍学会、日本頭頸部外科学会、日本がん治療認定医機構、日本緩和医療学会、胆管膵外科高度技能専門医、日本外科感染症学会、日本心血管インターベーション治療学会

3．診療機能等の特色

（1）救命救急センター（３０床：ＩＣＵ８床、ＨＣＵ２２床）

昭和５９年１２月に開設された歴史あるセンターであり、京都府内に６つある救命救急センターのひとつである。活動拠点は京都市のみならず、近隣市からの救急隊による収容要請にも応え２４時間３６５日、質の高い救急医療を提供している。

平成２３年１月に新中央診療棟に移転し、３０床全床で生体監視モニター管理が可能となった。また、広範囲熱傷処置対応のための熱傷治療室も設置した。

（2）集中治療室（ＩＣＵ・６床）

平成１５年７月に設置。集中治療室では、全身麻酔下手術等における重篤患者等の術後全身管理や入院中に集学的治療が必要となった患者の全身管理を行っている。救命救急センターの集中治療室と２ヶ所の集中治療室を有している。

（3）新生児集中治療室（ＮＩＣＵ・６床）

平成１２年２月に設置し、平成１２年４月に施設基準を取得。低出生体重児等の新生児の治療管理を集中的に行っている。地域周産期母子医療センターとして京都府南部地域の中核病院としての役割を果たしている。

（4）新生児治療回復室（ＧＣＵ・６床）

平成２３年１２月に設置し、平成２４年１月に施設基準を取得。

ＮＩＣＵでの集中管理が終了した新生児が一定の体重・週数に達し、なおかつ合併症コントロールの目途が立ち退院できるまで管理している。

（5）特別室個室病棟（３０床）

平成２３年１月にオープンした全室個室の病棟。セキュリティーを確保した特別病棟は、病棟専属のコンシェルジュを配置し、クオリティーの高い療養環境と最高のサービスを提供している。新型インフルエンザの発生時等において隔離病棟として使用できるよう陰圧機能を備えた病室を備えている。

（6）緩和ケア病棟（２０床）

平成２３年１月にオープン。京都府で初めて地域がん診療連携拠点病院にできた緩和ケア病棟であり、各診療科と連携を積極的に行って苦痛症状の緩和に努めている。医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、音楽療法士、ボランティアなど多職種でチームを組んで対応している。

（7）開放型病床（２０床）

地域医療機関との連携強化を図るため、伏見医師会との協定により開放型病床を設置し、登録医からの紹介入院患者を共同して診療、指導にあたっている。平成７年４月に開放型病院の承認。平成２０年８月に地域医療支援病院の承認。地域医療の向上を図り、紹介患者に対する医療の提供のみならず、地域の医療関係者の生涯教育の充実等地域医療の確保に努めている。

※登録医数　１２９名（平成３０年4月１日現在）

（8）特殊専門外来

特殊診療として、内視鏡センター、呼吸器センター、心臓センター、糖尿病センター、内分泌・甲状腺・高血圧センター、スポーツ医学センター、めまいセンター、脳・神経センター、産婦人科超音波外来、フットケア外来、セカンドオピニオン外来、腫瘍外来、遺伝子外来、禁煙外来、発達障害外来、外来化学療法センター、メタボリック症候群外来、妊娠糖尿病外来、糖尿病透析予防外来、婦人科骨粗鬆症更年期外来

（9）健診センター（平成１６年４月１日開設）

早期に病気を発見する予防医学の役割が一層重要になっていることから、当院の政策医療である内分泌・代謝疾患の高度専門医療施設の特性を生かし、生活習慣病を主な対象とするとともに、各診療科の専門性を有効に活用した健診とし、専門医との連携による的確な判定を行っている。

(10) 研修医・レジデントの教育、研修の充実

教育研修部を設置して「患者を包括的にケアできる」医師の育成を行っている。

□臨床研修指定病院（管理型）
□ＮＨＯ専修医制度
□臨床研修医の平成３１年度定数…１年目　１０名、２年目　１０名
□スーパーローテーション方式
□ランチタイムセミナー
□双方向性の評価方式の導入

(11) 臨床研究センター

平成１５年１０月に臨床研究センターが設置され、「糖尿病を中心とした内分泌・代謝性疾患の病態と発症機序の解明および予防・診断・治療法の開発研究」を担っている。国立病院機構の臨床研究体制再構築に伴い、平成２０年度からは「内分泌・代謝性疾患」にとどまらず、がん診療支援を含めた幅広い分野を臨床研究の活動分野とすることになった。

(12) 手術支援ロボット「ダヴィンチ」

平成２６年６月に腹腔鏡下手術を支援する内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入。このダヴィンチを用いた手術は通常の腹腔鏡下手術と同様に傷口が小さく低侵襲で術後の痛みも少ないことから回復も早く、早期の退院が可能となった（保険適用手術は限られているが、平成３０年４月に保険適用手術が拡大しており、今後も保険適用の拡大が期待されている）。

(13) ＰＥＴ／ＣＴ

がんの早期発見、早期治療の充実・発展のため、平成２６年６月に京都府南部地域初のＰＥＴ／ＣＴを導入。

(14) 地域医療連携室

平成１４年６月に地域医療連携室が設置され、地域の診療所や各医療機関及び保健福祉機関との連携を強化している。前方後方支援業務はもとより、年２回開催の医療連携フォーラムや脳卒中等の市民講座の開催にも力を入れている。

□人員配置

○地域医療部長（医師） 病床管理師長　副看護師長 地域医療連携係長（事務）　医療社会事業専門員４名　看護師１１名　地域医療連携係員１名（事務）　事務助手４名　派遣職員１名　　計２５名

(15) がん診療支援

当院は平成１９年１月から地域がん診療連携拠点病院の認定を受けており、キャンサーボードも設置し「がん診療セミナー」等、医師だけでなく、看護師、コメディカル、その他医療職を対象とした、オープンセミナーを開催している。

また、がん診療相談（地域医療連携室）や患者情報室（１階ホール）、京都では初となるＮＰＯ法人キャンサーリボンズが設置をサポートするリボンズハウス（外来化学療法室）を設置して患者の日常生活支援に力を入れ、最先端の総合的ながん治療から患者の視点に立って生活を支援することができる施設を目指している。

平成３０年４月からはがんゲノム医療連携病院の指定を受け、網羅的遺伝子パネル検査（ＮＣＣオンコパネル及びオンコプライム）も実施している。

□リボンズハウス（平成２３年１０月から運用開始）

○がん患者の「治療と生活」をつなぐ具体的な情報とケアを提供する。

○医療者やヘルスケアに携わる多くの専門家の手によるプログラムを通して患者がより自分らしく少しでも快適な生活を送れるようサポートする。

○広く地域に開かれたスペースとして多くの人々が情報を共有し支えあいを実践できる場になることを目的とする。

○主な内容としては、がんに係る相談、がんに係る情報提供、がん患者支援のイベント等の企画運営、インターネット検索コーナー、展示コーナー（ウィッグ、帽子等）アロマテラピー等

(16) 感染制御部

平成９年４月に組織横断的院内感染対策チーム（ＩＣＴ）を設立し、平成２２年４月には、院内感染管理と職員の健康管理を通じて、患者が安心して診療を受けられる環境を提供するため、ＩＣＴを核とする感染制御部を発足させた。医師、看護師、リンクナース、薬剤師、臨床検査技師、事務職等多くの職員がそれぞれ得意とする分野を分担している。ＩＣＴリーダーを中心に週に１回ＩＣＴミーティングを行い、更に週１回定期的に院内ＩＣＴラウンドを実施し、日々の感染対策に関する相談に関しても随時対応している。

□人員配置

○感染制御部長（医師） 副部長（医師１名） 医師１名 専任薬剤師２名
専従認定看護師　専任検査技師　事務２名　計９名

□主な活動例

○インフルエンザ、感染性胃腸炎、結核等の院内感染対策

○手術部位感染、血流感染等のサーベイランス

○抗菌薬適正使用推進業務等

○これらの活動は、病院長直轄の「院内感染対策委員会」（月１回）と「抗菌薬の適正使用に関する小委員会（月１回）にて報告及び審議決定されるシステムとなっている。また、院内感染対策委員会については、感染対策の必要に応じて臨時開催され迅速な対応を行っている。（２７年１月の開催回数は１１回）

(17) 医療安全管理体制

医療安全体制の確立を図り安全な医療の遂行を徹底するために医療安全管理部を設置している。各部門にリスクマネージャーを置き、患者や家族に対する対応及び医療安全管理部門や幹部職員への報告・連絡・相談を速やかに行う体制を整えている。

また、客観的事実の確認や事故原因の追及と再発防止策の検討の為にオカーレンス事例検討会や医療安全管理委員会及び医療事故対策本部会議を開催し、必要に応じて弁護士や外部評価委員を構成メンバーに加えた拡大医療安全管理委員会も開催している。

必要に応じて法的観点からの意見を含め、病院として見解を常に決定するとともに、専任の医療安全管理係長や訴訟専門職、さらにはクレームや暴言暴力への対応策として警察ＯＢも配置して、あらゆるケースに対応出来る体制を構築している。

□人員配置

○副院長（医療安全担当）　医療安全管理部長（医師）
　医療安全管理副部長（医師）　専門職（訴訟担当）　看護師長（看護師長、医療安全管理専従）
　看護部医療安全担当副看護師長（医療安全管理専従）
　リスクマネージャー（各部署から１名：５８名）　　計６４名

□主な会議

○拡大医療安全管理委員会
○医療安全管理委員会
○医療事故対策本部会議
○オカーレンス事例検討会
○ハイリスク診療検討会議
○リスクマネージャー会議

(18) 医療情報部

平成１５年７月に設置された医療情報部は国立病院としては初めて認可された部門であり、医師と情報システムエンジニアの資格を持つ人材が部長を担当している。ベンダーに依存することなく医療現場のニーズにマッチした情報システムの開発、導入、構築を迅速かつ正確に行っている。平成１１年に導入した病院総合情報システム（電子カルテ）は、平成２８年１０月より稼働した新システムで第４世代となる。

また、京都府及び京都市が設置した情報基盤協議会である「ＩＴコンソーシアム京都」医療情報化部会と連携し「ポケットカルテ」等の二次医療圏を包括する地域医療連携基盤の企画、設計、開発、構築、運用等も行っている。

更に、情報システムや診療記録管理だけではなく、診療諸記録作成の作成等の医師事務作業補助の専門職として「スペシャル医療クラーク」を独自に育成し、各診療科に配置する事で、医師や看護師等の専門職が業務に集中出来る環境を構築すると共に、診療の質の向上に努めている。

□人員配置

○部長（医師・ＳＥ）　副部長（医師）　診療情報管理士５名　スペシャル医療クラーク２７名
　医療クラーク５名　情報システム管理室員４名　流動研究員（ＳＥ等）１名　　計４４名

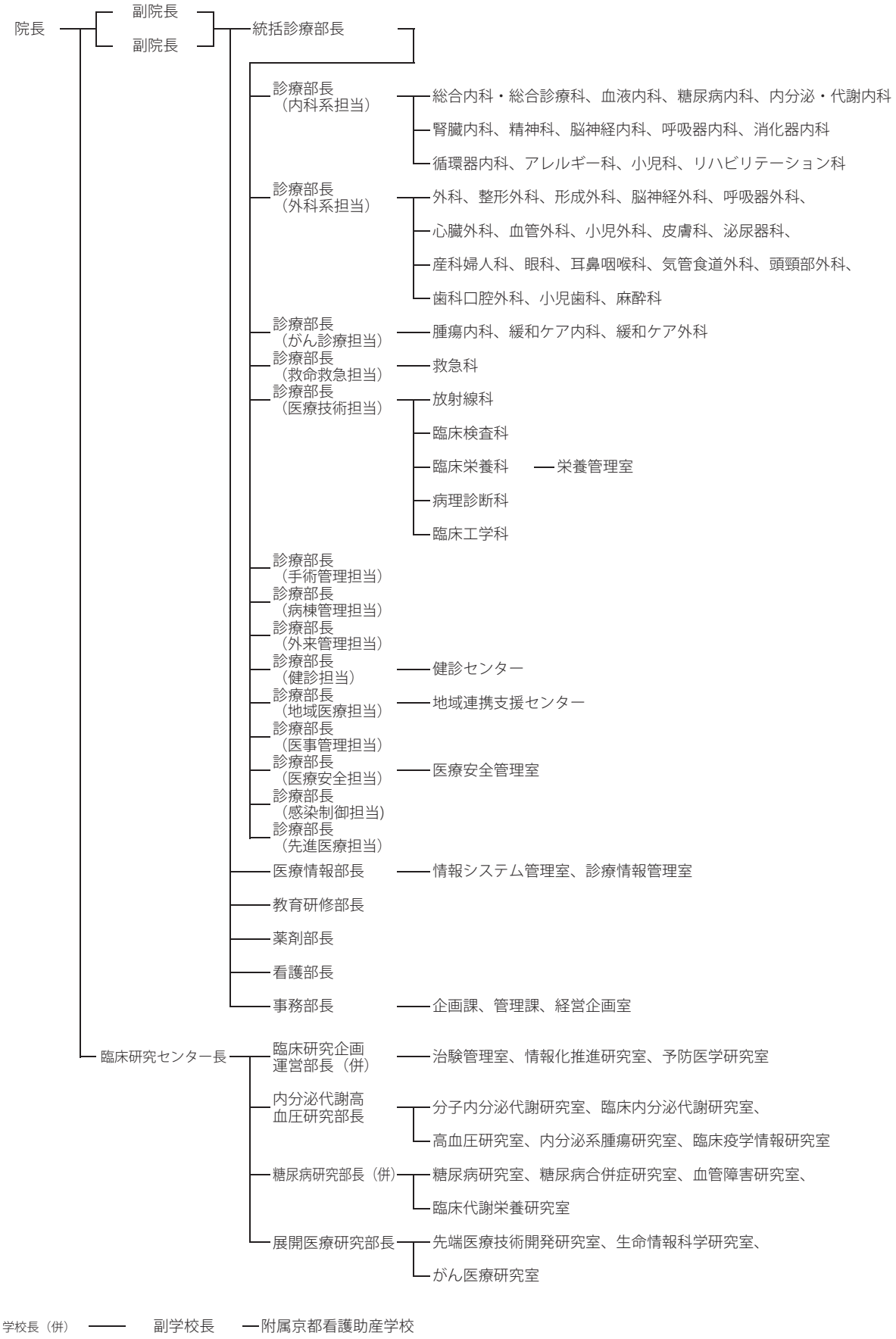
4.附属京都看護助産学校

（1）沿　　革

昭和２４年（１９４９年）	4月　1日	附属高等看護学院設置
昭和４４年（１９６９年）	4月　1日	附属高等看護助産学院設置
昭和５０年（１９７５年）	4月　2日	国立京都病院附属看護助産学校、看護婦科および助産婦科に名称が変更される。
平成１４年（２００２年）	4月　1日	看護学科、助産学科に名称が変更される
平成１６年（２００４年）	3月２５日	看護学校大型化整備工事竣工
平成１６年（２００４年）	4月　1日	国立京都病院附属看護助産学校及び国立療養所宇多野病院附属看護学校並びに国立療養所南京都病院附属看護学校を当院の地で統合し、附属京都看護助産学校となる。 ※１学年定員　看護学科８０名 助産学科３５名
平成２７年（２０１５年）	4月　1日	附属京都看護助産学校助産学科の定員減 ※１学年定員　助産学科２５名

京都医療センター　組織図

（平成３１年４月１日現在）



学校長（併）――副学校長―附属京都看護助産学校

京都医療センター　幹部職員

院長　小西　郁生

副院長　塚原　徹也

副院長　髙倉　賢二

臨床研究センター長
島津　章

統括診療部長
猪飼　伊和夫

内科系診療部長
教育研修部長
小山　弘

外科系診療部長
中川　泰彰

がん診療部長
山﨑　誠二

救命救急部長
笹橋　望

医療技術部長
伊藤　剛

手術管理部長
七野　力

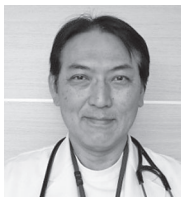
病棟管理部長
赤尾　昌治

外来管理部長
三尾　直士

健診部長
田上　哲也

地域医療部長
瀬田　公一

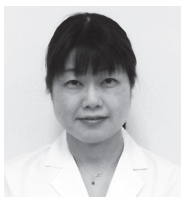
医事管理部長
勝島　慎二


医療安全部長
白神　幸太郎

感染制御部長
奥野　博

先端医療部長
喜多　美穂里

医療情報部長
北岡　有喜


内分泌代謝高血圧研究部長
浅原　哲子

展開医療研究部長
長谷川　浩二

薬剤部長
本田　芳久

看護部長
西本　京子

事務部長
出原　信弘

副学校長
池田　仁美

職員の状況

（平成３１年４月１日現在）

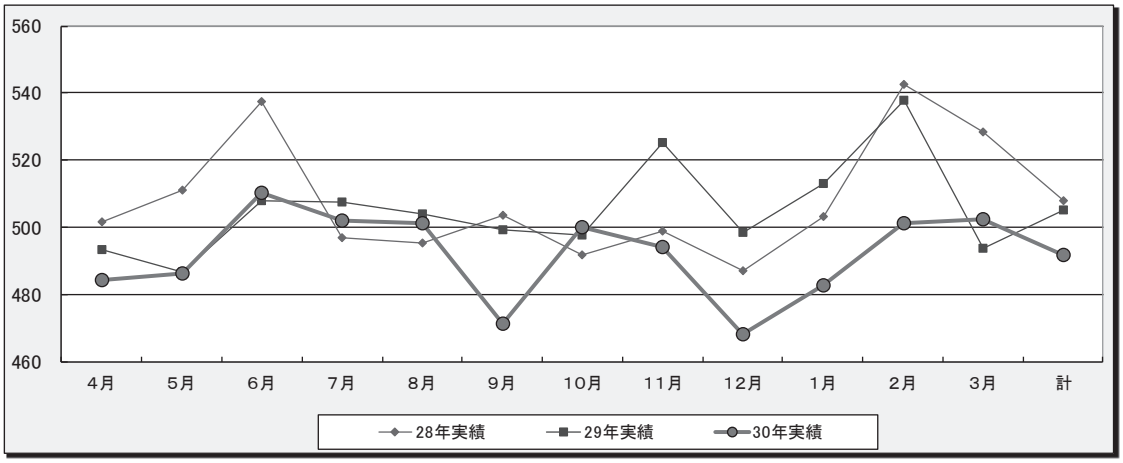
	職種・職名		常勤職員		非常勤職員			期間職員			職員合計
			定数	現員	定数	現員	常勤換算	定数	現員	常勤換算	
医師	院長・年俸表(一)	院長	1	1							1.00
		副院長	2	2							2.00
		部長	16	16							16.00
		医長	35	35							35.00
		歯科医長	1	1							1.00
		小計	55	55							55.00
	一般医師 医療職(一)	医師	104	99	20.08	26	20.08	25.20	28	25.20	144.28
		歯科医師	1	1				1.80	2	1.80	2.80
		小計	105	100	20.08	26	20.08	27.00	30	27.00	147.08
医師計			160	155	20.08	26	20.08	27.00	30	27.00	202.08
医療職(二)	薬剤師	薬剤部長	1	1							1.00
		副薬剤部長	2	2							2.00
		主任薬剤師	7	7							7.00
		薬剤師	26	25							25.00
		小計	36	35							35.00
	放射線技師	診療放射線技師長	1	1							1.00
		副診療放射線技師長	2	2							2.00
		主任診療放射線技師	6	6							6.00
		診療放射線技師	24	24							24.00
		小計	33	33							33.00
	検査技師	臨床検査技師長	1	1							1.00
		副臨床検査技師長	2	2							2.00
		主任臨床検査技師	8	7							7.00
		臨床検査技師	24	25		2	1.54				26.54
		小計	35	35		2	1.54				36.54
	管理栄養士	栄養管理室長	1	1							1.00
		副栄養管理室長	1	1							1.00
		主任栄養士	2	1							1.00
		栄養士	3	3	2.31	5	4.15	1.00	1	1.00	8.15
		小計	7	6	2.31	5	4.15	1.00	1	1.00	11.15
	理学療法士	理学療法士長	1	1							1.00
		副理学療法士長	1	1							1.00
		主任理学療法士	3	3							3.00
		理学療法士	12	11		1	0.77				11.77
		小計	17	16		1	0.77				16.77
	作業療法士	主任作業療法士	1	1							1.00
		作業療法士	5	5							5.00
		小計	6	6							6.00
	言語聴覚士	主任言語聴覚士	1								
		言語聴覚士	4	5		1	0.41				5.41
		小計	5	5		1	0.41				5.41
	臨床工学技士	臨床工学技士長	1								
		主任臨床工学技士	1	1							1.00
		臨床工学技士	10	10							10.00
		小計	12	11							11.00
	医療技術職員	視能訓練士	4	4	1.85	2	1.54				5.54
		心理療法士			0.92	5	1.20				1.20
		歯科衛生士			1.54	3	2.31				2.31
		歯科技工士			0.77	1	0.77				0.77
		小計	4	4	5.08	11	5.82				9.82
医療職（二）計			155	151	7.39	20	12.69	1.00	1	1.00	164.69

	職種・職名		常勤職員		非常勤職員			期間職員			職員合計
			定数	現員	定数	現員	常勤換算	定数	現員	常勤換算	
医療職（三）	看護師、助産師	看護部長	1	1							1.00
		副看護部長	3	3							3.00
		看護師長	21	21							21.00
		副看護師長	47	48							48.00
		助産師	502	32							32.00
		看護師		485	33.99	13	9.20				494.20
		准看護師									
	医療職（三）計		574	590	33.99	13	9.20				599.20
事務職・診療情報管理職	事務職員	事務部長	1	1							1.00
		課長・室長	3	3							3.00
		班長	2	2							2.00
		専門職	2	2							2.00
		係長	12	9							9.00
		主任									
		一般職員（事務補助）	7	12	104.52	135	103.68				115.68
		小計	27	29	104.52	135	103.68				132.68
	診療情報管理職	診療情報管理士	8	8							8.00
		小計	8	8							8.00
	事務職・診療情報管理職　計		35	37	104.52	135	103.68				140.68
技能職員		自動車運転手	12		24.54	1	0.83				0.83
		調理師		12							12.00
		看護助手				19	15.67				15.67
		その他				2	1.66				1.66
	技能職員　計		12	12	24.54	22	18.16				30.16
教育職		副学校長・教育主事	4	4							4.00
		教員（教務補助）	15	15							15.00
	教育職　計		19	19							19.00
研究職		センター長・部長	3	3							3.00
		室長・主任研究官	4	4							4.00
		研究（補助）員			3.49	11	7.57				7.57
	研究職　計		7	7	3.49	11	7.57				14.57
福祉職		保育士	1	1		1	0.77				1.77
		医療社会事業専門員	4	3							3.00
	福祉職　計		5	4		1	0.77				4.77
職員総数			967	975	194.01	228	172.15	28.00	31	28.00	1,175.15
（男性）				298		44	41.98		19		339.98
（女性）				677		184	130.17		12	28.00	835.17

診療実績（年度別統計）

○平均入院患者数（年間目標数＝ 507.8 人）

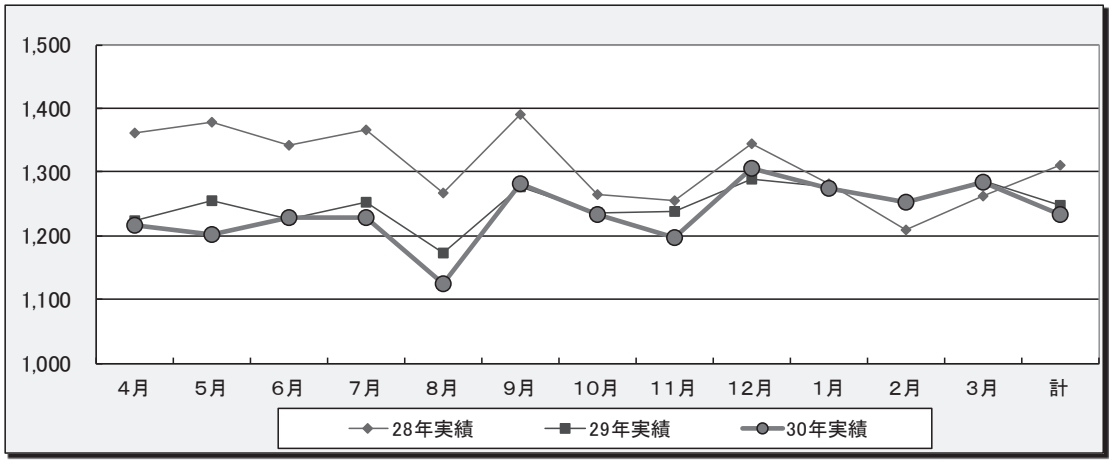
（単位：人 / 日）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	利用率
28年実績	501.6	511.1	537.2	497.0	495.3	503.7	491.7	498.6	487.1	503.2	542.5	528.4	507.8	84.6%
29年実績	493.3	486.4	507.7	507.3	503.8	499.3	497.6	525.2	498.4	513.1	537.6	493.6	505.0	84.6%
30年実績	484.0	486.2	510.2	501.9	501.3	471.1	500.1	493.9	468.1	482.7	501.1	502.3	491.9	87.5%

○平均外来患者数（年間目標患者数＝ 1,250.7 人）

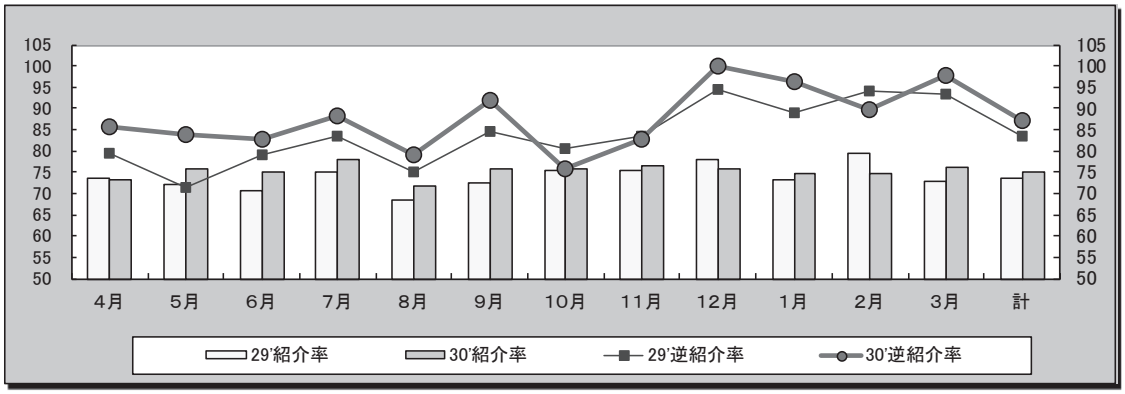
（単位：人 / 日）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年実績	1,362.1	1,377.4	1,342.4	1,366.0	1,266.5	1,389.5	1,264.2	1,254.9	1,343.5	1,282.3	1,209.9	1,261.8	1,309.2
29年実績	1,223.7	1,254.2	1,226.2	1,252.8	1,171.7	1,277.2	1,236.0	1,237.3	1,289.0	1,276.7	1,250.6	1,286.5	1,247.6
30年実績	1,216.3	1,202.8	1,228.0	1,228.1	1,125.2	1,282.1	1,231.9	1,197.0	1,306.1	1,274.2	1,253.2	1,284.1	1,233.1

○紹介率、逆紹介率の推移

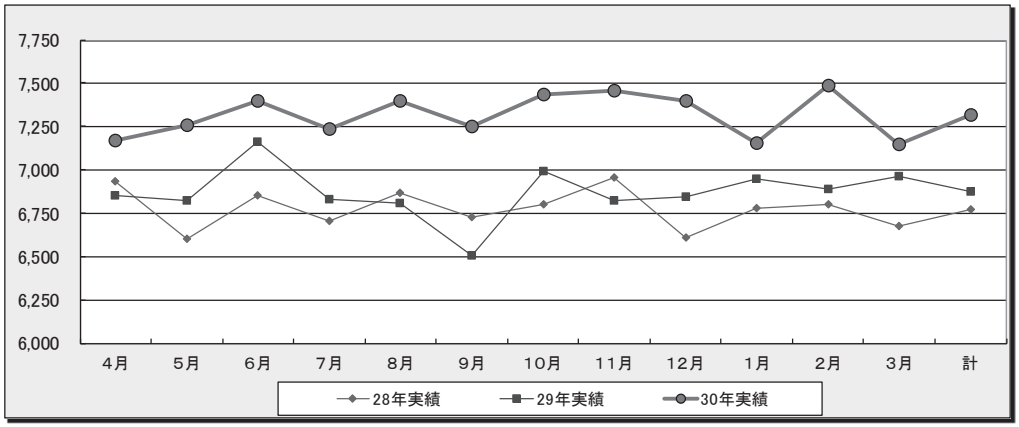
（単位：%）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29'紹介率	73.8	72.3	70.8	75.0	68.4	72.4	75.4	75.6	78.1	73.2	79.7	73.0	73.8
30'紹介率	73.2	75.8	75.1	78.2	71.8	75.9	75.8	76.7	75.8	74.7	74.9	76.3	75.3
29'逆紹介率	79.7	71.4	79.1	83.6	75.2	84.6	80.5	83.5	94.4	89.1	94.1	93.5	83.7
30'逆紹介率	85.7	83.9	82.9	88.2	79.3	92.0	75.8	82.8	100.0	96.5	89.7	97.8	87.4

○入院平均診療点数

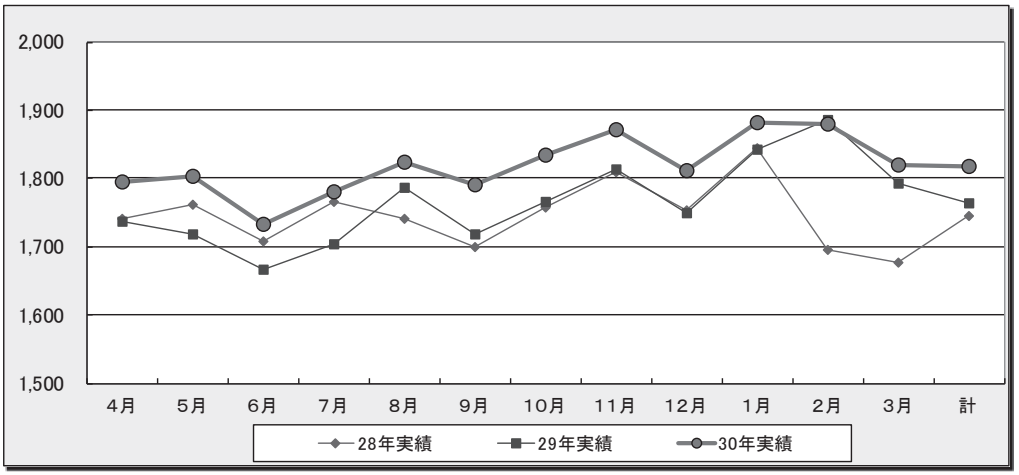
（単位：点 / 日）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年実績	6,932.9	6,601.6	6,850.4	6,705.3	6,870.4	6,726.6	6,801.4	6,955.8	6,612.5	6,781.1	6,803.6	6,675.4	6,775.3
29年実績	6,851.8	6,826.3	7,161.9	6,834.3	6,805.9	6,508.1	6,993.7	6,820.0	6,848.5	6,949.9	6,888.6	6,961.9	6,871.5
30年実績	7,173.8	7,262.7	7,396.1	7,236.7	7,397.9	7,248.0	7,438.9	7,456.8	7,402.2	7,158.4	7,490.0	7,151.8	7,317.1

○外来平均診療点数

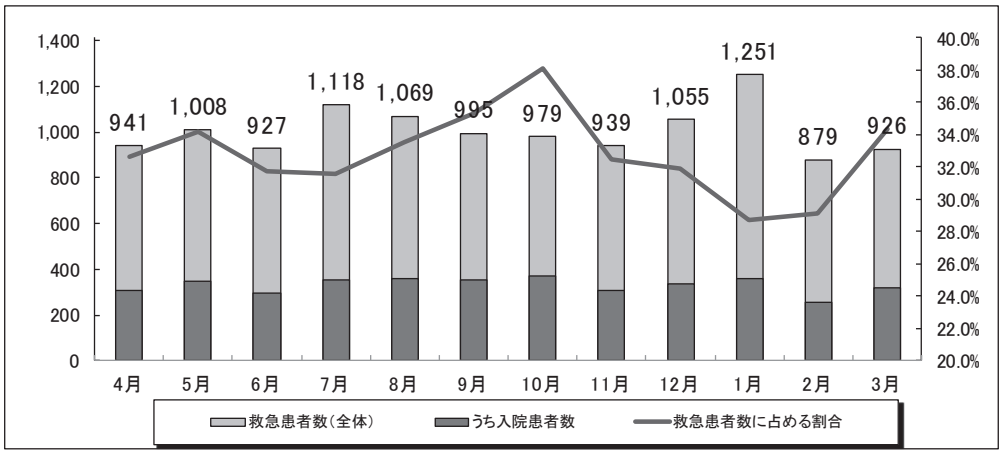
（単位：点 / 日）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年実績	1,741.0	1,762.1	1,706.8	1,765.3	1,740.0	1,699.3	1,758.2	1,809.8	1,753.6	1,843.4	1,695.9	1,677.3	1,744.6
29年実績	1,737.0	1,717.6	1,666.4	1,704.3	1,786.2	1,717.3	1,766.2	1,813.9	1,748.5	1,841.3	1,884.8	1,793.1	1,763.5
30年実績	1,794.4	1,802.6	1,732.5	1,779.8	1,824.3	1,790.2	1,834.3	1,870.9	1,811.0	1,880.7	1,879.8	1,818.6	1,817.9

○救急患者数推移

（単位：人、%）



30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
救急患者数（全体）	941	1,008	927	1,118	1,069	995	979	939	1,055	1,251	879	926	1,007.3
うち入院患者数	307	345	294	353	359	352	373	305	337	359	256	318	329.8
救急患者数に占める割合	32.6%	34.2%	31.7%	31.6%	33.6%	35.4%	38.1%	32.5%	31.9%	28.7%	29.1%	34.3%	32.8%
救急搬送患者数	360	380	320	466	371	374	377	341	392	404	308	362	371.3
新規入院患者数（参考）	1,192	1,244	1,224	1,270	1,335	1,130	1,311	1,211	1,118	1,255	1,114	1,214	1,218

経 常 収 支 率

損益計算書

（千円）

区　　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
医業収益	18,021,085	17,981,251	18,560,845
入院診療収益	12,133,434	12,216,823	12,677,263
室料差額収益	400,695	407,604	417,106
外来診療収益	5,402,939	5,241,295	5,345,063
保険予防活動収益	101,025	103,714	105,868
文書料収益	71,655	74,814	70,399
その他医業収益	7,610	19,384	18,316
保険等査定減（△）	▲96,273	▲82,383	▲73,171
診療業務費	18,576,339	18,237,290	18,221,188
給与費	9,082,351	9,153,391	9,093,855
材料費	5,942,733	5,636,680	5,733,610
委託費	788,512	834,617	836,456
設備関係費	1,866,317	1,743,678	1,702,904
研究研修費	6,155	3,521	4,030
経費	890,271	865,404	850,332
医業収支差	▲555,254	▲256,039	339,657
医業収支率	97.0%	98.6%	101.9%
人件費率	50.4%	50.9%	49.0%
材料費率	33.0%	31.3%	30.9%
委託費率	4.4%	4.6%	4.5%
経費率	4.9%	4.8%	4.6%
人件費+委託費率	54.8%	55.5%	53.5%
経常収益	18,939,488	18,895,304	19,528,181
経常費用	19,466,973	19,153,968	19,140,079
経常収支差	▲527,485	▲258,664	388,102
経常収支率	97.3%	98.6%	102.0%

区　　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
教育研修収益	222,300	218,599	226,794
教育研修費用	292,050	295,778	288,485
収支差	▲69,750	▲77,179	▲61,690

区　　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
臨床研究収益	435,671	446,316	416,519
臨床研究費用	473,391	488,949	450,518
収支差	▲37,720	▲42,633	▲33,999

総合内科／総合診療科

部長
小山　弘

専門医資格等　日本内科学会総合内科専門医
専 門 分 野　内科一般
得 意 疾 患　内科一般

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
総合診療科長	小田垣孝雄	日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医/指導医 日本内科学会総合内科専門医 Infection Control Doctor 日本化学療法学会抗菌化学療法指導医 日本救急医学会ICLS-WSディレクター 日本内科学会JMECCディレクター 日本医師会認定産業医	総合診療	Common diseases
医　　師	後藤　雅史	日本内科学会総合内科専門医 公衆衛生学修士	内科一般	内科一般
医　　師	井口美季子	日本内科学会総合内科専門医 日本リウマチ学会専門医・登録ソノグラファー 日本リウマチ財団登録医	膠原病・リウマチ一般	膠原病・リウマチ一般

□ 診療科の特徴

1. 器官系を横断的に考えます
2. 患者と病院のインターフェースとして、窓口機能を果します
3. 専門診療科との連携を重視します
4. 医学的なエビデンスに配慮します

□ 主な対象疾患

急性感染症（気道、尿路、皮膚軟部組織、骨、その他）
不明熱、多発関節痛など診断の確定していない症候
膠原病リウマチ疾患（関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症など）
＊膠原病リウマチ疾患については、膠原病リウマチ内科が総合内科と協力しながら診療をしています

□ 診療（業務）内容

外来では重篤でない急性疾患の診断・管理や、不明熱や多発関節痛など診断の確定していない症候の診断・管理と必要に応じての専門診療部門・機関への紹介などを行っております。健診その他での高血圧や脂質異常症などについて相談に受診される方もおられ、生活指導や薬物療法が継続的に必要と考えられた場合、地域の医療機関を紹介していますので、よろしくお願い致します。

入院では、おもに救急外来から緊急入院した内科系非重篤患者のうち、呼吸器、尿路、皮膚、骨軟部組織などの急性感染症、原因不明の発熱（最終的には薬剤熱、血管炎症候群や膠原病リウマチ疾患、血液学的腫瘍、自然治癒するウイルス感染症や一過性の肺への吸引など）や意識障害、電解質異常、栄養不良を受け持ち、診断および管理、必要に応じて他科への紹介を行っています。他科入院中の患者の感染症や原因不明の発熱についての共診も主たる活動の一部になっています。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
17.7名	339名	18.5日

外来患者数

1日平均患者数
37.8名

主な疾患の特徴など

感染症	加齢関連疾患	膠原病リウマチ疾患	血液・腫瘍疾患	呼吸器疾患	栄養・水電解質異常
182件	50件	30件	19件	11件	11件

□ 地域医療連携・広報活動

伏見医師会理事(小山)

伏見関節リウマチ病診連携の会（井口）

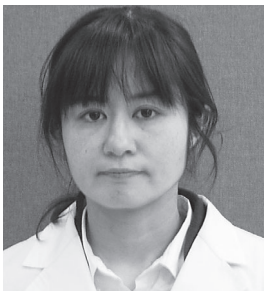
□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	岡田紘輔, 海透修子, 小田垣孝雄, 後藤雅史, 小山　弘	巨大子宮筋腫が原因と思われる不明熱の1例	第221回近畿地方会	大阪	2018.9.22	2018.9.22
国内学会	海透 修子		第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-10
国内学会	柏原英里子		第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9-10

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者）	海透修子、後藤健太郎、松末亮、小山弘	A case of small bowel obstruction due to infection with Bolbosoma sp.（Acanthocephala: Polymorphidae）.	Parasitol Int	68	1	14-16			
英文論文（筆頭著者）	柏原英里子、藤田浩平、小山弘、三尾直士	Septic pulmonary embolism complicated by pyogenic spondylitis and psoas abscesses in a patient with methicillin-sensitive Staphylococcus aureus bacteraemia.	Oxf Med Case Reports	12		455-457			

膠原病・リウマチ内科



診療科長
井口　美季子

専門医資格等　日本内科学会総合内科専門医
日本リウマチ学会専門医・登録ソノグラファー
日本リウマチ財団登録医
リウマチ学会指導医
専 門 分 野　膠原病・リウマチ一般
得 意 疾 患　膠原病・リウマチ一般

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本リウマチ学会認定教育施設

1. 膠原病・関節リウマチは慢性疾患であるため、患者さんご自身が治療に納得して上手に疾患と付き合っていく必要があります。様々な治療の選択肢をご提示し、ご納得いただける治療をご提供します。
2. 他の疾患領域と同様に膠原病・リウマチ性疾患の治療は飛躍的に進化しています。最新の知見に基づいた最善の治療を提供します。
3. 膠原病・関節リウマチは全身に合併症をきたす可能性がある疾患なので各科と連携しながら治療を行っていきます。当院で対応困難な疾患の場合は速やかに大学病院にご紹介します。
4. 関節リウマチについては地域連携に努めています。

□ 主な対象疾患

関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、悪性関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、強皮症、血管炎、多発性筋炎/皮膚筋炎、ベーチェット病、IgG４関連疾患　など

□ 診療内容

月・火・木・金曜（第１、３）に外来診療を行っております。
関節エコーを用いてリアルタイムに現在の関節炎の活動性を評価します。
挙児希望関節リウマチ・膠原病患者さんにも対応します。

□ 地域医療連携・広報活動

第8回　膠原病を考える会　「73歳男性　発熱、溶血性貧血、血小板減少をきたした症例」

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
2.5名	45名	19.4日

外来患者数

1日平均患者数
16.2名

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	井口美季子	肺癌合併関節リウマチ患者に対して抗PD1抗体を使用した2症例と抗PD1抗体により関節炎をきたした3症例	第62回日本リウマチ学会総会・学術集会	東京	2018/4/26	2018.4.26-28
国内学会	井口美季子		第72回国立病院総合医学会	神戸	2018/11/9	2018.11.9-10

血液内科

診療科長
奥野　芳章

専門医資格等　日本内科学会内科専門医
日本血液学会専門医・指導医
京都大学医学博士
専 門 分 野　血液一般

□ 診療科の特徴

1. 当科では貧血から、白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫など血液悪性疾患に至るまでいろいろな血液疾患の診断、治療をおこなっています。血液疾患は自覚症状に乏しく、血液検査をして初めて異常が明らかになることが多いため、まず、お近くのかかりつけの医師に診察して頂いて、血液疾患の疑いがあれば当科にご紹介して頂いています。
2. 血液疾患の治療法の進歩はめざましく、血液幹細胞移植の適応になることもありますが、残念ながら当院では移植治療は行っておりません。そのような治療が必要な場合、移植施設をご紹介いたします。

□ 主な対象疾患

貧血・出血傾向・リンパ腫・白血病・骨髄腫　など

□ 診療（業務）内容

再生不良性貧血に対する免疫抑制療法や血液悪性疾患に対する通常量化学療法、貧血などに対する輸血などの対症療法を行っています。治療法を選択するにあたっては、広く認められている標準療法であること、患者さんが十分ご理解、ご納得頂けることを重視しています。

血液疾患は診断、あるいは治療の選択に困難を伴う場合が多いかと思いますが、患者さんと常にご相談しながらよりよい治療法を探していきます。

・貧血
・出血傾向
・リンパ腫
・白血病
・骨髄腫など

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
8.4名	246名	12.2日

外来患者数

1日平均総患者数
13.4名

内分泌・代謝内科

診療部長・診療科長
田上　哲也

専門医資格等　日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医・指導医、近畿支部評議員
日本内分泌学会　内分泌代謝科（内科）専門医・指導医・教育責任者、評議員
日本甲状腺学会　専門医、評議員、理事
厚生労働省　臨床研修指導医
京都大学医学部　臨床教授・講師
京都大学　医学博士

専門分野　内科、内分泌・代謝
得意疾患　内分泌・代謝疾患、甲状腺疾患

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　名	専門医資格等	専門分野	専門分野
医　師	立木　美香	日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会　内分泌代謝科（内科）専門医・指導医 日本高血圧学会　専門医 臨床研修指導医 東京女子医科大学　医学博士 日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医	内科 内分泌・代謝	高血圧・副腎疾患
医　師	馬越　洋宣	日本内科学会　認定内科医 臨床研修指導医	内科 内分泌・代謝	高血圧・副腎疾患
レジデント	廣嶋　佳歩	日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医 日本内科学会　認定内科医	内科、内分泌・代謝	内分泌疾患
レジデント	天野　綾	日本内科学会　認定医 日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医 日本甲状腺学会　専門医	内科、内分泌・代謝	甲状腺疾患
レジデント	石原　裕己	日本内科学会　認定医	内科、内分泌・代謝	
専修医	横本　真希	日本内科学会　認定内科医 日本糖尿病学会　専門医 日本骨粗鬆症学会　認定医 島根大学　医学博士	内科 内分泌・代謝	骨代謝疾患
専修医	兼子　大輝	日本内科学会　認定医	内科、内分泌・代謝	内分泌疾患
専攻医	須川　琢		内科、内分泌・代謝	内分泌疾患
非常勤医師	小笠原辰樹	日本内科学会　認定内科医	内科 内分泌・代謝	高血圧・副腎疾患

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本内分泌学会研修施設 日本甲状腺学会認定施設 日本高血圧学会認定施設

● 内分泌代謝疾患とは「ホルモンの乱れに起因する病気」を総称するものです。下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性ホルモンの異常をきたす疾患の他、内分泌疾患を疑う必要のある、高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症などの生活習慣病、電解質異常、骨粗鬆症なども対象としており、糖尿病センターと連携して治療にあたっています。

● 地域における内分泌代謝疾患の専門診療を担っており、1999年には内分泌代謝性疾患に関する高度専門医療施設（準ナショナルセンター）として国の指定を受けています。全国の内分泌・代謝疾患の「専門医療施設」と内分泌・代謝疾患ネットワークを構築しています。また、日本内分泌学会認定教育施設および日本甲状腺学会認定専門医施設に認定されています。

● 診療のモットー

1．内分泌代謝疾患に関する、良質で高水準の医療を提供しています。
2．満足のいく十分な説明を行い、安心できる医療を提供しています。
3．十分な診療情報提供と逆紹介により、病診連携を促進しています。

□ 主な対象疾患

●下垂体疾患

下垂体インシデンタローマ：脳ドックなど、CTやMRIで偶然見つかった下垂体腫瘍の機能評価をします。
下垂体機能亢進症：先端巨大症（アクロメガリー）、クッシング病（下垂体性クッシング症候群）、プロラクチン産生下垂体腫瘍（プロラクチノーマ）、TSH産生下垂体腫瘍（中枢性甲状腺機能亢進症）などです。糖尿病や肥満、不順月経の原因になります。
下垂体機能低下症：シーハン症候群（出産後下垂体機能低下症）などの汎下垂体機能低下症、ACTH単独欠損症（下垂体性副腎不全）、成長ホルモン分泌不全症、リンパ球性下垂体炎、中枢性尿崩症などがあります。無月経や低身長、低血圧・低血糖、口渇・多飲・多尿などが主徴候となります。小児科からのトランジション（引き継ぎ治療）も大切です。

●甲状腺疾患

甲状腺腫：学校検診や人間ドックなどで指摘された甲状腺腫の評価をします。
甲状腺インシデンタローマ：頸動脈エコーなどで偶然見つかった甲状腺腫瘤の良性・悪性の判定をします。甲状腺機能亢進症：バセドウ病のほか、プランマー病（機能性結節）、妊娠性甲状腺機能亢進症があります。眼球突出や心房細動がきっかけで見つかることもあります。振戦や筋力低下の原因にもなります。コントロール不良のバセドウ病にはアイソトープ治療（^{131}I内用療法）も考えてみてください。
破壊性甲状腺中毒症：発熱・前頸部痛を主訴とする亜急性甲状腺炎や、橋本病をベースとした無痛性甲状腺炎、インターフェロンやアミオダロンなどによる薬剤性甲状腺中毒症があります。
甲状腺機能低下症：原因として橋本病（慢性甲状腺炎）が最も多いですが、先天性甲状腺機能低下症や薬剤性甲状腺機能低下症（向精神薬など）も少なくありません。便秘や体重増加、皮膚の乾燥、顔のむくみ、脱毛などを訴えます。

●副甲状腺疾患

高カルシウム血症：副甲状腺腫による原発性副甲状腺機能亢進症や悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症、ビタミンD中毒があります。尿路結石を繰り返します。
低カルシウム血症：成人では特発性副甲状腺機能低下症があります。小児では、先天性副甲状腺機能低下症や偽性副甲状腺機能低下症があります。
骨粗鬆症：高齢化に伴い、閉経後の原発性骨粗鬆症が増加しています。ステロイドホルモンによる続発性骨粗鬆症にも注意が必要です。

●副腎疾患

副腎インシデンタローマ：CTやMRIで偶然見つかった副腎腫瘍の機能評価をします。
副腎皮質機能亢進症：原発性アルドステロン症やクッシング症候群などがあります。多くは副腎腫瘍が原因です。高血圧や糖尿病、メタボリック症候群の原因になります。
副腎髄質機能亢進症：褐色細胞腫や傍神経節腫が原因です。術後数年後に転移が見つかるケースも少なくありません。発作性の高血圧が特徴です。
副腎皮質機能低下症：アヂソン病や先天性副腎過形成などが原因となります。急性副腎不全（副腎クリーゼ）を発症することがあります。

●性腺疾患

ターナー症候群、クラインフェルター症候群、多嚢胞性卵巣症候群などです。

●内分泌性高血圧
高血圧の約15%はホルモンの異常による内分泌性高血圧で、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、腎臓などのホルモン過剰が原因となります。適確な診断と治療で治癒可能なことが多いので、専門医の受診を勧めます。高血圧の～10%に原発性アルドステロン症が見つかります。
●メタボリックシンドローム
高血圧、肥満、糖尿病などの生活習慣病の中にも内分泌の病気が隠れています。
●サルコペニア
加齢によって筋肉量が減り、握力や歩く速度が低下するなど、身体機能に影響がでる状態。日常生活に支障がでるのみならず、転倒・骨折、生活習慣病、認知症などのさまざまな病気のリスクとなります。
●その他
腎性尿崩症、多発性内分泌腺腫症(MEN Ⅰ型, MEN Ⅱ型)
電解質異常（低カリウム血症、低ナトリウム血症など）、高脂血症、高尿酸血症など、その他の内分泌代謝疾患

□ 診療（業務）内容

●外来では、血液検査、画像検査（レントゲン、CT、MRI、アイソトープ検査や甲状腺エコー）、甲状腺の細胞診などを行っています。遺伝子診断・遺伝相談、セカンドオピニオン外来を実施しています。本年度より新たに骨粗鬆症・サルコペニア専門外来を開設しました。
●入院では、上記疾患の診断と治療の他、バセドウ病のアイソトープ治療、甲状腺眼症のステロイドパルス療法、原発性アルドステロン症の副腎静脈サンプリング検査などを実施しています。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

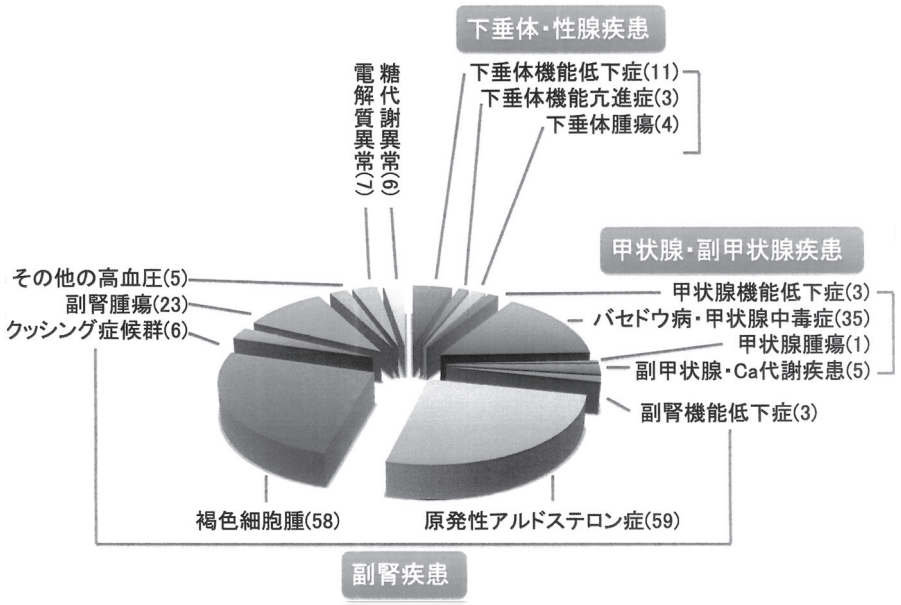
1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
3.6名	214名	6.0日

外来患者数

1日平均総患者数	年間初診患者数
58.0名	1,123名

主な検査の件数など

甲状腺エコー	甲状腺細胞診	副腎静脈サンプリング
1,585名	140件	22件



〈福島県県外甲状腺検査〉

平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって、東京電力福島第一原子力発電所では、放射性物質の放出を伴う事故(以下、福島第一原発事故という)が発生した。この事故は、国際原子力・放射線事象評価尺度(International Nuclear and Radiological Event Scale: INES)において、1986年4月26日に旧ソビエト連邦(現ウクライナ)で発生したチェルノブイリ原子力発電所事故(以下「チェルノブイリ原発事故」という)と同等の「7」(暫定)とされている。チェルノブイリ原発事故においては、事故直後に食品等の規制がなされなかったことなどに起因し、周辺住民の放射性ヨウ素による内部被ばくが拡大し、小児の甲状腺がんが激増する事態となった。このことから、福島第一原発事故においても小児の甲状腺がん発症への懸念が高まっている。このため、福島県では県民の健康見守り事業である「県民健康管理調査」を実施し、その中で、福島第一原発事故発生時に18歳以下の小児であった者に対する甲状腺検査を行っている。

「県民健康管理調査」事業は、福島第一原発事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげることで、将来にわたる県民の健康維持・増進を図ることを目的としている。財源には、国及び福島県からの出資金並びに東京電力株式会社から福島県への賠償金等から構成される「福島県民健康管理基金」が充てられている。検査・診断等は、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターが主体となって行っている。県民健康管理調査は、外部被ばく線量の推計を目的とした「基本調査」と、健康状態の把握を目的とした「詳細調査」から構成されている。

甲状腺検査

事故当時18歳以下の小児(平成4年4月2日以降に生まれた者)を対象とし、以下の2つの検査から構成されている。

● 先行検査 平成23年10月から平成26年3月末までに行われる、1回目の甲状腺検査

● 本格検査 平成26年4月以降、20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに継続して行われる甲状腺検査

チェルノブイリ原発事故のデータから、小児甲状腺がんが増加するのは事故後4〜5年を経過して以降とされている。このことを踏まえつつ、事故直後に開始された先行検査は、福島第一原発事故後3年以内の小児の甲状腺の状態を把握することで、放射線被ばくによる影響が考えにくい時点での疾患の頻度を記録し、将来の健康管理の土台をつくることを目的としている。一方、事故後3年を経て開始される予定の本格検査は、放射線被ばくの影響についての追跡調査と健康管理を目的としている。平成25年現在行われているのは先行検査である。

先行検査はさらに、対象者全員に対して行われる一次検査と、一次検査で疑わしい所見のあった者に対してのみ行われる、診断確定のための二次検査で構成される。

一次検査は甲状腺エコー検査(超音波検査)である。二次検査は甲状腺エコー検査に加え、採血・尿検査が行われるほか、必要な場合は細胞診(甲状腺の細胞を採取して行う検査)が行われる。

京都医療センター内分泌・代謝内科では、京都府下への避難者（京都府内居住者）を対象に一次検査と二次検査を実施している。

	福島甲状腺エコー
2012年度	9件
2013年度	26件
2014年度	9件
2015年度	21件
2016年度	11件
2017年度	11件
2018年度	10件

□ 活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	成瀬 光栄, 立木 美香, 馬越 洋宜,横本 真希, 田上 哲也, 島津 章	二次性高血圧の診断と治療 褐色細胞腫・パラガングリオーマの診断と治療　現状と課題	第115回日本内科学会	京都	2018.4.15	2018.4.13-15
国内学会	濱中 佳歩[廣嶋], 笹井 有美子,兼子 大輝, 横本 真希, 馬越 洋宜,立木 美香, 浅原 哲子, 成瀬 光栄,島津 章, 濱 祥代, 田上 哲也	TRAb値とTSAb値に乖離を認めた高齢男性の甲状腺眼症の1例	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	横本 真希[馬越], 馬越 洋宜,立木 美香, 小笠原 辰樹, 兼子大輝, 濱中 佳歩[廣嶋],笹井 有美子, 田上 哲也, 島津 章,成瀬 光栄	悪性褐色細胞腫・パラガングリオーマの骨転移リスク因子の解明	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	田上 哲也	下垂体にミクロアデノーマを有し診断に苦慮しているSITSHの1例	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	立木 美香, 馬越 洋宜, 横本 真希,兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 笹井 有美子, 田上 哲也, 島津 章, 成瀬 光栄	褐色細胞腫の診療におけるクリニカルポイント	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	和田 美智子, 浅原 哲子, 北 誠,日下部 徹, 田上 哲也, 島津 章	偽陽性TRAb（false-positive TRAb）	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	笹井 有美子, 兼子 大輝, 濱中 佳歩,横本 真希, 小笠原 辰樹,垣田 麻衣子, 馬越 洋宜, 立木 美香,日下部 徹, 浅原 哲子, 田上 哲也,島津 章, 白神 幸太郎, 相川 幸生,玉那覇 民子, 岡田 厚, 成瀬 光栄	急性心不全を契機に診断された心臓パラガングリオーマの1例	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	成瀬 光栄, 立木 美香, 馬越 洋宜,横本 真希, 小笠原 辰樹, 田上 哲也,島津 章	内分泌救急への対応 褐色細胞腫クリーゼの診断と治療	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	馬越洋宜、立木美香、成瀬光栄	原発性アルドステロン症における副腎静脈サンプリングの適応と判定基準の標準化	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-4.28
国内学会	馬越洋宜、立木美香、武田仁勇、栗原勲、和田典男、方波見卓行、曽根正勝、成瀬光栄	多施設共同研究による原発性アルドステロン症の副腎静脈サンプリングにおける新たなエビデンスの創出	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-4.28
国内学会	兼子 大輝, 立木 美香, 笹井 有美子,濱中 佳歩[廣嶋], 横本 真希,馬越 洋宜, 日下部 徹, 浅原 哲子,島津 章, 田上 哲也, 広川 侑奨,奥野 博, 森吉 弘毅, 成瀬 光栄	6年間の経過で病型診断が変化した原発性アルドステロン症の1例	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.27	2018.4.26-28
国内学会	小笠原 辰樹, 兼子 大輝, 濱中 佳歩,笹井 有美子, 横本 真希, 馬越 洋宜,立木 美香, 田上 哲也, 伊藤 克弘,奥野 博, 森吉 弘毅, 島津 章,成瀬 光栄	腫瘍細胞性と粘液性の特徴を有する副腎皮質腫瘍の1症例（A case of adrenocortical tumor with oncocytic and myxoid feature）	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.27	2018.4.26-28
国内学会	立木美香、馬越洋宜、成瀬光栄	原発性アルドステロン症の手術/薬物治療における重症度分類の検証	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.27	2018.4.26-4.28
国内学会	田上 哲也	エネルギー代謝調節因子としてのGATAファミリー	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.28	2018.4.26-28
国内学会	田上 哲也	ミトコンドリア脱共役タンパク質を介したエネルギー代謝に関する基礎的検討	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.28	2018.4.26-28
国内学会	田上 哲也	成長ホルモンの直接作用によるUncoupling proteinを介したエネルギー代謝調節	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.28	2018.4.26-28

国内学会	馬越 洋宜, 立木 美香, 成瀬 光栄	原発性アルドステロン症におけるAldosterone Producing Cell Clustersの意義	第41回日本高血圧学会総会	北海道	2018.9.14	2018.9.14-9.16
国内学会	天野 綾, 須川 琢, 兼子 大輝,石原 裕己, 廣嶋 佳歩, 馬越 洋宜,立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子,田上 哲也, 島津 章, 小笠原 辰樹	Von Hippel-Lindau病（VHL）が疑われた両側副腎褐色細胞腫の一例	第19回日本内分泌学会近畿支部学術集会	大津	2018.10.13	2018.10.13
国内学会	兼子　大輝、須川　琢、 石原　裕己、廣嶋　佳歩、 天野　綾、横本　真希、 馬越　洋宜、立木　美香、 日下部　徹、浅原　哲子、 田上　哲也、成瀬　光栄、 島津　章	成人発症の特発性低ゴナドトロピン性性腺機能低下症（IHH）が疑われる1例	第45回日本神経内分泌学会学術集会	東京	2018.10.27	2018.10.27-2018.10.28
国内学会	石原 裕己, 須川 琢, 兼子 大輝,廣嶋 佳歩, 天野 綾, 横本 真希,馬越 洋宜, 立木 美香, 日下部 徹,浅原 哲子, 島津 章, 成瀬 光栄,田上 哲也	バセドウ病の初発症状として甲状腺クリーゼを呈した3例	第28回臨床内分泌代謝Update	福岡	2018.11.2	2018.11.2-3
国内学会	濱中 佳歩[廣嶋], 小林 真以子[垣田], 立木 美香, 兼子 大輝, 石原 裕己, 天野 綾, 横本 真希, 馬越 洋宜, 日下部 徹, 浅原 哲子, 田上 哲也, 成瀬 光栄, 島津 章	左副腎腫瘍と下垂体macroadenomaを併発した一例	第28回臨床内分泌代謝Update	福岡	2018.11.3	2018.11.2-3
国内学会	馬越 洋宜, 立木 美香, 成瀬 光栄	原発性アルドステロン症におけるAPCCsの臨床的意義	第28回臨床内分泌代謝Update	福岡	2018.11.3	2018.11.2-11.3
国内学会	立木 美香, 横本 真希, 馬越 洋宣,兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 石原 裕己,天野 綾, 田上 哲也, 島津 章,成瀬 光栄	当院における褐色細胞腫の臨床的特徴	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	
国内学会	島 伸子, 小見山 麻紀, 前川 高天,田上 哲也, 勝島 慎二	消化器　消化管疾患の診療 当健診センターにおける上部消化管内視鏡検査で発見された胃癌症例の検討	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-10
国内学会	立木 美香, 横本 真希, 馬越 洋宣,兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 石原 裕己,天野 綾, 田上 哲也, 島津 章,成瀬 光栄	当院における褐色細胞腫の臨床的特徴	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-10
国内学会	田上 哲也	5大テーマシンポジウム4 若い女性のヘルスケア向上は喫緊の課題 女性に多い甲状腺疾患の自覚症状：NHOネットワーク共同研究より	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9-10
国内学会	田上 哲也	ランチョンセミナー 20 明日から役立つ内分泌疾患の診断と治療　A to Z	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9-10
国内学会	石原 裕己, 須川 琢, 兼子 大輝,廣嶋 佳歩, 天野 綾, 横本 真希,馬越 洋宜, 立木 美香, 日下部 徹,浅原 哲子, 島津 章, 成瀬 光栄,田上 哲也	当院で経験した甲状腺クリーゼ症例の検討	第61回日本甲状腺学会学術集会	川越	2018.11.23	2018.11.22-24
国内学会	須川 琢, 兼子 大輝, 石原 裕己,廣嶋 佳歩, 天野 綾, 笹井 有美子, 田上 哲也	甲状腺片葉にテクネチウム99mの異常集積を認めたBasedow病の一例	第61回日本甲状腺学会学術集会	川越	2018.11.24	2018.11.22-24
国内学会	濱中 佳歩[廣嶋], 立木 美香,兼子 大輝, 石原 裕己, 天野 綾,横本 真希, 馬越 洋宜, 日下部 徹,浅原 哲子, 成瀬 光栄, 島津 章,田上 哲也	頭頸部放射線照射後の甲状腺機能低下症による粘液水腫性昏睡の一例	第61回日本甲状腺学会学術集会	川越	2018.11.24	2018.11.22-24
研究セミナー・シンポジウム等	須川琢、兼子大輝、石原裕己、 廣嶋佳歩、天野綾、馬越洋宜、 立木美香、田上哲也	下垂体と骨粗鬆症	伏見内分泌代謝ネットワーク第29回連携の会	京都	2018.5.10	2018.5.10

研究セミナー・シンポジウム等	石原　裕己	副腎と骨粗鬆症	伏見内分泌代謝ネットワーク第29回連携の会	京都	2018.5.10	2018.5.10
研究セミナー・シンポジウム等	兼子　大輝、須川　琢、石原　裕己、廣嶋　佳歩、天野　綾、横本　真希、馬越　洋宜、立木　美香、日下部　徹、田上　哲也、成瀬　光栄、島津　章	成人発症の特発性低ゴナドトロピン性性腺機能低下症（IHH）が疑われる1例	第51回発育異常研究会	大阪	2018.6.16	2018.6.16
研究セミナー・シンポジウム等	石原　裕己、須川　琢、兼子　大輝、廣嶋　佳歩、天野　綾、横本　真希、馬越　洋宜、立木　美香、日下部　徹、浅原　哲子、島津　章、成瀬　光栄、田上　哲也	精神疾患を疑われた甲状腺クリーゼの1症例～最近の自験例とともに～	第18回京滋臨床甲状腺懇話会	京都	2018.6.23	2018.6.23
研究セミナー・シンポジウム等	兼子　大輝、須川　琢、石原　裕己、廣嶋　佳歩、天野　綾、横本　真希、馬越　洋宜、立木　美香、日下部　徹、浅原　哲子、田上　哲也、成瀬　光栄、島津　章	成人発症の特発性低ゴナドトロピン性性腺機能低下症（IHH）が疑われる1例	第95回京都内分泌同好会	京都	2018.9.15	2018.9.15
研究セミナー・シンポジウム等	石原　裕己、須川　琢、兼子　大輝、廣嶋　佳歩、天野　綾、横本　真希、馬越　洋宜、立木　美香、日下部　徹、浅原　哲子、島津　章、成瀬　光栄、田上　哲也	甲状腺クリーゼの一例	第84回伏見医師学術集会	京都	2018.10.6	2018.10.6
研究セミナー・シンポジウム等	石原　裕己	ACTH高値と両側副腎腫大を認めた一例～指名討論～	第23回京都地区病院研修医・若手医師のための代謝・内分泌セミナー	京都	2018.12.7	2018.12.7
研究セミナー・シンポジウム等	兼子　大輝	肺がん精査過程で副腎腫瘤の増大が判明した一例	第23回京都地区病院研修医・若手医師のための代謝・内分泌セミナー	京都	2018.12.7	2018.12.7
研究セミナー・シンポジウム等	須川琢、兼子大輝、石原裕己、廣嶋佳歩、天野綾、馬越洋宜、立木美香、田上哲也	甲状腺片葉に99mテクネシウムの異常集積を認めたBasedow病の一例	第41回京都甲状腺研究会	京都	2019.2.9	2019.2.9
研究セミナー・シンポジウム等	立木美香	原発性アルドステロン症と心房細動の密接な関連	CHADS2スコアから考える高齢者トータルケア	京都	2019.3.7	2019.3.7
研究セミナー・シンポジウム等	石原　裕己、須川　琢、兼子　大輝、廣嶋　佳歩、天野　綾、馬越　洋宜、立木　美香、日下部　徹、浅原　哲子、島津　章、田上　哲也	当科で経験した甲状腺クリーゼ症例に関する検討	第7回内分泌代謝トランスレーショナル医学塾	京都	2019.3.8	2019.3.8

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者以外）	田上 哲也	Cigarette Smoke Extract Disrupts Transcriptional Activities Mediated by Thyroid Hormones and Its Receptors.	Biol Pharm Bull.	41	3	383-393			2018
英文論文（筆頭著者以外）	馬越洋宜、小笠原辰樹、立木美香、成瀬光栄	Accuracy of adrenal computed tomography in predicting the unilateral subtype in young patients with hypokalaemia and elevation of aldosterone in primary aldosteronism.	Clin Endocrinol (Oxf)	88	5	645-651			2018.5
英文論文（筆頭著者）	和田 美智子,北 誠,日下部 徹,田上 哲也,浅原 哲子,島津 章	False-positive TSH receptor antibody-a pitfall of third-generation TSH receptor antibody measurements in neonates.	Endocr J.	65	5	587-592			2018.5
英文論文（筆頭著者）	横本 真希[馬越],馬越 洋宜,立木 美香,小笠原 辰樹,濱中 佳歩[廣嶋],田上 哲也,島津 章,成瀬 光栄	Paraganglioma as a risk factor for bone metastasis.	Endocr J.	65	3	253-260			2018.3
英文論文（筆頭著者以外）	田上 哲也	GH directly stimulates UCP3 expression.	Growth Horm IGF Res.	40		44-54			2018.6
英文論文（筆頭著者）	中谷 理恵子,村田 敬,臼井 健,森吉 弘毅,米田 俊貴,増田 裕一,小林 真以子[垣田],田上 哲也,河野 茂夫,山田 和範,島津 章	Importance of the Average Glucose Level and Estimated Glycated Hemoglobin in a Diabetic Patient with Hereditary Hemolytic Anemia and Liver Cirrhosis.	Intern Med.	57	4	537-543			2018.2
英文論文（筆頭著者以外）	成瀬光栄、馬越洋宜、立木美香	Clinical characteristics and Postoperative outcomes of Primary aldosteronism in the elderly	J Clin Endocrinol Metab.	103	10	3620-3629			2018.10
英文論文（筆頭著者以外）	成瀬光栄、馬越洋宜、立木美香	The Occurrence of Apparent Bilateral Aldosterone Suppression in Adrenal Vein Sampling for Primary Aldosteronism.	J Endocr Soc	2	5	398-407			2018.5
英文論文（筆頭著者以外）	馬越洋宜、立木美香、横本真希、成瀬光栄	Correlation Between Lateralization Index of Adrenal Venous Sampling and Standardized Outcome in Primary Aldosteronism.	J Endocr Soc	2	8	893-902			2018.5

英文論文（筆頭著者以外）	馬越洋宜、立木美香、成瀬光栄	Development and validation of subtype prediction scores for the workup of primary aldosteronism.	J Hypertens	36	11	2269-2276			2018.11
和文原著論文（筆頭著者）		原発性アルドステロン症診療の標準化コンセンサス・ステートメントについて	Medical Technology	46	1	8-9		医歯薬出版株式会社	2018.1
和文原著論文（筆頭著者）		【明日のために解くべし！ 総合内科問題集】（Question56）45歳の女性 主訴 痣（内出血）ができやすい	Medicina	55	5	685-686		医学書院	2018.4
和文原著論文（筆頭著者）		【明日のために解くべし！ 総合内科問題集】（Question47）54歳の女性 来院理由 耐糖能障害を指摘された	Medicina	55	5	667-668		医学書院	2018.4
和文原著論文（筆頭著者）		【明日のために解くべし！ 総合内科問題集】（Question45）50歳の男性 来院理由 低カリウム血症	Medicina	55	5	663-664		医学書院	2018.4
和文原著論文（筆頭著者）		【明日のために解くべし！ 総合内科問題集】（Question16）27歳の女性 主訴 動悸	Medicina	55	5	589-590		医学書院	2018.4
和文総説・著書（筆頭著者以外）		特集 内分泌緊急症 褐色細胞腫クリーゼの治療	医学のあゆみ	265	2	138-142		医歯薬出版株式会社	2018.4
和文総説・著書（筆頭著者以外）		特集 腎臓・高血圧診療・研究のアップデート原発性アルドステロン症の診断と治療 up-to-date	循環器内科	85	1	81-84		科学評論社	2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）		特集 褐色細胞腫・パラガングリオーマ診療ガイドライン2018治療5）褐色細胞腫クリーゼの治療	内分泌・糖尿病・代謝内科	47	6	480-482		科学評論社	2018.12
和文総説・著書（筆頭著者以外）		褐色細胞腫・パラガングリオーマの診断と治療：現状と課題	日本内科学会雑誌	107	9	1772-1778		日本内分泌学会	2018.9
和文原著論文（筆頭著者）		【内分泌性高血圧のスクリーニング指針】褐色細胞腫・パラガングリオーマのスクリーニング指針	血圧	25	4	230-234		先端医学社	2018.4
和文原著論文（筆頭著者以外）		成長ホルモン、インスリン様成長因子-1による脂肪細胞のベージュ化に関する分子生物学的基盤解明	成長科学協会研究年報	41		151-157		成長科学協会	2018.10
和文原著論文（筆頭著者）		【内分泌症候群（第3版）-その他の内分泌疾患を含めて-】副腎 副腎髄質疾患 褐色細胞腫・パラガングリオーマ	日本臨床	内分泌症候群II		220-225		日本臨床社	2018.11
和文原著論文（筆頭著者）		【内分泌症候群（第3版）-その他の内分泌疾患を含めて-】副腎 Cushing症候群 Cushing症候群	日本臨床	内分泌症候群II		66-70		日本臨床社	2018.11

和文原著論文（筆頭著者）		【内分泌症候群（第3版）-その他の内分泌疾患を含めて-】甲状腺　甲状腺機能亢進症　甲状腺中毒性ミオパチー	日本臨床	内分泌症候群I		326-327		日本臨床社	2018.9
和文原著論文（筆頭著者）		【内分泌症候群（第3版）-その他の内分泌疾患を含めて-】甲状腺　甲状腺機能亢進症　甲状腺中毒性周期性四肢麻痺	日本臨床	内分泌症候群I		323-325		日本臨床社	2018.9
和文原著論文（筆頭著者）		【副腎疾患の基礎と臨床-最前線を知る】臨床　副腎皮質癌の最新の知見	臨床泌尿器科	72	6	484-489		医学書院	2018.5

□ 内分泌・甲状腺・高血圧外来 平成30年度看護概況内容

●内分泌・甲状腺・高血圧センターは、小児から高齢者と年齢層も幅広く、また疾患も多様にわたる。

●治療方針や診断確定のために外来での安静採血や負荷試験、検査入院が必要となる事が多い。

●負荷試験や検査に不安をもったり苦痛をともなわないように、また若年層の悪性疾患の方も多く、外来では精神的なフォローにも努めている。

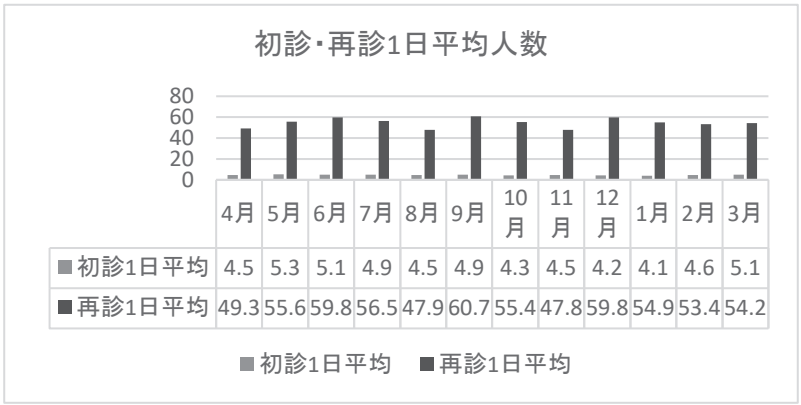
●平成25年1月より、東日本大震災で被災し福島県より避難された放射能影響の可能性がある子どもの方を対象にした甲状腺エコーの協力施設となり、火曜日と木曜日に福島エコー枠を設け実施している。

●平成29年1月より骨粗鬆症・サルコペニア専門外来が開設され、主に整形外科・婦人科・健診センター・他院からの紹介を受け、検査・診断・治療・継続した関わりを行っている。

●疾患によっては服薬や自己注射など長期にわたってコントロールを必要とするため、継続（外来→入院→外来）した関わり、患者の立場に立った援助が行えるように日々心がけている。

外来患者

●他院での検査で甲状腺疾患の指摘を受け受診する患者や、下垂体疾患で治療中だが専門病院での治療目的に来院する患者、高血圧で降圧剤を服用するがコントロールが悪く紹介状を持参して受診する患者が多い。



外来検査・処置

●高血圧疾患が増加しており、副腎偶発腫瘍や原発性アルドステロン症などの鑑別疾患や下垂体疾患評価目的のため外来で安静採血や負荷試験を実施している。

●安静採血はベッドに30分安静になった状態で採血を行っている。

甲状腺エコー

●甲状腺エコーの細胞診検査は穿刺への恐怖と不安感がみられる為できるだけ付き添い状態把握に努めている。

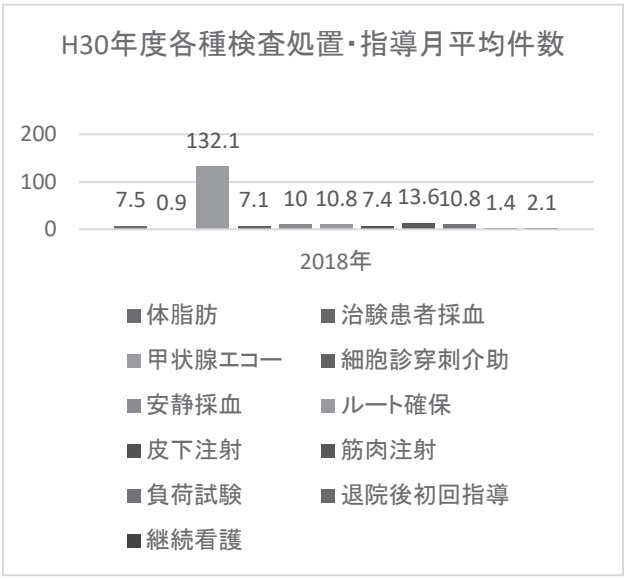
●下垂体疾患では成長ホルモンの筋肉注射が多い。油性のため吸引時、注射時は慎重を要する。

●成長ホルモン自己注射導入では若い患者が多いため外来受診時に患者とその家族に継続的に関わりがもてるように心がけている。

●インスリン自己注射、成長ホルモン自己注射、性腺刺激ホルモン自己注射、骨粗鬆症自己注射指導を外来で導入している。継続して自己注射できるように外来での電話相談や受診時の継続看護も行っている。

●高血圧患者には自宅血圧測定の指導・血圧手帳の記載説明・日常生活指導等を行っている。

●治療目的に入院した患者へは退院後の初回外来時に服薬状況や症状変化の有無等を確認して状態把握に努め、医師と連携を図りながら継続的に関わっている。



内分泌・代謝内科担当看護師　松井 遥

糖尿病センター（糖尿病内科）

診療科長
河野　茂夫

専門医資格等　日本糖尿病学会　糖尿病専門医・研修指導医
日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医・指導医
日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本糖尿病学会　評議員
京都大学医学博士
京都大学臨床教授
専門分野　糖尿病
得意疾患　足病変

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	村田　　敬	日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会　糖尿病専門医・研修指導医 東京大学医学博士	糖尿病	若年者糖尿病
医　　師	小鳥　真司	日本糖尿病学会　糖尿病専門医 日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医・指導医 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本肥満学会　肥満症専門医・指導医 日本病態栄養学会専門医・指導医 日本抗加齢医学会専門医 京都大学医学博士	糖尿病	糖尿病
医　　師	渡邊　知一	日本糖尿病学会　糖尿病専門医 日本内科学会　認定内科医	糖尿病	糖尿病
レジデント	塚本　雅美	日本内科学会　認定内科医 日本糖尿病学会　糖尿病専門医	糖尿病	糖尿病
レジデント	野村　英生	日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医 日本糖尿病学会　糖尿病専門医 日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医	糖尿病	糖尿病
レジデント	木村　早未	日本内科学会　認定内科医 日本糖尿病学会　糖尿病専門医	糖尿病	糖尿病
臨床研究センター長	島津　　章	日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医・指導医 日本糖尿病学会　糖尿病専門医 日本内科学会　総合内科専門医・指導医 京都大学医学博士 京都大学臨床教授	内分泌代謝疾患、検査医学、神経内分泌	内分泌代謝疾患
内分泌代謝高血圧研究部長	浅原　哲子	日本内科学会　認定内科医・指導医 日本糖尿病学会　糖尿病専門医・研修指導医 日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本心血管内分泌代謝学会　評議員 日本肥満学会　肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会　評議員 日本動脈硬化学会　動脈硬化専門医・評議員 日本病態栄養学会　評議員 日本抗加齢医学会　専門医 日本人類遺伝学会　臨床遺伝専門医 日本糖尿病学会近畿支部　評議員 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師	糖尿病、肥満（メタボリックシンドローム）疾患、内分泌内科、遺伝診療	糖尿病、肥満（メタボリックシンドローム）疾患、内分泌内科、遺伝性疾患全般

予防医学研究室長	坂根　直樹	日本内科学会　認定医 日本肥満学会　評議員 京都府立医科大学医学博士	糖尿病	糖尿病
臨床内分泌代謝(専任)研究室長	日下部　徹	日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本糖尿病学会　糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会　肥満症専門医・指導医・評議員 京都大学医学博士 京都大学客員研究員	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、内分泌	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、内分泌、サルコペニア
糖尿病研究室研究員	水谷結香子	日本内科学会　認定内科医 日本抗加齢学会　専門医 日本医師会認定　産業医	糖尿病	糖尿病

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本糖尿病学会認定教育施設 日本肥満学会認定専門病院

1. 生活習慣病である糖尿病の治療には、患者さんご自身が自己管理能力を身につけることが大事です。当科では糖尿病教育、すなわち患者さんへの教育を実施すると同時に、患者さんに対する指導能力を高めた教育スタッフを育成し、より一層の治療実績アップに努めます
2. 地域の糖尿病基幹病院としての責務を果たすべく、地域連携に努めます

□ 主な対象疾患

2型糖尿病、耐糖能異常、1型糖尿病、肥満症、メタボリック症候群、糖尿病神経障害と糖尿病足病変、糖尿病腎症、糖尿病網膜症(眼科)、妊婦糖尿病、脂質異常症(高脂血症)、糖尿病性昏睡、重症低血糖

□ 診療(業務)内容

糖尿病センターでは一般糖尿病外来および入院での診療に加えてさまざまな専門外来を開設し、さまざまなタイプの糖尿病および関連疾患およびそれらの合併症の充実した診療活動につながっている。
下記に専門外来の診療活動について紹介する。

・フットケア外来　毎週月曜日14時～/フットセンター外来　毎週火曜日14時～(2000年開設)フットケア外来では、主に糖尿病に由来する足病変に対応し、全国各地からの紹介患者を集めている。また、非糖尿病足病変患者に対する問い合わせも多く、難治性の足病変を扱う集学的な欧米型のフットセンターを目指している。フットセンター外来では初診は糖尿病センターで行い、一般診察をした上で、関係担当診療科へ紹介している。

・フットウェア外来(月2回：木曜日13時～16時　完全予約制)フットウェア外来では義肢装具士がオーストリア人の整形外科靴マイスター(Örthopedic Shoe Meister)と協力して、靴・装具の指導や調整にあたっている。

・1型糖尿病外来(2005年開設)毎週火曜日午前・午後、金曜日の午前。/インスリンポンプ(CSII)外来(2010年開設)毎週月曜日の午後。

医師、看護師、管理栄養士がチームを組み、1型糖尿病の系統的な自己管理教育と心理・社会的な問題への対応を含めた患者支援を行っている。食事中の炭水化物量に合わせてインスリンの単位数を自己調節するカーボカウントや、インスリンポンプ・持続血糖測定器(CGM)などの先進糖尿病デバイスの活用により、合併症予防と生活の質(QOL)の両立を目指している。小児期発症患者の成人移行、1型糖尿病合併妊娠の内科的管理、1型糖尿病患者を対象とした臨床研究も実施している。糖尿病センターに登録されている1型糖尿病患者は約300名。インスリンポンプ療法(CSII)を行っている者は83名(新規導入3名)。このうち、SAP(パーソナルCGM機能搭載インスリンポンプ)を用いている者は37名(45%)。2018年度の1型糖尿病外来の初診患者は24名である。

・肥満・メタボリックシンドローム外来(2001年開設)　毎週　月曜日・水曜日9時～14時
肥満・メタボリックシンドローム外来では、医師・看護師・栄養士によるチーム医療をベースに、体重グラフや食事記録表を登載した当院独自の「ダイエットノート」を活用し、日本肥満学会が提唱する減量指導を行い、動脈硬化等の合併症も定期的に評価している。
また、外来患者を中心に2006年よりメタボ会（患者会）を定期的に開催。さらにメタボ通信、スマートランチ等をチーム医療で展開し、外来開設から現在まで延べ17,000人以上の患者治療を行ってきた。
・脂質異常症外来（2005年開設）：第2、4木曜日。家族性高コレステロール血症（FH、2019年3月末で123名を登録）やWHO分類のV型など1000mg/dl以上の著明な高中性脂肪血症（同、18名を登録）の鑑別診断と治療方針の決定を行っている。スタチンのみで管理不良のFHヘテロ接合体に対するPCSK9阻害薬の使用も開始。また、スタチン投与時のCPK上昇例の対応やスタチン関連自己免疫性ミオパチーなど副作用症例の対応も行っている。管理栄養士による高脂血症療養指導外来（2006年開設）も併設し、節酒による中性脂肪改善プログラム（HAPPYプログラム）も提供している。
・妊娠糖尿病外来(2007年3月解説)毎週金曜日13時～ 15時　妊娠糖尿病は妊娠中に初めて発見された軽度の（糖尿病には至っていないレベルの）耐糖能異常で巨大児その他の周産期合併症の原因となる。また出産後の糖尿病発症リスクが増大する。妊娠前に糖尿病を発症した場合、糖尿病合併妊娠となり、胎児奇形が大きな問題となり、妊娠前血糖管理が重要となる。 2018年度当外来を受診した新規患者数は63名であった。
・糖尿病血管合併症外来/毎週金曜日13時～16時　糖尿病血管合併症外来では、糖尿病血管合併症のスクリーニングを行い、他科との緊密な連携によって治療にあたっている。特に、閉塞性動脈硬化症などの合併症に加え腎機能障害を有する糖尿病患者の短期入院で、外来での施行が困難な造影剤による画像検査を施行し、定期的なスクリーニング・治療への展開も検討している。
・糖尿病透析予防指導外来　(2012年10月開設)　糖尿病腎症2期以上の患者を対象とし、医師、看護師、管理栄養士が連携して自己管理指導を行う。毎週月、水、木曜日に1名ずつの予約枠となっていて、現在3回シリーズとして指導を実施している。
さらに、糖尿病センターではコメディカルスタッフによる指導として一般糖尿病食事指導（管理栄養士）および糖尿病療養指導外来（インスリン自己注射、血糖自己測定、フットケア指導など：看護師）を開設している。また、自己管理（療養）を患者に指導する医療スタッフである糖尿病療養指導士(CDEJ)は、当院内で看護部、薬剤部、栄養科、検査科などに多数を擁し、綿密な糖尿病セルフケアを支援している。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
10.7名	272名	14.2日

外来患者数

1日平均患者数
82.4名

主な手術・検査の件数など

CGM(連続皮下ブドウ糖測定)	CAVI/ABI測定	CT(内臓脂肪面積測定)
20件	218件	72件

□地域医療連携・広報活動

■糖尿病市民公開講座「第33回DM京都」健康長寿を目指す糖尿病治療

「健康長寿を目指す糖尿病治療」臨床研究センター　臨床内分泌代謝研究室長　日下部　徹

「元気で長生きするために～今から始められる運動療法～　1－6病棟　看護師・糖尿病療養指導士　柴田美歩・三田基世

「P:F:C比のとれた食事で健康長生き!」栄養管理室　管理栄養士　出島美咲

平成30年7月7日上記開催予定であったが、悪天候のため中止。

代替にうづら便り9月号にDM京都番外編を掲載した

（記載者：糖尿病内科医師　小鳥　真司）

■第11回京都医療センター　医療連携フォーラム　平成30年9月8日

～地域連携でこそ活きる京都医療センターの底力～【症例から学ぶ　糖尿病診療のエッセンス①】

●糖尿病"手こずり症例"

『生活習慣の改善が困難な肥満症例』『認知機能障害により自己管理が困難な症例』

糖尿病内科医師：渡邊知一、小鳥真司　糖尿病看護認定看護師：合戸敦子　副栄養管理室長：鳥山　明子

○トピックス　糖尿病デバイスの最新情報　糖尿病内科医師：村田敬

●見逃したくない糖尿病足病変とフットケアのコツ

『糖尿病足潰瘍を繰り返す症例』『片側の下肢腫脹が持続する症例』

糖尿病内科医師：塚本雅美

コメディカルに必要なフットケアの知識とテクニック　米国足病医：泉有紀

日常臨床に役立つ靴のチェックと指導のポイント

ドイツ整形外科靴マイスター：Eduard Herbst

●糖尿病日常診療のトピックスと今後の展望　糖尿病内科科長：河野　茂夫

■第12回京都医療センター　医療連携フォーラム　平成31年2月23日

～地域連携でこそ活きる京都医療センターの底力～【症例から学ぶ　糖尿病診療のエッセンス②】

●糖尿病性腎症とその重症化予防

1. 糖尿病合併症としてのCKD（慢性腎臓病）　腎臓内科科長：八幡兼成

2. 糖尿病性腎症の重症化予防への介入　～透析予防外来の効果～

糖尿病内科医師：野村英生　糖尿病内科外来看護師：浅野照子　栄養管理室長：西田博樹

○トピックス　眼科最新手術　～もう顕微鏡はのぞかない～　先進医療部長：喜多美穂里

●糖尿病患者の足のしびれ、痛みの診断と治療

1. 糖尿病性神経障害と考えてよい時、ダメな時　脳神経内科科長：中村道三

2. 虚血を伴う糖尿病性足病変～しびれから潰瘍まで～　血管外科科長：浅田秀典

■第39回　伏見糖尿病研究会　平成31年2月16日

講演「当院　糖尿病センターの透析予防外来と糖尿病教室について」

内科医師　渡邊知一

講演「糖尿病重症化予防プログラムにおいて実地医科にできること」　糖尿病内科科長：河野茂夫、糖尿病内科医師：渡邊知一

■平成30年度（2018年度）内分泌代謝疾患研修会「楽しく患者をやる気にさせる糖尿病教育の実践：外来における療養指導の評価も含めて」、平成30年10月29日～31日。東北から九州まで33施設、メディカルスタッフ47名が参加。

■第18回メタボリックシンドローム会　2019年1月12日　参加者70名
・特別講演「内科医から見た減量手術のリアルについて語ります」
　講師：東京都立多摩総合医療センター 内分泌代謝内科部長 辻野元祥先生
・運動指導「Lets enjoy エクササイズ ～ with理学療法士＆看護師チーム」
　講師：2-6看護師、理学療法士
・食事指導「もう一度振り返ろう食事療法 ～当院レシピ本の活用～」
　講師：管理栄養室　室長　西田博樹

■第15回京都医療センター 1型糖尿病セミナー「CGMの過去・現在・未来」、2019年3月10日（日） 10:30-14:00、参加者　65名、持続血糖測定器（CGM）の最新情報につき、国立病院機構大阪医療センター糖尿病内科医師の加藤研先生、東海大学医学部腎内分泌代謝内科学准教授の豊田雅夫先生、岡山済生会総合病院内科主任医長の利根淳仁先生を招聘して研修会を開催。

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子、飛騨美希、小西陽介、橋本有紀子、北誠	こんなに役立つ遺伝カウンセリング～京都医療センター遺伝診療部の取り組み～	伏見医師会ランチョンセミナー	京都	2018.4.13	2018.4.13
国際学会	Minato S, Sakane N, Hayashi I, Suzuki M, Nose Y, Nirengi S	Maternal dietary patterns and the risk of large-for-gestational age births	The International Liver Congress 2018（ILC）	Paris, France	2018.4.14	2018.4.11-2018.4.15
国内学会	浅原哲子, 田中将志, 山陰一, 井上隆之, 北野隆司, 村中和哉, 小鳥真司, 日下部徹, 島津章	肥満・糖尿病における新規認知症予知指標・TREM2の病態意義 ―国立病院機構多施設共同研究―	第91回日本内分泌学会学術集会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-2018.4.29
国内学会	和田美智子, 浅原哲子, 北誠, 日下部徹, 田上哲也, 島津章	False-positive TRAb	第91回日本内分泌学会学術集会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-2018.4.29
国内学会	日下部徹	ANGPTL8は肥満に合併する高中性脂肪血症発症に関与する可能性がある	第91回日本内分泌学会学術総会、第22回日本心血管内分泌代謝学会学術総会	宮崎	2018.4.28	2018.4.26 ～ 2018.4.29
国際学会	河野茂夫	「Western Pacific Region data of diabetic foot infection」	Diabetic Foot Infections Symposium	トルコ・イズミル	2018.5.4	2018.5.3-2018.5.6
国際学会	河野茂夫	Diabetic foot in Western Pacific Region	The Fifth International diabetes Forum of Shijiazhuang	中国・石家庄	2018.5.10	2018.5.10-2018.5.12
研究セミナー・シンポジウム等	日下部徹	サルコペニアと骨粗鬆症	伏見内分泌代謝ネットワーク第29回連携の会	京都	2018.5.10	2018.5.10
国際学会	Okada H	Outcomes of Diabetes Management by Pharmacists: The RxING Practice Tool	ALBERTA SPOR SUPPORT UNIT-SUMMER INSTITUTE 2018	Calgary, Canada	2018.5.15	2018.5.14-2018.5.16
研究セミナー・シンポジウム等	坂根直樹、二連木晋輔、高橋かおる、菅沼彰子、葛谷英嗣	生活習慣病予防のためのシミュレーションモデルの開発;食事療法の最適化	第91回日本産業衛生学会	熊本	2018.5.16	2018.5.16-2018.5.19
国内学会	日下部徹	AGPAT2遺伝子変異による先天性全身性脂肪萎縮症の臨床的特徴	第61回日本糖尿病学会	東京	2018.5.24	2018.5.24 ～ 2018.5.26
国内学会	村田敬、渡邊知一、坂根直樹	高濃度インスリングラルギン製剤が2型糖尿病患者の生活の質に与える影響に関する前後試験（HIGH-QOL試験）	第61回日本糖尿病学会年次学術集会	東京	2018.5.24	2018.5.24-2018.5.26

国内学会	坂根直樹、二連木晋輔、 高橋かおる、菅沼彰子、葛谷英嗣	個人毎の最適なエネルギー摂取やお勧めの栄養素バランスを提示する糖尿病発症予測システムの開発　機序計算モデルを用いて	第61回 日本糖尿病学会	東京	2018.5.24	2018.5.24- 2018.5.26
国内学会	水谷結香子、泉有紀、河野茂夫	西太平洋地域における糖尿病足病変に関するライフスタイルの知識度に関する国際共同研究-ASIPAC-3-2	第61回日本糖尿病学会年次学術集会	東京	2018.5.25	2018.5.24 〜 2018.5.26
国内学会	田中将志、増田慎也、山陰一、 井上隆之、北野隆司、横田繋史、 村中和哉、日下部徹、和田哲道、 長谷川浩二、島津章、浅原哲子	肥満患者における骨格筋由来液性因子・マイオスタチンを介した対糖能悪化と骨格筋萎縮	第61回日本糖尿病学会年次学術集会	東京	2018.5.25	2018.5.24- 2018.5.26
国内学会	高橋 かおる、菅沼彰子、坂根直樹	非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）発症に及ぼすHbA1cと生活習慣の影響：5年間の観察研究（HKT study）	第61回日本糖尿病学会年次学術集会	東京	2018.5.25	2018.05.24- 2018.05.26
国内学会	山陰一、田中将志、村中和哉、 井上隆之、北野隆司、横田繋史、 日下部徹、島津章、浅原哲子	肥満・糖尿病患者におけるポジティブ心理要因と生活習慣病コントロールとの関連―前向きコホート研究―	第61回日本糖尿病学会年次学術集会	東京	2018.5.26	2018.5.24- 2018.5.26
国内学会	浅原哲子、北野隆司、田中将志、 井上隆之、横田繋史、村中和哉、 山陰一、日下部徹、長谷川浩二、 島津章	日本人2型糖尿病におけるPICRUSt予測メタゲノム解析を用いた腸内細菌叢プロファイルと宿主の糖代謝との機能的連関	第61回日本糖尿病学会年次学術集会	東京	2018.5.26	2018.5.24- 2018.5.26
国内学会	塚本雅美、泉有紀、小鳥真司、 島津章、河野茂夫	糖尿病足病変診療の質と転帰 における 国際（日独）多施設共同研究	第61回日本糖尿病学会	東京	2018.5.26	2018.5.24 〜 2018.5.26
国内学会	日下部徹、田中将志、井上隆之、 北野隆司、村中和哉、山陰一、 島津章、浅原哲子	肥満糖尿病モデル動物における低淡水化物食とSGLT2阻害薬が体組成および糖脂質代謝に及ぼす影響	第61回日本糖尿病学会年次学術集会	東京	2018.5.26	2018.5.24 〜 2018.5.26
研究セミナー・ シンポジウム等	浅原哲子	肥満合併糖尿病の効果的な治療戦略 ー肥満は万病のもとー	第1回肥満と糖代謝異常症を考える会	愛知	2018.6.8	2018.6.8
研究セミナー・ シンポジウム等	河野茂夫	「糖尿病による足のトラブルとフットケア〜足は健康の源〜」	第2回東京都民講座	東京都	2018.6.8	2018.6.8
国際学会	二連木晋輔、坂根直樹	Human brown adipose tissue density evaluated by near-infrared time-resolved spectroscopy	The Second Britton Chance International Symposium on Metabolic Imaging and Spectroscopy	USA, Pennsylvania	2018.6.11	2018.6.11
国内学会	浅原哲子、西田博樹	やせるレシピ本で減量成功し、糖尿病、脂肪肝、うつ状態が劇的に改善した若年症例	第36回日本肥満症治療学会学術集会	東京	2018.6.16	2018.6.15- 2018.6.16
国内学会	浅原哲子	肥満治療の最前線・内科治療の進歩は？糖尿病に効く肥満外科治療ってなに？	第36回日本肥満症治療学会学術集会	東京	2018.6.16	2018.6.15- 2018.6.16
国際学会	坂根直樹、小谷和彦、二連木晋輔、高橋かおる、葛谷英嗣	The impact of lifestyle intervention on stages of change toward healthy eating and development of diabetes in prediabetic individuals in precontemplation stage	American Diabetes Association 78th Scientific Sessions	USA, Orland	2018.6.22	2018.6.22- 2018.6.26
国内学会	小西陽介、飛騨美希、村瀬永子、 中村道三、日下部徹、 橋本有紀子、馬越洋宜、北誠、 川崎薫、和田美智子、山口建、 三宅秀彦、浅原哲子、高倉賢二	保因者診断を主訴に来談したが発症前診断の可能性が考慮されたミトコンドリア病	第42回日本遺伝カウンセリング学会総会及び学術集会	宮城	2018.6.29	2018.6.28- 2018.7.1

国内学会	浅原哲子、小西陽介、飛騨美希、日下部徹、橋本有紀子、馬越洋宜、北誠、川崎薫、和田美智子、山口建、三宅秀彦、高倉賢二	遺伝カウンセリング普及のための京都医療センター遺伝子診療部の試み	第42回日本遺伝カウンセリング学会総会及び学術集会	宮城	2018.6.29	2018.6.28-2018.7.1
国内学会	河野茂夫	「糖尿病足病変とフットケアの国際状況」	日本リハビリテーション医学会第55回学術集会	福岡県福岡市	2018.6.29	2018.6.28-2018.6.29
国内学会	浅原哲子	「臨床医学からアディポサイエンスを探る」	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会	大阪	2018.7.13	2018.7.12-2018.7.14
国内学会	村田敬	1型糖尿病患児と家族を対象としたファミリーキャンプの試み	第24回日本小児・思春期糖尿病学会	大阪	2018.7.15	2018.7.15
研究セミナー・シンポジウム等	日下部徹	糖・脂質代謝調整における脂肪組織、骨格筋の役割	脂質・糖代謝異常と心血管疾患～最新知見とホットトピックス～	京都	2018.8.9	2018.8.9
研究セミナー・シンポジウム等	二連木　晋輔、　同道　正行、鋤納　心、　菅沼　彰子、河口　八重子、　坂根　直樹	赤外線サーモグラフィ法を用いた非侵襲的なヒト褐色脂肪組織の評価法の確立	2018年度　温熱生理研究会	愛知	2018.8.23	2018.8.23-2018.8.24
研究セミナー・シンポジウム等	村田敬	『子どもさん』からティーンエジャーへ　段階に応じた1型糖尿病の自己管理	第24回京都CDEの会	京都	2018.9.2	2018.09.02
国内学会	浅原哲子、田中将志、山陰一、日下部徹、井上隆之	老年期の血清TREM2が認知症発症におよぼす影響：久山町研究	第40回日本生物学的精神医学会	兵庫	2018.9.7	2018.9.6-2018.9.8
国内学会	二連木晋輔、坂根直樹	ラグビー選手におけるACEおよびACTN3 遺伝子多型と損傷経験との関連	第73回日本体力医学会大会	福井	2018.9.7	2018.9.7-2018.9.9
国内学会	二連木晋輔、同道正行、鋤納心、河口八重子、菅沼　彰子、坂根直樹	大学ラグビー選手におけるヘプシジンと肥満度との関連	第73回日本体力医学会大会	福井	2018.9.8	2018.9.7-2018.9.9
国内学会	村田敬、坂根直樹	リアルタイム持続血糖測定器（CGM）センサーのアドヒアランス予測因子に関する前向き観察研究（PARCS研究）	第18回日本先進糖尿病治療研究会	神戸	2018.9.29	2018.9.29
研究セミナー・シンポジウム等	坂根直樹、松井浩	NHKガッテン	NHKガッテン	東京	2018.10.3	2018.10.3
研究セミナー・シンポジウム等	日下部徹	骨粗鬆症治療薬とサルコペニアにおける最近の話題	第84回伏見医師学術集談会	京都	2018.10.6	2018.10.6
国内学会	井上隆之、田中将志、山陰一、村中和哉、島津章、日下部徹、浅原哲子	認知症予知因子・TREM2の脂肪細胞における病態意義の検討	第39回日本肥満学会	兵庫	2018.10.7	2018.10.7-2018.10.8
国内学会	田中将志、山陰一、井上隆之、日下部徹、浅原哲子	地域住民における血清可溶性TREM2値と肥満、インスリン抵抗性の検討 久山町研究	第39回日本肥満学会	兵庫	2018.10.7	2018.10.7-2018.10.8
国内学会	日下部徹、浅原哲子	肥満症・糖尿病におけるサルコペニア進展機序の解明	第39回日本肥満学会	兵庫	2018.10.7	2018.10.7 ～2018.10.8
国内学会	浅原哲子	楽しく美味しくやせる食事療法～健康長寿を目指して～	第39回日本肥満学会	兵庫	2018.10.8	2018.10.7-2018.10.8
国内学会	浅原哲子	チームで取り組む肥満症治療-効果的な食事療法と心血管病リスク軽減-	第39回日本肥満学会	兵庫	2018.10.8	2018.10.7-2018.10.8
国内学会	浅原哲子	肥満症に対する効果的な治療戦略と健康障害の改善に有効な減量数値目標を見出すための研究	第39回日本肥満学会	兵庫	2018.10.8	2018.10.7-2018.10.8
国内学会	二連木晋輔、同道正行、鋤納心、菅沼彰子、河口八重子、坂根直樹	赤外線サーモグラフィ法による非侵襲的なヒト褐色脂肪組織活性の評価法の開発	第39回日本肥満学会	神戸	2018.10.8	2018.10.7-2018.10.8
国内学会	同道正行、二連木晋輔、鋤納心、菅沼彰子、河口八重子、坂根直樹	寒冷曝露による呼気アセトン濃度の変化	第39回日本肥満学会	神戸	2018.10.8	2018.10.7-2018.10.8

国内学会	湊聡美、坂根直樹、小谷和彦、二連木晋輔、林育代、菅沼彰子、山口建、高倉賢二	多嚢胞性卵巣症候群における非アルコール性脂肪性肝疾患の頻度とリスク指標の推定	第39回　日本肥満学会	兵庫	2018.10.8	2018.10.7-2018.10.8
研究セミナー・シンポジウム等	日下部徹	骨粗鬆症とサルコペニア	伏見内分泌代謝ネットワーク第30回連携の会	京都	2018.10.18	2018.10.18
国内学会	浅原哲子	効果的な肥満・糖尿病治療を目指したチーム医療の構築	第55回日本糖尿病学会近畿地方会	兵庫	2018.10.27	2018.10.27
国内学会	日下部徹	これからの糖尿病治療戦略について	近畿国立病院薬剤師会学術講演会	京都	2018.10.27	2018.10.27
国内学会	村田敬、坂根直樹、渡邊知一、塚本雅美、野村英生、小鳥真司、河口八重子、吉岡ふみ、河野茂夫	インスリンポンプの低グルコース前一時停止（PLGM）機能の有効性に関するパイロットスタディ	第55回日本糖尿病学会近畿地方会	兵庫	2018.10.27	2018.10.27
国内学会	村田敬	糖尿病診療における先進デバイスの現在と未来	第55回日本糖尿病学会近畿地方会	神戸	2018.10.27	2018.10.27
国内学会	浅原哲子、北野隆司、田中将志、井上隆之、村中和哉、山陰一、日下部徹、島津章	日本人2型糖尿病におけるPICRUSt予測メタゲノム解析を用いた腸内細菌叢プロファイルと宿主の糖代謝との関連解析	第72回国立病院総合医学会	兵庫	2018.11.9	2018.11.9-2018.11.10
国内学会	小鳥真司 、木村早未、水谷結香子、 塚本雅美、渡邉雅一、村田敬、日下部徹、浅原哲子、島津章、河野茂夫	抗精神病薬の変更によって著明な減量および 糖・脂質代謝の改善を認めた肥満症の一例	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-2018.11.10
国内学会	鳥山　明子、大谷　弥里、 北川　洋子、西田　博樹、 渡邉　知一、村田　敬、 坂根　直樹、河野　茂夫	1型糖尿病外来およびCSII外来における栄養士の関わり	第72回国立病院総合医学回	神戸	2018.11.10	2018.11.9-2018.11.10
国際学会	河野茂夫	Diabetes Control:Saves your Legs	19th Annual Guam Diabetes Conference	グアム	2018.11.11	2018.11.10-2018.11.11
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	チーム医療による効果的な肥満・メタボリックシンドローム・糖尿病の食事指導～適正な栄養管理について～	北野病院NST勉強会	大阪	2018.11.13	2018.11.13
研究セミナー・シンポジウム等	河野茂夫	「糖尿病足病変治療のアップデート」	和歌山市　糖尿病の足を学ぶ会	和歌山県和歌山市	2018.11.15	2018.11.15
研究セミナー・シンポジウム等	村田敬	低血糖予防の最新技術	第9回RING	京都	2018.11.15	2018.11.15
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	生活習慣病におけるサルコペニアの効果的予防法ーマイオスタチンの臨床的意義ー	Take A chance with Kowa, Expert of Diabetes and Atherosis Meeting	京都	2018.11.16	2018.11.16
研究セミナー・シンポジウム等	村田敬	1型糖尿病患者のインスリンポンプ療法について	インスリンポンプ研修会	彦根	2018.11.18	2018.11.18
国際学会	同道正行、二連木晋輔、坂根直樹	Effectiveness of a pharmacist-delivered smoking cessation program in community pharmacy（FINE project）:A feasibility study in Japan	The 12th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress（IDF-WPR 2018）	Kuala Lumpur, MALAYSIA	2018.11.22	2018.11.22-2018.11.25

国際学会	藤原真治、小谷和彦、坂根直樹	Effect of a new simple educational method for diabetes patients using "homework" from pharmacists to ask doctor about HbA1C	The 12th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress（IDF-WPR 2018）	Kuala Lumpur, MALAYSIA	2018.11.22	2018.11.22-2018.11.25
国際学会	Takahashi K, Suganuma A, Sakane N	Healthy lifestyle habits and the risk of nonalcoholic fatty liver disease in Japan: An observational study	The 12th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress（IDF-WPR 2018）	Kuala Lumpur, MALAYSIA	2018.11.23	2018.11.22-2018.11.25
国際学会	二連木晋輔、坂根直樹	Supraclavicular tissue total hemoglobin determined by near-infrared time resolved spectroscopy as indicators of brown adipose tissue characteristics in humans	Role of Brown adipose tissue in human health	Spain, Granada	2018.11.23	2018.11.23
国際学会	河口八重子、染井順一郎、菅沼彰子、二連木晋也、坂根直樹	Development of modified sensory-based food education program for 2yrs. and 3yrs children at the nursery school in Japan	The 12th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress	大阪	2018.11.25	2018.11.22-2018.11.25
国際学会	二連木晋輔、同道正行、鋤納心、菅沼彰子、河口八重子、坂根直樹	Non-invasive evaluation of human brown adipose tissue using infrared thermography	The 12th International Diabetes Federation Western Pacific Region Congress（IDF-WPR 2018）	Kuala Lumpur, MALAYSIA	2018.11.25	2018.11.22-2018.11.25
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	糖尿病の診断から治療 -食事運動療法のコツ-	内科・眼科連携を考える 2018	京都	2018.11.29	2018.11.29
国内学会	河野茂夫	「糖尿病足病変と診療のトピックス」	第82回日本皮膚科学会東京支部学術大会	東京都	2018.12.1	2018.12.1-2018.12.2
研究セミナー・シンポジウム等	村田敬	先進糖尿病デバイスの最新情報	第34回京都糖尿病医会学術講演会	京都	2018.12.1	2018.12.1
研究セミナー・シンポジウム等	河野茂夫	「糖尿病足病変のアップデート～ IWGDF国際ガイドライン2019の展望～」	第16回和歌山糖尿病合併症研究会	和歌山県和歌山市	2018.12.8	2018.12.8
国際学会	河野茂夫	Diabetic foot Problems in Western Pacific region	Controlling Diabetes and its main complication	キューバ	2018.12.13	2018.12.10-2018.12.14
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	メタボ型糖尿病患者の治療戦略	kyoto Cardiovascular & Diabetes Conference	京都	2018.12.20	2018.12.20
研究セミナー・シンポジウム等	村田敬	CGMの解釈とインスリン療法の最適化	近畿チーム医療実践セミナー	京都	2019.1.20	2019.1.20
国内学会	村田敬	糖尿病デバイスとサイバーセキュリティー	第1回日本メディカルAI学会学術集会	東京	2019.1.26	2019.1.26
研究セミナー・シンポジウム等	日下部徹	骨粗鬆症とサルコペニアー骨と筋肉を鍛えて健康長寿を目指すー	平成30年度内分泌代謝性疾患専門医研修会	京都	2019.1.31	2019.1.31-2019.2.1
国内学会	浅原哲子	メタボとそのこわい合併症の効果的な予防法～健康長寿を目指して～	京都府放射線技師会学術大会	京都	2019.2.3	2019.2.3

研究セミナー・シンポジウム等	河野茂夫	「糖尿病足病診断のアップデート」	第11回大阪糖尿病と足病変管理について考える会	大阪府大阪市	2019.2.9	2019.2.9
研究セミナー・シンポジウム等	河野茂夫、渡邊知一	「糖尿病重症化予防プログラムにおいて実地医科にできること」	第39回　伏見糖尿病研究会	京都府京都市	2019.2.16	2019.2.16
国際学会	村田敬、坂根直樹	PREDICTIVE FACTORS OF THE ADHERENCE TO THE REAL-TIME CGM SENSORS: A PROSPECTIVE OBSERVATIONAL STUDY (PARCS STUDY)	The 12th International Conference on Advanced Technologies & Treatments for Diabetes	Berlin, Germany	2019.2.21	2019.2.20-2019.2.23
国内学会	河野茂夫	糖尿病診療に必要な知識「糖尿病足病変」	第53回　糖尿病学の進歩	青森県	2019.3.1	2019.3.1-2019.3.2
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	Opening Remarks	京都糖尿病学術講演会～ DM (Diabetes Mellitus)とDM (Diversity Management)を考える～	京都	2019.3.9	2019.3.9
研究セミナー・シンポジウム等	日下部徹	「2型糖尿病」に併存するサルコペニア	京都糖尿病学術講演会	京都	2019.3.9	2019.3.9
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	高齢者糖尿病の治療戦略	伏見医師会ランチョンセミナー(	京都	2019.3.15	2019.3.15
研究セミナー・シンポジウム等	河野茂夫	糖尿病フットケアのアップデート	第5回松山　足を学ぶ会	愛媛県松山市	2019.3.20	2019.3.20
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	肥満合併糖尿病のチーム医療	Diabetes Special Forum 2019	神奈川	2019.3.28	2019.3.28

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者）	村田敬、坂根直樹	The Current Intermittent-Scanning CGM Device Situation in Japan: Only Adjunctive Use to SMBG Is Approved and the Latest Health Insurance Coverage Details.	J Diabetes Sci Technol	12	3	729-730		SAGE	2018.5
英文論文（筆頭著者）	二連木晋輔、坂根直樹 ※布施と二連木の2人が筆頭著者であると本文に記載してます。	Brown adipose tissue density measured by near-infrared time-resolved spectroscopy in Japanese, across a wide age range.	J Biomed Opt.	23	6	1-9		SPIE	2018.6
英文論文（筆頭著者）	村田敬、二連木晋輔、坂根直樹	Safety of the batteries and power units used in insulin pumps: A pilot cross-sectional study by the Association for the Study of Innovative Diabetes Treatment in Japan.	J Diabetes Investig.	9	4	903-907		Wiley	2018.7

英文論文（筆頭著者）	大谷良、二連木晋輔、中村道三、村瀬永子、斉ノ内真、栗田康弘、髙田真基、増田裕一、小谷和彦、坂根直樹	High-Density Lipoprotein Subclasses and Mild Cognitive Impairment: Study of Outcome and aPolipoproteins in Dementia（STOP-Dementia）	J Alzheimers Dis.	66	1	289-296		IOS press	2018.8
英文論文（筆頭著者）	湊聡美、坂根直樹、小谷和彦、二連木晋輔、林育代、菅沼彰子、山口建、高倉賢二	Prevalence and risk factors of elevated liver enzymes in Japanese women with polycystic ovary syndrome	Journal of Clinical Medicine Research	10	12	904-910		ELMER PRESS	2018.12
英文論文（筆頭著者）	坂根直樹、小谷和彦、菅沼彰子、二連木晋輔、葛谷英嗣	Prevention of metabolic syndrome by telephone-delivered lifestyle intervention in a real-world setting: sub-analysis of a cluster-randomized trial	Metabolic Syndrome and Related Disorders	in press	in press	in press		Mary Ann Liebert, Inc	2019.3
英文論文（筆頭著者）	大谷良、中村道三、二連木晋輔、川上理、十川純平、土井健人、斉ノ内真、栗田康弘、髙田真基、武田清明、塚原徹也、坂根直樹	Pre-treatment blood pressure is a simple predictor of hemorrhagic infarction after intravenous recombinant tissue plasminogen activator（rt-PA）therapy	Journal of Stroke & Cerebrovascular Diseases	in press	in press	in press		ELSEVIER	2019.3
英文論文（筆頭著者）		高強度・短時間・間欠的トレーニングは抗肥満・抗糖尿病効果を有するか -褐色脂肪組織の活性化および活性化機構の解明-	デサントスポーツ科学	inpress	inpress	inpress			inpress
英文論文（筆頭著者以外）	山陰一、小見山麻紀、浅原（佐藤）哲子、和田啓道、長谷川浩二、森本達也	Effects of products containing bacillus subtilis var. natto on healthy subjects with neck and shoulder stiffness, a double-blind, placebo-controlled, randomized crossover study.	Biological and Phamaceutical Bulletin	41	4	504-509			2018.4
英文論文（筆頭著者以外）	坂根直樹	Effects of Bifidobacterium breve B-3 on body fat reductions in pre-obese adults: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	Biosci Microbiota Food Health.	37	3	67-75		BMFH press	2018.5

英文論文（筆頭著者以外）	坂根直樹	Development and initial validation of the Morningness-Eveningness Exercise Preference Questionnaire（MEEPQ） in Japanese university students.	PLoS One.	13	7	e0200870		PLOS	2018.6
英文論文（筆頭著者以外）	田中将志、山陰一、井上隆之、北野（大植）隆司、日下部徹、和田啓道、長谷川浩二、島津章、浅原（佐藤）哲子	Role of serum myostatin in the association between hyperinsulinemia and muscle atrophy in Japanese obese patients.	Diabetes Research and Clinical Practice	142	-	195-202			2018.8
英文論文（筆頭著者以外）	日下部徹	Clinical Characteristics, Phenotype of Lipodystrophy and a Genetic Analysis of Six Diabetic Japanese Women with Familial Partial Lipodystrophy in a Diabetic Outpatient Clinic.	Intern Med.	57	16	2301-2313			2018.8
英文論文（筆頭著者以外）	坂根直樹	Clinical outcomes after initial treatment of methicillin-resistant Staphylococcus aureus infections.	Infect Drug Resist.	6	11	1073-1081.		DOVepress	2018.8
英文論文（筆頭著者以外）	日下部徹	CRISPR.Cas9-mediated Angptl8 knockout suppresses plasma triglyceride concentrations and adiposity in rats.	J Lipid Res.	59	9	1575-1585			2018.9
英文論文（筆頭著者以外）	村田敬	Accuracy of a Factory Calibrated Retrospective CGM Device and the Comparison to a Conventionally Calibrated Retrospective CGM Device: A Pilot Study	Biomedical Sciences	4	4	32-36			2018.11
英文論文（筆頭著者以外）	田中将志、山陰一、井上隆之、日下部徹、浅原（佐藤）哲子	A potential novel pathological implication of serum soluble triggering receptor expressed on myeloid cell 2 in insulin resistance in a general Japanese population: The Hisayama study.	Diabetes Research and Clinical Practice	146	-	225-232			2018.12
英文論文（筆頭著者以外）	田中将志、山陰一、井上隆之、日下部徹、浅原（佐藤）哲子	Serum soluble TREM2 as a biomarker for incident dementia: the Hisayama Study.	Annals of Neurology	85	1	47-58			2019.1

英文論文（筆頭著者以外）	坂根直樹	Development of a Dietary Factor Assessment Tool for Evaluating Associations between Visceral Fat Accumulation and Major Nutrients in Japanese Adults	Journal of Obesity			Article ID 9497861		Hindawi	2019.2
英文論文（筆頭著者以外）	二連木晋輔、小谷和彦、坂根直樹	Maslinic acid derived from olive fruit in combination with resistance training improves muscle mass and mobility functions in the elderly	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition			1-7		SOCIETY FOR FREE RADICAL RESEARCH JAPAN	2019.3
英文論文（筆頭著者）	鋤納心、二連木晋輔、河口八重子、小谷和彦、岡田浩、菅沼彰子、坂根直樹	Effects of a Low Advanced Glycation End Products Diet on Insulin Levels: The Feasibility of a Crossover Comparison Test.	Journal of clinical medicine research	10	5	405-410		日本糖尿病情報学会	2018.5
英文論文（筆頭著者以外）	二連木晋輔、鋤納心、河口八重子、湊聡美、小谷和彦、坂根直樹	Nonalcoholic Fatty Liver Disease in University Rugby Football Players	Frontiers in endocrinology	9	341			Frontiers	2018.6
和文原著論文（筆頭著者）		予知と予防からみた糖尿病性合併症対策 発言2…足壊疽の予知と重篤化阻止	糖尿病UP・DATE 賢島セミナー 糖尿病性合併症へのシームレスな対応―血管合併症の早期診断と予防― セミナーIII	34		P.200-205 P.214-227		メディカル・ジャーナル社	2018.5.11
和文原著論文（筆頭著者）		25：その他の糖尿病合併症	内分泌代謝科専門医研修ガイドブック　第13章 糖尿病			P.678-680	日本内分泌学会編集	診断と治療社	2018.6
和文原著論文（筆頭著者）		糖尿病入門　糖尿病患者へのフットケアの要点と"落とし穴"	DIABETES UPDATE	7	3	P.28-32		メディカルレビュー社	2018.7
和文原著論文（筆頭著者）		糖尿病足病変と糖尿病網膜症	Monthly Book OCULISTA 特集／眼科医のための糖尿病トータルガイド		68	P.69-76		株式会社全日本病院出版会	2018.11.15
和文原著論文（筆頭著者）		高トリグリセライド血症を伴うハイリスク飲酒者に対する節酒プログラム（HAPPYプログラム）の脂質改善効果：前後比較試験	日本糖尿病情報学会誌	17				日本糖尿病情報学会	2019.3
和文総説・著書（筆頭著者）		糖尿病の療養指導 Q&A　パッチ式インスリンポンプ　新たにわが国で製造販売承認を取得した機種を含め，パッチ式インスリンポンプについてその全容を教えてください	プラクティス	35	3	330-332			2018.5
和文総説・著書（筆頭著者）		CGMとFGMの技術と精度上の問題点	糖尿病の最新治療	9	4	166-173			2018.8

和文総説・著書（筆頭著者）		肥満症の病態と治療の最前線　「肥満症の行動療法を軸としたチーム医療」	最新医学	74	1	96-103			2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）		肥満症	今日の治療指針2019年版 私はこう治療している	-	-	753-755		医学書院	2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）		糖尿病の療養指導Q&A　蛍光発光方式皮下埋め込み型CGM　米国において最近承認された、90日間使用可能な、蛍光発光方式による皮下埋め込み型CGM（continuous glucose monitoring）デバイスについて教えてください（Q&A）	プラクティス	36	1	97-99			2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）		インスリン注射あれこれ	Medicina	56	3	133-137			2019.3
和文総説・著書（筆頭著者）		特集 心不全と糖尿病：基礎と臨床-膨らむ知見と大きな期待-「糖尿病薬の種類と心血管疾患予防を目指した治療戦略」	循環器内科	85巻	3号	1-9			2019.3予定
和文総説・著書（筆頭著者）		特集 肥満と消化器「1.肥満の基礎　(2) 肥満の発症機序」	臨床消化器内科	34	4	-			2019.3予定
和文総説・著書（筆頭著者）		第5章 各種動脈硬化危険因子とCAVI：治療効果も含む　「5.メタボリックシンドロームとCAVI」	動脈弾性指標CAVIのすべて	出版予定	出版予定	出版予定			2019.3予定
和文総説・著書（筆頭著者）		①ステロイド糖尿病 ②膵性糖尿病 ③腎性糖尿	今日の疾患辞典～検査処方例つき～	-	-	-		エイド出版	-
和文総説・著書（筆頭著者）		Ⅳ-その他の内分泌疾患を含めて-「Ⅸ.ホルモン異常による先天性肥満症 3.プロホルモン変換酵素（PC1）遺伝子異常症」	内分泌症候群（第3版）	出版予定	出版予定	出版予定			未定
和文総説・著書（筆頭著者以外）		脂肪萎縮症診療ガイドライン	日本内分泌学会雑誌	94		1-31			2018.9

腎臓内科

診療科長
八幡　兼成

専門医資格等　日本腎臓学会専門医・指導医
日本透析医学会専門医・指導医
日本糖尿病学会専門医
日本内科学会専門医
京都大学医学博士
京都大学医学部臨床教授

専門分野

得意疾患

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　長	瀬田　公一	日本腎臓学会専門医・指導医 日本透析医学会専門医・指導医 日本高血圧学会専門医・指導医 総合内科専門医・JMECCインストラクター 日本集中治療医学会専門医 日本救急医学会ICLSインストラクター ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本急性血液浄化学会認定指導者 京都大学医学博士		
医　　師	小泉　三輝	日本腎臓学会専門医 日本透析医学会専門医・指導医 日本集中治療医学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 JMECCインストラクター 日本急性血液浄化学会認定指導者		
医　　師	沈　　載紀			
専 修 医	近藤　　悠			
専 修 医	辻　誠士郎			
専 修 医	上田　直子			

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本腎臓学会研修施設 日本透析医学会認定施設 日本急性血液浄化学会認定指定施設

1. 積極的に腎生検を行い、早ければ翌日には診断がつく体制を取っている
2. 血液透析だけでなく、血漿交換や持続血液ろ過透析など急性血液浄化に対応できる
3. 腹膜透析も多く導入している
4. 学会発表・論文執筆・臨床研究を積極的に行っている

□ 主な対象疾患

急性腎不全、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症、急速進行性糸球体腎炎、多発性嚢胞腎、Gitelman症候群、高血圧症

□ 診療(業務)内容

1. 慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群などに対して腎生検を行い、その結果に基づいて治療を行っている。
2. 保存期腎不全に対し、血圧管理を始めとした腎保護療法を行い、末期腎不全への進行を抑制できるようにしている。
3. 末期腎不全に陥った場合、腎移植・腹膜透析・血液透析の3つの選択肢を提示し、患者に合った治療を提供している。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
13.1名	376名	12.0日

外来患者数

1日平均患者数
28.1名

主な疾患の件数など

腎生検数	血液浄化療法延べ件数	血液透析導入患者数	腹膜透析導入患者数
76件	2,742件	43件	8件

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	八幡 兼成, 村田 真紀, 小泉 三輝, 菊地 祐子, 瀬田 公一	京都の地域医療におけるCKD患者への腎性貧血治療の実態とその効果[京都伏見腎性貧血研究:KFRA study]	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9-2018.11.10
国内学会	沈 載紀, 村田 真紀, 辻 誠士郎, 平井 大輔, 生田 悠, 高橋 昌宏, 小泉 三輝, 瀬田 公一, 八幡 兼成	腎生検時における止血剤使用中止による出血イベント発症への影響	第48回日本腎臓学会西部学術集会	徳島	2018.9.29	2018.9.28-2018.9.29
国内学会	上田 直子, 小泉 三輝, 辻 誠士郎, 平井 大輔, 沈 載紀, 瀬田 公一, 八幡 兼成	血液透析離脱に成功した抗糸球体基底膜（GBM）抗体型急速進行性糸球体腎炎（RPGN）の一例	第48回日本腎臓学会西部学術集会	徳島	2018.9.28	2018.9.28-2018.9.29
国内学会	辻 誠士郎, 平井 大輔, 生田 悠, 沈 載紀, 小泉 三輝, 瀬田 公一, 八幡 兼成	腎生検にて半月体を認めなかった抗GBM抗体型腎炎の1例	第48回日本腎臓学会西部学術集会	徳島	2018.9.28	2018.9.28-2018.9.29
国内学会	小泉 三輝, 平井 大輔, 辻 誠士郎, 沈 載紀, 近藤 悠, 瀬田 公一, 八幡 兼成	当院におけるDST（Dialysis Support Team）活動と関係診療科へのアンケート調査	第61回日本腎臓学会学術総会	新潟	2018.6.9	2018.6.8-2018.6.10
国内学会	八幡 兼成, 村田 真紀, 小泉 三輝, 菊地 祐子, 瀬田 公一, 伏見医師会	京都の地域医療におけるCKD患者への腎性貧血治療の実態とその効果　[京都伏見腎性貧血研究:KFRA study]最終報	第61回日本腎臓学会学術総会	新潟	2018.6.9	2018.6.8-2018.6.10
国内学会	瀬田 公一, 平井 大輔, 辻 誠士郎, 沈 載紀, 近藤 悠, 小泉 三輝, 八幡 兼成	常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）に対するトルバプタン投与1年経過例のIrazabal分類に基づく考察	第61回日本腎臓学会学術総会	新潟	2018.6.10	2018.6.8-2018.6.10
国内学会	平井 大輔, 小泉 三輝, 辻 誠士郎, 近藤 悠, 沈 載紀, 瀬田 公一, 八幡 兼成	当院における人工肝補助療法の変遷	第63回日本透析医学会学術集会	神戸	2018.7.1	2018.6.29-2018.7.1
国内学会	瀬田　公一	腎機能を考慮した鎮痛薬の選択のポイント	第40回日本疼痛学会	長崎	2018.6.16	2018.6.16-17
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田　公一	その薬、要りますか？～高尿酸血症治療を再考する～	第17回伏見CKD医療連携の会	京都	2018.10.27	2018.10.27
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田　公一	非専門医のための慢性腎臓病講座	飯田医師会学術講演会	長野	2018.5.30	2018.5.30
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田　公一	これからのADPKD診療	Otsuka Nephrology Forum	京都	2018.6.14	2018.6.14
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田　公一	非専門医のための慢性腎臓病講座	第4回病診連携腎臓セミナー	大阪	2018.7.12	2018.7.12

研究セミナー・シンポジウム等	瀬田　公一	これからのADPKD診療	第2回茨城PKD研究会	茨城	2018.9.20	2018.9.20
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田　公一	非専門医のための慢性腎臓病講座	舞鶴医師会学術講演会	京都	2018.11.15	2018.11.15
研究セミナー・シンポジウム等	瀬田　公一	これからのADPKD診療	大塚製薬 Web Seminar	京都	2019.3.19	2019.3.19
研究セミナー・シンポジウム等	八幡　兼成	糖尿病合併症としてのCKD	京都医療センター医療連携フォーラム	京都	2019.2.23	2019.2.23
研究セミナー・シンポジウム等	八幡　兼成	CKD重症化予防のために -専門医からプライマリケア医への提言-	京都南部臨床懇話会	京都	2019.2.19	2019.2.19
研究セミナー・シンポジウム等	八幡　兼成	糖尿病性腎臓病における腎生検の意義	Meet The Expert -糖尿病性腎臓病を考える	京都	2019.1.31	2019.1.31
研究セミナー・シンポジウム等	辻　誠士郎	抗がん剤の腎障害　～新しい薬にもあります～	第17回伏見CKD医療連携の会講演会	京都	2018.10.27	2018.10.27
研究セミナー・シンポジウム等	沈　載紀	腎生検の様子をお見せします　～いつもご紹介ありがとうございます～	第17回伏見CKD医療連携の会講演会	京都	2018.10.27	2018.10.27
研究セミナー・シンポジウム等	八幡　兼成	京都の地域医療における慢性腎臓病患者への腎性貧血治療実態とその効果　～ご報告最終報～	第17回伏見CKD医療連携の会講演会	京都	2018.10.27	2018.10.27
研究セミナー・シンポジウム等	八幡　兼成	PD総論・PD実践のための基礎知識	京滋CAPDナースカレッジ基礎コース	京都	2018.10.14	2018.10.14
研究セミナー・シンポジウム等	八幡　兼成	糖尿病とCKD	第20回京都府医師会生涯教育セミナー	京都	2018.8.25	2018.8.25
研究セミナー・シンポジウム等	小泉　三輝	急性肝不全に対する血液浄化療法の変遷	第16回伏見CKD医療連携の会講演会	京都	2018.4.7	2018.4.7
研究セミナー・シンポジウム等	八幡　兼成	かかりつけ医のための低ナトリウム血症の診断と治療	第16回伏見CKD医療連携の会講演会	京都	2018.4.7	2018.4.7

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者）	生田　悠、沈　載紀、高橋昌宏、小泉三輝、瀬田公一、八幡兼成	Idiopathic immune complex-mediated tubulointerstitial nephritis with hypocomplementemia and neutrophil-rich interstitial infiltrates .	Clin Nephrol	90	5	357-362			2018.11
和文原著論文（筆頭著者）	辻 誠士郎, 沈 載紀, 瀬田 公一, 上田 直子, 平井 大輔, 生田 悠, 高橋 昌宏, 小泉 三輝, 八幡 兼成	当院における急性血液浄化療法の変遷 腎臓内科医の介入による変化の検討	日本外科感染症学会雑誌	15	3	210-215			2018.6
和文原著論文（筆頭著者）	瀬田公一	腎硬化症の予後因子 腎硬化症ー今日の視点から	腎と透析	84	5	697-700		東京医学社	2018.5

腫瘍内科

診療科長
外来化学療法
センター長
野﨑　明
平成31年3月31日まで

専門医資格等　日本臨床腫瘍学会　がん薬物療法専門医・指導医
がん治療認定医機構　がん治療認定医・暫定教育医
日本内科学会　認定内科医
日本静脈経腸栄養学会　認定医

専門分野　腫瘍内科学（臨床腫瘍学）
がん薬物療法（消化管、肺、乳腺、胆膵、婦人科等固形腫瘍全般および一部造血器悪性腫瘍）

得意疾患　消化器がん

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
非常勤医師	宇 良　　敬	日本内科学会　認定内科医	腫瘍内科学（臨床腫瘍学） がん薬物療法（化学療法）	
非常勤医師	松原　淳一	日本臨床腫瘍学会　がん薬物療法専門医 日本がん治療認定医機構　がん治療認定医 日本内科学会　認定内科医 日本消化器病学会　消化器病専門医	腫瘍内科学（臨床腫瘍学）、がん薬物療法（化学療法）	消化器がん
非常勤医師	船越　太郎	日本臨床腫瘍学会　がん薬物療法専門医 日本がん治療認定医機構　がん治療認定医 日本内科学会　総合内科専門医 日本消化器病学会　消化器病専門医	がん薬物療法（消化管・胆膵）	
非常勤医師	近藤　知大	日本内科学会　認定内科医	腫瘍内科学（臨床腫瘍学）、がん薬物療法（化学療法）	
非常勤医師	土井 恵太郎	日本医師会　認定産業医	腫瘍内科学	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本臨床腫瘍学会認定研修施設

1. 患者さんが納得し満足いただける医療を提供します
2. 患者さんとご家族を徹底的に支援します
3. エビデンスに基づいた最善の化学療法を行ないます
4. 化学療法と並行して、緩和医療を提供します
5. 患者さんと一緒に歩み、成長する姿勢を大切にします
6. 地域の医療機関との連携を大切にします

□ 主な対象疾患

・消化器がん（食道がん、胃がん、大腸がん、消化管間質腫瘍など）
・膵臓がん、胆道がん
・原発不明がん
・希少疾患などその他の固形腫瘍

□ 診療（業務）内容

・化学療法（がん薬物療法）の実施
・緩和医療の実施
・他職種カンファレンスの実施
・他科からのコンサルテーション
・セカンドオピニオン
・外来化学療法センターの運営
・化学療法委員会の運営
・臨床試験・治験への参加

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
0.1名	15名	2.9日

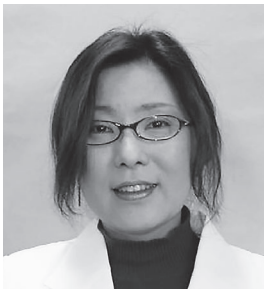
外来患者数

1日平均患者数
19.7名

★診療体制変更により、平成２８年度より入院患者は主科で計算するため前年よりは減少

初診患者数
198名

精神科



診療科長
吉田　貴子

専門医資格等　精神保健指定医
日本精神神経学会認定　精神科専門医・指導医
専 門 分 野　精神医学一般

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	沼本　和記	日本医師会認定産業医	精神病理学	
医　　師	粟野　雄大	精神保健指定医・日本医師会産業医	精神医学一般	
非常勤臨床心理士	梶川　和行	臨床心理士		
非常勤臨床心理士	竹田　駿介	臨床心理士		
非常勤臨床心理士	後藤　恵里	臨床心理士		
非常勤臨床心理士	藤村江利子	臨床心理士		

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本精神神経学会精神科専門医研修施設

1．確定診断と精神療法的な意味を兼ねて、初診時診察に十分な時間をかける。
2．精神疾患の病態を自然科学的、人間学的視点から多角的に把握する。
3．共感的、探究的な診察態度を心がけ、繊細な薬物療法を工夫する。
4．器質性精神障害が疑われるときには、他科と連携し、頭部ＭＲＩ等を利用して病態検索が可能である。

□ 主な対象疾患

・睡眠障害
・身体表現性自律神経機能不全、その他の身体表現性障害
・パニック障害、その他の不安障害
・適応障害、その他のストレス関連障害
・強迫性障害、その他の神経症性障害
・躁うつ病、その他の気分障害
・統合失調症、妄想性障害等
・器質性あるいは症状性精神障害

□ 診療（業務）内容

1．精神科入院病棟は無いため、入院治療が必要と判断される時は、精神科病院等に紹介する。
2．医師による診療後、病態として心理学的に複雑な葛藤が想定される場合は、心理療法士による標準型精神分析療法等を併用することが可能。
3．一般病棟の他科入院患者に対し、依頼に応じて、リエゾン・コンサルテーション精神科医療に従事している。

□ 診療実績（平成30年度）

外来患者数

1日平均患者数
49.6名

神経内科

診療科長
中村　道三
平成31年3月31日まで

専門医資格等
日本神経学会　神経内科専門医、指導医
日本内科学会　認定内科医、指導医
日本神経学会近畿地方会　評議員
京都大学医学博士
京都大学医学部神経内科　臨床教授
専門分野
神経内科　臨床神経学
得意疾患
ミオパチー　認知症

診療科長
大谷　良
平成31年4月1日から

専門医資格等
日本神経学会　神経内科専門医・指導医・教育施設責任者
日本脳卒中学会　専門医、評議員
日本認知症学会　専門医・指導医
日本内科学会　認定内科医、指導医
認知症サポート医
日本神経学会近畿地方会　評議員
脳神経超音波学会　世話人
京都大学医学博士
京都大学医学部脳神経内科　臨床教授
専門分野
臨床神経学（脳神経内科一般）
脳血管障害
認知症
脳神経超音波学
得意疾患
脳血管障害
認知症

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	十川　純平	日本神経学会　専門医 日本内科学会　総合内科専門医 日本てんかん学会　専門医 日本臨床神経生理学会　専門医 （脳波、筋電図分野）	臨床神経生理	てんかん 脳血管障害
医　　師	高田　真基	日本内科学会　認定内科医		急性期神経疾患
医　　師	桑田　康弘	日本内科学会　認定内科医		急性期神経疾患
医　　師	松成　亮太	日本内科学会　認定内科医		神経変性疾患
医　　師	武田　清明	日本内科学会　認定内科医		急性期神経疾患
医　　師	増田　裕一	日本内科学会　認定内科医		急性期神経疾患
非常勤医師	村瀬　永子	日本神経学会　専門医・指導医		

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本神経学会研修施設

1．納得できる医療を目指します
2．紹介医との密な連絡（病診連携）および大学や機関病院との連携に努めます
3．看護師、薬剤師、理学療法士など他の医療従事者とのチーム医療を推進します
4．若手医師の教育に尽力します

□ 主な対象疾患

脳血管障害（脳梗塞、脳出血など）、認知症（アルツハイマー病など）、パーキンソン病、ジストニア脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症などの数多の神経難病、多発性硬化症、重症筋無力症などの免疫神経疾患、脳炎、髄膜炎など神経感染症、頭痛、てんかんなどの発作性疾患、ギランバレー症候群、種々のニューロパチーなどの末梢神経疾患、筋炎、筋ジストロフィーなどの筋疾患など

□ 診療（業務）内容

神経内科一般

脳血管障害外来：脳血管障害の予防及び再発予防（臨床研究対象も含む）、頸部血管エコー検査

電気生理外来：電気診断学にもとづく神経・筋疾患の電気生理検査

ボツリヌス治療：対象疾患　顔面けいれん、眼瞼けいれん

神経内科・音楽療法外来：認知症を対象とする音楽療法

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
27.1名	406名	23.7日

外来患者数

1日平均患者数
49.9名

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	大谷 良、中村道三、二連木晋輔、川上理、村瀬永子、桑田康弘、高田真基、増田裕一、土井健人、塚原徹也、坂根直樹	rt-PA療法後の出血性脳梗塞の予測因子：治療前の血圧管理の重要性	第43回 日本脳卒中学会学術集会	福岡	2018.3.15	2018.3.15 ～ 2018.3.18
国内学会	増田 裕一, 大谷 良, 福田 俊一, 桒田 康弘, 高田 真基, 斉ノ内 信, 土井 健人, 河原崎 知, 川上 理, 村瀬 永子, 塚原 徹也, 赤尾 昌治, 中村 道三	脳卒中既往のある心房細動患者における予後と脳卒中/全身塞栓症の発症危険因子：伏見AFレジストリ	第43回 日本脳卒中学会学術集会	福岡	2018.3.15	2018.3.15 ～ 2018.3.18
国内学会	大谷　良	大動脈粥状硬化病変からの塞栓症　認知症の謎を探る	12th Trans Catheter Imaging Forum	大阪	2018.5.11	2018.5.11 ～ 2018.5.12.
研究セミナー・シンポジウム等	大谷　良	高齢者とてんかん　（特別講演）	京都伏見薬剤師会学術講演会	京都	2018.6.3	2018.6.3.
研究セミナー・シンポジウム等	大谷　良、榎本直之、	脳神経イメージングの最新の話題　（特別講演）	京都脳神経イメージング研究会 2018	京都	2018.6.7	2018.6.7.
国内学会	増田 裕一, 大谷 良, 武田 清明, 桒田 康弘, 高田 真基, 松成 亮太, 十川 純平, 三尾 直士, 中村 道三	Nivolumab投与後に全身型へ移行し, クリーゼに至った眼筋型重症筋無力症の1例	第55回　亀山正邦記念神経懇話会	京都	2018.6.30	2018.6.30.
国内学会	桑田康弘　大谷 良　武田清明　増田裕一　松成亮太　高田真基　十川純平　村瀬永子　中村道三	ヘパリンが奏功しない悪性腫瘍合併トルソー症候群への対応	Stroke 研究会	京都	2018.7.6	2018.7.6.
研究セミナー・シンポジウム等	桑田康弘　大谷 良	悪性腫瘍を合併する難治性脳梗塞の治療　～トルソー症候群からの検討～	第6回 Stroke 学術交流会	京都	2018.8.2	2018.8.2.
研究セミナー・シンポジウム等	大谷　良	アルツハイマー型認知症のAAA（Apathy, Appetite & ADL）を考慮した治療戦略	Dementia Forum in 京滋	京都	2018.8.25	2018.8.25.

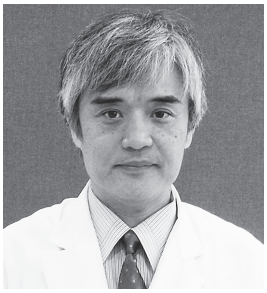
国際学会	Ryo Ohtani, Shinsuke Nirengi, Michikazu Nakamura, Jumpei Togawa, Yasuhiro Kuwata, Masaki Tatata, Ryota Matsunari, Yuuichi Masuda, Kiyoaki Takeda, Naoki Sakane	Comparison of apolipoprotein A1 and carotid artery ultrasonography findings among stroke subtypes and controls	11th World Stroke Congress	Montreal, CANADA	2018.10.18.	2018.10.17 〜 2018.10.20.
国内学会	大谷　良	認知症患者診療における高度急性期病院の役割　（シンポジウム）	第72会 国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9.	2018.11.9 〜 2018.11.10.
国内学会	増田 裕一, 大谷 良, 武田 清明, 栄田 康弘, 高田 真基, 松成 亮太, 十川 純平, 土井 健人, 河原崎 知, 川上 理, 福田 俊一, 塚原 徹也, 中村 道三	当院における脳卒中Hot Lineの現状	第72会 国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10.	2018.11.9 〜 2018.11.10.
研究セミナー・シンポジウム等	大谷　良	高齢者てんかんの最近の話題　（特別講演）	京都伏見医師会・地域包括連携会	京都	2018.11.13.	2018.11.13.
研究セミナー・シンポジウム等	大谷　良	脳塞栓症に関する最近の話題：認知症と抗凝固療法	Heart & Brain 研究会	京都	2018.11.30.	2018.11.30.
国内学会	高田 真基、村瀬永子、武田 清明, 増田 裕一, 栄田 康弘, 松成 亮太, 十川 純平, 川村 和之、大谷 良、中村 道三	開眼失行とともに閉口障害を呈した筋萎縮性側索硬化症（ALS）の1例	第112回 日本神経学会近畿地方会	大阪	2018.12.8.	2018.12.8.
研究セミナー・シンポジウム等	大谷　良	認知症と脳血管障害	FM 845「からだ元気」		2019.3.26.	2019.3.26.
国内学会	飯塚　三枝子，中村　道三	認知症に対する神経内科外来音楽療法の9年　―音楽を通してのコミュニケーション―	国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9 〜 2018.11.10
国内学会	飯塚　三枝子，中村　道三	国立病院機構認知症登録研究（The NHODR study）　〜認知症介護状況の実態調査と予後への影響〜	国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9 〜 2018.11.10
研究セミナー・シンポジウム等	飯塚　三枝子	脳は音楽の玉手箱	日本脳卒中協会主催　脳卒中市民講座	京都	2018.12.1	2018.12.1
研究セミナー・シンポジウム等	飯塚　三枝子	認知症における個人音楽療法の役割 〜脳神経内科非薬物療法外来としての9年間を通して〜	第7回 アルツハイマー病とてんかんを考える会	京都	2018.12.10	2018.12.10
研究セミナー・シンポジウム等	飯塚　三枝子	音楽療法 認知症の現場から	武田病院グループ 専門職向け研修	京都	2018.12.11	2018.12.11
研究セミナー・シンポジウム等	中村　道三	音楽療法から認知症を理解する	脳神経内科講座	京都	2019.2.17	2019.2.17
研究セミナー・シンポジウム等	飯塚　三枝子，中村　道三	"認知症"音楽療法の可能性	テレビ朝日　報道ステーション金曜特集		2019.3.1	2019.3.1
研究セミナー・シンポジウム等	十川純平	てんかんの診断と治療について〜新ガイドラインを踏まえて〜	伏見医師会 第11回ランチョンセミナー	京都	2019.2.5	2019.2.5
研究セミナー・シンポジウム等	十川純平	てんかんの急性期治療について	てんかんセミナー in KYOTO	京都	2019.2.15	2019.2.15
研究セミナー・シンポジウム等	十川純平	開頭術の既往があるてんかん患者に特徴的な脳波所見	てんかん診療クリニカルカンファレンスセミナー	京都	2019.2.5	2019.2.5
国内学会	松成亮太	歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症のミオクローヌスに対してペランパネルが有効であった一例	第14回日本てんかん学会近畿地方会	大阪	2018.7.29	2018.7.29

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者）	安田 謙、村瀬永子、吉永健二、大谷 良、中村道三	Leukoencephalopathy with a case of heterozygous POLG mutation mimicking mitochondrial neurogastrointestinal encephalomyopathy（MNGIE）.	Journal of Clinical Neuroscience.	61		302-304			2019.3.
英文論文（筆頭著者）	大谷　良、二連木晋輔、中村道三、村瀬永子、斉ノ内 信、桑田康弘、高田真基、増田裕一、坂根直樹	High-Density Lipoprotein Subclasses and Mild Cognitive Impairment: Study of Outcome and aPolipoproteins in Dementia（STOP-Dementia） 1.	Journal of Alzheimer's Disease.	66	1	289-296			2018.8.
英文論文（筆頭著者）	安田 謙、福田俊一、中村道三、大谷 良、桑田康弘、高田真基、斉ノ内 信、後藤昌広、増田裕一、河原崎知、川端康弘、村瀬永子、青木友和、赤尾昌治、塚原徹也	Predictors of Cardioembolic Stroke in Japanese Patients with Atrial Fibrillation in the Fushimi AF Registry.	Cerebrovascular Disease.	8	2	50-59			2018
英文論文（筆頭著者）	金星　匡人	Down-regulation of astrocytic Kir4.1 channels during the audiogenic epileptogenesis in Leucine-rich glioma-inactivated 1（Lgi1）mutant rats.	International Journal of Molecular Sciences.	20	5	1013			2019.2
英文論文（筆頭著者）	金星　匡人	Inwardly rectifying potassium channel Kir4.1 as a novel modulator of BDNF expression in astrocytes.	International Journal of Molecular Sciences.	19	11	3313			2018.10
英文論文（筆頭著者）	金星　匡人	Antiepileptic drugs elevate astrocytic Kir4.1 expression in the rat limbic region.	Frontiers in Pharmacology.	6	9	845			2018.8
和文原著論文（筆頭著者）	安田　謙,川端　康弘,村瀬　永子,大谷　良,中村　道三	非細菌性血栓性心内膜炎が原因の脳塞栓症に対し、血栓回収療法を試みた1剖検例	臨床神経学	59	4	195-199			2019.3.
和文原著論文（筆頭著者）	安田　謙,村瀬　永子,大谷　良,中村　道三	20年の経過で結節性の多発神経肥厚を認め、運動感覚障害を伴わず神経肥厚による神経根性疼痛を呈した慢性炎症性脱髄性多発神経根ニューロパチーの1例	臨床神経学	58	1	21-24			2018

和文原著論文（筆頭著者）	武田　清明,	緩徐に進行する球麻痺症状を呈し、運動ニューロン疾患が疑われた視神経脊髄炎関連疾患の1例	臨床神経学	59	3	139-143			2019.2.
和文原著論文（筆頭著者）	十川 純平	自己免疫性てんかんにおける診断アルゴリズムの提唱とその有用性の予備的検討	臨床神経学	58	10	606-616			2018.10.
和文原著論文（筆頭著者）	金星　匡人	3：アストロサイト.	てんかん研究.	36	3	672-677			2019.1
和文原著論文（筆頭著者）	金星　匡人	てんかんの病態におけるグリア細胞の役割.	BIO Clinica.	33	11	12-17			2018.10
和文総説・著書（筆頭著者）	大谷　良	Ⅰ 外来のガイドライン診療　―診断、管理・治療― 精神・心身医学疾患　49. 認知症	今日の診療のために　ガイドライン外来診療 2019	第19版		401-413	泉　孝英	日経メディカル開発	2019.3.
和文総説・著書（筆頭著者）	大谷　良	遺伝性脳血管障害：CADASIL, CARASIL, HDLS	やさしい高次脳機能障害用語事典			595-597	種村　純	ぱーそん書房	2018.12.
和文総説・著書（筆頭著者）	大谷　良	神経変性疾患：進行性核上性麻痺、パーキンソン病	やさしい高次脳機能障害用語事典			347-348	種村　純	ぱーそん書房	2018.12.
和文総説・著書（筆頭著者）	大谷　良	認知症：血管性認知症、ビンスワンガー病	やさしい高次脳機能障害用語事典			471-472	種村　純	ぱーそん書房	2018.12.
和文総説・著書（筆頭著者）	大谷　良	第1章　認知症総論6 治療総論　予防	認知症　イメージングテキスト			37-43	冨本秀和	医学書院	2018.6.
和文総説・著書（筆頭著者）	金星　匡人	てんかん発症におけるイオンチャネルおよび受容体の機能異常.	ペランパネルによるてんかん治療のストラテジー .			8-13		先端医学社	2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）	大谷　良	特集　デキる内科医の神経内科コンサルト　脳梗塞、脳出血（慢性期）	medicina 内科臨床誌			290-293	河合　真	医学書院	2019.2.

呼吸器センター



診療科長
(呼吸器内科)
三尾　直士

専門医資格等
　日本がん治療認定医
　機構暫定教育医
　日本医師会認定産業医
　アメリカ胸部疾患学会
　(ATS)
　アメリカ臨床腫瘍学会
　(ASCO)
　京都大学　医学博士
　京都大学　臨床教授
専門分野
　呼吸器内科全般
得意疾患
　肺癌・間質性肺炎

診療科長
(呼吸器外科)
澤井　聡

専門医資格等
　日本呼吸器外科学会/
　指導医・評議員
　呼吸器外科専門医
　気管支鏡指導医
　外科専門医
　滋賀医科大学医学博士
専門分野
　呼吸器外科全般
得意疾患
　肺癌・縦隔腫瘍

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	中谷　光一	日本内科学会　認定内科医 日本呼吸器学会　呼吸器専門医・指導医	呼吸器内科全般	肺癌・呼吸時無呼吸症候群・呼吸器内科全般
医　　師	橋本　雅之	外科専門医 呼吸器外科学会　呼吸器外科専門医　評議員 気管支鏡専門医・指導医 日本呼吸器学会　呼吸器専門医 肺がんＣＴ検診認定医	呼吸器外科全般	呼吸器外科全般
医　　師	岡村　美里	日本内科学会　認定内科医	呼吸器内科全般	肺癌・呼吸器内科一般
医　　師	藤田　浩平	日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会　呼吸器専門医・指導医 日本感染症学会　感染症専門医・指導医 京都大学医学博士	呼吸器内科全般	呼吸器感染症・肺癌・呼吸器内科全般
医　　師	金井　　修	日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会　呼吸器専門医 日本呼吸器内視鏡学会　気管支鏡専門医 日本エイズ学会　治療指導医 エイズ拠点病院　施設代表 京都市HIV感染症対策専門委員会　医院	呼吸器内科全般	HIV感染症・睡眠時無呼吸症候群・呼吸器内科一般
医　　師	山本　佑樹	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本呼吸器内視鏡学会　気管支鏡専門医 京都大学医学博士	呼吸器内科一般	呼吸器内科一般
医　　師	武田　恵子	外科専門医　癌治療認定医	呼吸器外科全般	呼吸器外科全般
レジデント	堀本かんな	外科専門医	呼吸器外科全般	呼吸器外科全般
レジデント	内田　尚宏			呼吸器内科全般

□診療科の特徴

施設認定等	日本呼吸器学会認定施設 日本呼吸器外科基幹施設 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡認定施設 日本感染症学会認定施設

［診療のモットー］

1. 難治な呼吸器疾患に対して最新の治療を提供します。
2. 十分な情報を提供し、患者さんの意見を尊重し診療を行います。
3. 地域の医療機関と連携し、地域に根ざした医療機関を目指します。

［当科の特色］

呼吸器疾患は悪性腫瘍・感染症・気道系疾患・呼吸不全・びまん性肺疾患・生活習慣病など、他の臓器には見られないほど多岐にわたり、その多くが生命に直接関わる重要な領域です。当科では多様な呼吸器疾患患者さんに対して専門性の高い医療を提供するように努力しています。さらに現在治療法の進歩が見られる疾患について最新最良の治療を取り入れています。

肺癌は最も死亡数が多い悪性腫瘍で、今でも難治ですが、分子標的剤や免疫チェックポイント阻害剤などの新しい治療薬や支持療法の開発が急速に進んでおり、治療方法が大きく変わりつつあります。新しい治療法のおかげで、治療不能とされていた超高齢者や、治療不応となった患者さんにも治療を提供できる機会が増えており、患者さんの予後が大きく改善しつつあります。また、悪性腫瘍の診療においては外科治療・放射線治療・化学療法・緩和医療の４本柱があり、関係する各科の協力が必要ですが、当院での肺癌診療においては、呼吸器内科・外科、放射線科、化学療法部、緩和ケア部とカンファレンスなどの場をもうけ緊密な関係をもって進めています。

気道系疾患である喘息、慢性閉塞性肺疾患は特に有病率が高い疾患ですが、終生にわたって治療を続けていく必要性があり、当科では診断・治療導入、悪化時の緊急対応、リハビリテーションなど地域の拠点病院でないとできない診療を中心に行い、その後は患者さんの負担を出来るだけ少なくするように地域の医療機関と連携して診療を行なっています。

呼吸器感染症はヒトの疾患の中でも最も重要な疾患の一つです。当科では急性・慢性の呼吸器感染症の診療を行っていますが、市中肺炎以外に、他科で診療中の免疫不全状態で起きる弱毒菌の感染症やHIVの症例の診療も行っております。さらに、最近急増している非結核抗酸菌の患者数が多く、積極的に臨床・研究に取り組んでいます。

上記以外にも呼吸器には急性・慢性の呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群、間質性肺疾患など重要な疾患が多数あります。それらの疾患をもつ患者さんに対しても常に最良の治療を提供できるように日々研鑽しながら診療に当たっています。

呼吸器外科では肺癌をはじめとする胸部の腫瘍（肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍）や気胸を代表とする嚢胞性肺疾患に対して、より負担の少ない胸腔鏡下手術を積極的に行っています。 膿胸などの炎症性疾患に対しても積極的な外科治療（局所麻酔下胸腔鏡を含む）を行っています。気道狭窄に対するステント留置やレーザー焼灼術などの気管支鏡下手術や、漏斗胸に対する矯正術（Nuss法）も行っています。

□ 主な対象疾患

肺癌　転移性肺腫瘍　縦隔腫瘍　中皮腫　胸腺腫　胸壁腫瘍　気胸　肺嚢胞症　気道狭窄　漏斗胸　膿胸
慢性閉塞性肺疾患　気管支喘息　慢性・急性呼吸不全、呼吸器感染症（肺炎・非結核性抗酸菌症・結核）
びまん性肺疾患（間質性肺炎、サルコイドーシス、好酸球性肺炎、膠原病に伴う間質性肺炎など）
睡眠時無呼吸症候群　HIV感染症

□ 診療（業務）内容

呼吸器内科の外来診察日は月曜から金曜まで毎日新患外来を含めて3外来を行なっています。
呼吸器外科の外来診察日は月、火、木、金曜日で、手術は水、金曜日に行っています。
睡眠時無呼吸症候群の専門外来は毎週水曜日です。完全紹介制としております。初めての方は紹介元の施設で予約を取得して頂きますよう、よろしくお願い致します。
気管支鏡検査、CTガイド下生検検査は原則として１泊の入院で行なっています。
それぞれ月・火・木と火・木曜日の午後に行っています。
HIV感染症の初診については呼吸器科外来に予めお電話頂ければ受診日等を事前に相談していただくことができます。

□ 診療実績（平成30年度）

呼吸器内科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
43.1名	1239名	12.5日

呼吸器内科外来患者数

1日平均患者数
63.2名

呼吸器外科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
10.8名	252名	15.4日

呼吸器外科外来患者数

1日平均患者数
10.9名

主な手術・検査の件数など

手術（全身麻酔）	肺癌手術（診断含）	気管支鏡検査	局所麻酔下胸腔鏡検査	CTガイド下肺生検
175件	93件	384件	10件	70件

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	金井修	免疫チェックポイント阻害剤投与後に発症した、異なる特徴的画像所見を呈した肺結核3症例の比較	第58回日本呼吸器学会総会	大阪	2018.4.28	2018.4.27-4.29
国内学会	藤田浩平	Nivolumabによる既治療非小細胞肺癌患者における逐次的なpembrolizumab投与の意義	第58回日本呼吸器学会総会	大阪	2018.4.28	2018.4.27-4.29
国内学会	岡村美里	京都医療センターにおけるpembrolizumabの使用経験	第58回日本呼吸器学会総会	大阪	2018.4.29	2018.4.27-4.29
国内学会	橋本雅之、澤井　聡	限局性胸膜癒着または隣接臓器浸潤に対する術前評価：超低線量4次元CTの有用性	第35回日本呼吸器外科学会総会	千葉	2018.5.17	2018.5.17 ～ 2018.5.18
国内学会	堀本かんな、澤井　聡	高齢者非小細胞肺癌切除症例において術前HbA1c値は独立した予後因子である	第35回日本呼吸器外科学会総会	千葉	2018.5.17	2018.5.17 ～ 2018.5.18
国内学会	藤田浩平	ニボルマブ投与中の非小細胞肺癌患者に発症した感染症に関する検討	第92回日本感染症学会総会	岡山	2018.5.31	2018.5.31-6.2
国際学会	Fujita Kohei	Prevalence and risk factors of frailty in patients with mycobacterium avium complex lung disease-preliminary study.	European Respiratory Society International Congress 2018	Paris, France	2018.9.16	2018.9.15-9.18
国際学会	Uchida Naohiro	The clinical benefits of immune checkpoint inhibitors for thymic carcinomas.	European Respiratory Society International Congress 2018	Paris, France	2018.9.17	2018.9.15-9.18
国内学会	橋本雅之、堀本かんな、武田恵子、澤井　聡	呼吸器外科術後心臓合併症に対する当院での取り組み-心筋トロポニンIの有用性-	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会	内田尚宏	当院におけるatezolizumabの使用経験	第72回国立病院総合医学会	神戸	2019.11.10	2018.11.9-11.10
国内学会	柏原英里子	治療経過中に増悪が見られた播種性Mycobacterium Kansasii症の一例	第72回国立病院総合医学会	神戸	2019.11.10	2018.11.9-11.10
国内学会	藤田浩平	非小細胞肺癌患者における抗PD-1抗体治療後の抗PD-L1抗体治療の効果と安全性の検討	第72回国立病院総合医学会	神戸	2019.11.10	2018.11.9-11.10

国内学会	柏原英里子、藤田浩平、	敗血症性肺塞栓症を呈し、化膿性脊椎炎、化膿性肩関節炎及び腸腰筋膿瘍を合併したMSSA菌血症の一例	第61回日本感染症学会中日本地方会学術集会	鹿児島	2018.11.17	2018.11.16-11.18
国内学会	堀本かんな、橋本雅之、澤井　聡	非結核性抗酸菌症を合併した原発性肺癌の1切除例	第59回日本肺癌学会学術集会	東京	2018.12.1	2018.11.29～2018.12.1
国内学会	橋本雅之、堀本かんな、澤井　聡	左肺癌術後に生じた縦隔リンパ節再発に対し右胸腔鏡下縦隔リンパ節切除を施行した一例	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡	2018.12.7	2018.12.6～218.12.8
国際学会	Uchida Naohiro	Nivolumab-induced severe acute kidney injury with a long latent phase in a patient with nonsmall cell lung cancer: A case report.	APSR 2018,	Taiwan	2018.11.30	2018.11.29.12.2
国際学会	Kashihara Eriko	Disseminated Mycobacterium kansasii disease in a patient without a diagnosis of clinical immunodeficiency.	APSR 2018	Taiwan	2018.11.30	2018.11.29.12.2
国際学会	Yamamoto Yuki	Treatment of non-small cell lung cancer with atezolizumab: A case series study.	APSR 2018	Taiwan	2018.12.1	2018.11.29.12.2
国際学会	Fujita Kohei	Efficacy and safety of anti-PD-L1 antibody in NSCLC patients who previously treated with anti-PD-1 antibodies: Preliminary study.	APSR 2018	Taiwan	2018.12.1	2018.11.29.12.2
研究セミナー・シンポジウム等	三尾直士	肺癌の化学療法：現在のがん診療と化学療法の役割	武庫川女子大学薬学部	兵庫	2018.10.20	
研究セミナー・シンポジウム等	金井修	重篤な好中球および血小板減少を発症した肺扁平上皮癌の一例	Meet the Expert on Lung Cancer in Kyoto	京都	2018.4.14	
研究セミナー・シンポジウム等	藤田浩平	ニボルマブ既治療非小細胞肺癌患者に対するペンブロリズマブによる再治療の意義	京都南部がん免疫療法セミナー	京都	2018.6.13	
研究セミナー・シンポジウム等	中谷光一	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死（AROJ）をいかに防ぐか	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死について考える会	京都	2018.10.2	
研究セミナー・シンポジウム等	金井修	当院における重傷喘息治療について	Severe Asthma Meeting in　伏見	京都	2018.10.25	
研究セミナー・シンポジウム等	金井修	PD-L1検査、治療選択、そしてPembrolizumabの使用経験-2nd lineを中心に-	Lung Cancer Conference in kyoto	京都	2018.9.15	
研究セミナー・シンポジウム等	三尾直士	VEGF阻害剤が治療効果を変える	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	
研究セミナー・シンポジウム等	藤田浩平	感染症と喘息増悪について	第3回　藤森吸入指導勉強会	京都	2018.10.17	
研究セミナー・シンポジウム等	中谷光一	当院におけるテセトリクの使用経験	Meet the Expert on Lung Cancer	京都	2018.11.16	
研究セミナー・シンポジウム等	藤田浩平	Atezolizumab治療の現状と展望	第3回　肺がん診療ナビライブ講座	京都	2019.1.31	
研究セミナー・シンポジウム等	三尾直士	「間質性肺疾患の基本」　～知らないといけない事、やらないといけない事～	呼吸器疾患セミナー	京都	2019.2.7	
研究セミナー・シンポジウム等	中谷光一	自施設におけるJ-TAIL研究に関する取組み	J-TAIL研究 investigator & coordinater`s meeting	大阪	2019.2.23	
研究セミナー・シンポジウム等	藤田浩平	当院における化学療法と免疫チェックポイント阻害薬併用の使用経験	Lung Cancer Conference in kyoto	京都	2019.3.15	

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者以外）	柏原英里子、金井修、岡村美里、三尾直士	Cutaneous lymphangitis carcinomatosa made cervicofacial oedema intractable in a patient with superior vena cava syndrome.	BMJ Case Rep.	2018	Apr 19	bcr-2018-224206		BMJ journals	2018 Apr 19
英文論文（筆頭著者以外）	藤田浩平、内田尚宏、金井修、岡村美里、中谷光一、三尾直士	Retreatment with pembrolizumab in advanced non-small cell lung cancer patients previously treated with nivolumab: emerging reports of 12 cases.	Cancer Chemother Pharmacol.	81	6	1105-1109.		Springer Link	2018 Jun
英文論文（筆頭著者以外）	金井修、藤田浩平、三尾直士	Efficacy and safety of nivolumab in non-small cell lung cancer with preexisting interstitial lung disease.	Thorac Cancer.	9	7	847-855		Wiley	2018 July
英文論文（筆頭著者以外）	藤田浩平、内田尚宏、堀本かんな、橋本雅之、中谷光一、森吉弘毅、澤井聡、三尾直士	Two cases of cavitary lung cancer with concomitant chronic infectious disease.	Respir Med Case Rep.	24		122-124		Wiley	2018. May
英文論文（筆頭著者以外）	内田尚宏、辻誠士郎、藤田浩平、小泉三輝、森吉弘毅、三尾直士	Nivolumab-induced severe acute kidney injury with a long latent phase in a patient with non-small cell lung cancer: A case report.	Clin Case Rep	6	11	2185-2188		Wiley	2018.Oct
英文論文（筆頭著者以外）	藤田浩平、三尾直士	Association between Mycobacterium avium complex lung disease and serum vitamin D status, antimicrobial peptide levels, and bone mineral density.	Medicine（Baltimore）.	97	38	e12463		Wolters Kluwer	2018.Sep
英文論文（筆頭著者以外）	柏原英里子、藤田浩平、小山弘、三尾直士	Septic pulmonary embolism complicated by pyogenic spondylitis and psoas abscesses in a patient with methicillin-sensitive Staphylococcus aureus bacteraemia.	Oxfod Med Case Rep.	2018	12	omy108		Oxford ACADEMIC	2018
英文論文（筆頭著者以外）	上田直子、藤田浩平、奥野芳章、中谷光一、三尾直士	Therapy-related acute myeloid leukemia after chemotherapy in extensive disease-small cell lung cancer.	Clin Case Rep.	7	1	100-103		Wiley	2018. Nov

英文論文（筆頭著者以外）	金井修、藤田浩平、三尾直士	An implicit threat: dolutegravir-induced schizophrenic brief psychotic disorder and persistent cenesthopathy.	AIDS.	32	18	2853-2854		Wolters Kluwer	2018. Nov
英文論文（筆頭著者以外）	内田尚宏、藤田浩平、岡村美里、中谷光一、三尾直士	The clinical benefits of immune checkpoint inhibitor for thymic carcinomas ~experience of single public hospital in Japan~.	Respir Med Case Rep.	26		39-41		Elsevier	2018. Nov
英文論文（筆頭著者以外）	藤田浩平、金井修、三尾直士	Emerging concerns of infectious diseases in lung cancer patients receiving immune checkpoint inhibitor therapy.	Respir Med. in press	146		66-70		Elsevier	2019.Jan
英文論文（筆頭著者以外）	澤井　聡	Hemothorax after emphysematous bullectomy using linear staple device with bioabsorbable polyglycolic acid felt.	Journal of Surgical Case Reports	2018	10	1-3			2018.10
英文論文（筆頭著者以外）	澤井　聡	Insertion of a Dumon Y-stent via a permanent tracheostoma without using a rigid bronchoscope.	BMJ Case Rep.	2018	11	1-3			2018.11

消化器内科

診療科長
部長
（医事管理担当）
勝島慎二

専門医資格等　日本消化器病学会専門医・指導医・近畿支部評議員本部評議員
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・近畿支部評議員・本部評議員
日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本肝臓学会専門医・西部会評議員
日本内科学会認定内科医・指導医・近畿支部評議員
日本がん治療認定医機構がん治療認定医・指導責任者
日本消化器がん検診学会胃認定医
京都大学医学博士

専門分野　消化器内科全般

得意疾患　肝疾患
炎症性腸疾患

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　長 副健診センター長	島　　伸子	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器がん検診学会胃認定医 日本人間ドック学会人間ドック健診認定医 日本医師会認定産業医 日本ヘリコバクター学会H.pylori（ピロリ菌）感染症認定医	消化器内科全般	消化器疾患、消化器内視鏡検査
医　　長	水本　吉則	日本消化器病学会専門医・指導医・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・近畿支部評議員・本部評議員 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本胆道学会内視鏡診断治療指導医・経皮経肝的診断治療指導医	消化器内科全般	消化管・胆・膵の内視鏡検査・治療全般、炎症性腸疾患
医　　師	小畑　達郎	日本消化器病学会専門医・指導医 日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会専門医 日本超音波医学会専門医 R＆4肝臓病カンファレンス　世話人 京滋臨床肝臓研究会　世話人	消化器内科全般	肝疾患、特に難治性肝炎（ウイルス肝炎、自己免疫性肝疾患）

医　　長	滝本　見吾	日本消化器病学会専門医・指導医・近畿支部評議員・本部評議員 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・近畿支部評議員・本部評議員・和文編集委員会査読委員 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本肝臓学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医・指導責任者 日本消化管学会胃腸科認定医・専門医・指導医・代議員 日本超音波医学会専門医・指導医 日本ヘリコバクター学会H.pylori（ピロリ菌）感染症認定医 ポリグリコール酸シートとフィブリン糊を併用した被覆法の有効性評価と手技標準化にむけた研究会　世話人（事務局兼任）（日本消化器内視鏡学会附置研究会） 十二指腸腫瘍の診断および低侵襲治療に関する研究会　世話人（日本消化器内視鏡学会附置研究会） 近畿内視鏡治療研究会　幹事 京滋消化器内視鏡治療勉強会　世話人 京都大腸内視鏡研究会　世話人 京滋消化管病態フォーラム　世話人 医学博士	消化器内科全般	消化管癌の内視鏡診断と治療
医　　長	笠原　勝宏	日本消化器病学会専門医・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本プライマリ・ケア連合会プライマリ・ケア認定医	消化器内科全般	消化管・内視鏡検査・治療全般
医　　師	岩本　　諭	日本消化器病学会専門医・指導医・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・近畿支部評議員 日本内科学会総合内科専門医 日本肝臓学会専門医 京都大学医学博士	消化器内科全般	消化管・内視鏡検査・治療全般
医　　師	江坂　直樹	日本消化器病学会専門医・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会専門医・近畿支部評議員 日本内科学会総合内科専門医・JMECCインストラクター 日本カプセル内視鏡学会JACEカプセル内視鏡認定医 緩和ケア研修会指導者講習会修了者 臨床研修指導医	消化器内科全般	小腸内視鏡、食道胃静脈瘤治療、緩和医療、PEG
医　　師	太田　義之	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医	消化器内科全般	消化管疾患
医　　師	下釜　　翼	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医	消化器内科全般	胆道・膵疾患検査・治　療（EUS, ERCP, PTBD等
医　　師	筑後　孝紀	日本内科学会認定内科医	消化器内科全般	消化管疾患
医　　師	中野　重治	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医	消化器内科全般	消化管疾患
専 修 医	濵田　聖子	日本内科学会認定内科医	消化器内科全般	消化管疾患
専 攻 医	山﨑　由希		消化器全般	消化管疾患

非常勤医師	前川　高天	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本ヘリコバクター学会H.pylori（ピロリ菌）感染症認定医 京都府消化器がん検診委員会委員長 デジタルバイオカラー研究会理事 京都消化器医会理事 京都府胃内視鏡検診準備・検討小委員会委員長 京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会胃がん検診ワーキング 京都大学医学博士	上部消化管内視鏡	消化器内視鏡、H.Pylory感染症、健診
非常勤医師	米田　俊貴	日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医・西部会評議員 日本内科学会総合内科専門医・指導医 京都大学医学博士	消化器内科全般	肝疾患
非常勤医師	遠藤　文司	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・近畿支部評議員・本部評議員 日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会専門医 日本消化器がん検診学会胃・肝胆膵認定医 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医 日本医師会認定産業医 ICD協議会認定インフェクションコントロールドクター 臨床研修指導医	消化器内科全般	胆道・膵疾患検査治療
非常勤医師	見島　裕之	日本内科学会認定内科医 京都大学医学博士	消化器内科全般	消化管疾患

□診療科の特徴

施設認定等	日本消化器内視鏡学会指導施設　日本消化器病学会認定施設 日本肝臓学会認定施設　日本超音波学会専門医研修施設 日本消化管学会胃腸科指導施設　日本胆道学会指導施設 京都府肝疾患専門医療機関

1. 三次救急病院の消化器内科として、緊急内視鏡検査(ERCP含む)治療・PTCDなどに24時間対応
2. 地域がん診療連携拠点病院の消化器内科として消化器癌全般の診断と早期癌の内視鏡的あるいは経皮的治療に全て対応
3. 地域医療支援病院の消化器内科として紹介による内視鏡検査の実施、PEG/PTEGの造設・管理に対応
4. 炎症性腸疾患の専門診療を実施
5. 多数の慢性肝疾患症例を専門的に診療
6. 潰瘍性大腸炎に対する治験PhaseⅢを実施

□ 主な対象疾患

消化器癌全般(食道、胃、十二指腸、大腸、肝臓、膵臓、胆嚢、胆管系)
炎症性腸疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎)
急性および慢性肝疾患(ウイルス性、自己免疫性)
肝硬変
ヘリコバクター感染症関連疾患（消化性潰瘍、MALTリンパ腫）
消化器救急疾患（消化管出血、閉塞性黄疸、急性膵炎）

□ 診療（業務）内容

消化器内科一般外来および肝臓専門外来
上部消化管、下部消化管内視鏡検査および治療
ERCPおよびERCP関連治療
PTCおよびPTC関連治療
EUSおよびEUS-FNA、Interventional EUS
消化管・胆膵系ステント留置
小腸内視鏡(カプセルおよびバルーン内視鏡)
炎症性腸疾患に対する専門的治療(免疫調節剤、生物学的製剤)
ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス療法(内服薬、インターフェロン)
肝癌に対する経皮的治療
セカンドオピニオン外来
内視鏡技師の育成
治験Phase II および III
アカラシアに対する治療(POEM)

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
57.9名	1654名	12.8日

外来患者数

1日平均患者数
122.4名

主な手術・検査の件数など

上部消化管内視鏡検査	下部消化管内視鏡検査	ERCP	食道・胃ESD	POEM	大腸ESD	肝癌ラジオ波焼灼術
5,549件	2,882件	474件	152件	8件	69件	60件

□ 地域医療連携・広報活動

＜開催研究会等＞

・第10回深草消化器医療連携の会　2019/3/30 アストラゼネカ㈱京都支店「Aztrium」

□ 受賞（学会・研究発表など）

・第96回日本消化器内視鏡学会総会　若手奨励賞　デジタルポスターセッション　「膵炎局所合併症に対する8.5Fr通電ダイレーター・一期的留置法の有用性」　筑後孝紀、遠藤文司、水本吉則、赤松友梨、濵田聖子、中野重治、下釜翼、太田義之、江坂直樹、岩本諭、笠原勝宏、滝本見吾、勝島慎二　2018/11/3　神戸

・第72回国立病院総合医学学会 ベスト口演賞「C型肝炎SVR例の生命予後－肝硬変, 肝発癌, 他臓器発癌との関連－」勝島慎二 2018/11/10 神戸

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
研究セミナー・シンポジウム等	下釜　翼	PPI関連の話題	第9回深草消化器医療連携の会	京都	2018/2/17	2018.2.17
研究セミナー・シンポジウム等	江坂直樹	Hp未感染胃の未分化型胃癌	第9回深草消化器医療連携の会	京都	2018/2/17	2018.2.17
研究セミナー・シンポジウム等	笠原勝宏	Hp未感染胃の胃底腺型胃癌	第9回深草消化器医療連携の会	京都	2018/2/17	2018.2.17
研究セミナー・シンポジウム等	岩本諭	Hp除菌後の胃癌	第9回深草消化器医療連携の会	京都	2018/2/17	2018.2.17

研究セミナー・シンポジウム等	滝本見吾	食道アカラシアに対する内視鏡的治療（Per-Oral Endoscopic Myotomy:POEM）の話題	第9回深草消化器医療連携の会	京都	2018/2/17	2018.2.17
国際学会	筑後孝紀、遠藤文司、水本吉則	USE OF THE FORWARD-VIEWING ENDOSCOPE CAN BE A RISK FACTOR FOR POST-ENDOSCOPIC RETROGRADE CHOLANGIOPANCREATOGRAPHY PANCREATITIS	26TH UNITED EUROPEAN GASTROENTEROLOGY WEEK	Vienna, Austria	2018.10.22	2018.10.20-2018.10.24
国内学会	勝島慎二	DAA治療SVR例の生命予後と他臓器発癌	日本消化器病学会近畿支部第108回例会	京都	2018.3.17	2018.3.17
研究セミナー・シンポジウム等	笠原勝宏	診断に難渋した肝原発CD5陽性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の一例	日本消化器病学会近畿支部第108回例会	京都	2018.3.17	2018.3.17
研究セミナー・シンポジウム等	中野重治	初発肝癌に対する腹腔鏡肝切除術とラジオ波焼灼術の治療成績	日本消化器病学会近畿支部第108回例会	京都	2018.3.17	2018.3.17
研究セミナー・シンポジウム等	濵田聖子	脊髄圧迫症候群を契機に診断に至った肝原発神経内分泌癌の1例	日本消化器病学会近畿支部第108回例会	京都	2018.3.17	2018.3.17
国内学会	滝本見吾	十二指腸腫瘍に対するESD術中剥離の新たな工夫－S-O clipを用いたトラクション法	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018.4.19	2018.4.19-2018.4.21
国内学会	中野重治	小型初発肝細胞癌に対する治療選択	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018.4.20	2018.4.19-2018.4.21
国内学会	下釜翼	アルコール性慢性膵炎に合併した胆管狭窄に対する内視鏡的胆管ステント留置術の治療効果	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018.4.20	2018.4.19-2018.4.21
国内学会	勝島慎二	IFNフリー DAA治療後SVR例の生命予後と他臓器発癌	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018.4.21	2018.4.19-2018.4.21
国内学会	遠藤文司	肉腫による転移性膵腫瘍－多施設共同研究－	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018.4.21	2018.4.19-2018.4.21
国内学会	勝島慎二	大腸微少ポリープに対するJumbo鉗子を用いたCold forceps polypectomyの安全性と有効性に関する多施設共同前向きコホート研究	第95回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2018.5.10	2018.5.10-2018.5.12
国内学会	筑後孝紀	Stent-stone complexに対する治療戦略-Spyglass DSの有用性-	第95回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2018.5.10	2018.5.10-2018.5.12
国内学会	水本吉則	食道ステントの使い分け	第95回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2018.5.11	2018.5.10-2018.5.12
国内学会	滝本見吾	十二指腸内視鏡治療の偶発症を軽減するためにーESD, EMRとの棲み分けとS-Oクリップ牽引法を用いたESDー	第95回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2018.5.11	2018.5.10-2018.5.12
国内学会	滝本見吾	十二指腸ESDを安全に施行するための工夫ー術中穿孔予防（S-Oクリップ）と遅発性穿孔予防（ポリグリコール酸シート被履法）ー	第95回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2018.5.11	2018.5.10-2018.5.12
国内学会	岩本諭	早期胃癌ESD後非治癒切除例の解析からの追加治療の妥当性の検討	第95回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2018.5.11	2018.5.10-2018.5.12
国内学会	濵田聖子	大腸内視鏡挿入困難例における患者因子の検討	第95回日本消化器内視鏡学会総会	東京	2018.5.11	2018.5.10-2018.5.12
国内学会	水本吉則	内視鏡人材育成を目指した検査後問診の取組み-タブレット端末を利用した検査後評価-	第80回日本消化器内視鏡技師学会	東京	2018.5.11	2018.5.11-2018.5.12

研究セミナー・シンポジウム等	滝本見吾	当院における十二指腸非乳頭部上皮性癌の臨床病理学的検討	第95回日本消化器内視鏡学会総会附置研究会2 第2回十二指腸腫瘍の診断および低侵襲治療に関する研究会	東京	2018.5.12	2018.5.12
研究セミナー・シンポジウム等	江坂直樹	上部消化管サイトメガロウイルス感染症の内視鏡所見	第100回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	大阪	2018.5.26	2018.5.26
研究セミナー・シンポジウム等	筑後孝紀	Evolution Biliaryの使用経験	第100回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	大阪	2018.5.26	2018.5.26
国内学会	中野重治	C型肝硬変SVR例生命予後の実態	第54回日本肝臓学会総会	大阪	2018.6.14	2018.6.14-2018.6.15
国内学会	中野重治	初発肝癌に対する肝切除術とラジオ波焼灼術の治療成績	第54回日本肝臓学会総会	大阪	2018.6.14	2018.6.14-2018.6.15
国内学会	勝島慎二	症候性急性C型肝炎の経過中におけるHCV RNA量の再上昇に伴った血清IFN-γの出現は, 引き続いてのHCVの消失を示唆する有用な指標である	第54回日本肝臓学会総会	大阪	2018.6.14	2018.6.14-2018.6.15
国内学会	勝島慎二	C型肝炎SVR例の生命予後	第54回日本肝臓学会総会	大阪	2018.6.15	2018.6.14-2018.6.15
国内学会	勝島　慎二	C型肝炎ウイルス駆除後に発現量が変化する血清miRNAの探索	第54回日本肝臓学会総会	大阪	2018.6.15	2018.6.14-2018.6.15
国内学会	筑後孝紀	胆嚢管原発神経内分泌癌の一例	第54回日本胆道学会学術集会	千葉	2018.9.28	2018.9.27-2018.9.28
研究セミナー・シンポジウム等	勝島慎二	C型肝炎ウイルスGenotype/Serotype乖離例に対するDAA治療	日本消化器病学会近畿支部第109回例会	大阪	2018.9.29	2018.9.29
研究セミナー・シンポジウム等	中野重治	C型代償性肝硬変SVR後の生命予後および予後因子の検討	日本消化器病学会近畿支部第109回例会	大阪	2018.9.29	2018.9.29
研究セミナー・シンポジウム等	勝島慎二	小型初発肝細胞癌に対する治療選択	日本消化器病学会近畿支部第109回例会	大阪	2018.9.29	2018.9.29
研究セミナー・シンポジウム等	山﨑由希	多房性嚢胞性変化を呈し診断に難渋した膵神経内分泌腫瘍の一例	日本消化器病学会近畿支部第109回例会	大阪	2018.9.29	2018.9.29
研究セミナー・シンポジウム等	山本卓矢	若年女性に発症した胆管内乳頭状腫瘍の一例	日本消化器病学会近畿支部第109回例会	大阪	2018.9.29	2018.9.29
研究セミナー・シンポジウム等	中村亮太	剖検にて診断に至った悪性腹膜中皮腫の一例	日本消化器病学会近畿支部第109回例会	大阪	2018.9.29	2018.9.29
国内学会	勝島慎二	国立病院機構（NHO）における炎症性腸疾患診療実態	第60回日本消化器病学会大会	神戸	2018.11.1	2018.11.1-2018.11.4
国内学会	勝島慎二	DAA時代における慢性C型肝炎SVR例の生命予後	第60回日本消化器病学会大会	神戸	2018.11.1	2018.11.1-2018.11.4
国内学会	滝本見吾	十二指腸ESDにおける新たな治療戦略－部分的Pocket形成後トラクション併用法－	第96回日本消化器内視鏡学会総会/第60回日本消化器病学会大会/第16回日本消化器外科学会大会/第56回日本消化器がん検診学会大会	神戸	2018.11.1	2018.11.1-2018.11.4

国内学会	水本吉則	スクリーニング大腸内視鏡検査におけるAdenoma Detection Rate（ADR）-サーベイランス大腸内視鏡検査と比べて-	第56回日本消化器がん検診学会大会/第60回日本消化器病学会大会/第96回日本消化器内視鏡学会総会	神戸	2018.11.1	2018.11.1-2018.11.4
国内学会	太田義之	早期大腸T1b癌の低リスク群におけるリンパ節転移の病理学的検討	第60回日本消化器病学会大会	神戸	2018.11.2	2018.11.1-2018.11.4
国内学会	水本吉則	内視鏡スクリーニング検査における患者満足度からみたチ-ム医療の評価-タブレット端末を利用した検査後アンケートと患者満足度-	第26回日本消化器関連学会週間	神戸	2018.11.3	2018.11.1-2018.11.4
国内学会	筑後孝紀	膵炎局所合併症に対する8.5Fr通電ダイレーター・一期的留置法の有用性	第96回日本消化器内視鏡学会総会	神戸	2018.11.3	2018.11.1-2018.11.4
国内学会	滝本見吾	食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切断術（peroral endoscopic myotomy; POEM）の当院導入経緯と治療成績	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-2018.11.10
国内学会	島伸子	当健診センターにおける上部消化管内視鏡検査で発見された胃癌症例の検討	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-2018.11.10
国内学会	勝島慎二	C型肝炎SVR例の生命予後－肝硬変, 肝発癌, 他臓器発癌との関連－	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9-2018.11.10
研究セミナー・シンポジウム等	丹野侑杜	EBV関連胃癌の一例	第101回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	大阪	2018.11.10	2018.11.10
研究セミナー・シンポジウム等	三田村昇吾	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫完全寛解中に診断した直腸MALTリンパ腫の一例	第101回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会	大阪	2018.11.10	2018.11.10
国内学会	濵田聖子	内視鏡的乳頭括約筋切開術後出血を血管内治療にて止血しえた一例	第46回日本救急医学会総会・学術集会	横浜	2018.11.21	2018.11.19-2018.11.21
研究セミナー・シンポジウム等	笠原勝宏	消化器疾患の画像診断（胃）	第143回総合画像診断症例検討会	京都	2018.4.7	2018.4.7
研究セミナー・シンポジウム等	滝本見吾	十二指腸腫瘍に対する最適な内視鏡治療を求めて－当院でのESD, EMRの棲み分けとその工夫	第7回Fukui Gastroenterological Frontier	福井	2018.4.27	2018.4.27
研究セミナー・シンポジウム等	前川高天	胃がん内視鏡検診に望まれる基準静止画像と一歩進んだ観察・撮影方法	伏見消化器研究会	京都	2018.5.19	2018.5.19
研究セミナー・シンポジウム等	中野重治	高齢化時代の初発肝癌に対する治療選択	第54回日本肝癌研究会	福岡	2018.6.28	2018.6.28-2018.6.29
研究セミナー・シンポジウム等	勝島慎二	DAA治療SVR例における生命予後と肝発がん（肝癌罹患）－IFN治療SVR例との比較	第1回国立病院機構共同臨床研究班会議	長崎	2018.7.6	2018.7.6
研究セミナー・シンポジウム等	勝島慎二	DAA後の肝以外の癌罹患－IFN後および基準人口との比較	第2回国立病院機構共同臨床研究班および日本医療研究開発機構研究班合同会議	長崎	2018.12.22	2018.12.21-2018.12.22
研究セミナー・シンポジウム等	前川高天	より良い内視鏡検診の標準的撮影法～基本および応用～.	京都府胃がん検診（胃内視鏡検査）従事者研修会	京都	2018.3.24	2018.3.24
研究セミナー・シンポジウム等	筑後孝紀	胆管炎の現状～ガイドラインの変遷も含めて～	第22回消化器医療懇話会	京都	2018.6.21	2018.6.21

研究セミナー・シンポジウム等	中野重治	小型初発肝細胞癌に対する治療選択	第22回消化器医療懇話会	京都	2018.6.21	2018.6.21
研究セミナー・シンポジウム等	滝本見吾	食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術（peroral endoscopic myotomy; POEM）の当院導入経緯と治療成績	第41回京大消化器内科関連病院症例検討会	京都	2018.10.27	2018.10.27
研究セミナー・シンポジウム等	水本吉則	食道・胃・十二指腸ステント	第96回日本消化器内視鏡学会総会	神戸	2018.11.2	2018.11.1-2018.11.4
研究セミナー・シンポジウム等	中野重治	消化器疾患の画像診断	第148回総合画像診断症例検討会	京都	2019.2.2	2019.2.2
研究セミナー・シンポジウム等	勝島慎二	タブレット端末を利用したJED準拠患者背景情報入力	第15回日本消化管学会総会学術集会	佐賀	2019.2.1	2019.2.1-2019.2.3
研究セミナー・シンポジウム等	勝島慎二	REFLECT試験対象外肝細胞癌症例に対するLenvatinib療法	日本消化器病学会近畿支部第110回例会	京都	2019.3.23	2019.3.23
研究セミナー・シンポジウム等	筑後孝紀	IPNBと乳頭状胆管癌の臨床病理学的検討	日本消化器病学会近畿支部第110回例会	京都	2019.3.23	2019.3.23
研究セミナー・シンポジウム等	濵田聖子	胆管と交通を認めた感染性肝嚢胞の一例	日本消化器病学会近畿支部第110回例会	京都	2019.3.23	2019.3.23
研究セミナー・シンポジウム等	山﨑由希	肝外病変を標的にLenvatinib治療を導入した2例	日本消化器病学会近畿支部第110回例会	京都	2019.3.23	2019.3.23
研究セミナー・シンポジウム等	伊藤高範	肝外胆管癌術後再発による肝外門脈狭窄に起因する吻合部出血に対して門脈ステント留置が奏効した一例	日本消化器病学会近畿支部第110回例会	京都	2019.3.23	2019.3.23
研究セミナー・シンポジウム等	滝本見吾	食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術の（Per-oral endoscopic myotomy; POEM）の当院導入経緯と治療成績	伏見消化器研究会学術講演会	京都	2019.3.2	2019.3.2
研究セミナー・シンポジウム等	笠原勝宏	PPI関連の話題	第10回深草消化器医療連携の会	京都	2019.3.30	2019.3.30
研究セミナー・シンポジウム等	太田義之	粘膜萎縮の見方	第10回深草消化器医療連携の会	京都	2019.3.30	2019.3.30
研究セミナー・シンポジウム等	水本吉則	上部消化管疾患・大腸ポリープ疫学	第10回深草消化器医療連携の会	京都	2019.3.30	2019.3.30
研究セミナー・シンポジウム等	岩本諭	Endocyteの使用経験	第10回深草消化器医療連携の会	京都	2019.3.30	2019.3.30
研究セミナー・シンポジウム等	滝本見吾	十二指腸腫瘍に対する診断と治療	第10回深草消化器医療連携の会	京都	2019.3.30	2019.3.30
研究セミナー・シンポジウム等	小畑達郎	HBVの抗ウイルス療法	第10回深草消化器医療連携の会	京都	2019.3.30	2019.3.30
研究セミナー・シンポジウム等	前川高天	胃癌内視鏡検診における、より良い観察・撮影法～取り逃しやすい部位の撮影法、効率的ピロリ菌感染状況把握法、胃粘膜萎縮の見方～	平成30年度　京都府がん検診従事者研修会	京都	2019.3.30	2019.3.30

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者）	島伸子、前川高天	Problems Encountered in Clinical Settings 4. Considerations for Transnasal Endoscopy of the Gastrointestinal Tract	Guide for the Management of Thalidomide Embryopathy			66-67			2017
英文論文（筆頭著者以外）	勝島慎二	Antithrombin III for portal vein thrombosis in patients with liver disease: A randomized, double-blind, controlled trial	Hepatology Research	48		E107-E116			2018
英文論文（筆頭著者）	勝島慎二、江坂直樹、遠藤文司、中野重治、米田　俊貴	High Incidence of Non-Liver Cancer Following Direct-Acting Antiviral Therapy for Hepatitis C Virus Infection	Journal of Hepatology & Gastroenterology	2	012			SOAJ	2018
英文論文（筆頭著者以外）	水本吉則	Acute onset of ulcerative colitis during chemoradiotherapy for anaplastic lymphoma kinase-positive lung adenocarcinoma	Respirology Case Reports	6	2				2018
英文論文（筆頭著者以外）	米田俊貴	Importance of the Average Glucose Level and Estimated Glycated Hemoglobin in a Diabetic Patient with Hereditary Hemolytic Anemia and Liver Cirrhosis	Internal Medicine	57		537-543			2018
英文論文（筆頭著者以外）	滝本見吾	Endoscopic tissue shielding to prevent bleeding after endoscopic submucosal dissection: a prospective multicenter randomized controlled trial	Endoscopy	51	3			Thieme	2019
和文原著論文（筆頭著者以外）		2度の著明な形態変化を内視鏡的に観察しえた早期胃癌の1例	Gastroenterological Endoscopy	59	10	2508-2513			2017
和文原著論文（筆頭著者以外）		クラリスロマイシン耐性がヘリコバクター・ピロリ除菌治療に及ぼす影響ー多施設共同レトロスペクティブ研究ー	日本ヘリコバクター学会誌	19	2	127-132			2018
和文原著論文（筆頭著者以外）		トレーニー施行の初回十二指腸乳頭における適切な胆管挿管時間の検討	Gastroenterological Endoscopy	60	3	248-250		日本消化器内視鏡学会	2018
和文原著論文（筆頭著者）		十二指腸上皮性非乳頭部腫瘍の治療を巡って　(6) 偶発症予防対策 : 胆膵ドレナージとPGAシート	臨床消化器内科	33	10	1289-1294		日本メディカルセンター	2018

和文原著論文（筆頭著者）		”うまい! “といわれるクリップ止血術	私の消化器内視鏡 Tips			119		医学書院	2018
和文原著論文（筆頭著者）		十二指腸ESD後の遅発性穿孔予防－ポリグリコール酸シート被履－	消化器内視鏡	30	4	528-529		東京医学社	2018
和文総説・著書（筆頭著者以外）		2015-2016〔DVD付き〕第10回近畿ESDライブセミナー						金原出版社	2018
和文総説・著書（筆頭著者）		（第7章）その他　2. 消化器用薬	レジデントノート増刊	20	11	154-164		羊土社	2018
和文原著論文（筆頭著者以外）		正中弓状靱帯症候群による後上膵十二指腸動脈瘤破裂によりショックを呈し，後腹膜血腫による十二指腸閉塞症状を来した1例	日本救急医会雑誌	29	1	30-35		日本救急医学会	2018
和文総説・著書（筆頭著者）		Voice Capture（内視鏡検査　音声所見入力支援システム）Endoscopic Findings Input Technology（E-FIT: イー・フィット）－内視鏡業務短縮と内視鏡データベース構築を目指して－－JED（Japan endoscopy Databese）. 対応－	消化器疾患の最新医療 2018 技術資料編			258-261		先端医療技術研究所	2018
和文総説・著書（筆頭著者以外）		京都市における胃内視鏡健診の取り組み	日本消化器がん検診学会雑誌	57	1	30-45		日本消化器がん検診学会	2019
和文総説・著書（筆頭著者以外）	滝本見吾	食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術（Per-Oral Endoscopic Myotomy; POEM）の当院導入経緯と治療実績	伏見医報	707		7（321）		伏見医師会	2019

循環器内科

部長
診療科長
赤尾　昌治

専門医資格等　日本循環器学会認定循環器専門医、代議員（社員）、
近畿支部評議員
日本内科学会認定内科医、指導医、近畿支部評議員
日本不整脈心電学会評議員
日本心血管脳卒中学会評議員
京都大学臨床教授、非常勤講師

専 門 分 野　心房細動、不整脈、臨床疫学

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医長 カテ室チーフ 医療安全管理副部長	阿部　　充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本心血管インターベンション治療学会専門医、指導医、代議員	心臓および末梢動脈カテーテル検査・治療、CTO（慢性完全閉塞）治療、造影剤腎症、医学統計	
医　　長 CCUチーフ	益永　信豊	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会専門医 腹部大動脈ステントグラフト実施医	冠動脈カテーテル治療、末梢動脈カテーテル治療、大動脈ステントグラフト治療	
医　　師 不整脈チーフ	小川　　尚	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医	不整脈、電気生理、カテーテルアブレーション治療、デバイス治療	
医　　師	井口　守丈	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	心不全、循環器領域の画像診断	
医　　師	石井　　充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医	狭心症・心筋梗塞・閉塞性動脈硬化症などのインターベンション、循環器全般	
医　　師	安　　珍守	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医	不整脈、カテーテルアブレーション治療、デバイス治療	
医　　師	土井　康佑	日本内科学会認定内科医	循環器一般	
専修医	青野　佑哉	日本内科学会認定内科医	循環器一般	
専修医	池田　周平	日本内科学会認定内科医	循環器一般	
専修医	石上健二郎		循環器一般	
展開医療研究部部長	長谷川浩二	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医専門医 アメリカ心臓協会専門医（FAHA） アメリカ心臓病学会専門医（FACC） 日本禁煙科学会認定　禁煙支援医	心不全、虚血性心疾患、心血管危険因子管理・特に禁煙指導、心血管展開医療研究	

展開医療研究部室長	和田　啓道	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	循環器学、リスクファクター管理、予防医学	
リハビリテーション科医長	中島　康代	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 総合内科専門医・指導医	循環器一般、心臓リハビリテーション	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本循環器学会認定循環器研修施設 日本心血管インターベンション治療学会認定教育施設 日本不整脈学会認定不整脈専門医研修施設

診療科モットー：「地域、世界、そして将来に貢献する循環器内科」
1.「地域」：命を守る責任感をもって、信頼される地域医療を提供すること
2.「世界」：より良い医療を探求する情熱を持ち、世界に向けて情報発信すること
3.「将来」：指導者として人を教え育て、学習者として人から学び成長すること

「地域」は診療、「世界」は研究、「将来」は教育をあらわしています。診療・研究・教育の3本柱は、それぞれが互いを刺激して高めあう関係にあります。この3本柱がバランス良くしかも高いレベルで達成されていること、これが我々の診療科の目指す姿であり、また課せられた使命であると考えています。

□ 主な対象疾患

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)
不整脈
心不全、心原性ショック
心筋症、心筋炎
心臓弁膜症
感染性心内膜炎
心膜疾患、心タンポナーデ
高血圧
大動脈瘤、大動脈解離
閉塞性動脈硬化症
静脈血栓症
肺塞栓症

□ 診療（業務）内容

心臓、血管系の疾病全般を扱っています。専門性に偏ることなく、バランスの取れた診療を行っていくよう、常に心がけています。
2014年9月8日に、心臓カテーテル検査室が移転、新装オープンし、「心血管治療センター」として稼働を開始しました。「心血管治療センター」では、冠動脈疾患や末梢動脈疾患に対するカテーテル検査・治療、不整脈疾患に対する電気生理検査・アブレーション治療を行っています。最新鋭のレントゲン透視装置で鮮明な画像が得られるため、より正確な診断と、より確実な治療が行えます。放射線の被ばく量も減少させることができます。より安全で確実に、清潔で快適な環境で、患者さんに検査や治療を受けて頂けるよう、そしてさらにレベルの高い医療を提供して地域に貢献してまいる所存です。
当院は、三次救急病院として地域医療の最後の砦であるという自覚と責任感を持って、絶対に断らない医療を目標としています。医療関係者専用の当科医師への直通電話（循環器ホットライン：075-606-2071)を設けています。24時間365日、緊急症例、診療のご相談、なんでも気軽にお電話下さい。重症度や緊急度によりましては、当科ドクターカーを派遣することも可能です。
高齢化の進むわが国において、心疾患の終末像ともいえる心不全患者が増加の一途を辿っています。心不全の治療には、薬物療法だけでなく、食事療法、心臓リハビリなどの運動療法、訪問介護・看護などを含めた生活の支援も重要になります。当科では、心臓リハビリスタッフ、看護師、栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカー、医師を中心に、心不全チーム医療を充実させ、多職種介入による包括的管理に力を入れています。
また、当科ではつねに多くの臨床研究や、新しい薬剤や医療機器の治験をおこなっており、より有効性・安全性の高い医療を求めて積極的に研究活動を行っています。とくに、当科が中心となって2011年より開始した「伏見心房細動患者登録研究（伏見AFレジストリ）」は、日本の実臨床の現場における心房細動患者の実態を反映するデータとして全国の注目を集めており、その成果を国内や国外の一流学会や論文に発表しております。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
32.9名	1167名	10.3日

外来患者数

1日平均患者数
59.2名

主な手術・検査の件数など

冠動脈カテーテル治療	冠動脈カテーテル検査	下肢動脈カテーテル治療	カテーテルアブレーション
256件	568件	19件	100件

ペースメーカー植込
58件

□ 地域医療連携・広報活動

第11回伏見心血管病勉強会「周術期の抗血栓療法」平成30年10月4日
第5回伏見AFネットワークミーティング 平成30年7月21日

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
研究セミナー・シンポジウム等	赤尾　昌治	伏見AFレジストリからみた抗凝固療法の現状と問題点	第5回日本心血管脳卒中学会シンポジウム「心脳血管病のリアルワールドエビデンス」	東京	2018.6.15	2018.6.15
研究セミナー・シンポジウム等	赤尾　昌治	高齢心房細動患者における抗凝固療法を考える	第60回日本老年医学会学術集会シンポジウム「高齢者の抗血栓療法をいかになすべきか?」	京都	2018.6.16	2018.6.16
国内学会	池田周平, 井口守丈, 小川尚, 青野佑哉, 土井康佑, 安珍守, 石井充, 益永信豊, 中島康代, 和田啓道, 長谷川浩二, 阿部充, 赤尾昌治	心尖部血栓が残存した, たこつぼ型心筋症の1例	第125回日本循環器学会近畿地方会	大阪	2018.6.30	2018.6.30
国内学会	土井 康佑, 石井 充, 青野 佑哉, 池田 周平, 安 珍守, 井口 守丈, 小川 尚, 益永 信豊, 和田 啓道, 中島 康代, 長谷川 浩二, 阿部 充, 赤尾 昌治	心嚢水多量で搬送となり急速に心機能悪化を認めた好酸球性心筋炎の一例	第125回日本循環器学会近畿地方会	大阪	2018.6.30	2018.6.30
国内学会	Yoshimori An, Shuhei Ikeda, Yuya Aono, Kousuke Doi, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Differences in the proportions of specific causes of death among age groups in patients with atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry	第65回日本不整脈心電学会学術大会	東京	2018.7.11-14	2018.7.11-14
国内学会	Hisashi Ogawa, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Increased Adverse Outcomes after Incidence of Major Bleeding in Patients with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry	第65回日本不整脈心電学会学術大会	東京	2018.7.11-14	2018.7.11-14
国内学会	Mitsuru Abe, Kosuke Doi, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Masaharu Akao	The Incidence of Percutaneous Coronary Intervention Procedures in Patients with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF registry	第27回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	神戸	2018.8.2-4	2018.8.2-4

国際学会	M Abe, H Ogawa, S Ikeda, Y Aono, K Doi, Y An, M Ishii, M Iguchi, N Masunaga, M Esato, H Tsuji, H Wada, K Hasegawa, M Akao	The incidence and risk factors of percutaneous coronary intervention procedures in patients with atrial fibrillation	European Society of Cardiology Congress 2018	Munich, Germany	2018.8.25-2018.8.29	2018.8.25-2018.8.29
国際学会	M Esato, Y An, H Wada, K Hasegawa, H Tsuji, H Ogawa, M Abe, M Akao	Impact of atrial fibrillation catheter ablation on the long-term clinical outcome: A propensity score matched analysis from the Fushimi AF Registry	European Society of Cardiology Congress 2018	Munich, Germany	2018.8.25-2018.8.29	2018.8.25-2018.8.29
国際学会	K Doi, M Iguchi, H Ogawa, M Esato, H Wada, K Hasegawa, M Abe, M Akao	Clinical characteristics and outcomes of japanese patients with atrial fibrillation and mitral regurgitation	European Society of Cardiology Congress 2018	Munich, Germany	2018.8.25-2018.8.29	2018.8.25-2018.8.29
国際学会	M Ishii, H Ogawa, Y Aono, S Ikeda, K Doi, Y An, M Iguchi, N Masunaga, M Esato, H Wada, K Hasegawa, M Abe, M Akao	Relationship between diabetes mellitus and a risk of heart failure hospitalization in patients with atrial fibrillation: the Fushimi AF registry	European Society of Cardiology Congress 2018	Munich, Germany	2018.8.25-2018.8.29	2018.8.25-2018.8.29
国際学会	S Ikeda, M Iguchi, Y Aono, K Doi, Y An, M Ishii, N Masunaga, M Esato, H Wada, K Hasegawa, H Ogawa, M Abe, M Akao	Impact of proteinuria on cardiovascular outcomes in Japanese patients with atrial fibrillation	European Society of Cardiology Congress 2018	Munich, Germany	2018.8.25-2018.8.29	2018.8.25-2018.8.29
国際学会	Y An, M Iguchi, Y Aono, S Ikeda, K Doi, M Ishii, N Masunaga, M Esato, H Tsuji, H Wada, K Hasegawa, H Ogawa, M Abe, M Akao	Prognostic impact of paroxysmal versus sustained atrial fibrillation on the incidence of cardiac death and heart failure hospitalization	European Society of Cardiology Congress 2018	Munich, Germany	2018.8.25-2018.8.29	2018.8.25-2018.8.29
国際学会	Masaharu Akao	AF from guidelines to clinical practice: An atrial fibrillation patient with high CHA2DS2-VASc Score, a gastrointestinal bleed and renal impairment	European Society of Cardiology Congress 2018	Munich, Germany	2018.8.25-2018.8.29	2018.8.25-2018.8.29
国際学会	Mitsuru Ishii, Hisashi Ogawa, Yuya Aono, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Yoshimori An, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Relationship between diabetes mellitus and a risk of stroke or systemic embolism in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	European Society of Cardiology Congress 2018	Munich, Germany	2018.8.25-2018.8.29	2018.8.25-2018.8.29
国内学会	山下侑吾、赤尾　昌治	リアルワールドでの超高齢の心房細動患者の特徴と予後：伏見AFレジストリの知見より	第66回日本心臓病学会学術集会シンポジウム	大阪	2018.9.7-9	2018.9.7-9
国内学会	赤尾　昌治	伏見AFレジストリからみた抗凝固療法の現状と問題点	第21回日本栓子検出と治療学会シンポジウム	浦安	2018.10.6	2018.10.6
国内学会	Moritake Iguchi, Yugo Yamashita, Masaharu Akao	Ischemic stroke in patients with acute decompensated heart failure: The KCHF registry	第22回日本心不全学会学術集会	東京	2018.10.11-13	2018.10.11-13
国内学会	赤尾　昌治	心房細動と抗凝固療法に関する患者理解度調査：TASK-AF伏見パイロットプログラム	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9
国際学会	Nobutoyo Masunaga, Moritake Iguchi, Mitsuru Ishii, Yoshimori An, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Year-by-year Change of Combination Therapy With Oral Anticoagulant and Antiplatelet Drug for Atrial Fibrillation Patients Since 2011: The Fushimi AF Registry	American Heart Association Scientific Sessions 2018	Chicago, IL, USA	2018.11.10-2018.11.12	2018.11.10-2018.11.12

国際学会	Mitsuru Ishii, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Moritake Iguchi, Yoshimori An, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Risk Factors for Intracranial Hemorrhage and Extracranial Hemorrhage in Patients With Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry.	American Heart Association Scientific Sessions 2018	Chicago, IL, USA	2018.11.10-2018.11.12	2018.11.10-2018.11.12
国際学会	Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii Ishii, Yoshimori An, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Risk Factors of Heart Failure Events in Atrial Fibrillation With Preserved, Mid-Range, and Reduced Left Ventricular Ejection Fraction: The Fushimi AF Registry	American Heart Association Scientific Sessions 2018	Chicago, IL, USA	2018.11.10-2018.11.12	2018.11.10-2018.11.12
国際学会	Yuya Aono, Moritake Iguchi, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.	Risk Factors of New-Onset Heart Failure in Patients With Atrial Fibrillation Patients Without Pre-Existing Organic Heart Disease: The Fushimi AF Registry	American Heart Association Scientific Sessions 2018	Chicago, IL, USA	2018.11.10-2018.11.12	2018.11.10-2018.11.12
国際学会	Syuhei Ikeda, Moritake Iguchi, Yuya Aono, Kosuke Doi, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	The Characteristics and Outcomes of the Elderly Atrial Fibrillation Patients With or Without Oral Anticoagulants in Japanese Clinical Practice: The Fushimi AF Registry	American Heart Association Scientific Sessions 2018	Chicago, IL, USA	2018.11.10-2018.11.12	2018.11.10-2018.11.12
国際学会	Hisashi Ogawa, Yoshimori An, Moritake Iguchi, Kenjiro Ishigami, Yuya Aono, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Characteristics and Clinical Outcomes in Patients With Atrial Fibrillation Classified by Cluster Analysis: The Fushimi AF Registry	American Heart Association Scientific Sessions 2018	Chicago, IL, USA	2018.11.10-2018.11.12	2018.11.10-2018.11.12
国内学会	土井康佑, 石井充, 石上健二郎, 青野佑哉, 池田周平, 安珍守, 井口守丈, 小川尚, 益永信豊, 和田啓道, 中島康代, 長谷川浩二, 阿部充, 赤尾昌治	子宮筋腫の偽閉経療法中に発症した特発性冠動脈解離の一例	第126回日本循環器学会近畿地方会	大阪	2018.11.24	2018.11.24
国内学会	石上健二郎, 安珍守, 青野佑哉, 池田周平, 土井康佑, 石井充, 井口守丈, 小川尚, 益永信豊, 和田啓道, 中島康代, 長谷川浩二, 阿部充, 赤尾昌治.	偽性心室頻拍を合併した中隔副伝導路に対してアブレーション治療を施行した一例	第126回日本循環器学会近畿地方会	大阪	2018.11.24	2018.11.24
国内学会	生野智美, 土井康佑, 石上健二郎, 池田周平, 青野佑哉, 安珍守, 石井充, 井口守丈, 小川尚, 益永信豊, 中島康代, 和田啓道, 長谷川浩二, 阿部充, 赤尾昌治.	臨床的経過に差を認めた左前下行枝近位部閉塞による急性心筋梗塞症例の比較検討	第126回日本循環器学会近畿地方会	大阪	2018.11.24	2018.11.24
国内学会	杤尾　明、益永　信豊、小川　尚、青野　佑哉、中島康代、和田啓道、長谷川浩二、阿部　充、赤尾　昌治	偽腔が部分血栓化した大動脈解離Stanford B型の1例	第222回日本内科学会近畿地方会	大阪	2018.12.15	2018.12.15
国内学会	柏原 英里子、益永 信豊、安 珍守、小川 尚、池田 周平、土井 康祐、石井 充、井口 守丈、阿部 充、赤尾 昌治	植込み型除細動器とカテーテルアブレーションの併用が有用であった、非虚血性心筋症に合併した持続性心室性頻拍の一例	第222回日本内科学会近畿地方会	大阪	2018.12.15	2018.12.15
研究セミナー・シンポジウム等	赤尾　昌治	心房細動の疫学～心房細動タイプとイベント～	第11回植込みデバイス関連冬季大会シンポジウム	東京	2019.2.15	2019.2.15

国内学会	Masaharu Akao	Effectiveness and safety of oral anticoagulants for prevention of cardiac emboli in the contemporary clinical real-world: Current status and future perspectives	第83回日本循環器病学会学術集会総会シンポジウム	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Masaharu Akao	The role and future direction of registry studies in atrial fibrillation	第83回日本循環器病学会学術集会総会シンポジウム	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Atrial Fibrillation Patients Suitable for Left Atrial Appendage Occlusion in Japan: Insights from the Fushimi AF Registry	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Masaharu Akao	Clinical outcomes according to dose reduction criteria of apixaban in Japanese elderly patients with atrial fibrillation: J-ELD AF Registry Subanalysis	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Masaharu Akao	Current anticoagulant use in elderly non-valvular atrial fibrillation patients in Japan: Subanalysis of the ANAFIE registry	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Yoshimori An, Hisashi Ogawa, Ishigami Kenjiro, Shuhei Ikeda, Yuya Aono, Kousuke Doi, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Yoshimori An, Hisashi Ogawa, Ishigami Kenjiro, Shuhei Ikeda, Yuya Aono, Kousuke Doi, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga,	Causes of Death in Atrial Fibrillation Patients with Previous History of Ischemic Stroke: The Fushimi AF Registry	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Yoshimori An, Moritake Iguchi, Ishigami Kenjiro, Shuhei Ikeda, Yuya Aono, Kousuke Doi, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Prognostic Impact of Hemorrhagic and Ischemic Stroke on 30-day and One-year Mortality in Atrial Fibrillation Patients: The Fushimi AF Registry	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Yuya Aono, Moritake Iguchi, Kenjiro Ishigami, Syuhei Ikeda, Kosuke Doi, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Risk factors of heart failure hospitalization in atrial fibrillation patients with HFpEF: The Fushimi AF Registry.	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Kosuke Doi, Moritake Iguchi, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Clinical characteristics and outcomes of low body weight atrial fibrillation patients with or without oral anticoagulants: The Fushimi AF Registry	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Yoshimori An, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Causes and the Clinical Determinants of All-cause Death after Catheter Ablation: The Fushimi AF Registry.	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Yoshimori An, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.	The impact of heart rate on the incidence of cardiac events in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF registry	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31

国内学会	Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Yoshimori An, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	The impact of pulse rate on mortality and morbidity in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF registry	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Syuhei Ikeda, Moritake Iguchi, Kenjiro Ishigami, Yuya Aono, Kosuke Doi, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	The characteristics and clinical outcomes of the Japanese AF patients with high HAS-BLED score: The Fushimi AF Registry	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Mitsuru Ishii, Hisashi Ogawa, Kenjiro Ishigami, Syuhei Ikeda, Yuya Aono, Kosuke Doi, Yoshimori An, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Association between blood pressure levels and cardiovascular events in patients with atrial fibrillation and hypertension: The Fushimi AF Registry	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Nobutoyo Masunaga, Hisashi Ogawa, Kenjiro Ishigami, Yuya Aono, Shuhei Ikeda, Kosuke Doi, Yoshimori An, Mitsuru Ishii, Moritake Iguchi, Hiromichi Wada, Koji, Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Comparison of clinical outcomes in atrial fibrillation patients with atherosclerotic disease: The Fushimi AF Registry.	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Hisashi Ogawa, Yoshimori An, Nobutoyo Masunaga, Moritake Iguchi, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	Anticoagulation with or without antiplatelet therapy in patients with atrial fibrillation and prior stroke: The Fushimi AF Registry	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31
国内学会	Yuji Tezuka, Moritake Iguchi, Hisashi Ogawa, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao	New-onset atrial fibrillation was associated with worse short-term outcomes than previously-diagnosed atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry	第83回日本循環器病学会学術集会総会	横浜	2019.3.29-31	2019.3.29-31

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者）	益永信豊、阿部充、小川尚、青野佑哉、池田 周平,土井康祐、安 珍守、石井充、井口 守丈、和田啓道、長谷川浩二、赤尾昌治	Current Status, Time Trends and Outcomes of Combination Therapy With Oral Anticoagulant and Antiplatelet Drug in Patients With Atrial Fibrillation - The Fushimi AF Registry.	Circ J	82	12	2983-2991			2018.10
英文論文（筆頭著者）	小川尚、安 珍守、池田 周平、青野佑哉、土井康祐、石井充、井口 守丈、益永信豊、和田啓道、長谷川浩二、阿部充、赤尾昌治	Progression From Paroxysmal to Sustained Atrial Fibrillation Is Associated With Increased Adverse Events.	Stroke	49	10	2301-2308			2018.10

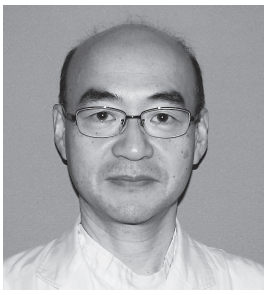
英文論文（筆頭著者）	安 珍守、小川尚、山下侑吾、石井充、井口 守丈、益永信豊、和田啓道、長谷川浩二、阿部充、赤尾昌治	Causes of death in Japanese patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Eur Heart J Qual Care Clin Outcomes	5	1	35-42			2019.1
英文論文（筆頭著者）	安 珍守、石井充、井口 守丈、益永信豊、和田啓道、長谷川浩二、小川尚、阿部充、赤尾昌治	Clinical characteristics and cardiovascular outcomes in patients with atrial fibrillation receiving rhythm-control therapy: the Fushimi AF Registry.	Heart Vessels	33	12	1534-1546			2018.12
英文論文（筆頭著者）	井口 守丈、Tezuka Y、小川尚、高木大輔、安 珍守、鵜木崇、石井充、益永信豊、和田啓道、長谷川浩二、阿部充、赤尾昌治	Incidence and Risk Factors of Stroke or Systemic Embolism in Patients With Atrial Fibrillation and Heart Failure - The Fushimi AF Registry.	Circ J	82	5	1327-1335			2018.4
英文論文（筆頭著者以外）	赤尾昌治	Atrial Fibrillation and Ischemic events with Rivaroxaban in patiEnts with stable coronary artery disease（AFIRE）: protocol for a multicenter, prospective, randomized, open-label, parallel group study	Int J Cardiol.	265	8	108-112			2018.8
英文論文（筆頭著者以外）	赤尾昌治	Prospective observational study in elderly patients with non-valvular atrial fibrillation: rationale and design of the All Nippon AF In the Elderly（ANAFIE）Registry	J Cardiol	72	4	300-306			2018.10
英文論文（筆頭著者以外）	赤尾昌治	Mortality Impact of Post-Discharge Myocardial Infarction Size after Percutaneous Coronary Intervention: A patient-level pooled analysis from the 4 large-scale Japanese studies	Cardiovasc Interv Ther	34	1	47-58			2019.1
英文論文（筆頭著者以外）	山下侑吾、赤尾昌治、尾野亘	Anticoagulation Therapy for Venous Thromboembolism in the Real World -From the COMMAND VTE Registry	Circ J	82	5	1262-1270			2018.4

英文論文（筆頭著者）	井口守丈、赤尾昌治	Under-dose of direct oral anticoagulants: Pros or Cons?	Circ J	83	4	707-08			2019.4
和文総説・著書（筆頭著者）	安 珍守、赤尾昌治	抗凝固薬・抗血小板薬	医薬ジャーナル新薬展望 2018	54		221-228		医薬ジャーナル社	2018.1
和文総説・著書（筆頭著者）	赤尾昌治	心房細動治療に関するリアルワールドデータ	最新医学 別冊 診断と治療のABC	134		113-120		最新医学社	2018.3
和文総説・著書（筆頭著者）	赤尾昌治	抗凝固療法の現状と課題	循環器内科	84		46-52		科学評論社	2018.7
和文総説・著書（筆頭著者）	安 珍守、赤尾昌治	DOAC時代のUnmet Needs - 左心耳閉鎖への期待	循環器内科	84		249-256		科学評論社	2018.9
和文総説・著書（筆頭著者）	井口守丈、赤尾昌治	いわゆるフレイル症例での抗凝固療法の選択と注意点	日本医事新報		4943	34-39		日本医事新報社	2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）	小川尚、赤尾昌治	我が国でのリアルワールドデータの活用・不整脈疾患	循環器ジャーナル	67		146-150		医学書院	2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）	赤尾昌治	救急じゃない心電図：心房期外収縮（多発）	治療 2019	101	3			南山堂	2019.3
和文総説・著書（筆頭著者）	赤尾昌治	Overuse/Underuseを見逃さないプロのみかたと対処法！抗血栓薬（抗凝固薬・抗血小板薬）	薬局	70	2	230-234		南山堂	2019.2
和文総説・著書（筆頭著者）	濱谷康弘、赤尾昌治	心房細動患者における、低体重の意義について	老年医学	57	2	123-127		ライフ・サイエンス	2019.2
和文総説・著書（筆頭著者）	赤尾昌治	心房細動の疫学、common diseaseとしての心房細動	日内会誌	108	2	196-203		日本内科学会	2019.2

小児科

診療科長
浅井　康一

専門医資格等
日本小児科学会専門医・指導医
日本アレルギー学会専門医・指導医
日本小児アレルギー学会評議員
日本小児感染症学会評議員
Infection Control Doctor（ICT）
京都大学医学博士
京都大学医学部　臨床教授
専門分野
小児アレルギー
小児感染症
得意疾患
食物アレルギー
喘息・アトピー



GCU診療科長
黒須　英雄

専門医資格等
日本小児科学会専門医
日本周産期新生児医学会周産期（新生児）専門医
新生児蘇生法「専門」コースインストラクター
国際ラクテーションコンサルタント（IBCLC）
専門分野
新生児
得意疾患
新生児
母乳育児

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	石塚　哲也		小児全般	小児感染症
医　　師	北　　誠	日本小児科学会専門医 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター	小児全般	虐待・遺伝性疾患
医　　師	橋本　有紀子	日本小児科学会専門医 日本人類遺伝学会　遺伝専門医	小児内分泌代謝	低身長・甲状腺 遺伝性疾患
医　　師	阿水　利沙	日本小児科学会専門医 日本周産期新生児医学会　周産期（新生児）専門医	新生児	極・超出生体重児
医　　師	仁井　純子	日本小児科学会専門医	小児全般	
非常勤医師	秋山　佑一	日本小児科学会専門医	血液・腫瘍	心身症
非常勤医師	河田　　興	日本小児科学会専門医 日本周産期新生児医学会 周産期（新生児）専門医・指導医 日本臨床薬理学会　専門医・指導医 日本新生児成育医学会　薬事委員 小児臨床薬理学会　教育委員・運営委員 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター	新生児	妊娠と薬

□ 診療科の特徴

施設認定等	京都大学小児科専門研修プログラム連携施設 周産期（新生児）専門医指定研修施設 日本アレルギー学会専門医教育研修施設

1.お子さんの、心とからだの発達を重視します。
2.スタッフ全員が、新生児から思春期までの小児の診療がおこなえるよう研鑽しています。
3.新生児期から小児期に外科的治療が必要な例には専門施設と円滑に連携をとっています。
（京都大学病院・京都府立医科大学病院等）
4.病気の治療にとどまらず、予防接種による感染症の予防にも力をいれています。
5.長期入院が必要な小・中学生は、学習が継続できるよう院内学級（京都市立桃陽総合支援学校）が利用できます。
6.京都市から委託をうけ院内病児保育を実施し、子供さんが体調不良で登園・登校できない時にも、ご家族の方が仕事を休まずにすむようサポートしています。

□ 主な対象疾患

新生児・低出生体重児（極低出生体重児1500g未満・超低出生体重児1000g未満）・新生児黄疸・糖尿病や甲状腺疾患母体からの出生児・新生児薬物離脱症候群
食物アレルギー・気管支喘息・アトピー性皮膚炎
低身長・甲状腺機能異常・糖尿病・肥満・先天代謝異常・遺伝相談
先天性心疾患・川崎病
てんかん・発達障害・自閉症・心身症・不登校など

□ 診療（業務）内容

1.平成12年から新生児集中治療室（NICU6床）、平成23年から新生児治療回復室（GCU6床）を開設し、産婦人科と密接に協力し24時間体制で赤ちゃんの診療を行っています。
2. 小児病棟（2-3病棟）では、肺炎・胃腸炎・脱水症・熱性痙攣など小児一般急性疾患の入院治療をしており、病棟保育士も常駐しています。
3. 外来診療は、一般外来の他、専門外来（アレルギー、内分泌、神経、心臓、NICUフォローアップ）や予防接種・健診があり、食物アレルギーでの食物経口負荷試験、内分泌疾患での負荷試験や学校検診（心電図・検尿）異常の精査をしています。
外来初診の場合、可能であればかかりつけの先生からの紹介状をご持参ください。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
11.9名	450名	9.6日

外来患者数

1日平均患者数
28.1名

□地域医療連携・広報活動

第438回日本小児科学会京都地方会　一般演題Ⅱ　座長　浅井康一　2018年5月26日（京都府立医科大学附属図書館合同講義棟2F図書館ホール）
京都小児科医会新年学術講演会　特別講演Ⅱ　座長　浅井康一　2019年1月26日（京都ホテルオークラ）
第32回近畿小児科学会　一般演題7　座長　浅井康一　2019年3月17日（国立京都国際会館）

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	黒須英雄、阿水利沙、仁井純子、橋本有紀子、北誠、石塚哲也、河田興、浅井康一	内臓逆位を呈した6番染色体異常の1例	第121回日本小児科学会学術集会	福岡	2018.4.21	2018.4.20-2018.4.22
国内学会	浅井康一	高度貧血を呈した乳児消化管アレルギーの1例	第67回日本アレルギー学会学術大会	千葉	2018.6.23	2018.6.22-2018.6.24
国内学会	浅井康一	関節液IL-6の著名高値を認めた、少関節型若年性特発性関節炎の幼児例	第28回日本小児リウマチ学会総会・学術集会	東京	2018.10.27	2018.10.26-2018.10.28
国内学会	浅井康一	アセトアミノフェンによる急性汎発性発疹性膿疱症の1例	第55回日本小児アレルギー学会	岡山	2018.10.20	2018.10.20-2018.10.21
国内学会	浅井康一	膝関節炎で発症し化膿性関節炎との鑑別を要した、少関節型若年性特発性関節炎の幼児例	第50回日本小児感染症学会総会・学術集会	福岡	2018.11.11	2018.11.10-2018.11.11
国内学会	阿水利沙、橋本有紀子、仁井純子、北誠、石塚哲也、黒須英雄、河田興、浅井康一	陽圧換気中止後に片側肺の巨大嚢胞性病変が縮小消失した極低出生体重児の一例	第72回国立病院機構総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-2018.11.10
国内学会	浅井康一、北誠、仁井純子、阿水利沙、橋本有紀子、石塚哲也、黒須英雄	アセトアミノフェンによる急性汎発性発疹性膿疱症の1例	第32回近畿小児科学会	京都	2019.3.17	2019.3.17

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
和文原著論文（筆頭著者）	河田興, 中嶋尚子, 喜田孝史, 黒須英雄, 阿水利沙, 高倉賢人	エドキサバンのヒト乳汁移行の検討　妊娠・産褥期に処方する経口抗凝固薬（NOAC）における問題点.	日本小児臨床薬理学会雑誌	30	1	12-14			2018.1
英文論文（筆頭著者以外）	和田美智子, 北誠, 日下部徹, 田上哲也, 浅原哲子, 島津章	False-positive TSH receptor antibody-a pitfall on third-generation TSH receptor antibody mesurements in neonates-.	Endocr J.	65	5	587-592			2018.5
英文論文（筆頭著者）	橋本有紀子	Molecular and clinical features of KATP-channel neonatal diabetes mellitus in Japan.	Pediatr. Diabetes	18	7	532-539			2018.11
英文論文（筆頭著者）	北誠, 桑田康弘	Familial congenital choanal atresia with GATA3 associated hypoparathriudusm-deafness-renal dysplasia syndrome unidentified on auditory brainstem response.	Auris Nasus Larynx	Epub					2018

外科

統括診療部長
診療科長
(肝胆膵責任者)
猪飼　伊和夫

専門医資格等　日本外科学会　外科専門医・指導医
日本消化器外科学会　消化器外科専門医・指導医
日本肝胆膵外科学会　評議員・肝胆膵外科高度技能指導医
日本がん治療認定医機構　がん治療認定医
日本消化器外科学会　消化器がん外科治療認定医
日本肝癌研究会幹事・取扱い規約委員
日本臨床外科学会　評議員
京都大学医学部　臨床教授
京都大学　医学博士
専門分野　肝胆膵外科
得意疾患　肝臓がん、胆道がん、膵臓がん

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
がん診療部長 医長 (乳腺責任者)	山﨑　誠二	日本外科学会　外科専門医・指導医 日本乳癌学会　乳腺専門医・指導医 日本臨床腫瘍学会　暫定指導医 日本がん治療認定医機構　がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 ASCO member 京都大学　非常勤講師 京都大学　医学博士	乳腺	乳がん
臨床栄養科長 医長	大谷　哲之	日本外科学会　外科専門医 日本消化器外科学会　消化器外科認定医 京都大学医学部　臨床教授	上部消化管	胃がん 食道がん
医長 (下部消化管責任者)	山口　高史	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会　消化器外科専門医・指導医 日本消化器外科学会　消化器がん外科治療認定医 日本大腸肛門病学会　大腸肛門病専門医・指導医 日本内視鏡外科学会　内視鏡外科技術認定医・技術認定審査員・評議員 京都大学医学部　臨床准教授 京都大学　非常勤講師	下部消化管	大腸がん 骨盤外科
医師	成田　匡大	日本外科学会　外科専門医・指導医 日本消化器外科学会　消化器外科専門医・指導医 日本消化器外科学会　消化器がん外科治療認定医 日本肝胆膵外科学会 評議員・肝胆膵外科高度技能専門医 日本消化器病学会　専門医 Le DiplÔme Inter Universitaire EUROPEAN CANCERS HEPATO BILIO PANCREATIQUES 日本ヘルニア学会　評議員 関西ヘルニア研究会　世話人 京都大学医学部　臨床准教授 京都大学　医学博士	肝胆膵外科	肝臓がん 胆道がん 膵臓がん

医　　師	畑　　啓昭	日本外科学会　外科専門医・指導医 日本消化器外科学会　消化器外科専門医・指導医 日本内視鏡外科学会　内視鏡外科技術認定医・評議員 日本食道学会　食道科認定医 日本がん治療認定医機構　がん治療認定医 日本消化器外科学会　消化器がん外科治療認定医 ICD（インフェクションコントロールドクター） 日本外科感染症学会　周術期感染管理認定医・教育医・評議員・教育委員会委員長・編集委員会委員 日本感染症学会　評議員・臨床研究促進委員会委員 日本化学療法学会　評議員・抗菌化学療法認定医制度審議委員会委員・国際渉外委員会委員 日本化学療法学会・日本感染症学会　薬剤耐性菌感染症を対象とした抗菌薬ガイドライン作成に関する合同委員会委員・Journal of Infection and Chemotherapy, Senior Editor ダ・ヴィンチ　コンソール術者ライセンス取得 京都大学　医学博士	上部消化管	胃がん 食道がん
医　　師	松末　　亮	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会　消化器外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構　がん治療認定医 日本内視鏡外科学会　内視鏡外科技術認定医 内痔核治療法研究会　四段階注射法講習会受講 京都大学　医学博士	下部消化管	大腸がん 肛門疾患
医　　師	山賀　　郁	日本外科学会　外科専門医 日本がん治療認定医機構　がん治療認定医 日本乳癌学会　乳腺認定医 検診マンモグラフィ読影認定医	乳腺	乳がん
医　　師	直原　駿平	日本外科学会　外科専門医	外科一般	
専　修　医	大倉　啓輔			
専　修　医	岡田　はるか			
専　修　医	後藤　健太郎			
専　修　医	吉岡　尚子			
専　修　医	宗景　史晃			

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本消化器外科学会専門医修練施設 日本肝胆膵外科学会認定肝胆膵外科高度技能専門医修練施設A 日本大腸肛門病学会認定施設 日本食道学会食道外科専門医準認定施設 日本乳癌学会関連施設 日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設 JCOG大腸がんグループ参加施設 JCOG胃がんグループ参加施設

1．消化器がんや乳がんなど悪性腫瘍の外科治療を中心に行っています。
2．臓器別（上部消化管・下部消化管・肝胆膵・乳腺）に専門医がおり、専門性が高く高度で安全な外科手術を行っています。
3．腹腔鏡手術を始めとした低侵襲な手術（体への負担が少ない手術）を積極的に行なっている一方、高度進行がんに対しては、必要に応じて拡大手術を行ったり、抗がん剤や放射線を併用した集学的治療を行って臓器温存を図ったりしています。
4．外科医、消化器内科医、放射線科医、腫瘍内科医、病理医が協議して治療方針を検討しています。
各科が必要に応じた治療が可能なため、特定の科の治療にかたよることもありません。

□ 主な対象疾患

食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆嚢がん、胆管がん、膵臓がん、乳がん

□ 診療（業務）内容

消化器がん(食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆嚢がん、胆管がん、膵臓がん)や乳がんを中心とし、腹部良性疾患、肛門疾患や腹部救急疾患の外科治療を行っております。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
42.7名	1133名	13.7日

外来患者数

1日平均患者数
59.8名

手術実績

全手術件数（外来手術含める）	977件
全麻手術	756件
腰麻手術	20件
局麻手術	201件

※うち緊急手術件数183件

主な術式別手術件数

術　　式	手術件数	※うち鏡視下手術 (ポリペクトミー、EMR,ESDなど内視鏡的切除は除く)
食道がん切除術	17	17
幽門側胃切除術（幽門保存胃切除術を含む）	33	29
胃全摘術（噴門側胃切除術を含む）	20	13
結腸切除術	98	98
直腸前方切除術	48	47
直腸切断術	5	5
肝切除術（葉切除以上）	11	1
肝切除術（区域・亜区域切除術）	22	6
肝切除術（上記以外）	20	15
膵頭十二指腸切除術	15	0
膵体尾部切除術（胃がん手術に伴うものは除く）	11	4
膵切除術（その他）	1	0
乳がん手術	76	0
胆嚢摘出術	137	118
脾摘術	0	0
虫垂切除術	49	44
ヘルニア手術（小児を除く）	131	42
良性肛門疾患手術	23	1
小児外科手術（ヘルニアも含む）	9	2

□ 地域医療連携・広報活動

2018/4/7	第143回総合画像診断症例検討会「最近の胃癌治療のトピックス」畑啓昭
2018/4/21	伏見医師会　癌医療病診連携の会「当院における肝胆膵疾患に対するティーエスワンの治療成績」成田匡大

2018/5/12	第83回伏見医師学術集団会「ロボット支援下胃切除を行った1例」畑啓昭　佐治雅史　吉岡尚子 後藤健太郎　岡田はるか　大倉啓輔　直原駿平　山賀郁　松末亮　成田匡大　山口高史　大谷哲之 山﨑誠二　猪飼伊和夫
2018/5/18	愛知県がんセンター中央病院感染対策研修会「適正抗菌薬使用について」畑啓昭
2018/6/10	第3回若手外科医キャリアサポートセミナー「市中病院でのキャリアアップの機会を振り返って」畑啓昭
2018/7/29	「見落としがちな術前・術後のポイント」セミナー「消化器外科の術前・術後管理」畑啓昭
2018/7/31	生命のがん教育推進プロジェクト事業「がん教育」山﨑誠二
2018/8/26	「見落としがちな術前・術後のポイント」セミナー「消化器外科の術前・術後管理」畑啓昭
2018/9/1	第22回京都肝胆膵外科セミナー「肝切除の基本のキ」猪飼伊和夫
2018/9/22	4th Young Surgeon's Forum「セッション2　特別講演　私が考える外科の素敵なところ」畑啓昭
2018/10/19	公立豊岡病院　院内感染対策講演会「手術創感染について」畑啓昭
2018/11/10	第39回伏見医師会　癌医療病診連携の会「乳癌検診により発見された乳癌症例について」山﨑誠二
2018/11/15	メディコン社員研修（Sales Training Seminar）「成人鼠径ヘルニア術後慢性疼痛とONSTEP法について」成田匡大
2018/12/1	平成30年度京都大学外科冬季研究会プログラム「教育講演「外科医に関係する感染症領域の最近の話」」畑啓昭
2018/12/9	研修医のための輸液セミナー「何を　どれだけ　どんな根拠で?」畑啓昭
2018/12/15	日本手術看護学会近畿地区京都ブロックセミナー「手術室看護師が知っておくべき周術期の感染管理」畑啓昭
2019/3/16	第17回東海院内感染対策フォーラム「最近のSSI予防ガイドラインのトッピックス」畑啓昭

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	成田匡大　佐治雅史　松末亮 畑啓昭　山口高史　大谷哲之 猪飼伊和夫	難易度の高い肝切除をいかに容易にするか―肝静脈周囲における超音波吸引破砕装置の安全な使い方―	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018.4.7	2018.4.5 ～ 2018.4.7
国内学会	後藤健太郎　成田匡大 吉岡尚子　大倉啓輔 岡田はるか　直原駿平 前田杏梨　佐治雅史　山賀郁 松末亮　畑啓昭　山口高史 大谷哲之　山﨑誠二 猪飼伊和夫	結腸直腸癌肝転移におけるグリソン鞘浸潤の頻度およびそのリスクファクター	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018.4.6	2018.4.5 ～ 2018.4.7
国内学会	末永尚浩　前田杏梨　成田匡大 佐治雅史　松末亮　畑啓昭 山口高史　大谷哲之 猪飼伊和夫	多発性インスリノーマの1手術例	第118回日本外科学会定期学術集会	東京	2018.4.6	2018.4.5 ～ 2018.4.7
国内学会	山﨑誠二　山賀 郁	食欲低下と頭痛により診断されたLum/HER2乳癌からの脳下垂体転移の1例	第26回日本乳癌学会学術総会	京都	2018.5.16	2018.5.16 ～ 2018.5.18
国内学会	成田匡大	特別講演「成人鼠径ヘルニア術後慢性疼痛に対する取り組み」	第8回北陸ヘルニア研究会	石川	2018.5.26	2018.5.26 ～ 2018.5.26
国内学会	畑啓昭	ワークショップ1　あなたの日常診療を科学にしよう Accepted Paper Session-臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有するー　4.Clinical QuestionからRCTの企画・立案・実施・論文化までの経験	第92回日本感染症学会学術講演会　第66回日本化学療法学会総会　合同学会	岡山	2018.5.31	2018.5.31 ～ 2018.6.2
国内学会	Narita M, Saji M, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.	Pancreatico-gastrostomy in patients with soft pancreatic texture - A feasible and easily applicable procedure	第30回日本肝胆膵外科学会・学術集会	横浜	2018.6.9	2018.6.7 ～ 2018.6.9

国内学会	Okura K, Narita M, Yoshioka S, Goto K, Okada H, Jikihara S, Saji M, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi Y, Otani T, Ikai I.	A rare case with adenoma in the common bile duct associated with familial adenomatous polyposis	第30回日本肝胆膵外科学会・学術集会	横浜	2018.6.9	2018.6.7 〜 2018.6.9
国内学会	佐治雅史　畑啓昭　大谷哲之 直原駿平　松末亮　成田匡大 山口高史　猪飼伊和夫	食道癌術直後に著明な気管膜様部の浮腫を来たし再挿管となった1例	第72回日本食道学会学術集会	宇都宮	2018.6.29	2018.6.28 〜 2018.6.29
国内学会	成田匡大	教育講演5　鼠径ヘルニア手術で知っておくべき神経解剖　-術後神経因性疼痛の発症ゼロを目指して-	第16回日本ヘルニア学会学術集会	札幌	2018.6.30	2018.6.29 〜 2018.6.30
国内学会	成田匡大　大倉啓輔　畑啓昭 松末亮　山口高史　大谷哲之 猪飼伊和夫	パネルディスカッション2 当院における成人鼠径ヘルニア術後難治性慢性疼痛の治療と成績	第16回日本ヘルニア学会学術集会	札幌	2018.6.29	2018.6.29 〜 2018.6.30
国内学会	大倉啓輔　成田匡大　吉岡尚子 後藤健太郎　岡田はるか 直原駿平　佐治雅史　松末亮 畑啓昭　山口高史　大谷哲之 猪飼伊和夫	パネルディスカッション2 鼠径ヘルニア術後に治療が必要な慢性疼痛症例の頻度は？ -当院でのアンケート結果から-	第16回日本ヘルニア学会学術集会	札幌	2018.6.29	2018.6.29 〜 2018.6.30
国内学会	大倉啓輔　成田匡大　吉岡尚子 後藤健太郎　岡田はるか 直原駿平　佐治雅史　松末亮 畑啓昭　山口高史　大谷哲之 猪飼伊和夫	外傷性横隔膜ヘルニアに対し、待機的に腹腔鏡下横隔膜修復術を施行した1例	第16回日本ヘルニア学会学術集会	札幌	2018.6.30	2018.6.29 〜 2018.6.30
国内学会	後藤健太郎　成田匡大 宗景史晃　吉岡尚子　大倉啓輔 岡田はるか　直原駿平 佐治雅史　松末亮　畑啓昭 山口高史　大谷哲之 猪飼伊和夫	COPD併存男性閉鎖孔ヘルニアの治療経験	第16回日本ヘルニア学会学術集会	札幌	2018.6.29	2018.6.29 〜 2018.6.30
国内学会	吉岡尚子　成田匡大　宗景史晃 大倉啓輔　岡田はるか 後藤健太郎　直原駿平 佐治雅史　松末亮　畑啓昭 山口高史　大谷哲之 猪飼伊和夫	外膀胱上窩ヘルニアをDirect Kugel法で修復した1例	第16回日本ヘルニア学会学術集会	札幌	2018.6.30	2018.6.29 〜 2018.6.30
国内学会	成田匡大　佐治雅史　松末亮 畑啓昭　山口高史　大谷哲之 猪飼伊和夫	鼠径ヘルニアに対するbest practice	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018.7.11	2018.7.11 〜 2018.7.13
国内学会	成田匡大	上部消化管手術におけるSSI防止対策-国立病院機構外科麻酔グループへのアンケート調査を中心に-	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018.7.12	2018.7.11 〜 2018.7.13
国内学会	畑啓昭　佐治雅史　大谷哲之 直原駿平　松末亮　成田匡大 山口高史　猪飼伊和夫	長期成績からみた腹腔鏡下胃切除術の適応についての妥当性の検討	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018.7.13	2018.7.11 〜 2018.7.13
国内学会	松末亮　山口高史　後藤健太郎 大倉啓輔　岡田はるか 直原駿平　畑啓昭　成田匡大 大谷哲之　猪飼伊和夫	大腸癌イレウスに対する治療の工夫	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018.7.11	2018.7.11 〜 2018.7.13
国内学会	佐治雅史　直原駿平 松末亮 畑啓昭　成田匡大　山口高史 大谷哲之　猪飼伊和夫	腹膜透析導入後に生じた鼠径ヘルニアに対し根治術を行った4例-腹膜高位結紮を伴うLiechtenstein法-	第73回日本消化器外科学会総会	鹿児島	2018.7.13	2018.7.11 〜 2018.7.13
国際学会	Narita M, Saji M, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.	Double Purse-string Telescoped Pancreaticogastrostomy Using an Atraumatic Self-retaining Ring Retractor Following Pancreaticoduodenectomy - Details of Surgical Procedure and Early Postoperative Outcome	第13回IHPBA世界大会	スイス（ジュネーブ）	2018.9.4 〜 2018.9.7	2018.9.4 〜 2018.9.7

国際学会	Okura K, Narita M, Jikihara S, Maeda A, Saji M, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.	Serum Lipase Level at Postoperative Day 1 is a More Useful Biomarker in Objective Evaluation of Pancreatic Exocrine Function: A Preliminary Study	第13回IHPBA世界大会	スイス（ジュネーブ）	2018.9.4 ～ 2018.9.7	2018.9.4 ～ 2018.9.7
国際学会	Goto K, Narita M, Jikihara S, Maeda A, Saji M, Matsusue R, Hata H, Yamaguchi T, Otani T, Ikai I.	Incidence and Risk Factors of Portal Vein or Bile Duct Invasion in Colorectal Liver Metastases	第13回IHPBA世界大会	スイス（ジュネーブ）	2018.9.4 ～ 2018.9.7	2018.9.4 ～ 2018.9.7
国内学会	大谷哲之	ランチョンセミナー「胃食道逆流のリスクのある経鼻胃管・胃瘻患者における粘度可変型流動食の有用性の検討」	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会	宮地由香里　中野一也 本田芳久　森誠司　田栗貴博 吉川耕平　畑啓昭　小田垣孝雄 奥野博	Antimicrobial Stewardshipにおける薬剤師の役割	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会	岡田はるか　成田匡大 吉岡尚子　宗景史晃 後藤健太郎　大倉啓輔 直原駿平　松末亮　畑啓昭 山口高史　大谷哲之 猪飼伊和夫	胆道再建後の肝切除の術後合併症	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会	後藤健太郎　松末亮　山口高史 吉岡尚子　宗景史晃 岡田はるか　大倉啓輔 直原駿平　畑啓昭　成田匡大 大谷哲之　猪飼伊和夫	外腸骨リンパ節転移を伴う会陰部アポクリン腺癌の一例	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	東京	2018.11.10	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会	畑啓昭	パネルディスカッション：周術期抗菌薬の問題点「予防抗菌薬投与期間適正化への課題」	第88回日本感染症学会西日本地方会学術集会第61回日本感染症学会中日本地方会学術集会第66回日本化学療法学会西日本支部総会　三学会合同開催	鹿児島	2018.11.17	2018.11.16 ～ 2018.11.18
国内学会	成田匡大	学術セミナー 30「なってからでは遅すぎる鼠径ヘルニア術後慢性疼痛　私はこうやって診る!治す!予防する!」	第80回日本臨床外科学会総会	東京	2018.11.24	2018.11.22 ～ 2018.11.24
国内学会	大倉啓輔　成田匡大　宗景史晃 吉岡尚子　後藤健太郎 岡田はるか　直原駿平 佐治雅史　松末亮　畑啓昭 山口高史　大谷哲之 猪飼伊和夫	術前化学療法によりpathoiogical CRが得られた肝内胆管癌の1例	第80回日本臨床外科学会総会	東京	2018.11.22	2018.11.22 ～ 2018.11.24
国内学会	岡田はるか　成田匡大 吉岡尚子　宗景史晃 後藤健太郎　大倉啓輔 直原駿平　松末亮　畑啓昭 山口高史　大谷哲之 猪飼伊和夫	胆嚢腺筋腫症合併早期胆嚢癌の2例	第80回日本臨床外科学会総会	東京	2018.11.24	2018.11.22 ～ 2018.11.24
国内学会	畑啓昭	Pro and Con 2 「大腸手術における術前経抗菌薬　Pro」	第31回日本外科感染症学会学術集会	大阪	2018.11.28	2018.11.28 ～ 2018.11.29
国内学会	畑啓昭	教育委員会企画プログラム 外科でできる抗菌薬適正使用　プレゼンター	第31回日本外科感染症学会学術集会	大阪	2018.11.28	2018.11.28 ～ 2018.11.29
国内学会	畑啓昭	第295回ICD講習会　周術期および院内感染対策「新しい手術部位感染対策ガイドラインについて」	第31回日本外科感染症学会学術集会	大阪	2018.11.29	2018.11.28 ～ 2018.11.29

国内学会	成田匡大　宗景史晃　吉岡尚子 後藤健太郎　岡田はるか 大倉啓輔　直原駿平　松末亮 畑啓昭　山口高史　大谷哲之 猪飼伊和夫	鼠径ヘルニア術後難治性慢性疼痛に対する鏡視下再手術への挑戦	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡	2018.12.7	2018.12.6 〜 2018.12.8
国内学会	畑啓昭	ロボット支援下胃切除術における安全な膵上縁郭清の方法	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡	2018.12.8	2018.12.6 〜 2018.12.8
国内学会	松末亮　山口高史　吉岡尚子 宗景史晃　大倉啓輔 後藤健太郎　岡田はるか 直原駿平　畑啓昭　成田匡大 大谷哲之　猪飼伊和夫	脾弯曲近傍癌に対する腹腔鏡下手術について：我々の考え方	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡	2018.12.8	2018.12.6 〜 2018.12.8
国際学会	Narita M	Abstract TPS474: Adjuvant chemotherapy of S-1 versus S-1 plus metformin for resected pancreatic cancer: A multicenter-randomized-phase II trial.	the 2019 Gastrointestinal Cancers Symposium（ASCO GI）	サンフランシスコ	2019.1.18	2019.1.17 〜 2019.1.19
国内学会	畑啓昭	第297回ICD講習会　抗菌薬の適正使用　4.術後感染予防抗菌薬	第34回日本環境感染症学会総会	神戸	2019.2.23	2019.2.22 〜 2019.2.23
国内学会	畑啓昭	シンポジウム8　SSI対策：ガイドラインの現場での標準化　術前腸管処置の標準化	第34回日本環境感染症学会総会	神戸	2019.2.22	2019.2.22 〜 2019.2.23
国内学会	畑啓昭	ビデオセッション6（シンポジウム）　ICTが見ておきたい手技：SSI予防のための術中手技：消化管外科医の立場から	第34回日本環境感染症学会総会	神戸	2019.2.23	2019.2.22 〜 2019.2.23
国際学会	成田匡大	Laparoscopic Approachi For Patients With Refractory Postoperative Chronic Pain	2019 Annual Meeting	ラスベガス	2019.3.11 〜 2019.3.14	2019.3.11 〜 2019.3.14

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
和文総説・著書（筆頭著者）	畑　啓昭	WHO, CDC, ACS, AORNのSSI防止に関するガイドラインについて. 2018; 25（1）: 3-9,	感染と消毒	25	1	3-9			2018.4
和文総説・著書（筆頭著者以外）	猪飼　伊和夫	特集：イラストで学ぶ解剖学的変異―外科手術アトラス　VI.　肝胆膵外科領域　4.右側肝円索	外科	80	5	534-539			2018.4
英文論文（筆頭著者）	山賀　郁	Vascular branching point counts using photoacoustic imaging in the superficial layer of the breast: A potential biomarker for breast cancer.	Photoacoustics.	11		6-13			2018.6
和文総説・著書（筆頭著者）	畑　啓昭	REPORT Discover Local and Global 第33回日本環境感染学会総会・学術集会　Professional SCOPE.	INFECTION CONTROL.	27	7	7-8			2018.7

英文論文（筆頭著者以外）	猪飼　伊和夫	A Prospective, Randomized Phase II Study of Adjuvant Gemcitabine Versus S-1 After Major Hepatectomy for Biliary Tract Cancer (KHBO 1208): Kansai Hepato-Biliary Oncology Group.	Ann Surg.	270	2	230-237			2018.10
和文総説・著書（筆頭著者）	畑　啓昭	SSIガイドライン	消化器外科	41	12	1617-1623			2018.11
和文総説・著書（筆頭著者）	畑　啓昭	～疾患別・臨床事例の全診療行為～ カルテ・レセプトの原風景 カルテ204　胃癌 ロボット支援下の胃切除術	月刊　保険診療	73	11	82-84			2018.11
和文総説・著書（筆頭著者）	畑　啓昭	V-4.　術後感染予防抗菌薬	厚生労働省委託事業 平成30年度院内感染対策講習会テキスト			88-92	一般社団法人日本感染症学会		2018.11
和文総説・著書（筆頭著者）	畑　啓昭	必須手技の「キホン」を理解！　速攻解説・基本手技③　胃管の挿入と管理のコツ Dr.畑の臨床メモ	必須手技の「キホン」を理解！ 速攻解説・基本手技③　胃管の挿入と管理のコツ　Dr.畑の臨床メモ			1月31日		日本医事新報社	2018/11
和文総説・著書（筆頭著者）	畑　啓昭	私を変えたあの一言	INFECTION CONTROL	28	1	1			2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）	畑　啓昭	Ⅴ.医療手技に関連する感染症　4.手術部位感染（SSI）	感染症最新の治療　2019-2021			224-226		南江堂	2019.2
英文論文（筆頭著者以外）	畑　啓昭	A Phase 2 Study of Induction Chemotherapy Using Docetaxel, Cisplatin, and S-1 for Gastric Cancer with Peritoneal Metastasis (KUGC06).	Ann Surg Oncol.	26	6	1779-1786			2019.2
英文論文（筆頭著者）	成田　匡大	Do not open Pandora's box!	Asian J Endosc Surg.	12	2	246			2019.2
和文総説・著書（筆頭著者）	畑　啓昭 岡田　はるか	Ⅱ処置・手技　3.縫合の基本：糸の太さや材質について知っておくべきこと	ER・ICU　100のピットフォール			32-33		中外医学社	2019.3
和文総説・著書（筆頭著者）	畑　啓昭 後藤　健太郎	Ⅱ処置・手技　4.留置ドレーン・管類の管理：早期抜去に向け考えるべきこと	ER・ICU　100のピットフォール			34-35		中外医学社	2019.3
和文総説・著書（筆頭著者）	畑　啓昭 大倉　啓輔	Ⅱ処置・手技　5.胃管挿入の基本	ER・ICU　100のピットフォール			36-37		中外医学社	2019.3

整形外科

診療科長
中川　泰彰

専門医資格等　日本整形外科学会専門医
専 門 分 野　スポーツ、軟骨、関節
得 意 疾 患　膝、肩、肘関節

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　長	山 田　　茂	日本整形外科学会専門医	股関節、膝関節	股関節
医　　師	山 本　博 史	日本整形外科専門医 日本手外科学会専門医 日本マイクロサージャリー学会評議員	上肢外科、マイクロサージャリー	上肢外科、四肢外傷
医　　長	向 井　章 悟	日本整形外科学会専門医	スポーツ、膝、肩、小児	膝、肩
医　　師	宮 田　誠 彦	日本整形外科学会専門医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医 脊椎脊髄病医	脊椎、脊髄外科	頚椎症、OPLL、上位頸椎疾患、リウマチ頚椎症、脊髄腫瘍、腰椎すべり症、変性側弯症
医　　師	坪 内　直 也	日本整形外科学会専門医	脊椎	脊椎一般
医　　師	薮 本　浩 光	日本整形外科学会専門医	整形外科一般	
医　　師	浅 妻　　敢		整形外科一般	
専 修 医	前 田　峻 宏		整形外科一般	
専 修 医	赤 松　翔 太		整形外科一般	
医　　師	山 本　一 博			

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本整形外科学会研修施設 日本脊椎脊髄病学会認定　脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設 脊椎脊髄外科指導医　　常勤施設

1. スポーツ、肩、肘、手関節・手、股関節、膝関節、脊椎、小児整形外科のそれぞれのスペシャリストがいます。
2. 救命救急センターとタイアップし、様々な外傷にも対応しています。
3. 脊椎・脊髄外科は後頭骨～頸胸椎・腰椎～骨盤までインスツルメンテーション手術に対応。ナビゲーションシステムを使用し、精緻な手術を心がけている（特に頸胸椎）。脊髄誘発電位を使用し、手術の安全性の向上に努めている。
4. スポーツ医学センターを併設し、発育期、競技スポーツ、中高年のスポーツ復帰のリハビリも行っています。
5. 骨軟骨疾患に対する自家骨軟骨移植術の件数は、日本最多で、中期成績も優秀です。

□ 主な対象疾患

様々な関節の変形性関節症、肩関節脱臼、腱板断裂、膝靱帯損傷、様々な脊椎疾患、離断性骨軟骨炎などのスポーツ障害

□ 診療（業務）内容

スポーツ、肩、肘、手関節・手、股関節、膝関節、脊椎、小児整形外科のそれぞれの専門家が執刀する手術（安定した治療成績が獲得できています）及び、外来での経過観察や保存的治療を行っています。術後のリハビリは疾患に応じて、当院リハビリ科とスポーツ医学センターで行っており、特に、スポーツ医学センターでは、術後のスポーツ復帰だけでなく、再受傷予防などの対策も立てています。また、外来通院による保存的治療としてのリハビリも行っています。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
41.8名	720名	20.5日

外来患者数

1日平均患者数
76.3名

主な術式別手術件数

頸椎手術	胸腰椎手術	人工股関節置換術	人工膝関節置換術
33件	100件	56件	53件

自家骨軟骨移植術
49件

□ 地域医療連携・広報活動

京都府軟式野球連盟からの依頼により、2011年からスポーツ医学センターにて、小中学生野球選手のメディカルチェックを行っています。

・少年野球におけるスポーツ障害の予防と対策
　平成30年度京都府軟式野球連盟指導者研修会　2018.6.2　京都、日本（向井章悟）
・後輩達に伝えたい臨床研究のコツとその結果
　第10回スポーツ整形に親しむ会　2018.10.28　京都、日本（中川泰彰）
・スポーツ医学のあれこれ―相撲、健康寿命延伸からドーピングまで―
　京都薬科大学「京薬論集刊行会」主催第16回文化講演会　2018.11.11　京都、日本（中川泰彰）
・子供の成長と骨関節疾患（少年野球に対する野球検診について）
　平成30年度「府民のスポーツに関する悩みを解消するスポーツ医事相談」 2018.11.17　京都、日本（中川泰彰）

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	坪内直哉、宮田誠彦、三輪晶子、藪本浩光、向井章悟、山田茂、中川泰彰	Scapula retraction法を用い頸胸椎移行部の側面透視の有用性―頸椎後方手術における透視可能範囲拡大の工夫―	第47回脊椎脊髄病学会学術集会	神戸	2018.4.12	2018.4.12-15
国内学会	中川泰彰、向井章悟、藪本浩光	相撲競技が頸椎に与える影響―高校大学新入部員の頸椎X線検診の比較―	第91回日本整形外科学会学術総会	神戸	2018.5.24	2018.5.24-27
国内学会	中川泰彰、向井章悟、藪本浩光、三輪晶子、赤松翔太	早期変形性膝関節症に対する自家骨軟骨移植術の治療成績	第91回日本整形外科学会学術総会	神戸	2018.5.26	2018.5.24-27
国内学会	藪本浩光、中川泰彰、山田茂、向井章悟、宮田誠彦	広範囲大腿骨骨軟骨損傷に対する自家骨軟骨移植術の治療成績	第91回日本整形外科学会学術総会	神戸	2018.5.26	2018.5.24-27
国内学会	赤松翔太、中川泰彰、山田茂、向井章悟、宮田誠彦、太田英吾、坪内直也、藪本浩光、三輪晶子	距骨骨軟骨障害に対する骨軟骨移植術の治療成績	第91回日本整形外科学会学術総会	神戸	2018.5.26	2018.5.24-27

国内学会	横田尚子、中川泰彰、向井章悟、藪本浩光、井上直人、伊藤盛春	ジュニア期の器械体操競技選手における疼痛発生部位の調査	第10回JOSKAS	福岡	2018.6.15	2018.6.14-16
国内学会	向井章悟、中川泰彰、藪本浩光、三輪晶子	大腿骨内顆骨壊死に対する自家骨軟骨移植術施行後のドナー採取部の変化について	第10回JOSKAS	福岡	2018.6.15	2018.6.14-16
国内学会	井上直人、中川泰彰、向井章悟、横田尚子	小学生軟式野球選手における投球障害肘発症時の体幹筋機能の変化	第44回日本整形外科スポーツ医学会学術集会	徳島	2018.9.8	2018.9.7-9
国内学会	前田峻宏、中川泰彰、向井章悟	大腿骨外側顆軟骨損傷に対する骨軟骨柱移植18年経過後の再鏡視像についての考察	第29回日本臨床スポーツ医学会学術集会	札幌	2018.11.2	2018.11.2-3
国内学会	中村亮太、中川泰彰、前田峻宏、向井章悟	健常膝ドナーで再手術が必要となった1例	第29回日本臨床スポーツ医学会学術集会	札幌	2018.11.2	2018.11.2-3
国内学会	伊藤盛春、中川泰彰、向井章悟、新宮信之、井上直人、横田尚子	学童期少年野球選手における体力テストの経年変化と投球障害肘発生との関連について	第29回日本臨床スポーツ医学会学術集会	札幌	20185.11.2	2018.11.2-3
国内学会	中川泰彰	膝蓋大腿関節骨軟骨障害に対する自家骨軟骨移植術	第35回膝関節フォーラム	東京	2018.12.1	2018.12.1
国際学会	Hiroshi Yamamoto	Extended dorsocommissural flap for finger coverage: clinical study.	73rd annual meeting of American Society for Surgery of the Hand	Boston	2018.9.13	2018.9.13-15

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者以外）	向井章悟、山田茂、中川泰彰	Domino osteochondral autograft transplantation for osteonecrosis of the knee and femoral head: A case based review	J Orthop Sci			S0949-2658（18）30172-6. doi:10.1016/j.jos.			2018.8
英文論文（筆頭著者以外）	中川泰彰、向井章悟	Ultrasound parameters for human osteoarthritic subchondral bone ex vivo: comparison with micro-computed tomography parameters.	Ultrasound in Med. & Biol	44		2115-2130			2018.10
和文原著論文（筆頭著者）		外側型変形性膝関節症に対する大腿骨遠位内反骨切り術の治療成績	中部整災誌	61		855-856			2018.11
英文論文（筆頭著者以外）	中川泰彰、向井章悟	Resection-induced levelling of the elevated plug cartilage inosteochondral autologous transplantation of the knee achieves acceptable clinical results.	Am J Sports Med	46	3	617-622			2018.4

英文論文（筆頭著者）	樽見映里、中川泰彰、向井章悟、藪本浩光、中村孝志	The clinical outcomes and the ability to sit straight in the Japanese stttyle following high tibial osteotomy combined woth osteochondral autologous transfer for osteonecrosis of the medial femoral condyle	J Orthop Sci	24	1	136-141			2019.1
和文原著論文（筆頭著者）	山本博史	幼児小指骨折に対する整復固定の工夫	整形外科	70		259-262			2019.1
和文原著論文（筆頭著者）	山本博史	手部全周性デグロービング損傷の2例からの教訓	日手会誌	35		971-975			2019.3
和文原著論文（筆頭著者）	三輪晶子、中川泰彰、向井章悟	10代に発生した大腿骨滑車部軟骨損傷及び離断性骨軟骨炎に対して行った自家骨軟骨移植術後のスポーツ復帰について	整スポ会誌	38		147-150			2018.5
和文原著論文（筆頭著者）	向井章悟、中川泰彰、藪本浩光、新宮信之、井上直人、伊藤盛春	野球における外傷・障害調査と予防対策：野球検診の義務化により異常所見の検出率はどう変わったか	日臨スポ会誌	29		149-152			2019.1

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
和文総説・著書（筆頭著者）	井上　直人、中川　泰彰、向井　章悟、新宮　信之、伊藤　盛春	少年野球選手に対する野球検診義務化の取り組み	別冊整形外科	73		29-32	安達　伸生	南江堂	2018.4

形成外科

診療科長
荒田　順

専門医資格等　日本形成外科学会専門医
日本手外科学会専門医
日本創傷外科学会専門医
京都大学　臨床教授
小児形成外科分野指導医
乳房再建用インプラント・エキスパンダー責任医師
専 門 分 野　手外科・先天異常

□スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	鈴木　茉友	日本形成外科学会専門医	形成一般	乳房
医　　師	丸川　雄大	日本形成外科学会専門医	形成一般	
医　　師	海透　修子		形成一般	
専 修 医	熊切　将宜		形成一般	

□診療科の特徴

施設認定等	日本形成外科学会認定施設 日本手外科学会認定基幹研修施設

□主な対象疾患

先天異常、皮膚・皮下軟部腫瘍、顔面外傷、手外科、瘢痕拘縮、頭頸部・乳房再建

□診療（業務）内容

当科では

・手足、顔面、体幹の先天異常をはじめとする小児形成外科
・整容を重視した眼瞼下垂、内反症および外反症などの眼瞼形成
・体表における腫瘍の切除、皮膚潰瘍に対する皮膚移植、遊離皮弁による潰瘍の閉鎖などの皮膚疾患に対する整容面に配慮した外科治療
・顔面骨骨折を中心とする顔面外傷に対する整容を重視した治療、口腔外科と合同で行う顎顔面外科
・切断指を含む手外科疾患の初期治療から二次的な機能再建
・頭頸部外科と合同で頭頸部癌に対する癌切除後の機能損失を最小限にすることを目的としたマイクロサージャリーを駆使した組織移植を積極的に行い、乳腺外科との合同で乳がんに対する乳房再建を手がけています。
・レーザー：ルビーレーザー（黒、茶あざ、しみ）、Ｖビーム（血管腫）、ＣＯ２レーザー（小腫瘍の蒸散、瘢痕の修正）を所持しており、美容を目的としたしみに対するレーザー治療など幅広い治療を行っています。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
7.9名	228名	12.1日

外来患者数

1日平均患者数
19.7名

主な術式別手術件数

皮膚皮下腫瘍	眼瞼形成	顔面骨骨折および外傷	手外科
398件	63件	112件	76件

マイクロサージャリー
38件

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	荒田順　鈴木茉友　海透修子 丸川雄大　熊切将宜	Dupuytren 拘縮に対するコラゲナーゼ注射療法	第61回日本形成外科学会総会	福岡	2018.4.12	2018.4.11- 2018.4.13
国内学会	鈴木茉友　荒田順　海透修子 丸川雄大　熊切将宜	Basal cell carcinoma with matrical differentiation の1例	第61回日本形成外科学会総会	福岡	2018.4.11	2018.4.11- 2018.4.13
国内学会	熊切将宜　荒田順　鈴木茉友 海透修子　丸川雄大	形成外科局所麻酔手術におけるデクスメデトミジン投与 の有用性に関する検討	第61回日本形成外科学会総会	福岡	2018.4.13	2018.4.11- 2018.4.13
国内学会	荒田順　海透修子　丸川雄大 熊切将宜	当院における頭頚部腫瘍切除後再建症例の検討	京都大学集談会	京都	2018.5.12	2018.5.12
国内学会	荒田順　鈴木茉友　海透修子 丸川雄大　熊切将宜	ラクトソーブをより使いやすくするために開発された増し締めドライバーの使用経験	第10回創傷外科学会	埼玉	2018.7.5	2018.7.5- 2018.7.6
国内学会	荒田順	ガイドラインシンポジウム 多合趾症	第27回日本形成外科学会基礎学術集会	東京	2018.10.17	201810.17- 2018.10.18
国内学会	荒田順　鈴木茉友　海透修子 丸川雄大　熊切将宜	腸間膜モニタリング法における精度と合併症について	第36回頭蓋顎顔面外科学会	札幌	2018.10.10	2018.10.10- 2018.10.11

脳神経外科

副院長
脳神経センター長
塚原　徹也

専門医資格等
　日本脳神経外科学会
　専門医/ 指導医
　日本脳卒中学会
　専門医/ 指導医
　日本脳卒中の外科学会
　技術指導医
　京都大学医学部　臨床教授
　京都大学医学博士
専門分野
　脳神経外科
得意疾患
　脳血管障害
　脳卒中の外科的治療

診療科長
福田　俊一

専門医資格等
　日本脳神経外科学会
　専門医/ 指導医
　日本脳卒中学会
　専門医/ 指導医
　日本脳卒中の外科学会
　技術指導医
　京都大学医学博士
専門分野
　脳神経外科
得意疾患
　脳動脈瘤
　良性脳腫瘍
　頭蓋底手術
　バイパス術

□スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　長	青木　友和	日本脳神経外科学会　専門医/指導医 日本脳卒中学会　専門医 日本癌治療学会　暫定教育医 京都大学医学博士	脳神経外科	脳腫瘍（悪性）、下垂体腫瘍、顔面痙攣、三叉神経痛
医　　師	川上　　理	日本脳神経外科学会　専門医/指導医 日本脳卒中学会　専門医 日本脳卒中の外科学会　技術指導医 日本脳神経血管内治療学会　専門医 日本神経内視鏡学会　技術認定医 日本脊髄外科学会　認定医 京都大学医学博士	脳神経外科	脳血管障害
医　　師	河原﨑　知	日本脳神経外科学会　専門医	脳神経外科	
医　　師	土井　健人	日本脳神経外科学会　専門医 日本脳卒中学会　専門医 日本神経内視鏡学会　技術認定医	脳神経外科	脳血管障害 脳腫瘍

□診療科の特徴

施設認定等	日本脳神経外科学会研修施設

1. 当科は、脳卒中や頭部外傷などの脳神経外科領域の救急疾患に２４時間対応し、地域救急医療に貢献していると同時に、困難な脳神経系疾患に対して集約的な治療も行っています。
2. 脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷、脊髄疾患など脳神経外科領域全般にわたって、患者さんの入院および外来加療を行っています。
3. 脳神経外科領域の疾患では、緊急に手術等の処置を行わなければ生命にかかわる場合もあれば、逆に病気はあるものの、定期的に外来で経過を観て行くことが適当である場合もあります。
4. 上記3.のような場合を除けば、手術をすべきかどうかは、その疾患自体だけではなく、症状や年齢、全身状態、手術の難易度、さらには患者さんの性格や家族構成などを考慮して決めるべきであり、たとえ同じ疾患でも個々の患者さんによって方針が異なってきます。
5. 私たちは、患者さんご自身やご家族に充分に病気についての説明をし、相談をした上で、インフォームドコンセントをとり、その上で適切な治療方針をとることが大切であると考えています。
6. いったん手術が必要であると決まった場合には、たとえ難易度の高い手術でも、従来の顕微鏡を用いた開頭手術に加え、血管内手術や神経内視鏡手術などの様々な手術法を用い、積極的に治療を行っています。

□主な対象疾患

・脳血管障害（脳梗塞・クモ膜下出血・未破裂脳動脈瘤・脳内出血・その他の脳血管障害）
・脳腫瘍（グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・頭蓋咽頭腫）
・神経内視鏡手術
・頭部外傷
・機能的脳神経外科（顔面けいれん・三叉神経痛）

□診療（業務）内容

・脳血管障害（脳梗塞に対する血行再建術・破裂および未破裂脳動脈瘤に対するクリッピング術および脳動静脈奇形・脳内出血に対する開頭摘出術、内視鏡手術）
・脳神経血管内治療(脳動脈瘤塞栓、ステント設置、腫瘍塞栓、脳動静脈奇形塞栓、急性期血管血行再建など)
・脳腫瘍（グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・髄膜腫・頭蓋咽頭腫）に対する摘出術
・神経内視鏡手術 (下垂体腫瘍、脳室内腫瘍、水頭症、脳内出血など)
・頭部外傷(血腫除去術)
・脊椎脊髄疾患
・機能的脳神経外科（顔面けいれん・三叉神経痛に対する神経減圧術)
・頭蓋底および頚部腫瘍: 腫瘍摘出および血行再建術

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
17.9名	262名	22.1日

外来患者数

1日平均患者数
27.7名

□ 地域医療連携・広報活動

第16回脳卒中市民講座　2018年12月1日　於：京都医療センター

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会	M.Fukuda, S.Fukuda, T.Tsukahara, N.Asahara, K.Hasegawa, A.Shimatsu	Excessive Shear Stress Sensing on the Arterial Endothelium Initiates Cerebral Aneurysm Formation.	Experimental Biology 2018	SanDiego, California	2018.4.23	2018.4.21-25
国際学会	Tetsuya Tsukahra	Carotid artery endoarterectomy: How I do it	9th European-Japanese Cerebrovascular Congress	Italy, Mirano	2018.6.9	2018.6.7-9
国内学会	塚原徹也	血管性認知症の治療	第2日本脳神経外科認知症学会学術総会	東京	2018.6.23	
その他	川上 理	当院での急性期脳血行再建術について	STROKE研究会	京都	2018.7.6	2018.7.6
その他	川上 理	当院での急性期脳血行再建術について	stroke oriented ..研究会	京都	2018.9.1	2018.9.1
国内学会	福田俊一	頸動脈狭窄症の血行力学的分布の検討「計算流体力学（CFD）解析を用いた内頚動脈狭窄症における血行力学的因子の役割」中間報告	日本脳神経外科学会第77回学術総会	仙台	2018.10.10	2018.10.10-13
国内学会	青木友和、河鰭憲幸	膠芽腫の緩和・終末期ケアの現状と問題点	日本脳神経外科学会第77回学術総会	仙台	2018.10.10	2018.10.10-13

国内学会	川上　理、小泉三輝、 河原﨑　知、土井健人、 大谷　良、福田俊一、塚原徹也	急速進行性糸球体腎炎治療中に発症したくも膜下出血に脳血管内治療を行った1例	日本脳神経外科学会第77回学術総会	仙台	2018.10.10	2018.10.10-13
国内学会	土井健人、河原﨑　知、 川上　理、西川智文、青木友和、 福田俊一、塚原徹也	破裂した小さな中大脳動脈M1部脳動脈瘤の2症例	日本脳神経外科学会第77回学術総会	仙台	2018.10.10	2018.10.10-13
国内学会	福田俊一	計算流体力学（CFD）解析を用いた脳血管障害の血流解析臨床研究について：2つのNHOネットワーク共同臨床研究	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-11
国内学会	川上　理、土井健人、 河原﨑　知、大谷　良、 栗田康弘、中村道三、福田俊一、 塚原徹也、髙田真基、増田裕一	当院での急性期脳梗塞に対する急性期脳血行再建術への取り組みについて	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9-11
国際学会	Tomokazu Aoki	Phase Ⅰ/Ⅱ Study of Temozolomide Plus Nimustine Chemotherapy For recurrent Malignant Gliomas: Kyoto Neuro-oncogy Group	23rd Annual Meeting and Education day	NewOrleans, Louisiana	2018.11.17	2018.11.15-18
国内学会	川上　理	低濃度NBCAにより髄膜腫栄養血管塞栓術を行った1例	第34回日本脳神経血管内治療学会学術総会	仙台	2018.11.23	2018.11.22-24
その他	川上　理	脳卒中かな？すぐ病院へ行きましょう	第16回脳卒中市民講座	京都	2018.12.1	2018.12.1
国内学会	青木友和、河鰭憲幸	悪性脳腫瘍の緩和・終末期ケアの現状と問題点	第36回日本脳腫瘍学会学術集会	小田原	2018.12.3	2018.12.2-4
その他	塚原徹也	頚動脈狭窄病変の治療について～過去・現在・未来～	第6回KYM集談会	神奈川	2019.2.2	20192.2
その他	川上　理	当院での急性期脳血行再建術について	CHADS2スコアから考える高齢者トータル（脳卒中リハビリの会）	京都	2019.2.28	2019.2.28
国内学会	大谷　良、福田俊一、赤尾昌治	経口抗凝固療法中に発症した脳梗塞巣に関する考察：KOACS Registryサブ解析	第48回日本脳卒中の外科学会学術総会	横浜	2019.3.21	2019.3.21-23
国内学会	福田俊一	頚動脈狭窄症における脳梗塞に対する血行力学的予測因子についての検討：CFD解析を用いて	第48回日本脳卒中の外科学会学術総会	横浜	2019.3.21	2019.3.21-23
国内学会	川上 理	経静脈的NBCA塞栓術にて治療した横静脈S状静脈洞部硬膜動静脈瘻の経験	第48回日本脳卒中の外科学会学術総会	横浜	2019.3.21	2019.3.21-23
国内学会	塚原徹也、福田俊一	経皮的脳血管回収術におけるデバイス別の治療成績の比較	第48回日本脳卒中の外科学会学術総会	横浜	2019.3.21	2019.3.21-23
国内学会	河原﨑　知、川上　理、 土井健人、青木友和、福田俊一、 塚原徹也、小泉三輝、辻誠士郎、 沈　載紀、上田直子、瀬田公一、 八幡兼成	くも膜下出血を発症した血液透析患者の2症例	第48回日本脳卒中の外科学会学術総会	横浜	2019.3.22	2019.3.21-23
国内学会	大谷　良、福田俊一	経抗凝固療法チュの脳梗塞における処方変更のパターンと安全性：KOACS Registryサブ解析	第48回日本脳卒中の外科学会学術総会	横浜	2019.3.22	2019.3.21-23
国内学会	大谷　良、福田俊一、赤尾昌治	経口抗凝固薬内服中に緊急脳血管内血行再建術を実施した脳梗塞患者の特徴：KOACS Registryサブ解析	第48回日本脳卒中の外科学会学術総会	横浜	2019.3.22	2019.3.21-23
国内学会	大谷　良、福田俊一、赤尾昌治	抗凝固薬内服中に発症した脳出血：KOACSレジストリ	第48回日本脳卒中の外科学会学術総会	横浜	2019.3.22	2019.3.21-23

国内学会	福田俊一、塚原徹也	頭蓋内脳血管狭窄症に伴う急性能主幹動脈閉塞症の治療予後	第48回日本脳卒中の外科学会学術総会	横浜	2019.3.23	2019.3.21-23
国内学会	土井健人、大谷　良、福田俊一、赤尾昌治	抗凝固薬処方中に発症した脳虚血の予後規定因子：KOACSレジストリ	第48回日本脳卒中の外科学会学術総会	横浜	2019.3.23	2019.3.21-23

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文原著論文 筆頭者	塚原徹也	Trends in the Management of Cerebrovascular Diseases	Acta Neurochirurgica（Switzerland）Suppl	129			Giuseppe Esposito, Luca Regli, Yasuhiko Kaku, Tetsuya Tsukahara,（Eds.）	Springer	2018
英文原著論文 筆頭者以外	福田俊一、中村道三、大谷良、栗田康弘、髙田真基、増田裕一、河原﨑知、青木友和、赤尾昌治、塚原徹也	Predictors of Cardioembolic Stroke in Japanese Patients with Atrial Fibrillation in the Fushimi AF Registry	Cerebrovasc Dis Extra. 2018	8	2	50-59		KARGER	2018
英文原著論文 筆頭者以上	青木友和、福田俊一、河原﨑知、塚原徹也	Pazopanib-mediated Long-term Disease Stablization after Local Recurrence and Distant Metastasis of Primary Intracranial Leiomyosarcoma: A Case Report on the Efficacy of Pazopanib As a Salvage Therapy	NMC Case Rep J	5		1-7	一般社団法人日本脳神経外科学会	メディカルトリビューン	
和文総説　著書 筆頭者	塚原徹也	血管性認知症の治療 MCIの診断と治療 ―treatable dementia―	第2回日本脳神経外科認知症学会学術総会講演集			86-92		創風社	2018

血管外科

診療科長
浅田　秀典

専門医資格等　心臓血管外科専門医
日本外科学会専門医
日本脈管学会評議員
旭川医科大学　医学博士

専門分野　血管外科（閉塞性動脈硬化症、動脈瘤、急性動脈閉塞、血管炎、血管外傷に対する各種血行再建術）、静脈、リンパ疾患

□診療科の特徴

1．あらゆる診療科や地域医療機関で直面した血管疾患の問題に迅速に対応してまいります。
2．患者さんには診療内容に対する十分な説明と満足な治療成果が得られるよう努力いたします。

2006年（平成18年）4月に発足した、主に末梢動脈疾患に対する血行再建を担当する診療科です。
近年、糖尿病や腎不全による慢性透析患者さんが増加するとともに、閉塞性動脈硬化症例（ASO）が増加しています。
閉塞性動脈硬化症とは、動脈硬化による下肢血流障害により各種症状（歩行時の下肢の痛み、安静時の足の痛みおよび足部潰瘍・壊死）を生じ、最終的には下肢切断にも至る疾患です。
このような症例には、迅速な診断とともに適切な治療が必要で、時には技術的に困難とされる足関節周囲への末梢バイパス手術と適切な局所処置が必要となります。
当科は、京都では数少ない血管外科専門科として日々下肢血流障害の治療にあたっています。
患者さんの多くは動脈硬化性の全身合併症があり、術前評価には循環器内科、脳神経外科、また、術前後には麻酔科はもちろん、糖尿病内科、腎臓内科、形成外科、整形外科、皮膚科などとの協力が必要で、各科連携した総合的診療を心がけています。

□主な対象疾患

大動脈疾患（腹部大動脈瘤、大動脈解離など）
閉塞性動脈硬化症（糖尿病合併症例、慢性透析例を含む）
閉塞性血栓血管炎（バージャー病）
急性動脈閉塞症（血栓症、塞栓病、外傷など）
下肢静脈瘤、静脈（鬱滞）性潰瘍
深部静脈血栓症、肺塞栓症
リンパ浮腫
血管内治療（動・静脈閉塞性疾患、動脈瘤）
内シャント（blood access）作成

□診療（業務）内容

外来診療は、月、水の午前・午後、木曜日午前中の週3日間実施しております。
心疾患、脳疾患、糖尿病、腎臓病などの併存症を持っている方でも院内全体の診療科が協力し、安全で安心できる治療を行っています。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
8.7名	188名	16.8日

外来患者数

1日平均患者数
9.1名

主な手術・検査の件数など

下肢末梢動脈手術	腹部大動脈瘤手術	透析内シャント手術	下肢静脈瘤手術
52件	13件	60件	3件

四肢カテーテル治療	四肢動脈造影
48件	96件

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
研究セミナー・シンポジウム等	浅田秀典	静脈グラフトの吻合法	第7回関西血管外科グラブ	大阪	2018.10.20	2018.10.20
研究セミナー・シンポジウム等	浅田秀典	虚血を伴う糖尿病性足病変	第12回京都医療センター医療連携フォーラム	京都	2019.2.23	2019.2.23
研究セミナー・シンポジウム等	浅田秀典	そけい部感染後のdistal bypass	第8回関西血管外科クラブ	大阪	2019.3.16	2019.3.16

心臓外科

診療部長
白神　幸太郎

専門医資格等　心臓血管外科専門医
心臓血管外科修練指導者
外科専門医
京都大学臨床教授、非常勤講師
専 門 分 野　成人心臓大血管手術

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　長	片岡　　剛	心臓血管外科専門医 外科専門医 脈管専門医	成人心臓大血管疾患	成人心臓大血管手術

□ 診療科の特徴

京都府南部地域における循環器疾患の基幹施設として機能すべく、2011年に開設。2013年までの実績により、心臓血管外科専門医認定機構より基幹施設認定を受けた。①心臓外科診療を通して人々のお役に立つ②手術や診療の透明性を確保する③循環器診療の最後の砦となる、という3つの診療指針の下、循環器内科、血管外科、救命救急科、麻酔科との緊密な連携を維持しながら安全な医療を提供するように努力している。

□ 主な対象疾患

虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞など）に対する冠動脈バイパス術
弁膜症（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患など）に対する弁形成術や弁置換術、不整脈手術
大血管疾患（胸部大動脈瘤、急性大動脈解離など）に対する人工血管置換術、ステントグラフト内挿術

□ 診療（業務）内容

心臓大血管疾患の手術適応およびリスク評価を体系的にかつ厳密に行い、安全な手術治療を目指す。循環器内科、血管外科と共に心臓血管カンファレンスを行い、手術適応、術前リスクと治療方針の検討、周術期治療経過の報告を行い、治療の透明性を担保している。また緊急を要する症例について積極的に手術治療を行い、地域医療に貢献することを目標としている。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

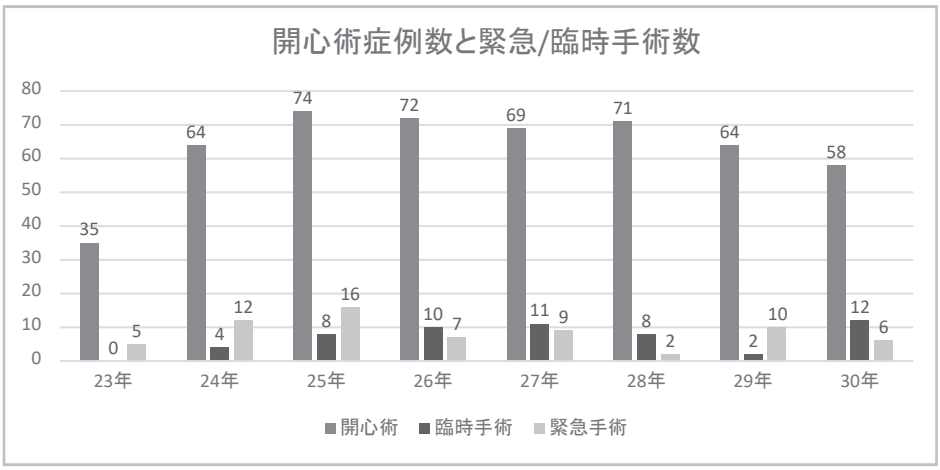
1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
5.0名	66名	24.6日

外来患者数

1日平均患者数
5.7名

主な手術・検査の件数など（重複あり）

虚血性心疾患手術	心臓弁膜症手術	大動脈手術	ステントグラフト手術
23件	37件	12件	12件



手術実績：平成23年6月より手術を開始、その後の年次別手術症例数はグラフのとおりである。ここ数年年間開心術症例数は60-70件で推移している。

手術方針：当科の手術方針としては、以下の通りである。

①冠動脈バイパス術においては、可能な限り心拍動下手術を施行し、患者さんに与える手術の侵襲を最低限としながら最大限の効果を得ることを目標とする。

②心臓弁膜症に対して、特に僧帽弁手術においては、弁尖の硬化や石灰化が無い限り自己弁を温存する形成術を第一選択とする。大動脈弁については、弁尖や弁輪の石灰化のある症例が多く、確実な弁置換術を行う。

③大動脈手術は侵襲の低減化を図り、オープンステントグラフトや二期的ステントグラフト留置を組み合わせたハイブリッド手術も考慮する。

2018年度実績：2018年度は虚血性心疾患に対する手術23例、心臓弁膜症に対する手術37例、胸部大動脈に対する手術12例、ステントグラフト留置術12例（胸部大動脈1例、腹部大動脈10例）を思考した。単独冠動脈バイパス術は全例心拍動下に施行し、 off pump CABG10例、 on pump beating CABG4例で重症例が増加し体外循環使用症例が増加した。心停止下手術に併施した冠動脈バイパス術は9例であった。心臓弁膜症においては可能な限り弁形成術を行うが、37例の症例において弁形成を行った弁は24弁、弁置換を施行した弁は25弁であった。大動脈手術12例のうち、急性大動脈解離に対する緊急手術は5例に、弓部大動脈に対するオープンステントグラフトは2例に施行した。これらの手術症例のうち、大動脈弁狭窄症（一尖弁）と狭心症に対して大動脈弁置換術、冠動脈バイパス術、心房細動手術を行った一例を致死的不整脈による突然死にて失った。

治療成績：当科における2018年の手術成績を全国データベースと比較すると、以下の通りである。これは当科手術患者の臨床データから予測される院内死亡率、および死亡と術後合併症の発生リスクを実際の成績（太字）と比較したものである。当科の手術患者の重症度は高く、予測死亡率も高いが、概ね予測死亡率を下回る成績を維持している。 2018年の死亡症例は1例のみであった。

	手術死亡	予測死亡率	死亡+主要合併症	予測発生率（死亡+主要合併症）
冠動脈バイパス術	**0%**	3.68%	**0%**	13.92%
心臓弁膜症手術	**3.57%**	8.02%	**3.57%**	21.37%
大動脈手術	**0%**	12.44%	**0%**	31.84%

□ 地域医療連携・広報活動

医師会、救急隊を通じての広報活動を行い、他院循環器内科とも積極的に協働している。院外からの手術目的紹介症例は年々増加している。

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	片岡　剛　浅田秀典 白神幸太郎	下腿以下への血行再建を要する重症下肢虚血に対して、Inflow確保目的に体側外腸骨-同側膝窩動脈Crossover bypassを行った2例	第46回日本血管外科学会学術総会	山形市	2018.5.9	2018.05.09 ～ 2018.05.11
国内学会	片岡　剛　白神幸太郎 浅田秀典	炎症性と考えられた上行大動脈多発嚢状瘤の1例	第59回日本脈管学会学術総会	広島市	2018.10.25	2018.10.25 ～ 2018.10.27
国内学会	片岡　剛　白神幸太郎 浅田秀典	解離性大動脈瘤破裂に対して、TEVAR+Candyplug法によってエントリーを閉鎖し、破裂偽腔の血栓化と瘤の縮小化に成功した1例	第72回国立病院総合医学会	神戸市	2018.11.10	2018.11.09 ～ 2018.1.27
国内学会	片岡　剛　白神幸太郎 浅田秀典	心臓、副腎、頸動脈小体に多発した傍神経節腫瘍の1摘除例	第49回日本心臓血管外科学会学術総会	岡山市	2018.2.13	2018.02.11 ～ 2018.02.13
研究セミナー・シンポジウム等	片岡　剛　白神幸太郎 浅田秀典	心臓、副腎、頸動脈小体に多発した傍神経節腫瘍の1摘除例	第55回　京滋心臓血管外科研究会	京都市	2018.2.23	2018.2.23

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者以外）	白神　幸太郎	Early surgery vs. surgery after watchful waiting for asymptomatic severe aortic stenosis	Circulation Journal	82	10	2663-2671			2018.10

皮膚科

診療科長
十一　英子

専門医資格等　日本皮膚科学会皮膚科専門医
京都大学医学博士
京都大学医学部臨床教授
京都皮膚科医会理事
専門分野　皮膚科一般
皮膚免疫
得意疾患　乾癬、掌蹠膿疱症
糖尿病足病変

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	岡本奈都子	日本皮膚科学会皮膚科専門医	皮膚科一般	
医　　師	渋谷　真美	日本皮膚科学会皮膚科専門医	皮膚科一般	
医　　師	猪上　奈奈		皮膚科一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本皮膚科学会専門医研修施設 生物学的製剤使用承認施設

1. 乾癬、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹、掌蹠膿疱症に対して生物学的製剤による治療を行っています。
2. 糖尿病、悪性腫瘍など基礎疾患を持つ蜂窩織炎、帯状疱疹などの感染症や難治性潰瘍など、総合病院の特色を生かして他科と密に連携して治療しています。
3. 地域の他病院から紹介された診断困難な症例、難治例、重症例なども多く受け入れています。

□ 主な対象疾患

尋常性乾癬、乾癬性関節炎、掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、うっ滞性皮膚炎、蕁麻疹、薬疹、水疱症、細菌感染症（ざ瘡、蜂窩織炎、丹毒、伝染性膿痂疹、など）、
ウイルス感染症（帯状疱疹、単純疱疹、カポジ水痘様発疹症、尋常性疣贅など）、
真菌感染症（足白癬、股部白癬、爪白癬、カンジダ症など）、
皮膚潰瘍、皮膚腫瘍など

□ 診療（業務）内容

乾癬：治療が急速に進歩し、難治の皮疹や関節炎のため生物学的製剤の治療を受ける患者さんが増えており、スクリーニング検査を行い適応を決め、投与しています。
掌蹠膿疱症：病巣感染などの原因検索を行って治療しています。
蕁麻疹：抗アレルギー剤内服で効果不十分な場合、生物学的製剤の注射を行っています。
糖尿病に合併する皮膚疾患：糖尿病と関連した難治性足潰瘍や皮膚病変を、糖尿病科、形成外科、血管外科、整形外科、循環器科などと連携して診療しています。
帯状疱疹（ヘルペス）：重症度に応じて、抗ウイルス剤の内服、或いは入院で点滴治療を行っています。
爪白癬：難治な爪の水虫には抗真菌剤の内服治療を行っています。
接触皮膚炎：かぶれの原因検索に、パッチテストを行っています。
薬疹：重症薬疹は入院で治療しています。
水疱症：天疱瘡の中等症以上では血漿交換療法や免疫グロブリン大量療法を行っています。
診断・治療のために積極的に皮膚生検を行っています。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
4.4名	80名	19.7日

外来患者数

1日平均患者数
75.2名

主な手術・検査の件数など

皮膚生検	皮膚切開術	皮膚皮下腫瘍摘出術
256件	29件	54件

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

演題・演者・学会名
集簇した紅色丘疹を呈した前立腺癌の皮膚転移の1例 渋谷真美, 猪上奈奈, 岡本奈都子, 十一英子 第455回　日本皮膚科学会京滋地方会　2018 6/16　京都
IgG4関連眼疾患に合併したVogt・小柳・原田病の1例 猪上奈奈, 渋谷真美, 岡本奈都子, 渡邊知一, 井口美季子, 濱祥代, 十一英子 第458回　日本皮膚科学会京滋地方会　2018 12/8　京都
当院のアプレミラスト使用例から 十一英子　講演　第2回エキスパートミーティング2018　2018 2/18　東京
乾癬治療における検査・治療変更のタイミング 十一英子　講演　第6回南京都皮膚疾患セミナー　2018 5/12　京都
The Rationale of IL-23 treatment target 十一英子　講演　Re-focusing on IL-23 pathway in psoriasis　2018 6/7　大阪
オテズラ使用時のポイント 十一英子　講演　京都Women's forum　2018 6/14　京都
抗IL-23製剤の基礎的知見と臨床における効果 十一英子　講演　京滋Psoriasis Expert Meeting　2018 7/2　京都
乾癬治療に抗IL-23製剤がもたらすもの 十一英子　講演　トレムフィア新発売記念講演会 in 香川　2018 8/2　香川
乾癬治療の変遷〜抗IL-23製剤の可能性〜 十一英子　講演　トレムフィア新発売記念講演会 Web Seminar　2018 8/7
当院の生物製剤による乾癬治療 十一英子　講演　乾癬Bio Expert Seminar　2018 9/27　京都
NAVIGATEとトレムフィア／ステラーラの比較 十一英子　講演　トレムフィア新発売記念講演会 in 大阪　2018 9/28　大阪
乾癬治療の変遷〜抗IL-23製剤の可能性〜 十一英子　講演　平成30年度　なにわ金明水皮膚疾患研究会　2018 10/6　大阪
乾癬治療の実際〜さまざまな背景の患者さんへの対応〜 十一英子　講演　乾癬治療フォーラム　2018 10/20　京都
進歩する皮膚科治療〜アトピー性皮膚炎、じんま疹、乾癬など〜 十一英子　講演　市民講座「皮膚の日」講演会　2018 11/11　京都
ステラーラとの比較から見えてくるトレムフィアの可能性 十一英子　講演　トレムフィア新発売記念講演会 in 愛媛　2018 11/21　愛媛
皮膚科における乾癬診療の実際 十一英子　講演　Psoriatic Arthritis Expert Symposium　2018 12/13　京都
抗IL-23抗体を理解するために知っておきたいこと 十一英子　講演　Expert Web セミナー　2019 1/31
ステラーラの開発、皮膚科での使用経験から 十一英子　講演　Ustekinumab Round Table Meeting in Kyoto　2019 2/14　京都
「乾癬診療の実際」―特に乾癬性関節炎について― 十一英子　講演　Internet Live Seminar　2019 2/19

泌尿器科

診療部長　科長
奥野　博

専門医資格等　日本泌尿器科学会専門医・指導医
京都大学臨床教授
関西医科大学臨床教授
日本泌尿器内視鏡学会　代議員
日本生殖医学会評議員
日本アンドロロジー学会評議員
日本癌治療認定医
日本移植学会腎移植認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医
京都大学医学博士
専門分野　泌尿器科一般
得意疾患　ロボット支援手術、前立腺癌、男性学

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	三品　睦輝	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本癌治療認定医 日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医 京都大学医学博士	泌尿器科一般	膀胱癌 精巣癌
医　　師	宮﨑　　有	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本癌治療認定医 日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医	泌尿器科一般	前立腺癌 尿路結石症
医　　師	内田　稔大	日本泌尿器科学会専門医	泌尿器科一般	
医　　師	伊藤　克弘	日本泌尿器科学会専門医	泌尿器科一般	
レジデント	荒木　博賢		泌尿器科一般	
医　　師 (非常勤)	伊東　晴喜	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本透析医学会　専門医	泌尿器科一般	夜間頻尿
医　　師 (非常勤)	眞鍋　由美	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医	泌尿器科一般	女性泌尿器科学
医　　師 (非常勤)	河野　　仁	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医	泌尿器科一般	夜間頻尿

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本泌尿器科学会研修施設

1. ロボット支援手術、体腔鏡、内視鏡をはじめとする低侵襲手術・検査（痛みが少なく入院期間を短く）により患者さんへの負担の軽減を図ります。
2. 最先端医療も積極的に取り入れます。
3. 地域の開業医、診療所、病院と積極的に医療連携を行います。
4. 患者さんの人権を尊重し、安心と満足のいく良質の医療提供を目指します。

□ 主な対象疾患

腎臓癌、膀胱癌、前立腺癌、副腎腫瘍、前立腺肥大症、尿路結石症、過活動膀胱、夜間頻尿、尿失禁、膀胱瘤、骨盤臓器脱、男性不妊症、性機能障害、内分泌障害、尿路感染症、性感染症、小児泌尿器科、腹膜透析、慢性腎不全

□ 診療（業務）内容

・尿路性器悪性腫瘍に対する集学的治療を多部門と連携し積極的に行っている
・ロボット支援手術を含め、体腔鏡、内視鏡をはじめとする低侵襲手術に取り組んでいる
・初診外来担当医は患者さんの入院、手術、退院後の診療を一貫して責任をもって受け持つ
・外来及び入院看護師には排尿機能検査士の取得者を配置し、専門的な医療と看護を提供
・外来診療：木曜は４診　火曜、金曜は３診、月曜、水曜は２診
・手術：月、水、金曜日の週3日間
・火曜日の早朝には外来カンファレンス
・水曜日の早朝には病理医を招いて臨床病理カンファレンス
・木曜日の早朝から全体回診（医師、看護師長）
・木曜日の朝に放射線科医を招いて放射線画像・放射線治療カンファレンス
・金曜日の早朝には薬剤師、看護師を交えた病棟症例カンファレンス
・平成19年06月～「夜間頻尿外来」開設
・平成23年11月～前立腺肥大症に対し、光選択的前立腺レーザー蒸散術（PVP)を導入
・平成26年08月～前立腺癌に対し、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘を導入
・平成28年04月～「女性外来」開設
・平成28年08月～腎臓癌に対し、ロボット支援腎部分切除術を導入
・平成30年08月～経皮・経尿道同時尿路結石内視鏡手術を導入
・平成31年02月～膀胱癌に対し、ロボット支援膀胱全摘を導入

□ 診療実績（平成30年度）

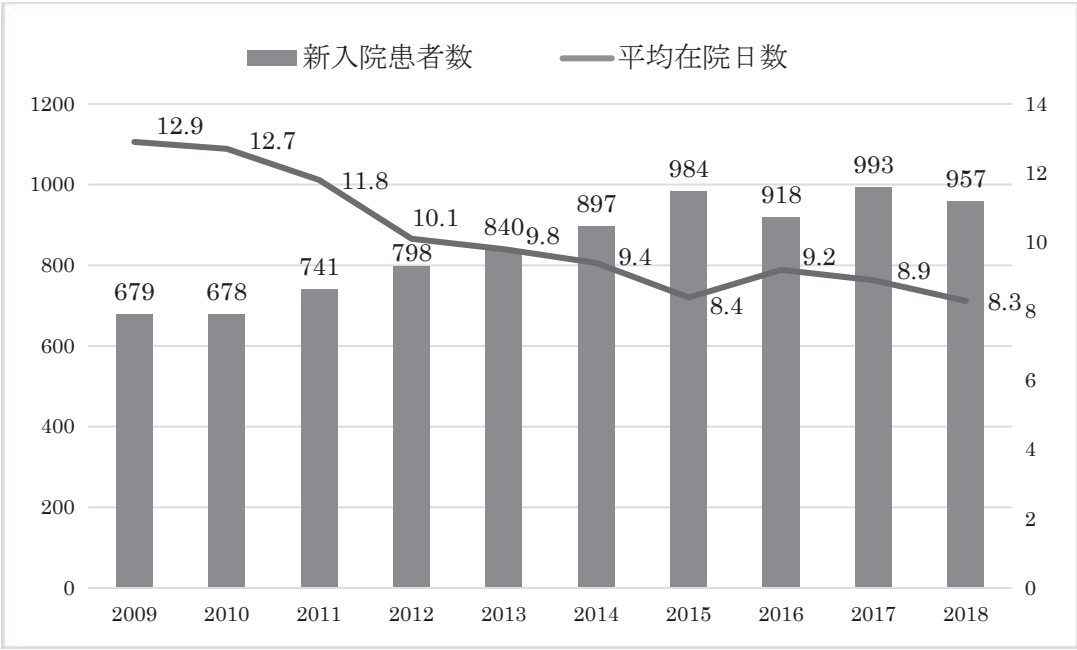
入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
22.0名	957名	8.3日

外来患者数

1日平均患者数
66.9名

入院統計（年度）過去10年間の推移



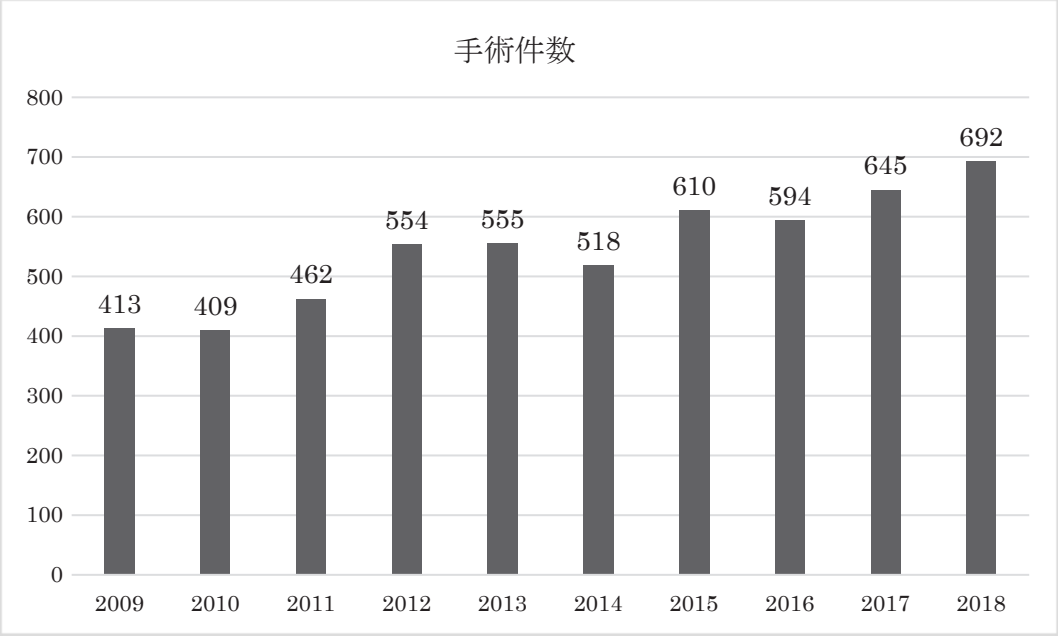
下記は平均在院日数の計算対象外になりました。
2014年度～「前立腺針生検法」
2016年度～「体外衝撃波腎・尿管結石破砕術」

主な手術・検査の件数など（2018年度）

ロボット支援 腹腔鏡下前立腺全摘	ロボット支援 腎部分切除術	ロボット支援 膀胱全摘	副腎腫瘍手術	腹腔鏡（後腹膜鏡）下腎（尿管）悪性腫瘍手術	尿路結石手術
61件	10件	1件	29件	24件（腎12件 腎盂尿管12件）	69件（PNL10件、 TDL59件）

前立腺肥大症 内視鏡手術	膀胱癌内視鏡 手術（TURBT）	骨盤臓器脱・ 尿失禁手術	前立腺針生検		
97件（PVP87件 TURP10件）	132件	8件（TVM5件 TOT3件）	206件（経直腸113件＋ 経会陰93件）		

手術統計（年度）過去10年間の推移



□ 地域医療連携・広報活動

伏見医師会ランチョンセミナー。2018.05.15（京都）

・宮﨑 有「過活動膀胱（OAB）の診断と治療」

第23回　内科ー泌尿器科病診連携の会（藤ノ森カンファレンス）。　2018.06.09（京都・キャンパスプラザ京都）

テーマ「夜間頻尿を科学する」

・奥野 博：講演Ⅰ「京都医療センター排尿障害連携パス（第5版改訂）について」

・河野　仁：講演Ⅱ「実地医家のための夜間頻尿の診方」

・伊東晴喜：講演Ⅲ「実地医家のための夜間頻尿の治療」

・特別講演『体内時計の発見でノーベル賞：夜間頻尿にも関連!?』　せんぎく腎泌尿器科クリニック　院長　千菊敦士先生

南京都臨床懇話会。2018.06.26（京都）

・奥野 博「実地医家が診る泌尿器科疾患の実践」

伏見医師会ランチョンセミナー。2019.01.31（京都）

・奥野 博「排尿障害診断のコツと臨床に役立つ薬物治療の選択」

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	伊藤克弘、内田稔大、真鍋由美、宮崎有、伊東晴喜、三品睦輝、奥野博	ADTで長期制癌が得られている前立腺癌に対し、治療中止は可能か？	第106回日本泌尿器科学会総会	京都	2018.4.21	2018.4.19-22
研究セミナー・シンポジウム等	伊藤克弘、内田稔大、真鍋由美、宮崎有、伊東晴喜、三品睦輝、奥野博	PVPにTURPを追加することの是非	第7回PVP研究会学術集会	福井	2018.5.12	2018.5.12
国内学会	伊藤克弘、内田稔大、真鍋由美、宮崎有、伊東晴喜、三品睦輝、奥野博	Oncocytic, Myxoidの特徴を持つ副腎皮質腫瘍の1例	第30回内分泌外科学会総会	札幌	2018.6.28	2018.6.28-29
国内学会	伊藤克弘	80歳以上の高齢者に対する腹腔鏡下膀胱全摘術の成績：大文字会関連他施設共同データベースより	第32回泌尿器内視鏡学会	仙台	2018.11.29	2018.11.27-29
研究セミナー・シンポジウム等	伊藤克弘、荒木博賢、内田稔大、真鍋由美、宮崎有、伊東晴喜、三品睦輝、奥野博	ロボット支援前立腺全摘で最近行っている後壁補強の工夫	第37回泌尿器科手術研究会	仙台	2019.1.22	2019.1.22
研究セミナー・シンポジウム等	伊藤克弘	ロボット支援前立腺全摘で最近行っている後壁補強の工夫	U2023Genitourinary Oncology Seminar	東京	2018.11.10	2018.11.10
研究セミナー・シンポジウム等	伊藤克弘、荒木博賢、内田稔大、真鍋由美、宮崎有、伊東晴喜、三品睦輝、奥野博	泌尿器科における顎骨壊死症例	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死について考える会	京都医療センター	2018.10.2	2018.10.2
国内学会	内田　稔大、齋藤　駿河、伊藤　克弘、真鍋　由美、宮﨑　有、伊東　晴喜、三品　睦輝、奥野　博	限局性前立腺癌患者の治療別QOLに関するExpanded Prostate Cancer Index Composite（EPIC）調査票を用いた単施設前向き縦断的研究	第106回日本泌尿器科学会総会	京都	2018.4.21	2018.4.19-2018.4.22
国内学会	内田　稔大、齋藤　駿河、伊藤　克弘、真鍋　由美、宮﨑　有、伊東　晴喜、三品　睦輝、奥野　博	限局性前立腺癌に対する手術療法術式別のQOL評価	第68回日本泌尿器科学会中部総会	名古屋	2018.10.5	2018.10.04-2018.10.07
研究セミナー・シンポジウム等	内田　稔大	京都医療センターにおける監視療法の現状	2019新春前立腺癌講演会	京都	2019.1.19	2019.1.19
国内学会	宮﨑　有、齋藤　駿河、伊藤　克弘、内田　稔大、真鍋　由美、伊東　晴喜、三品　睦輝、奥野　博	当院における原発性アルドステロン症（PA）患者への手術加療による治療アウトカム	第106回日本泌尿器科学会総会	京都	2018.4.21	2018.04.19 ～2018.04.22.
国内学会	宮﨑　有、齋藤　駿河、伊藤　克弘、内田　稔大、真鍋　由美、伊東　晴喜、三品　睦輝、奥野　博	当院における原発性アルドステロン症（PA）患者への手術加療による治療アウトカム	第30回日本内分泌外科学会総会	札幌	2018.6.29	2018.06.28 ～2018.06.29.

国内学会	宮﨑　有、齋藤　駿河、伊藤　克弘、内田　稔大、真鍋　由美、伊東　晴喜、三品　睦輝、奥野　博	PSA 4-10ng/mL症例に対する不必要な生検回避は可能か？～ DRE・TRUS・MRI・PSAパラメータを用いた前向き研究	第68回日本泌尿器科学会中部総会	名古屋	2018.10.5	2018.10.04 ～ 2018.10.06.
国内学会	三品睦輝、奥野博、宮﨑有、内田稔大、伊藤克弘、荒木博賢	PSA 4-10 ng/mL 症例において不必要な生検回避は可能か?～ DRE・TRUS・MRI・PSA パラメータを用いた前向き研究	第72回国立病院総合医学会	京都	2018.11.10	2018.11.9 ～ 2018.11.10
研究セミナー・シンポジウム等	三品睦輝、荒木博賢、伊藤克弘、宮﨑有、内田稔大、奥野博	両側副腎褐色細胞腫に対する腹腔鏡下副腎部分切除術の経験	第37回手術手技研究会	神戸	2019.1.26	2019.1.26
国内学会	奥野博	「精索静脈瘤手術の適応と有効性」シンポジウム20 精索静脈瘤を再考する	第106回日本泌尿器科学会総会	京都	2018.4.21	2018.4.19 ～ 2018.4.22
国際学会	奥野博、齋藤駿河、伊藤克弘、内田稔大、真鍋由美、宮﨑有、伊東晴喜、三品睦輝	A prospective study using MRI and PSA parameters to avoid unnecessary biopsy in patients with PSA gray zone (4-10ng/mL).	16th Urological Association of Asia Congress 2018	京都	2018.4.17	2018.4.17 ～ 2018.4.21
研究セミナー・シンポジウム等	奥野博	講演「前立腺がん検診の有効性評価」「新前立腺がん検診ガイドライン（2018年版）について」	平成30年度前立腺がん検診講習会	京都	2018.6.21	2018.6.21
国内学会	奥野博	京都医療センターにおけるロボット支援手術の現状と課題	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会	奥野博	PVPの有効性と安全性に関する多施設共同前向き研究の解析結果（術後5年目までの確定成績）	第106回日本泌尿器科学会総会	京都	2018.4.19	2018.4.19 ～ 2018.4.22
国内学会	齋藤駿河、伊藤克弘、内田稔大、真鍋由美、宮﨑有、伊東晴喜、三品睦輝、奥野博	当院における術前尿閉症例に対する光選択的前立腺レーザー蒸散術（PVP）の臨床成績	第106回日本泌尿器科学会総会	京都	2018.4.21	2018.4.19 ～ 2018.4.22
国内学会	荒木 博賢, 伊藤 克弘, 内田 稔大, 宮﨑 有, 三品 睦輝, 奥野 博	腹腔鏡下右副腎摘除の際の肝と副腎の癒着のリスク因子	第32回日本泌尿器内視鏡学会	仙台	2018.11.28	2018.11.27 ～ 2018.11.29
国内学会	荒木 博賢, 伊藤 克弘, 内田 稔大, 宮﨑 有, 三品 睦輝, 奥野 博	膀胱原発パラガングリオーマに対してTUI補助下に後腹膜鏡下膀胱部分切除を行った1例	第240回日本泌尿器科学会関西地方会学術集会	奈良	2019.2.16	2019.2.16 ～ 2019.2.16

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
和文原著論文（筆頭著者）	伊藤克弘、内田稔大、真鍋由美、宮﨑有、伊東晴喜、三品睦輝、奥野博	呼吸困難を主訴としたニボルマブによるACTH単独欠損症の1例	泌尿器科紀要	64	10	397-401			2018.10
英文論文（筆頭著者以外）	伊藤克弘	Complications and reoperations after laparoscopic radical cystectomy in a Japanese multicenter cohort	Int J Urol						2019.2

英文論文 （筆頭著者以外）	齋藤駿河 伊藤克弘 松本敬優 田島基史 後藤崇 伊東晴喜 真鍋由美 三品睦輝 奥野博	Peritoneal tuberculosis after robot-assisted laparoscopic prostatectomy with extended lymph node dissection	J endourology case report	4	1	48-50			2018.4
和文原著論文 （筆頭著者）	宮﨑　有 齋藤駿河 伊藤克弘 内田稔大 真鍋由美 伊東晴喜 三品睦輝 奥野博	不必要な生検回避のためのPSAグレーゾーン症例における直腸診・経直腸エコー・MRI画像およびPSAパラメータを用いた前向き研究	泌尿器外科	31	8	1183-1184			2018.08
英文論文 （筆頭著者以外）	宮﨑　有	Clinical utility of androgen receptor gene aberrations in circulating cell-free DNA as a biomarker for treatment of castration-resistant prostate cancer.	Scientific Reports	9	1	4030			2019.03
和文原著論文 （筆頭著者）	奥野博	V下部尿路の手術 前立腺肥大の手術 PVP	Urological Surgery Next No.3		3	150-162		株式会社メジカルビュー社	2018.10
和文総説・著書 （筆頭著者以外）	奥野博	抗血栓療法継続中の症例に対する光選択的前立腺レーザー蒸散術（PVP）の安全性と有効性に関する多施設共同前方視的研究	西日泌尿	80	2	50-55		西日本泌尿器	2018.2
和文総説・著書 （筆頭著者以外）	齋藤駿河 奥野博	血尿が出たー肉眼的血尿（泌尿器科）	特集専門医紹介の前に!一人でできる各科診療。患者を診る地域を診る　まるごと診る　総合診療の「Gノート」	5	4	546-553		羊土社	2018.6

産科婦人科

副院長
診療科長
髙倉　賢二

専門医資格等　日本産科婦人科内視鏡学会功労会員
日本内分泌学会　評議員
日本受精着床学会　評議員
京都大学博士（医学）
京都大学医学部　非常勤講師
京都大学医学部　臨床教授
関西医科大学　臨床教授

専門分野　婦人科腫瘍
産婦人科手術
内分泌疾患の診断・治療

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医療情報部　長	北岡　有喜	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本専門医機構産婦人科専門医 京都大学博士（医学） 同志社大学博士（政策科学）	生殖分子生理学・医療情報学・情報システム学	
産科婦人科医　長	高尾　由美	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本医師会認定産業医 臨床研修指導医 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 J-MELSベーシックコースインストラクター 母体保護法指定医 京都大学博士（医学）	産婦人科一般	婦人科腫瘍 不妊症
産科婦人科医　長	山口　　健	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本婦人科腫瘍学会専門医 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 臨床研修指導医 京都大学博士（医学）	産婦人科一般	婦人科腫瘍 婦人科手術
医　　師	宇治田 麻里	日本産科婦人科学会専門医 臨床研修指導医 母体保護法指定医	産婦人科一般	産婦人科一般
医　　師	江本　郁子	日本産科婦人科学会専門医・女性のヘルスケアアドバイザー 日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児） 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 J-MELSベーシックコースインストラクター 臨床研修指導医 母体保護法指定医	産婦人科一般	周産期一般
医　　師	高倉　賢人	日本産科婦人科学会専門医 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医	産婦人科一般	
専修医	山村　　幸		産婦人科一般	
専修医	池田 愛紗美		産婦人科一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本産科婦人科学会　総合型専攻医指導施設 日本婦人科腫瘍学会　指定修練施設 日本周産期・新生児医学会　母体胎児指定施設 日本産科婦人科内視鏡学会　認定研修施設 臨床遺伝専門医制度　認定研修施設

～産科～

安全で、妊婦さんひとりひとりが心から満足のいく分娩を提供します。

女性にとって、お産は重要なイベントです。そして、それぞれのお産についての妊産婦さんの考えや要望は年々変化してきています。私たちは、お産の質の向上、および医療者側のお産に対する的確な対応が、ますます大切なものとなってきていると考えています。

～婦人科～

女性の社会進出に伴い、外来治療や低侵襲手術（腹腔鏡手術や腟式手術、小開腹手術）を推進し、早期の社会復帰を目指します。充実した診療スタッフにより、幅広い婦人科疾患に対して対応可能です。特に、婦人科がんに対してハイレベルな診療を行います。

□ 診療（業務）内容

～産科～

1. 妊婦健診では、一般的な健診のみならず、病棟助産師が立ち会い、継続して保健指導を行い、生活指導なども適宜行っています。
2. 分娩（出産）は、自然分娩を尊重しながらも、合併症や急変に対しても、小児科（NICU）・内科・麻酔科などとも連携をとり、チームワークで対応します。
   合併症妊娠やハイリスク妊娠の症例も多く取り扱っています。平成30年度（2018年度）の周産期救急搬送（母体搬送）の受け入れ件数は23件で地域の周産期救急にも積極的に貢献しています。医学的根拠に基づいた安全で安心なお産を提供すべく、日々努力しています。
3. 産前・産後の母乳ケアを行い、母乳育児をサポートします。

～婦人科～

1. 治療前のインフォームド・コンセントを重視します
   十分な説明を行い、納得いただいたうえで治療を行うことにより、満足の得られる医療を行うことを診療のモットーとしています。また、疾患について画一化された治療を行うのではなく、それぞれの患者さんの身体的・精神的・社会的状況や希望なども十分ふまえたうえで治療方針を決定します。
2. 幅広い婦人科疾患に対応します
   充実した診療スタッフにより、良性疾患から悪性疾患まで幅広く婦人科疾患に対応可能です。
3. 低侵襲手術を行います
   女性の社会進出に伴い、入院期間・自宅療養期間の短縮が求められています。そのような社会のニーズに応えるため、悪性（癌）の疑いのない腫瘍に対しては、積極的に低侵襲手術（腹腔鏡下手術、腟式手術、小開腹手術）を行い、早期の社会復帰を目指します。
4. 悪性腫瘍に対してハイレベルな診療を行います
   京都府のがん診療拠点病院および日本婦人科腫瘍学会指定修練施設に認定されており、悪性腫瘍に対する診療経験が豊富にあります。常に最新の情報に基づいて、他科と連携してハイレベルな治療を行います。子宮頸癌に対する神経温存広汎性子宮全摘術に関しては2007年から先駆けて行っています。卵巣癌、子宮体癌に対しても、傍大動脈リンパ節郭清までの必要十分な手術を行う一方で、緻密な出血量の少ない手術操作により術後合併症を回避し、術後早期回復をはかります。また腹腔鏡下悪性腫瘍手術も行っています。リンパ浮腫専門外来を擁し、退院後のQOLにも配慮した診療を行います。

5. 更年期からの健康管理を推進します

直面する超高齢化社会においては、元気な老後を迎えられるよう更年期（50歳前後）からの健康管理が重要になります。更年期障害や骨粗鬆症などの女性特有の疾患に対応するため更年期からの健康管理を推進します。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
23.0名	1333名	6.3日

外来患者数

1日平均患者数
50.5名

主な手術・検査の件数など

分娩件数	帝王切開件数	婦人科開腹手術	悪性腫瘍手術
366件	111件	171件	90件
腹腔鏡下手術	腟式手術		
100件	175件		

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会の地方会及び分科研究会	小西郁生	婦人科の神経内分泌腫瘍について	第26回がん（神経内分泌腫瘍NEN）医療講演会	京都	2018.6.9	2018.6.9
国内学会の地方会及び分科研究会	小西郁生	卵巣がんー現在と未来	Ovarian Cancer もっと知りたいワークショップ	東京	2018.6.16	2018.6.16
国際学会	Ikuo Konishi	Session"Can we CURE women's cancers with immunotherapies?"	XXII FIGO World Congress 2018	Rio de Janeiro, Brazil	2018.10.16	2018.10.14 ～ 2018.10.19
国際学会	Ikuo Konishi	Session"Dilemmas in Gynecologic Oncology"	XXII FIGO World Congress 2018	Rio de Janeiro, Brazil	2018.10.17	2018.10.14 ～ 2018.10.19
国際学会	Ikuo Konishi	Video Workshop for Gynecologic Oncology	XXII FIGO World Congress 2018	Rio de Janeiro, Brazil	2018.10.18	2018.10.14 ～ 2018.10.19
国内学会の地方会及び分科研究会	小西郁生	産婦人科と男女共同参画ー女性ヘルスケアの向上をー	日本学術会議公開シンポジウム「医療界における男女共同参画の推進と課題」	東京	2018.10.26	2018.10.26
国内学会の全国年次学会	小西郁生	基調講演　わが国が直面する喫緊の課題ー女性ヘルスケアの向上をー	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会の全国年次学会	小西郁生	会長講演　子宮肉腫の最新情報ーモルセレーター後の世界動向ー	第3回日本肉腫学会・日本臨床肉腫学会婦人科会	東京	2018.12.12	2018.12.12 ～ 2018.12.13
国内学会の全国年次学会	山村　幸、山口　建、池田愛紗美、松坂　優、高倉　賢人、江本　郁子、川﨑　薫、宇治田　麻里、高尾　由美、高倉　賢二、小西　郁生	妊娠前母体BMIと妊娠中の体重増加の適正な管理は新生児体重を制御し、分娩時出血量を抑える	第70回日本産科婦人科学会学術講演会	仙台	2018.5.12	2018.5.10 ～ 2018.5.13

国内学会の全国年次学会	Ken Yamaguchi, Kaori Kawasaki, Sachi Yamamura, Eri Ogura, Yu Kanzaki, Masahito Takakura, Mari Ujita, Yumi Takao, Kenji Takakura and Ikuo Konishi	Low socioeconomic status is a risk factor for small for gestational age birth in Japan	第70回日本産科婦人科学会学術講演会	仙台	2018.5.11	2018.5.10 〜 2018.5.13
国内学会の地方会及び分科研究会	飛騨　美希、小西　陽介、川﨑　薫、高倉　賢人、橋本　有紀子、北　誠、日下部　徹、新井　浩司、山口　建、浅原　哲子、三宅　秀彦、高倉　賢二	無侵襲的胎児遺伝学的検査（NIPT）と胎児超音波検査にて性別が不一致だったため不安を　生じた母体に対する遺伝カウンセリングの1例	第45回国立病院臨床検査技師協会近畿支部定期総会学会	神戸	2018.6.16	2018.6.16
国内学会の地方会及び分科研究会	山口　建、山村　幸、池田　愛紗美、高倉　賢人、江本　郁子、宇治田　麻里、高尾　由美、高倉　賢二、小西　郁生	腹腔鏡下子宮腺筋症核出術後に妊娠中期で子宮破裂した症例	京都子宮内膜症・腺筋症セミナー	京都	2018.6.30	2018.6.30
国内学会の全国年次学会	小西 陽介、飛騨 美希、村瀬 永子、日下部 徹、橋本 有紀子、馬越 洋宜、北 誠、川崎 薫、和田 美智子、山口 建、三宅 秀彦、浅原 哲子、高倉 賢二	保因者診断を主訴に来談したが発症前診断の可能性が考慮されたミトコンドリア病の一例	第42回日本遺伝カウンセリング学会	仙台	2018.6.29	2018.6.28 〜 2018.7.1
国内学会の全国年次学会	浅原 哲子、小西 陽介、飛騨 美希、日下部 徹、橋本 有紀子、馬越 洋宜、北 誠、川崎 薫、和田美智子、山口 建、三宅 秀彦、高倉 賢二	遺伝カウンセリング普及のための京都医療センター遺伝診療部の試み	第42回日本遺伝カウンセリング学会	仙台	2018.6.29	2018.6.28 〜 2018.7.1
国内学会の全国年次学会	山口　建, 林　育代, 川﨑　薫, 山村　幸, 小椋　恵利, 松坂　優, 高倉　賢人, 江本　郁子, 宇治田　麻里, 高尾　由美, 高倉　賢二, 小西　郁生	助産制度利用妊婦はsmall for gestational age児のリスク因子となる	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京	2018.7.9	2018.7.8 〜 2018.7.10
国内学会の全国年次学会	山村　幸、川﨑　薫、小椋　恵利、松坂　優、髙倉　賢人、江本　郁子、宇治田　麻里、山口　建、高尾　由美、髙倉　賢二、小西　郁生	子宮頸部円錐切除後妊娠における頸管長と周産期予後の関連についての検討	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京	2018.7.10	2018.7.8 〜 2018.7.10
国内学会の全国年次学会	高倉　賢人、江本　郁子、山村　幸、小椋　恵利、松坂　優、川﨑　薫、宇治田　麻里、山口　建、高尾　由美、高倉　賢二	卵管妊娠に対するメトトレキサート全身投与後の次回妊娠転帰について	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京	2018.7.8	2018.7.8 〜 2018.7.10
国内学会の全国年次学会	林 育代, 山口 建, 川﨑 薫, 山村 幸, 小椋 恵利, 松坂 優, 高倉 賢人, 江本 郁子, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	正期産低出生体重児では，免疫，DNA代謝，器官形成関連遺伝子が高メチル化される	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京	2018.7.9	2018.7.8 〜 2018.7.10
国内学会の全国年次学会	山口　建、山村　幸、池田　愛紗美、小椋　恵利、松坂　優、高倉　賢人、江本　郁子、宇治田　麻里、川﨑　薫、高尾　由美、高倉　賢二、小西　郁生	腹腔鏡下子宮腺筋症核出術後に妊娠中期で胎盤付着部位に子宮破裂を認め、急激に出血した症例	第59回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	松江	2018.8.4	2018.8.2 〜 2018.8.4
国内学会の全国年次学会	宇治田　麻里、池田　愛紗美、山村　幸、高倉　賢人、江本　郁子、山口　建、高尾　由美、高倉　賢二、小西　郁生	妊娠中期に施行した腹腔鏡下虫垂切除術の一例	第59回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	松江	2018.8.2	2018.8.2 〜 2018.8.4
国内学会の全国年次学会	江本　郁子、池田愛紗美、山村　幸、髙倉　賢人、宇治田麻里、山口　建、高尾　由美、髙倉　賢二、小西　郁生	腹腔鏡下卵管切除術後に同側の間質部妊娠を来した3症例	第59回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	松江	2018.8.2	2018.8.2 〜 2018.8.4
国内学会の全国年次学会	池田　愛紗美、山口　建、山村　幸、高倉　賢人、江本　郁子、宇治田　麻里、高尾　由美、高倉　賢二、小西　郁生	良性転移性平滑筋腫が疑われた2例	第19回JSAWI	淡路島	2018.9.1	2018.8.31 〜 2018.9.1

国際学会	Ken Yamaguchi, Michiko Wada, Noriko Satoh-Asahara, Sachi Yamamura, Asami Ikeda, Masahito Takakura, Ikuko Emoto, Mari Ujita, Yumi Takao, Toru Kusakabe, Kenji Takakura, and Ikuo Konishi	Visceral-to-Subcutaneous Adipose Tissue Ratio is a Prognostic Predictor in Type 1 Endometrial Cancer Patients	17th Biennial Meeting of the IGCS & 第60回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	京都	2018.9.16	2018.9.14 〜 2018.9.16
国内学会の全国年次学会	和田　美智子、山口　建、山村　幸、池田　愛紗美、高倉　賢人、江本　郁子、宇治田　麻里、高尾　由美、日下部　徹、浅原　哲子、高倉　賢二、小西　郁生	内臓脂肪/皮下脂肪比はType1子宮体癌において予後因子となる	17th Biennial Meeting of the IGCS & 第60回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	京都	2018.9.15	2018.9.14 〜 2018.9.16
国内学会の全国年次学会	和田　美智子、山口　建、山陰　一、田中　将志、井上　隆之、高倉　賢二、小西　郁生、日下部　徹、浅原　哲子	タイプ1子宮体癌において内臓脂肪/皮下脂肪面積比は予後因子になる	第39回日本肥満学会	神戸	2018.10.8	2018.10.7 〜 2018.10.8
国内学会の全国年次学会	浅原 哲子、小西 陽介、飛騨 美希、日下部 徹、橋本 有紀子、馬越 洋宜、北 誠、川崎 薫、和田 美智子、山口 建、三宅 秀彦、高倉 賢二	遺伝カウンセリング普及活動〜京都医療センター遺伝診療部の試み〜	第63回日本人類遺伝学会	横浜	2018.10.12	2018.10.10 〜 2018.10.13
国内学会の地方会及び分科研究会	山村　幸、山口　建、池田　愛紗美、髙倉　賢人、江本　郁子、宇治田　麻里、髙尾　由美、髙倉　賢二、小西　郁生	母体の体重管理と分娩時出血に関する後方視的検討	京都産婦人科学会平成30年度学術集会	京都	2018.10.20	2018.10.20
国内学会の地方会及び分科研究会	江本　郁子、池田　愛紗美、山村　幸、高倉　賢人、宇治田　麻里、山口　建、高尾　由美、高倉　賢二、小西　郁生	同側卵管に反復異所性妊娠を来した症例の検討	第19回京都女性のヘルスケア研究会	京都	2018.10.21	2018.10.21
国内学会の全国年次学会	小西　陽介、飛騨　美希、和田　美智子、橋本　有紀子、北　誠、日下部　徹、荒木　由香里、川崎　薫、山賀　郁、山口　建、荒田　順、山﨑　誠二、浅原　哲子、三宅　秀彦、高倉　賢二、小西　郁生	遺伝診療部の取り組み〜HBOCワーキンググループの立ち上げから現在まで〜	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9 〜 2018.11.10
国内学会の全国年次学会	高尾　由美、池田　愛紗美、山村　幸、高倉　賢人、江本　郁子、宇治田麻里、山口　建、高倉　賢二、小西　郁生、坂根　直樹	原発性腹膜癌19症例の臨床的検討	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9 〜 2018.11.10
国内学会の全国年次学会	池田愛紗美、山口建、山村幸、髙倉賢人、江本郁子、宇治田麻里、高尾由美、髙倉賢二、小西郁生	子宮筋腫術後5年目に背部腫瘤を来した良性転移性平滑筋腫の1例	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9 〜 2018.11.10
国内学会の地方会及び分科研究会	山口　建	子宮内膜症と卵巣明細胞癌	子宮内膜症 若手医師セミナーin米子	米子	2018.10.27	2018.10.27 〜 2018.10.28
国内学会の地方会及び分科研究会	池田愛紗美、山口建、山村幸、髙倉賢人、江本郁子、宇治田麻里、安彦郁、高尾由美、髙倉賢二、小西郁生	卵巣がんにおける術前の血液学的検査所見と予後に関する検討	第19回産婦人科手術療法・周術期研究会	京都	2019.3.16	2019.3.16

□ 投稿論文など

分類	著者(全員)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文著述	Konishi I.	Basic principle and step-by-step procedure of abdominal hysterectomy: Part 2 In: Precision Surgery in Obstetrics and Gynecology	Surg J,	DOI: 10.1055/s-0038-1676467		pp1-12	Hiramatsu Y, Konishi I, Sakuragi N, Takeda S,	Thieme Medical Publishers, New York, USA	2018
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	小椋 恵利, 住友 理浩, 高倉 賢人, 中木 絢子, 川村 洋介, 和田 美智子, 宇治田 麻里, 高尾 由美, 高倉 賢二, 小西 郁生	分娩後17時間半経過してから発症した腟外陰血腫に対し経カテーテル的動脈塞栓術が有効であった1例	日本周産期・新生児医学会雑誌	54	1	140-143			2018
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	佐々木 愛子, 左合 治彦, 吉橋 博史, 山田 重人, 三宅 秀彦, 鈴森 伸宏, 高田 史男, 増崎 英明, 平原 史樹, 久具 宏司, 小西 郁生	日本における出生前遺伝学的検査の動向1998-2016	日本周産期・新生児医学会雑誌	54	1	101-107			2018
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	関 典子, 平松 祐司, 小西 郁生, 正岡 直樹, 増山 寿, 寺尾 泰久, 田中 京子	血栓症　術後管理	産婦人科手術	29		105-108			2018
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	田中 京子, 平松 祐司, 増山 寿, 正岡 直樹, 寺尾 泰久, 小西 郁生	血栓症　術前管理	産婦人科手術	29		97-103			2018
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	吉水 美嶺, 濱西 潤三, 近藤 英治, 伊尾 紳吾, 千草 義継, 谷 洋彦, 松村 謙臣, 小西 郁生	当院における過去35年間の妊娠絨毛性腫瘍の検討	産婦人科の進歩	70	1	1-10			2018
英文著述	Basu P, Mukhopadhyay A, Konishi I.	Targeted therapy for gynecologic cancers: Toward the era of precision medicine.	Int J Gynaecol Obstet	143 Suppl 2		131-136			2018 Oct
英文著述	Inayama Y, Hamanishi J, Matsumura N, Murakami R, Abiko K, Yamaguchi K, Baba T, Horie K, Konishi I, Mandai M.	Antitumor Effect of Nivolumab on Subsequent Chemotherapy for Platinum-Resistant Ovarian Cancer.	Oncologist	23	11	1382-1384			2018 Nov

英文著述	Kurata Y, Kido A, Moribata Y, Kameyama K, Minamiguchi S, Konishi I, Togashi K.	Differentiation of Seromucinous Borderline Tumor from Serous Borderline Tumor on MR Imaging.	Magn Reson Med Sci.	17	3	211-217			2018 Jul 10
英文著述	Kameyama KN, Kido A, Himoto Y, Moribata Y, Minamiguchi S, Konishi I, Togashi K.	What is the most suitable MR signal index for quantitative evaluation of placental function using Half-Fourier acquisition single-shot turbo spin-echo compared with T2-relaxation time?	Acta Radiol	59	6	748-754			2018 Jun
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	小西 郁生	【婦人科がん(第2版)-最新の研究動向-】序文 Precision Medicine の展望	日本臨床	76巻増刊2		1-7			2018
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	濱西 潤三, 小西 郁生, 万代 昌紀	【婦人科がん(第2版)-最新の研究動向-】卵巣がん　卵巣癌の治療　免疫チェックポイント(PD-1)阻害薬	日本臨床	76巻増刊2		669-675			2018
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	越山 雅文, 松村 謙臣, 小西 郁生	【婦人科がん(第2版)-最新の研究動向-】卵巣がん　卵巣癌の診断　卵巣がん検診	日本臨床	76巻増刊2		546-551			2018
邦文著述 (学会誌・学術専門誌)	山口 建, 松村 謙臣, 万代 昌紀, 小西 郁生	【婦人科がん(第2版)-最新の研究動向-】卵巣がん　卵巣癌の発生　子宮内膜症関連卵巣癌における分子生物学的な違い	日本臨床	76巻増刊2		506-511			2018
英文著述	Yu Matsuzaka, Ken Yamaguchi, Koki Moriyoshi, Yumi Takao, Kenji Takakura & Ikuo Konishi	Primary retroperitoneal squamous cell carcinoma: a case report with review of the literature	First Online	DOI: 10.1007/s13691-018-00354-2					23 January 2019

緩和ケア科

診療科長
青木　友和

専門医資格等　日本脳神経外科学会　脳神経外科専門医　指導医、地方会評議員
日本脳卒中学会　脳卒中専門医
日本癌治療学会　暫定教育医　脳腫瘍ガイドライン作製委員
アメリカ癌治療学会(ASCO)会員、PEACE緩和ケア指導者
京都大学医学博士
京都大学医学部非常勤講師

専門分野　脳腫瘍(悪性)、下垂体腫瘍、顔面けいれん、三叉神経痛、緩和ケア

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	木下　多愛	日本緩和医療学会　認定医 日本麻酔科学会　専門医 麻酔科標榜医 PEACE緩和ケア指導者	緩和ケア 麻酔	
非常勤医師	土屋　宣之	PEACE緩和ケア　指導者 京滋緩和ケア研究会世話人 日本がん治療認定医機構　暫定教育医 日本臨床検査医学会　臨床検査管理医 京都府医師会がん登録委員会　委員 日本外科学会　認定医	胃腸、肝臓、乳腺	
非常勤歯科医師	下郷麻衣子		口腔内ケア	
スタッフ	飯塚三枝子		音楽療法	
スタッフ	畑　亜紀子		アロマセラピー	
心理療法士	高垣　愉佳		心理療法	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本緩和医療学会

□ 主な対象疾患

癌一般

□ 診療（業務）内容

1. 与えられた構造の中での環境整備ー視覚（照明、花木）、聴覚（院内放送の個室内制限）などー
2. 利用者の価値観や生き方を尊重するためにことさら根気と丁寧さを要するケア、自立性を奪われていく困難と苦痛の中で行われるケア
3. 上記のような場を提供・俯瞰、特殊な感情労働に従事するケアスタッフへの目配り
4. 場の提供に続いてそこで有意義な時間空間を作る力を持った利用者や家族の選択のために入棟の適応の可否を判定員会で議論検討する。

5. 目的としてではなく手段としての症状緩和、薬剤による対処療法の役割は限定的である。たとえ症状緩和に成功しなくとも生きる場所を提供できる可能性もある。自宅に遠く及ばなくとも、多職種による行事企画や音楽療法、アロマセラピー、食事への気配り、家人への配慮を通してかけがえない時間を過ごす場を作りうる。あくまで我々は触媒でしかないのだが。
6. 在宅への橋渡し、レスパイト入院への門戸開放
7. 遺族への配慮：訪問遺族の傾聴に時間をかける他に遺族会、遺族への書状を通して継続的な関わりを試みる
8. 緩和ケアチームを中心とした、一般病棟、地域医療への貢献

□ 診療実績（平成30年度）

緩和ケア内科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
8.6名	36名	42.0日

緩和ケア内科外来患者数

1日平均患者数
0.4名

緩和ケア外科入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
8.3名	36名	37.1日

緩和ケア外科外来患者数

1日平均患者数
2.0名

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	青木 友和	膠芽腫の緩和・終末期ケアの現状と問題点	日本脳神経外科学会　第77回学術総会	仙台	2018.10.10	2018.10.10-10.13
国際学会	Tomokazu Aoki	Phase Ⅰ/Ⅱ Study of Temozolomide Plus Nimustine Chemotherapy For recurrent Malignant Gliomas : Kyoto Neuro-oncogy	23rd Annual Meeting and Education day	NewOrleans, Lousiana	2018.11.17	2018.11.15-11.18
国内学会	青木 友和	悪性脳腫瘍の緩和・終末期ケアの現状と問題点	第36回日本脳腫瘍学会　学術集会	小田原	2018.12.3	2018.12.2-12.4
国内学会	畑 亜紀子	6年半の経験から考察する緩和ケア病棟でのアロマトリートメントの役割	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	208.11.9-11.11
研究セミナー・シンポジウム等	畑 亜紀子	心・身体・記憶に働きかけるアロマセラピー	文化セミナー第17回がん哲学外来京都　メディカルカフェ	京都	2018.5.19	2018.5.19
研究セミナー・シンポジウム等	畑 亜紀子	がんとアロマセラピー	教育セミナーがん看護セミナーステップⅠ	京都	2018.11.17	2018.11.17
研究セミナー・シンポジウム等	畑 亜紀子	がん患者の緩和ケア「アロマセラピーの役割」	第36回がん診療セミナー	京都	2019.1.24	2019.1.24
研究セミナー・シンポジウム等	畑 亜紀子	緩和ケア病棟でのアロマセラピーの有効性の検証	研究セミナーIFPA症例報告会 International Federation Of Professional Aromatherapists	大阪	2019.3.3	2019.3.3
国際学会	Misaki Sakai	Efficacy of the axperience-based philosophical dialogue educadion program for staff to support cancer survivors	International Conference on Cancer Nursing（ICCN 2018）	Auckland, New Zealand	2018.9.24	2018.9.23-9.26

国内学会	坂井 みさき	緩和ケア病棟看護師の専門的緩和ケア実践能力の実態とその関連要因―看護師の対処能力の側面から	第33回日本がん看護学会	福岡	2019.2.24	2019.2.23-2.24
国内学会	下郷 麻衣子	当院緩和ケア病棟における口腔ケアに対する意識調査～アンケート結果から見た歯科介入後の変化について～	第15回日本口腔ケア学会総会・学術大会	福岡	2018.4.29	2018.4.28-29
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	緩和ケアでの口腔管理の実践	第2回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会	京都	2018.5.27	2018.5.26-27
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	終末期がん患者に我々歯科ができること～口腔機能管理の重要性～	平成30年度 第1回　京都東山歯科医師会学術講演会	京都	2018.8.18	2018.8.18
国内学会	下郷 麻衣子	終末期がん患者において歯科医療の関わりが奏功した広範囲ARONJの1例	第63回日本口腔外科学会総会・学術大会	幕張	2018.11.4	2018.11.2-11.4
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	緩和ケア病棟での口腔ケア	第72回国立病院総合医学会シンポジウム	神戸	2018.11.9	2018.11.9
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	がん患者の緩和ケア「緩和ケア病棟における口腔管理」	京都医療センター　第36回がん診療セミナー	京都	2018.12.3	2018.12.3
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	これは使える!吸引機能付きブラシ　終末期患者の口腔ケア	第21回京都府看護学会　ランチョンセミナー（ニプロ）	京都	2019.1.27	2019.1.27
国内学会	下郷 麻衣子	乳癌骨転移患者の骨吸収抑制薬関連顎骨壊死（ARONJ）による疼痛の緩和に歯科的介入が寄与した1例	第31回下西集談会	京都	2019.3.2	2019.3.2
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	終末期がん患者の生命予後予測法の開発に関する研究ー非侵襲的で簡便な口腔粘膜の客観的評価を用いて-	公益財団法人笹川記念保健協力財団　ホスピス緩和ケアに関する　研究助成（2017）報告会	東京	2018.6.23	2018.6.23
研究セミナー・シンポジウム等	櫻井 真知子	緩和ケアチームの活動	京都医療センター　心不全チーム勉強会	京都	2018.4.16	2018.4.16
研究セミナー・シンポジウム等	櫻井 真知子	コミュニケーションー患者の意思決定を支えるためにー	ELNEC-J	京都	2018.9.8-9.9	2018.9.8-9.9
研究セミナー・シンポジウム等	櫻井 真知子	がん患者の看護	実習指導者講習会	大阪	2018.7.18	2018.7.18
研究セミナー・シンポジウム等	櫻井 真知子	「ストレス・コーピング理論」,「危機理論と看護介入」,「診断時からの緩和ケア」	京都医療センター がん看護研修 ステップII	京都	2018.9.29	2018.9.29
国内学会	櫻井 真知子	「看護における倫理的問題と対応」	近畿看護学会	大阪	2018.10.13	2018.10.13
研究セミナー・シンポジウム等	櫻井 真知子	心不全患者に対する緩和ケアチームの取り組み	京都医療センター　地域心不全研修会	京都	2018.10.25	2018.10.25
研究セミナー・シンポジウム等	櫻井 真知子	アドバンス・ケア・プランニング	京都医療センター　地域心不全研修会	京都	2018.11.20	2018.11.20
研究セミナー・シンポジウム等	櫻井 真知子	緩和ケアチームの活動	第36回がん診療セミナー	京都	2019.1.24	2019.1.24
研究セミナー・シンポジウム等	櫻井 真知子	施設で取り組むがん患者への支援	京都医療センター　PEACE研修会	京都	2019.2.11	2019.2.11

眼科

診療部長
喜多　美穂里

専門医資格等　京都大学臨床教授
京都大学非常勤講師
京都大学医学博士
日本眼科学会指導医・日本眼科学会専門医
ＰＤＴ認定医
Ｂｅｓｔ　Ｄｏｃｔｏｒｓ　2012-2019

専門分野　網膜硝子体疾患
内視鏡併用硝子体手術

得意疾患　網膜剥離
糖尿病網膜症

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　長	濵　　祥代	日本眼科学会専門医	眼科一般	
医　　師	山田　裕史	日本眼科学会専門医	眼科一般	
レジデント	森　　雄貴		眼科一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本眼科学会研修施設

・科長交代があった2012年より、手術・検査機器を整備し、網膜硝子体手術を本格始動いたしました。
・当院眼科は、白内障手術を多く手掛けること、網膜硝子体疾患に強いことが特長です。
・最新硝子体・白内障手術装置、広角観察システム、眼内シャンデリア照明、眼内内視鏡、３Ｄビジュアルシステムを用いた小切開硝子体手術で、糖尿病網膜症・網膜剥離・増殖硝子体網膜症などの高難度の網膜硝子体疾患の治療を行っています。
・2012年4月より新しく保険収載となった眼内内視鏡硝子体手術を積極的に行っています。内視鏡手術では、国内外で先駆的な役割を果たしています。
・眼科全般に、高度で最新の医療を提供します。
・新しい治療方法・手術機器の開発や、手術成績などに関して、国内外に情報を発信し、他施設との連携を密に行い、毎日の診療の場に還元できるように努力しています。
・糖尿病網膜症：当院がWHO指定の糖尿病センターであることもあり、当院糖尿病センター・内分泌代謝疾患センターと連携して、糖尿病患者さんの網膜症診療を担当しています。病気の進行を定期的にチェックし、必要に応じて、レーザーによる網膜光凝固術や、合併症である白内障や糖尿病網膜症に対し、手術治療を行います。
・未熟児網膜症：NICUを有する当院小児科と連携して、未熟児の重篤な合併症である網膜症に対し、赤ちゃんの視力を守るための検査・治療を行います。

□ 主な対象疾患

・網膜剥離・増殖硝子体網膜症・糖尿病網膜症・黄斑円孔・黄斑上膜・黄斑浮腫・加齢黄斑変性などの網膜硝子体疾患
・白内障全般、緑内障全般
・感染症および非感染性ぶどう膜炎・眼内炎・角膜炎、視神経疾患

□ 診療（業務）内容

1. “見える”というゴールを目標に、全身の一部としての眼科治療をめざします
   眼科的疾患のほかにも様々な全身疾患を併せ持つ患者さんにも、手術をはじめ、様々な治療を安全に効率良く提供し、より良い視力の 獲得にむけて努力しています。
2. 地域医療の一翼として、開業医や他病院の先生方と協力し、より良い医療の提供をめざします
   さまざまな医療資源を備える総合病院として、ホームドクターの先生との連携のもと、より高度な医療の提供に努力しています。 内視鏡硝子体手術をはじめとする先進的医療の実践に努めます。
3. メディカルスタッフ一丸となって、安心で確かな医療を実践します
   医師、看護師、視機能訓練士、メディカルクラーク等のチームワークを大切に、各々の職種が全力で日々切磋琢磨し、安心して確かな医療を受けていただけるように努力しています。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

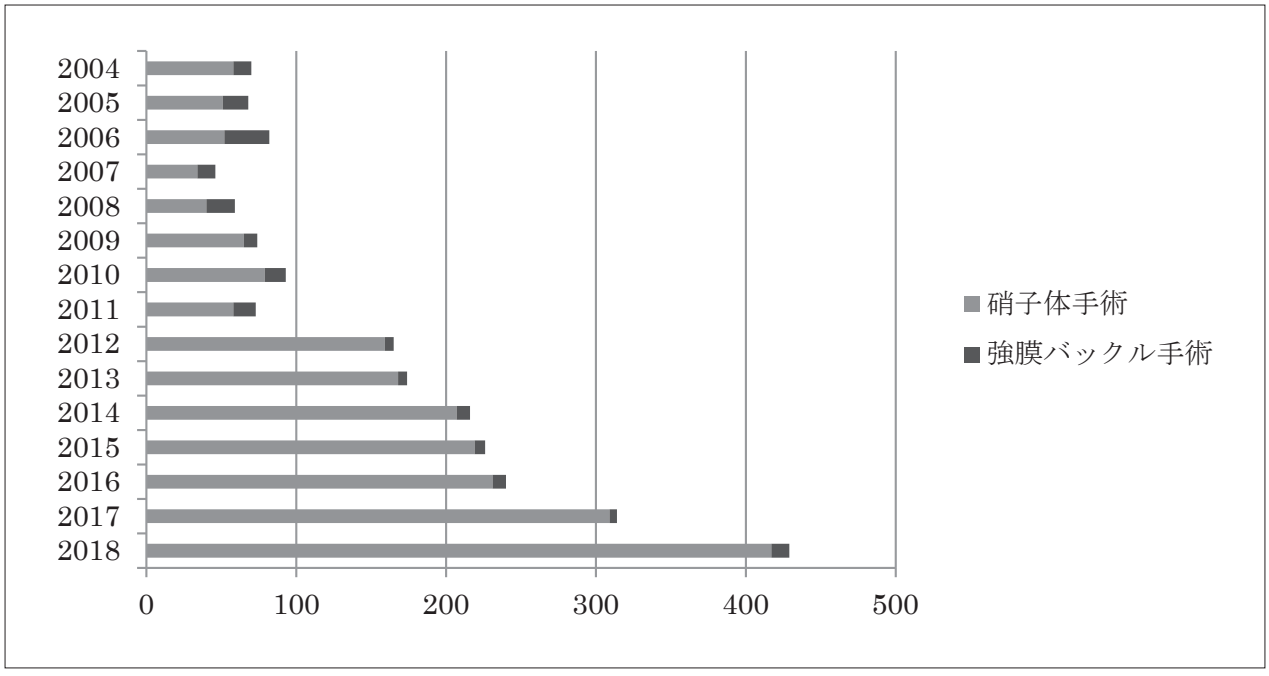
1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
16.5名	1178名	5.1日

外来患者数

1日平均患者数
63.6名

主な手術・検査の件数など

水晶体再建術	硝子体手術	強膜バックル手術	緑内障手術	中央手術室手術検査合計
903件	417件	12件	3件	1,237件



□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

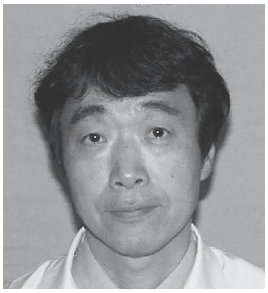
分類	演者（全員）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会地方会及び分科研究会	喜多美穂里	3Dビジュアルシステムを用いたハイブリッド手術	眼科連携FSM2017	京都市	2018.6.9	2018.6.9
国内学会地方会及び分科研究会	加藤慶、武村美智代、大門彩香、山藤満、吉田直子、喜多美穂里	造影検査を動画でみる	眼科連携FSM2017	京都市	2018.6.9	2018.6.9
国内学会地方会及び分科研究会	森雄貴、山田裕史、秋田穣、新井真理、喜多美穂里	当科における白内障手術の現状	眼科連携FSM2017	京都市	2018.6.9	2018.6.9
国内学会地方会及び分科研究会	森雄貴、山田裕史、浜祥代、喜多美穂里	非裂孔原性網膜剥離	眼科連携FSM2017	京都市	2018.6.9	2018.6.9
国内学会地方会及び分科研究会	山田裕史、森雄貴、浜祥代、喜多美穂里	眼所見から全身疾患診断へ	眼科連携FSM2017	京都市	2018.6.9	2017.6.10
国内学会地方会及び分科研究会	喜多美穂里、森雄貴、山田裕史、浜祥代、秋田穣、新井真理	バックル手術も3Dビジュアルシステム	眼科連携FSM2017	京都市	2018.6.9	2018.6.9
国内学会地方会及び分科研究会	喜多美穂里	実践! RVOとDMEにおける抗VEGF薬の使い方（特別講演　座長）	眼科連携FSM2017	京都市	2018.6.9	2018.6.9
国際学会	喜多美穂里	なんてったて内視鏡―最先端とのコラボ（モーニングセミナー、座長）	第122回日本眼科学会総会	大阪市	2018.4.20	2018.4.19-22
国内学会	喜多美穂里	3Dビジュアルシステムとのマリアージュ（モーニングセミナー）	第122回日本眼科学会総会	大阪市	2018.4.20	2018.4.19-22
国内学会	喜多美穂里	33Dビジュアルシステム more than 100%	第51回RETINAの会	大阪市	2018.4.21	2018.4.21
国内学会	喜多美穂里	パネルディスカッションII「興味ある症例」	第17回硝子体手術ビデオセミナー	東京	2018.5.13	2018.5.13
国内学会	喜多美穂里	パネルディスカッションI「トラブルシューティング」	第17回硝子体手術ビデオセミナー	東京	2018.5.13	2018.5.13
国内学会	喜多美穂里	一日でわかる硝子体手術―3D, 内視鏡	第17回硝子体手術ビデオセミナー	東京	2018.5.13	2018.5.13
国内学会	喜多美穂里	3Dハイブリッド手術ーもう鏡筒はのぞかないー	第58回大阪眼科手術の会	大阪市	2018.10.20	2018.10.20
国内学会	喜多美穂里、森雄貴、山田裕史、浜祥代	眼底観察用レンズHHVディスポZdの開発、使用経験	第69回京大眼科同窓会学会	京都市	2018.10.21	2018.10.21
国内学会	喜多美穂里、大島佑介、門之園一明、木村英也、日下俊次、栗山晶治、竹内忍	網膜剥離ファイトクラブー症例をシェアして自分のものにする（インストラクションコース）	第72回日本臨床眼科学会	東京	2018.10.13	2017.10.11-14
国内学会	喜多美穂里	もう二度とくっつかない	第52回RETINAの会	東京	2018.10.13	2018.10.13
国内学会	喜多美穂里、森雄貴、山田裕史、浜祥代	3Dビジュアルシステムの使用経験	第72回国立病院総合医学会	神戸市	2018.11.9	2018.11.9-10
国内学会	喜多美穂里、森雄貴、山田裕史、浜祥代	強膜バックリング手術における3Dビジュアルシステムの使用経験	第57回日本網膜硝子体学会総会	京都市	2019.12.8	2018.12.7-9
国内学会	喜多美穂里	一般口演（網膜硝子体）「新しい術式」（座長）	第42回日本眼科手術学会総会	横浜市	2019.2.1	2019.2.1-3
国内学会	喜多美穂里	眼科内視鏡最前線　ランチョンセミナー　（座長）	第42回日本眼科手術学会総会	横浜市	2019.2.2	2019.2.1-3
国内学会	喜多美穂里	眼内内視鏡2019.　ランチョンセミナー	第42回日本眼科手術学会総会	横浜市	2019.2.2	2019.2.1-3
国内学会	喜多美穂里	内視鏡の併用でどこまでできるか. シンポジウム　近未来の硝子体手術を考える	第42回日本眼科手術学会総会	横浜市	2019.2.3	2019.2.1-3
その他	喜多美穂里	眼科最新手術ーもう顕微鏡はのぞかない―	第12回京都医療センター医療連携フォーラム	東京	2019.2.23	2019.2.23
国内学会地方会及び分科研究会	喜多美穂里	オーガナイザー、座長	眼科コールドケース2019	京都市	2019.1.24	2019.1.24
国内学会地方会及び分科研究会	喜多美穂里	がんばRETINA	眼科コールドケース2019	京都市	2019.1.24	2019.1.24

その他	喜多美穂里	薬物、眼科疾患	第41回コメディカル講習会	京都市	2019.2.16	2019.2.16
国際学会	Mihori Kita	Hybrid wide angle viewing and endoscopic vitrectomy using a 3D visualization system.（Symposium）	Retina World Congress	Fort Lauderdale, USA	2019.3.22	2019.3.21-24
その他	森雄貴	Zinn小帯脆弱例で苦労した白内障手術症例	第5回京滋地区症例検討会	京都市	2019.2.22	2019.2.22

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文原著論文筆頭者	喜多美穂里、森雄貴、浜祥代	Hybrid wide-angle viewing-endoscopic vitrectomy using a 3D visualization system. Clinical Ophthalmol	Clinical Ophthalmol		12:	313-317			2018;
英文原著論文筆頭者	喜多美穂里、藤井友起子、浜祥代	Jpn J Ophthalmol	Jpn J Ophthalmol		62:	302-306			2018 ;
和文総説・著書筆頭者	喜多美穂里	小児臨床	小児臨床		71：	2207-2210			2018
和文総説・著書筆頭者	喜多美穂里	HOYA Technical News	HOYA Technical News		29:	6-7			2018；
和文総説・著書筆頭者	喜多美穂里	日本の眼科	日本の眼科		90：	18			2019;
和文総説・著書筆頭者	喜多美穂里	新春随筆.　伏見医報	伏見医報		705:	3			2019;
和文総説・著書筆頭者	喜多美穂里	京都府眼科医会報	京都府眼科医会報		228:	11			2019;

耳鼻咽喉科・頭頸部外科



診療科長
(耳鼻咽喉科)
辻　純

専門医資格等
　日本耳鼻咽喉科専門医
　京都大学医学博士
　京都大学医学部臨床教授
　日本耳鼻咽喉科学会代議員
専門分野
　耳科学・耳鼻咽喉科
得意疾患
　中耳疾患、めまい疾患

診療科長
(頭頸部外科)
安里　亮

専門医資格等
　日本耳鼻咽喉科専門医
　頭頸部がん専門医・指導医
　内分泌外科専門医
　気管食道科専門医
　日本がん治療認定医
　日本頭頸部癌学会代議員
　日本頭蓋底外科学会評議員
　日本気管食道科学会評議員
専門分野
　頭頸部外科・甲状腺外科
得意疾患
　頭頸部がん、甲状腺手術

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　員 (耳鼻咽喉科)	嘉田　真平	日本耳鼻咽喉科学会専門医 頭頸部がん専門医	耳鼻咽喉科 頭頸部外科一般	頭頸部癌 甲状腺癌 音声疾患
医　　員 (耳鼻咽喉科)	森田　真美	日本耳鼻咽喉科学会専門医	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	耳鼻咽喉科一般
医　　員 (耳鼻咽喉科)	辻　　拓也	日本耳鼻咽喉科学会専門医	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	耳鼻咽喉科一般
医　　員 (頭頸部外科)	片岡　通子		耳鼻咽喉科 頭頸部外科	耳鼻咽喉科一般
医　　員 (耳鼻咽喉科)	伊藤 真裕子		耳鼻咽喉科一般	耳鼻咽喉科一般

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本耳鼻咽喉科学会専門医制度専門医研修施設 内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医研修施設 日本気管食道科専門医認定施設

1. 伝音再建を中心とした中耳疾患手術
2. 頭頸部進行癌に対する拡大手術を中心とした集学的治療による治癒率向上
3. 頭頸部癌による低侵襲手術の開発によるQOL向上
4. QOLを考慮した甲状腺手術
5. 頭頸部・甲状腺外科執刀医養成のシステム
6. スタッフ全員による入院患者の診断・治療
7. 京都大学側頭骨セミナーへ講師として参加
8. めまいの診断と治療

□ 主な対象疾患

・真珠腫性中耳炎・慢性中耳炎
・めまい症
・頭頸部癌（口腔癌：舌癌・歯肉癌・頬粘膜癌・口腔底癌、咽頭癌、喉頭癌、鼻・副鼻腔癌：上顎洞癌・篩骨同癌、耳下腺癌・顎下腺癌など）
・甲状腺癌・甲状腺良性腫瘍・副甲状腺腫瘍・バセドウ病（手術）
・頭頸部良性腫瘍・頭蓋底進展腫瘍・咽頭表在癌

□ 診療（業務）内容

耳鼻咽喉科と頭頸部外科はともに外来・病棟・手術を行っている（手術数などは両科合同）。真珠腫・中耳炎・めまい・顔面神経麻痺など耳科全域を行っている。一般的な頭頸部癌・甲状腺癌の治療はもとより進行癌の治療も積極的に行い根治治療を目指しており、再建を要する頭頸部進行癌や縦隔浸潤する甲状腺癌・頭蓋底に進展する頭頸部腫瘍は関西一円はもとより関東・中国地方などからも治療をうけにこられている。また、低侵襲手術としての口腔癌に対するPGAシート被覆法を開発し、学会などで積極的に発表し標準治療としての普及を図っている。さらに経口的な咽頭がんの切除により、QOLを保った治療も積極的に行っており、これらも関西以外からも手術を希望されて当科に紹介される場合が多い。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
22.6名	538名	15.3日

外来患者数

1日平均患者数
55.2名

主な手術・検査の件数など

耳手術	鼻副鼻腔手術	甲状腺・副甲状腺手術	頭頸部腫瘍手術
26件	37件	106件	149件

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	伊藤 真裕子, 辻拓也, 森田真美, 嘉田真平, 田浦晶子, 安里亮, 辻純	Hobnail様の細胞を有する甲状腺乳頭癌の2例	第51回日本甲状腺外科学会学術集会	神奈川（横浜）	2018.10.25	2018.10.25-2018.10.26
国内学会	安里　亮, 森田真美, 伊藤真裕子, 伊藤通子, 辻　拓也, 嘉田真平, 辻　純	動脈塞栓後に摘出した頬部動静脈瘻例	第29 回日本頭頸部外科学会	仙台	2019.1.24	2019.1.24-25
国内学会	森田真美、安里亮、田浦晶子、片岡通子、嘉田真平、宮崎眞和、辻純.	喉頭蓋顆粒細胞腫の1 例	第119回日本耳鼻咽喉科学会	横浜	2018.6.1	2018.5.30-6.2
国内学会	安里　亮	口腔内における生体吸収性材料の使用	第48回日本創傷治癒学会	東京	2018.11.29	2018.11.29-30

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者以外）	安里亮	Survival in patients with parotid gland carcinoma - Results of a multi-center study.	Am J Otolaryngol	39	1	65-70			2018
英文論文（筆頭著者以外）	安里亮	Survival in patients with submandibular gland carcinoma — Results of a multi-institutional retrospective study	Auris Nasus Larynx	45	5	1066-1072			2018
英文論文（筆頭著者以外）	安里亮	Unknown primary squamous cell carcinoma of the head and neck: retrospective analysis of 80 cases	Acta Otolaryngol	138	6	590-596			2018
英文論文（筆頭著者以外）	安里亮, 辻純, 宮崎眞和、嘉田真平、片岡通子	Sensory preservation in neck dissection: outcomes of a sub-sternocleidomastoid approach.	Acta Otolaryngol	138	8	763-767			2018
和文原著論文（筆頭著者以外）	安里亮	耳下腺癌と顎下腺癌の比較：多施設共同による後方視的研究	頭頸部癌	44	1	39-45			2018
和文原著論文（筆頭著者以外）	安里 亮, 辻 純, 宮﨑 眞和, 田浦 晶子, 嘉田 真平, 片岡 通子.	永久気管孔狭窄症例の臨床的検討	日気管食道会報	69	3	197-203			2018
英文論文（筆頭著者以外）	安里 亮	Adenoid cystic carcinoma of the head and neck: a retrospective multicenter study	Acta Otolaryngol	138	1	73-79			2018

麻酔科

診療部長
七野　力

専門医資格等　厚労省標榜医
日本麻酔科学会指導医・専門医
日本集中治療学会専門医
京都大学医学部臨床教授
関西医科大学臨床教授
京都大学医学博士

専門分野　麻酔管理一般、集中治療、心臓血管外科麻酔

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　師	杉本　亮大	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般、 心臓血管外科麻酔	
医　師	藤田　靖子	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般	
医　師	原　祐介	厚労省標榜医 日本麻酔科学会認定医	麻酔管理一般	
医　師	原　りさ	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般	
医　師	松山　智紀	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医 京都大学医学博士	麻酔管理一般 心臓血管外科麻酔	
医　師	吉岡　清行	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般	
医　師	森　悠	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医 日本心臓血管麻酔学会専門医 日本周術期経食道エコー（JBPOT）合格 米国周術期経食道エコー（PTEeXAM）合格 日本小児麻酔学会認定医	麻酔管理一般 心臓血管外科手術の麻酔管理 小児の麻酔管理	
医　師	水津　悠	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医 日本周術期経食道エコー 認定試験（JBPOT）合格 日本集中治療学会専門医	麻酔管理一般 心臓血管外科麻酔 救急・集中治療	
医　師	浜川　綾子	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般	
医　師	鈴木　陽世	厚労省標榜医 日本麻酔科学会専門医	麻酔管理一般	
専攻医	南迫　一請			
非常勤医師	鈴木万里子		麻酔管理一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本麻酔科学会研修施設 日本集中治療学会認定施設

1. 麻酔管理
2. 集中治療管理

□ 主な対象疾患

麻酔管理：外科手術一般
集中治療：敗血症、肺炎、ＡＲＤＳ、多臓器不全、術後管理一般

□ 診療（業務）内容

手術を受けられる患者さんに対する麻酔の施行と全身管理

当科では患者さんのご希望を最大限に尊重しながら、患者さんの全身状態、手術の内容を勘案してもっとも安全で苦痛の少ない麻酔法を選択しています。近年は全身麻酔と神経ブロックなど、各種麻酔法を組み合わせる方法が増加しています。それぞれの長所を生かしつつ、かつ短所を最小限に抑えることにより、手術が終わっても痛みが少なく、安全でしかも目覚めがよい麻酔を心がけています。

重症患者さんに対する集中治療室（ＩＣＵ）での集学的治療

本院は院内に2か所の集中治療室を有する全国でも数少ない施設です。救命センターと手術室フロアにそれぞれ設置されており、ともに日本集中治療学会認定の専門医が従事しています。麻酔科ではこのうち、手術室フロアのＩＣＵ（院内ＩＣＵ）の管理を行っています。院内ＩＣＵでは主に手術後の患者さんと重症の入院患者さんの全身管理を行っています。

□ 診療実績（平成30年度）

主な手術・検査の件数など

全身麻酔（鎮静を含む）	全身麻酔（+脊、硬、ブロック）	脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔
2,825件	633件	207件

麻酔科管理症例　計	院内ＩＣＵ入室患者数
3,665件	702件

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	鈴木　陽世	救急外来受診の時間帯における消化器外科手術待機時間の検討	日本麻酔科学会第65回学術集会	横浜	2018.5.17	2018.05.17-2018.05.19
国内学会	水津　悠	局所脳酸素飽和度（rSO2）が大量出血時の循環動態把握に有効だった1症例	第46回日本集中治療医学会学術集会	京都	2019.3.2	2019.3.1-3.3
研究セミナー・シンポジウム等	森　悠	冠動脈バイパス術後の壊疽性胆嚢炎で緊急手術中に心停止となり蘇生に難渋した1症例	第24回侵襲反応制御医学研究会	京都	2019.1.19	2019.1.19

放射線科

医療技術部長
伊藤　剛

専門医資格等
日本医学放射線学会
専門医
PET核医学認定医
臨床研修指導医
京都大学医学部臨床
教授

専門分野
画像診断

診療科長
荒木　則雄

専門医資格等
日本医学放射線学会
専門医
日本放射線腫瘍学会
専門医
がん治療認定医
臨床研修指導医

専門分野
放射線腫瘍学

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
放射線診断科医長	広川　侑奨	日本医学放射線学会専門医、日本核医学会専門医、PET核医学認定医、検診マンモグラフィ読影認定医（評価A-S）	画像診断、核医学、IVR	腹部画像診断
放射線科医師	黒田　昌志	日本医学放射線学会専門医、日本核医学会専門医、PET核医学認定医、検診マンモグラフィ読影認定医（評価A-S）	画像診断	骨軟部画像診断
放射線科医師	大堂さやか	日本医学放射線学会専門医、PET核医学認定医	画像診断	婦人科画像診断
放射線科医師	西松　佳代	日本医学放射線学会専門医、日本核医学会専門医、PET核医学認定医	画像診断、核医学	画像診断、核医学診断
放射線科医師	河村　光栄	日本医学放射線学会専門医、日本放射線腫瘍学会専門医、第一種放射線取扱主任者	放射線腫瘍学	放射線治療全般
放射線科レジデント	渡邉　幸香		画像診断	
放射線科レジデント	諸岡　　紳		画像診断	
技師長	松尾　浩二	磁気共鳴専門技術者、衛生工学衛生管理者、第1種放射線取扱主任者、第一種作業環境測定士		
副技師長	松田　一秀	第一種衛生管理者、衛生工学衛生管理者		
副技師長	井上　賀仁	X線CT認定技師、マンモグラフィ認定技師		
主任	榎本　直之	核医学専門技師		
主任	山中　早苗	エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、マンモグラフィ認定技師、衛生工学衛生管理者、第1種放射線取扱主任者、第一種作業環境測定士、放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士		
主任	樋口　孝次	エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師		
主任	山本　　匠	磁気共鳴専門技術者、X線CT認定技師、マンモグラフィ認定技師		

主　　任	松本　一繁	肺がんCT検診認定技師、マンモグラフィ認定技師、医療情報技師、放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士		
主　　任	室屋　隆伸	X線CT認定技師、マンモグラフィ認定技師		
技　　師	川端　清志	放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士		
技　　師	西川　峰生	X線CT認定技師、救急撮影認定技師		
技　　師	四丸　真俊	X線CT認定技師、エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、救急撮影認定技師、マンモグラフィ認定技師、放射線管理士、放射線機器管理士		
技　　師	小田　晴義	X線CT認定技師、救急撮影認定技師、マンモグラフィ認定技師、日本救命医学会認定ICLSインストラクター、PET認定技師		
技　　師	山本　　崇	救急撮影認定技師、マンモグラフィ認定技師		
技　　師	竹原　和宏	X線CT認定技師、エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者、医療情報技師、衛生工学衛生管理者、初級アドミニストレーター、第1種放射線取扱主任者、PET認定技師、情報セキュリティマネージメント、公認医療情報システム監査人		
技　　師	淺野　朱香	マンモグラフィ認定技師、核医学専門技師、第1種放射線取扱主任者、PET認定技師		
技　　師	戸坂　善彦	医療情報技師		
技　　師	辰野　絢香	X線CT認定技師		
技　　師	嵯峨根真也	核医学専門技師、第1種放射線取扱主任者		
技　　師	濵田佳代子	医療情報技師、マンモグラフィ認定技師、PET認定技師、情報セキュリティマネージメント		
技　　師	藤田　訓充			
技　　師	吉川　拓行			
技　　師	熊給　　淳	磁気共鳴専門技術者、X線CT認定技師、救急撮影認定技師		
技　　師	若畑　旬弥	放射線管理士、放射線機器管理士、PET認定技師		
技　　師	池上　周平	エックス線作業主任者、ガンマ線透過写真撮影作業主任者		
技　　師	山本　　眸	マンモグラフィ認定技師		
技　　師	小嶋　智大			
技　　師	中村あゆみ	マンモグラフィ認定技師		
技　　師	戸川　謙太			
技　　師	穴吹　泰博			
技　　師	的場　　徹			
技　　師	仲山　暁介			
技　　師	林　　由貴	マンモグラフィ認定技師		

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本医学放射線学会総合修練施設

□ 主な対象疾患

悪性腫瘍全般

□ 診療（業務）内容

ほぼ全領域の画像診断、頭部および心臓血管領域を除くIVR、悪性腫瘍を中心とする放射線治療

□ 診療実績（平成30年度）

外来患者数

1日平均患者数
23.8名

主な手術・検査の件数など（放射線治療）

年間治療件数
7,777件

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	穴吹　泰博	血管撮影室における室内散乱X線量測定の改善	国立病院近畿放射線技師会第27回　学術大会	大阪	2018.9.22	2018.9.22
国内学会	辰野　絢香	上肢静脈穿刺部位による造影剤到達時間と造影効果の検討	国立病院近畿放射線技師会第27回　学術大会	大阪	2018.9.22	2018.9.22
国内学会	辰野　絢香	上肢静脈穿刺部位による造影剤到達時間と造影効果の検討	第72回国立病院総合医学会	兵庫	2018.11.9	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会	若畑　旬弥	18F-FDG_体幹部PET検査における撮像時間短縮の検討	第72回国立病院総合医学会	兵庫	2018.11.10	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会	穴吹　泰博	血管撮影室における室内散乱X線量測定の改善	第72回国立病院総合医学会	兵庫	2018.11.10	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会	熊給　淳	TRの変化による脊髄T2WI撮像におけるDriven Equilibrium Pulseの影響の検討	第72回国立病院総合医学会	兵庫	2018.11.10	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会	淺野　朱香	骨SPECT定量解析ソフトを用いた123I副腎髄質シンチにおける定量値算出の検討	第38回日本核医学技術学会総会学術大会	沖縄	2018.11.15	2018.11.15 ～ 2018.11.17
研究セミナー・シンポジウム等	榎本　直之	脳SPECT検査の画像再構成の流れ	京都脳神経イメージング研究会2018	京都	2018.6.7	2018.6.7
研究セミナー・シンポジウム等	渡邉　幸香、諸岡　紳、濱中　訓生、西松　佳代、大堂　さやか、黒田　雅志、広川　侑奨、楢林　正流、荒木　則雄、伊藤　剛	原発性前立腺粘液腺癌の一例	第319回日本医学放射線学会関西地方会	大阪	2018.6.9	2018.6.9
研究セミナー・シンポジウム等	淺野　朱香	ガイドラインを参考とした脳血流SPECT画像における撮像及び再構成条件の再考	第28回京滋核医学セミナー	京都	2018.6.16	2018.6.16

研究セミナー・シンポジウム等	榎本　直之	脳血流SPECT撮像の標準化に関するガイドライン1.0の概要について	第65回京都RI懇話会	京都	2018.10.12	2018.10.12
研究セミナー・シンポジウム等	諸岡　紳、渡邉　幸香、濱中　訓生、西松　佳代、大堂　さやか、黒田　昌志、広川　侑奨、河村　光栄、荒木　則雄、伊藤　剛	嚢胞性腫瘍との鑑別困難であった膵神経内分泌腫瘍の一例	第320回日本医学放射線学会関西地方会	大阪	2018.11.10	2018.11.10
研究セミナー・シンポジウム等	山本　匠	CT造影理論	近畿グループCT検査実習技能研修	大阪	2018.11.17	2018.11.17
研究セミナー・シンポジウム等	山本　匠	主任技師の役割と自覚―CT認定技師の立場から―	近畿グループ中堅診療放射線技師研修	大阪	2018.11.30	2018.11.30
研究セミナー・シンポジウム等	熊給　淳	婦人科Dynamicの検討	第19回京滋GyroMeeting	京都	2019.2.23	2019.2.23

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者以外）	河村　光栄	A scoring system predicting acute radiation dermatitis in patients with head and neck cancer treated with intensity-midulated radiotherapy.	Radiat. Oncol.	14	14	1-9			2019.Jan

リハビリテーション科

診療科長
山田　茂

専門医資格等　日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会運動器リハビリテーション医
京都大学　医学博士
京都大学医学部　臨床教授
専 門 分 野　運動器領域

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野
医　　長	中島　康代	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 京都大学　医学博士	循環器内科 心臓リハビリテーション
医　　長	井村　美紀	日本リハビリテーション医学会専門医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 心臓リハビリテーション指導士 日本医師会認定スポーツ医	内科 集中治療領域リハビリテーション 呼吸リハビリテーション

□ 療法士

理学療法士　15名　　作業療法士　6名　　言語聴覚士　5名

□ 診療科の特徴

1. 救急医療に重点を置く当院の方針に従って、入院患者の急性期リハビリテーションを基本に診療しています。
2. 特に重症疾患に対する集中治療中の超急性期リハビリテーションに力を入れています。生命維持装置を装着した重症例に対して早期から介入していくことで床上安静による二次障害を予防し、ADL, QOLの改善に寄与します。
3. がん診療を補完するものとして、在宅療養への移行を支援します。

□ 主な対象疾患

疾患により、またその治療に伴う安静等によって障害される身体機能の回復を目指して、各科各種疾患に対応します。

疾患別リハビリテーション：脳血管疾患（Ⅰ）、心大血管疾患（Ⅰ）、運動器（Ⅰ）、呼吸器（Ⅰ）、がん、廃用症候群（Ⅰ）

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	井村美紀、中島康代、山田茂	人工呼吸器管理、気管切開後のコミニュケーションツールの検討	第55回日本リハビリテーション医学会学術集会	福岡		2018.6.28 ～ 7.1

歯科口腔外科

診療科長
吉田　和也

専門医資格等　日本口腔外科学会専門医・指導医
日本顎関節学会専門医・指導医
日本補綴歯科学会専門医・指導医
日本睡眠学会認定歯科医・評議員
日本睡眠歯科学会専門医・指導医・評議員
大阪歯科大学歯学博士
京都大学医学博士
厚生労働省歯科医師臨床研修指導歯科医

専門分野　口腔外科一般

得意疾患　睡眠時無呼吸症候群、顎口腔領域の不随意運動（ジストニア、ジスキネジア、ブラキシズム）、顎顔面補綴

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	宮本絵里加	日本口腔ケア学会認定医 日本外傷歯学会認定医・評議員	口腔外科一般	口腔ケア
レジデント	井上　　亮		口腔外科一般	
研修医	木塚　慎哉		口腔外科一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本口腔外科学会認定機関 日本顎関節学会認定機関 日本睡眠学会認定機関 日本補綴歯科学会認定機関

1．迅速で的確な診断を心がけます。
2．複数の治療法を呈示し、十分に話し合った後、最適な治療を行います。
3．治療にあたっては低侵襲を心がけます。
4．口腔ケアや口腔衛生指導によって、治療と予防を実践します。

□ 主な対象疾患

親知らず（智歯）、埋伏歯の抜歯・口の中の腫瘍（腫れ物）、のう胞（膿の袋）・顎の骨折や歯、口腔の外傷・顎関節症、その他の顎関節疾患・顎変形症（歯並び、咬み合わせ、受け口など顎の形の異常）・口腔乾燥や唾液の異常、舌痛症（舌のヒリヒリする痛みや違和感）・顎口腔領域の手術後や外傷による顎顔面欠損の顎顔面補綴治療・手術、放射線治療、化学療法前後の口腔衛生指導、口腔ケア・歯茎、顎の骨の炎症・口内炎、舌や頬の炎症・入院患者さんあるいは全身疾患（心疾患、糖尿病、高血圧、抗血栓療法中など）のある外来患者さんの歯科治療

専門で取り扱っている疾患
・睡眠呼吸障害（睡眠時無呼吸症候群、いびき、上気道抵抗症候群）
・顎口腔領域の不随意運動（ジストニア、ブラキシズム、ジスキネジアなど）
・顎関節疾患（顎関節症、顎関節脱臼、咬筋肥大症、筋突起過長症、咀嚼筋腱・腱膜過形成症など）
・顎口腔領域の手術後や外傷による顎顔面欠損

□ 診療（業務）内容

当科は日本口腔外科学会の認定機関であるばかりではなく、日本顎関節学会、日本睡眠学会、日本補綴歯科学会の認定機関でもあり、顎口腔領域のさまざまな疾患の総合的な診断と一貫した治療が可能です。多くの大学医学部あるいは歯学部附属病院や総合病院から多数の患者さんが紹介受診されています。一般的な口腔外科的治療や救急対応、有病者（心疾患、糖尿病、高血圧、抗血栓療法中、ビスフォスフォネート系薬剤使用中など）の歯科治療、入院患者さん(一般病棟、ICU、緩和ケア病棟）の歯科治療や手術前後の口腔ケアを行います。口腔外科的治療とは主に口腔腫瘍、顎顔面外傷、顎関節疾患などの手術を要する疾患に対して行われる治療を指します。

専門で取り扱っている疾患と治療として睡眠呼吸障害（睡眠時無呼吸症候群、いびき、上気道抵抗症候群）に対する口腔内装置治療（マウスピース）、顎関節疾患（顎関節症、顎関節脱臼、咬筋肥大症、筋突起過長症、咀嚼筋腱・腱膜過形成症など）の補綴的あるいは口腔外科的治療、インプラント治療、顎口腔領域の不随意運動（ジストニア、ジスキネジア、ブラキシズムなど）の内服治療、局所麻酔薬によるブロック療法（MAB療法）、ボツリヌス療法や口腔外科的手術療法、顎口腔領域の手術後や外傷による顎顔面欠損の顎顔面補綴治療などがあります。口と顎の領域のジストニアを専門で治療や研究を行っている科は全国的にも例がありません。患者さん用のサイト「顎口腔領域の不随意運動」（http://sites.google.com/site/oromadibulardystonia/）を開設し、日本全国および海外からも問い合わせ、受診が急増しております。治療のため当院に入院していただくメディカルツーリズム（医療観光）により遠方からも患者さんに受診していただけるよう願っております。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
2.3名	129名	6.6日

外来患者数

1日平均患者数
48.7名

主な手術・検査の件数など

抜歯術	嚢胞摘出術	腫瘍摘出術	骨折手術	インプラント手術
815件	68件	57件	15件	8件

顎変形症手術
8件

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会	Kazuya Yoshida	Eating habits and chewing characteristics in patients with obstructive sleep apnea syndrome	The 9th Congress of Asian Sleep Research Society	Sapporo	2018.7.11 ～ 2018.7.13	2018.7.11 ～ 2018.7.13
国内学会	下郷　麻衣子	当院緩和ケア病棟における口腔ケアに対する意識調査～アンケート結果から見た歯科介入後の変化について～	第15回日本口腔ケア学会総会・学術大会	福岡	2018.4.29	2018.4.28 ～ 2018.4.29
国内学会	Kazuya Yoshida	Botulinum neurotoxin therapy for recurrent temporomandibular joint dislocation	第31回日本顎関節学会総会・学術大会	小倉	2018.7.8	2018.7.7 ～ 2018.7.8
国内学会	吉田 和也, 宮本 絵里加, 山口 隆子, 木塚 慎哉, 下郷 麻衣子, 兵 行忠	舌ジストニアに対するボツリヌス療法とMAB（Muscle afferent block）療法	第63回　日本口腔外科学会総会・学術大会	幕張	2018.11.3	2018.11.2 ～ 2018.11.4

国内学会	下郷 麻衣子, 吉田 和也, 宮本 絵里加, 木塚 慎哉, 兵　行忠	終末期がん患者において歯科医療の関わりが奏功した広範囲ARONJの1例	第63回日本口腔外科学会総会・学術大会	幕張	2018.11.4	2018.11.2 ～ 2018.11.4
国内学会	井上 亮	頬部外傷後に生じた敗血症性肺塞栓症の1例	第63回日本口腔外科学会総会・学術大会	幕張	2018.11.4	2018.11.2 ～ 2018.11.4
国内学会	吉田 和也, 山口 隆子, 木塚 慎哉, 宮本 絵里加, 下郷 麻衣子, 兵 行忠	習慣性顎関節脱臼に対するボツリヌス治療	第72回国立病院総合医学会総会	神戸	2018.11.9	2018.11.9 ～ 2018.11.10
研究セミナー・シンポジウム等	吉田 和也	反復性顎関節脱臼に対するボツリヌス治療	第5回日本ボツリヌス治療学会学術大会	東京	2018.11.8 ～ 2018.11.9	2018.11.8 ～ 2018.11.9
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	歯科医療における薬物治療との問題	第九回下京南薬剤師会総会	京都	2018.5.12	2018.5.12
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	緩和ケアでの口腔管理の実践	第2回全国在宅医療医歯薬連合会全国大会	京都	2018.5.27	2018.5.27
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	栄養サポートにおける口腔機能管理「食べられるお口」を支援する	京都医療センター第2回 NST勉強会	京都	2018.7.11	2018.7.11
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	口腔機能管理が嚥下にバトンタッチ ～美味しい食べ物を身体につなぐリレー～	第21回伏見栄養療法・在宅医療研究会	京都	2018.8.25	2018.8.25
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	骨転移がん患者における骨吸収抑制薬と顎骨骨髄炎・顎骨壊死	吸収抑制薬関連顎骨壊死について考える会（第一三共共催）	京都	2018.10.2	2018.10.2
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	緩和ケア病棟での口腔ケア	第72回 国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9 ～ 2018.11.10
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	緩和ケア病棟における口腔管理	京都医療センター第36回　がん診療セミナー	京都	2018.12.3	2018.12.3
研究セミナー・シンポジウム等	下郷 麻衣子	これは使える!吸引機能付きブラシ　終末期患者の口腔ケア	第21回　京都府看護学会	京都	2019.1.27	2019.1.27
研究セミナー・シンポジウム等	宮本 絵里加	人工呼吸器挿管患者の口腔ケア	京都医療センター RST院内勉強会	京都	2018.6.19	2018.6.19
研究セミナー・シンポジウム等	宮本 絵里加	人工呼吸器挿管患者の口腔ケア	京都医療センター RST院内勉強会	京都	2018.11.28	2018.11.28
研究セミナー・シンポジウム等	宮本 絵里加	口腔癌と粘膜疾患について	伏見歯科医師会	京都	2019.3.22	2019.3.22

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文 （筆頭著者）	吉田　和也	Sensory trick splint as a multimodal therapy for oromandibular dystonia.	Journal of Prosthodontic Research	62	2	239-244		Elsevier	2018.4
英文論文 （筆頭著者）	吉田　和也	Computer-aided design/computer-assisted manufacture-derived needle guide for injection of botulinum toxin into the lateral pterygoid muscle in patients with oromandibular dystonia.	Journal of Oral & Facial Pain and Headache	32	2	e13-e21		Quintessence	2018.4

英文論文（筆頭著者）	吉田　和也	Multilingual website and cyberconsultations for oromandibular dystonia.	Neurology International	10	1	7536		Pagepress	2018.4
英文論文（筆頭著者）	吉田　和也	Botulinum neurotoxin injection for the treatment of recurrent temporomandibular joint dislocation with and without neurogenic muscular hypertrophy.	Toxins	10	5	174		MDPI	2018.4
英文論文（筆頭著者）	吉田　和也	Oromandibular dystonia screening questionnaire for differential diagnosis.	Clinical Oral Investigations	23	1	405-411		Springer	2019.1
英文論文（筆頭著者）	吉田　和也	Botulinum neurotoxin therapy for lingual dystonia using an individualized injection method based on clinical features.	Toxins	11	1	51		MDPI	2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）	吉田　和也	私がボツリヌス治療を始めた頃.	日本ボツリヌス治療学会雑誌	4	1	29-30		日本ボツリヌス治療学会	2018.4

救命救急センター（救命救急科）

診療部長
笹橋　望

専門医資格等
- 日本救急医学会指導医
- 日本外科学会認定医
- 日本胸部外科学会認定医・指導医

救命救急センター長
西山　慶

専門医資格等
- 日本救急医学会指導医
- 日本救急医学会評議員
- 日本集中治療医学会専門医
- 日本循環器学会専門医
- 日本集中治療医学会 CCU委員会 委員
- 日本集中治療学会社会保険委員会委員
- 日本救急医学会 学会主導研究評価特別委員会 委員
- 日本循環器学会 蘇生科学小委員会 委員
- FAHA
- 京都府高度救急業務推進協議会 委員
- 京都大学医学部 臨床教授
- 京都府立医科大学 臨床教授
- 福井大学医学部 客員准教授

専門分野
- 救急医学

救命集中治療科長
別府　賢

専門医資格等
- 日本救急医学会指導医
- 日本集中治療医学会専門医
- 日本麻酔科学会指導医・専門医・認定医
- 麻酔科標榜医
- JATECインストラクター
- FCCSインストラクター
- ICLSインストラクター/ディレクター

専門分野
- 救急医学

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	寺嶋真理子	日本救急医学会指導医 日本集中治療医学会専門医 日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 Acute Care Surgery学会評議員 日本腹部救急医学会評議員 ICLSインストラクター JATECインストラクター JPTECインストラクター MCLSインストラクター	救急医学 集中治療学	外傷 集中治療 栄養療法 災害医療

医　　師	田中　博之	日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医 日本内科学会内科認定医/総合内科専門医 日本医師会認定産業医 呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 JATECインストラクター ITLSインストラクター JPTECインストラクター ICLSインストラクター /ディレクター JMECCインストラクター /ディレクター 日本DMAT隊員・統括DMAT	救急医学 呼吸管理 災害医療	体外循環 (VV ECMO)を用いた重症呼吸管理
医　　師	川口　理佐	日本麻酔科学会専門医・認定医	救急医学 麻酔科学	
医　　師	濱中　訓生	日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医 日本医学放射線学会　放射線科専門医 日本医学放射線学会　放射線診断専門医 日本内科学会認定内科医 麻酔科標榜医	救急医学 放射線医学	IVR
医　　師	吉田　浩輔	日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医	救急医学 集中治療学	
医　　師	村上　博基	日本救急医学会専門医 FCCSインストラクター	救急医学 集中治療学	
医　　師	上田　忠弘	日本救急医学会専門医 日本内科学会総合内科専門医	救急医学 内科学	
医　　師	土屋　旬平	日本救急医学会専門医	救急医学 集中治療学	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本救急医学会　専門医・指導医認定施設 日本集中治療医学会　専門医認定施設

1. 京都南部の重症患者を受け入れる拠点として活動。
2. 重症多発外傷、重度熱傷、敗血症性ショックなど重症患者を集中治療室にて管理。
3. 循環器、脳卒中など専門各科と協力し、質の高い医療を提供。
4. 積極的に研修医に救急外来で初期対応をさせ、教育。

□ 主な対象疾患

敗血症/重症感染症、多発外傷、重症熱傷、急性呼吸不全、中毒

□ 診療(業務)内容

救急搬送症例に対する初期外来対応、専門診療科紹介、入院加療など
重症救急患者への集中治療
院内重症患者に対する集中治療
他院からの重症紹介症例の受け入れ
多施設との症例検討会や情報交換
各種災害訓練の実施と参加
蘇生講習などへの参加と指導
研修医教育(京都大学、京都府立医科大学病院研修医を含む)

臨床医学教育（京都大学、京都府立医科大学、同志社大学、橘大学）
コメディカルに対する教育研修
市民に対する救急啓蒙教育
消防局との連携ならびに情報交換
医師会、他病院との連携ならびに情報交換

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
20.3名	1,059名	9.3日

外来患者数

1日平均患者数
10.4名

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会	別府　賢、上田　忠弘、濱中　訓生、田中　博之、笹橋　望、西山　慶	The importance of pathologic autopsy for the patients dying in the critical care and emergency center	the 5th SG-ANZICS Asia Pacific Intensive Care Forum	Singapole	2018.5.9	2018.5.9
国際学会	西山　慶	TTM stratified by rSO2	The 7th International Hypothermia and Temperature Management Symposium（IHTMS）	Sydney	2018.8.22	2018.8.22-23
国内学会	西山　慶	新しい心肺蘇生法への3つのキーワード；Tailoring Intervention、Physiological Monitoring Guided CPR、Chemical CPR	第34回本救急医学会中国四国地方会	広島	2018.5.20	2018.5.20
国内学会	西山　慶、別府 賢	遠隔集中治療（tele-ICU）に関する取り組み	第2回日本集中治療学会関西支部学術集会	大津	2018.7.7	2018.7.7
国内学会	中田 康貴、上田 忠弘、安田 佳織、吉田 浩輔、濱中 訓生、田中 博之、別府 賢、笹橋 望、西山 慶	敗血症性心筋症を伴った肺炎球菌による肺化膿症症例に対しECMO 導入が奏功した 1 例	第2回日本集中治療学会関西支部学術集会	大津	2018.7.7	2018.7.7
国内学会	西山　慶	心臓血管系の集中治療④体温管理療法	第66回 日本心臓病学会学術集会	大阪	2018.9.10	2018.9.10-11
国内学会	西山　慶	救命に VA-ECMO の使用を要した肺化膿症に伴う重症敗血症性心筋症の一例	第66回 日本心臓病学会学術集会	大阪	2018.9.10	2018.9.10-11
国内学会	吉田　浩輔	敗血症における体温管理：ECMO症例を振り返って	第66回 日本心臓病学会学術集会	大阪	2018.9.10	2018.9.10-11
国内学会	漆原 愛子、勅使川原 学、吉田 浩輔、上田 忠弘、濱中 訓生、田中 博之、別府 賢、笹橋 望、西山 慶	アセトアミノフェンによる劇症肝炎で日本のガイドラインとKing's College Criteriaで見解が分かれた一例	第21回日本臨床救急医学会総会・学術集会（名古屋	名古屋	2018.6.1	2018.6.1-2
国内学会	西山　慶	蘇生科学におけるモニタリング開発、NIRSへの期待と懸念	日本蘇生学会（山形）第37回大会	天童	2018.11.14	2018.11.14-15

国内学会	西山　慶	Goal directed CPRのためのNIRSディバイス開発	日本蘇生学会（山形）第37回大会	天童	2018.11.15	2018.11.14-15
国内学会	西山　慶	共働き医師が活躍できる救急医療を目指して	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.16	2018.11.16-17
国内学会	西山　慶	企業との合同研究のあり方と方向性	第46回日本救急医学会総会・学術集会	横浜	2018.11.19	2018.11.19-21
国内学会	西山　慶	救急集中治療領域と循環器領域との双方向性卒後教育システムの確立に向けて	第46回日本救急医学会総会・学術集会	横浜	2018.11.19	2018.11.19-21
国内学会	西山　慶	Goal directed CPRのためのディバイスの開発	第46回日本救急医学会総会・学術集会	横浜	2018.11.20	2018.11.19-21
国内学会	西山　慶	ICUの療養環境を騒音の視点から考える	第46回日本集中治療医学会総会・学術集会	京都	2019.3.1	2019.3.1-3
国内学会	西山　慶、別府 賢	集中治療の現状とその解決策としてのtele-ICU	第46回日本集中治療医学会総会・学術集会	京都	2019.3.2	2019.3.1-3
国内学会	西山　慶	CCU委員会活動報告	第46回日本集中治療医学会総会・学術集会	京都	2019.3.2	2019.3.1-3
国内学会	西山　慶	交差法と平行法を組み合わせた超音波ガイド下中心静脈穿刺と、交差法・平行法との比較：ランダム化比較試験	第46回日本集中治療医学会総会・学術集会	京都	2019.3.3	2019.3.1-3
国内学会	西山　慶	Dynamic needle tip positioningを用いた小児患者の超音波ガイド下末梢静脈穿刺：ランダム化比較試験	第46回日本集中治療医学会総会・学術集会	京都	2019.3.1	2019.3.1-3
研究セミナー・シンポジウム等	西山　慶	スポンサード・リサーチの現状	福井大学 学内セミナー	福井	2018.6.5	2018.6.5
研究セミナー・シンポジウム等	西山　慶	ショック患者への心エコー：基本のキホン	第44回京滋クリティカルケア・ヤングアカデミー	京都	2018.7.14	2018.7.14
研究セミナー・シンポジウム等	西山　慶	ショック患者への心エコー：基本のキホン	広島救急集中治療サマーキャンプ	広島	2018.6.16	2018.6.16-17
研究セミナー・シンポジウム等	西山　慶	βブロッカーとカテコラミンの併用 敗血症合併の心不全にどう対応していくか	集中治療・循環管理セミナー	京都	2019.3.16	2019.3.16

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者以外）	西山　慶	Implementation of an empirical antimicrobial protocol in a critical care setting: A single-center retrospective observational cohort study in bacteremic patients	J Infect Chemother	24	12	965-968			2018.9
英文論文（筆頭著者以外）	西山　慶	The prehospital quick SOFA score is associated with in-hospital mortality in noninfected patients: A retrospective, cross-sectional study.	PloS one	13	8	e0202111			2018 16 Aug 2018

英文論文 （筆頭著者以外）	西山　慶	Geriatric Nutritional Risk Index for independent walking function in maintenance hemodialysis patients: A single-facility retrospective cohort study.	Geriatr Gerontol Int.	18	11	1556-1561			2018.11
和文総説・著書 （筆頭著者以外）		個人輸入の三環系抗うつ薬過量服薬にてブルガダ型心電図変化から心室性不整脈を来し体外循環式心肺蘇生で救命しえた1例（Personally imported tricyclic antidepressant overdose followed by ventricular arrhythmia from Brugada type ECG abnormalities treated with extracorporeal cardiopulmonary resuscitation: a case report）	日救急医会誌	29		190-5			2018 24 July 2018
英文論文 （筆頭著者以外）	西山　慶、 別府　賢、 笹橋　望	Transient severe distributive shock due to early dumping syndrome: a case report.	Journal of Medical Case Reports	12	1	259			2018.9
英文論文 （筆頭著者以外）	濱中　訓生、 澤井　聡、 西山　慶	Successful Balloon-Assisted Hepatic Tract Embolization Using the Pull-Through Technique to Remove a Malpositioned Chest Tube Penetrating the Liver and into the Right Ventricle.	Cardiovascular and interventional radiology	41	9	1436-1439			2018.9

健診センター

健診センター長
田上　哲也

専門医資格等　日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医・指導医・
　近畿支部評議員
日本内分泌学会　内分泌代謝科(内科)専門医・指導医・
　教育責任者・評議員
日本甲状腺学会　専門医・評議員・理事
厚生労働省　臨床研修指導医
京都大学医学部　臨床教授・講師
京都大学　医学博士
専 門 分 野　内科、内分泌・代謝
得 意 疾 患　内分泌疾患、甲状腺疾患

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
副健診センター長	島　　伸子	日本内科学会　認定内科医 日本人間ドック学会　人間ドック健診認定医 日本医師会　認定産業医 日本消化器病学会　専門医 日本消化器内視鏡学会　専門医 日本ヘリコバクター学会　H. pylori（ピロリ菌）感染症認定医 日本消化器がん検診学会認定医（胃）	消化器内科	消化器疾患 消化器内視鏡検査
医　　師	小見山麻紀	日本内科学会 認定内科医 日本人間ドック学会 人間ドック健診認定医 日本医師会 認定産業医 日本禁煙科学会 上級禁煙支援医師 FNAネットワーク協会 食生活アドバイザー 静岡県立大学 非常勤講師 大阪医科大学 医学博士 Anglia Ruskin University 公衆衛生学修士	内科 予防医学	生活習慣病 禁煙支援
非常勤医師	前川　高天	日本内科学会　認定内科医 日本消化器病学会　専門医 日本消化器内視鏡学会　専門医 日本ヘリコバクター学会　H. pylori（ピロリ菌）感染症認定医 京都胃がん内視鏡検診運営委員会委員長	消化器内科	消化管疾患 消化器内視鏡検査

□ 診療科の特徴

食生活の乱れや過度の飲酒、運動不足、喫煙など不適切な生活習慣の積み重ねにより、高血圧や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病が急激に増加しています。生活習慣病の多くは、自覚症状がほとんどないため、気付かないうちに動脈硬化が進行し、心筋梗塞や脳卒中などの重大な結果を招いてしまうことも少なくありません。生活習慣病は、まず予防すること、そして早期発見と早期治療が大切です。また、増加の一途をたどっている様々な臓器に発生する癌においても、予防や早期発見・早期治療が重要であることはいうまでもありません。京都医療センター健診センターは、生活習慣病や癌の早期発見に貢献しています。 特に、癌の全身検索に適しているPET-CT健診や、苦痛の少ない経鼻内視鏡を用いた胃がん検診などを行い、癌の早期発見に力を入れています。ご自身だけでなく、大切なご家族の健康を守るために、定期的に健診を受けられることをお勧めします。

□ 主な対象疾患

高度で贅沢な設備とスタッフ

京都医療センターは各種の高度専門医療施設に指定されていますので、それぞれの診療設備については高度かつ精密な検査機器が配備されています。また、各学会認定の専門医が多数常勤しており、専門的かつ高度な診断が可能となっています。当健診センターでは、最高の設備・スタッフを駆使することにより、みなさまに安心していただける健診を提供しています。

健診センター専用棟での迅速な健康診断

平成16年5月に完成した健診センター専用棟には、待合ロビー、診察室、心電図室、超音波検査室、肺機能検査室、X線一般撮影、内視鏡検査室がすべて完備されていますので、それぞれの検査・診察が効率的かつ迅速にすすめることが可能となっています。また、待ち時間の短縮など、受診されるみなさまのご負担をできるだけ軽減できるよう、常にこころがけていますので、是非ご利用いただきますよう職員一同お待ちしています。

1. より"迅速"に、より"的確"に

健診センター専用棟には、診察室、心電図、腹部超音波検査装置、X線撮影装置、上部消化管内視鏡が完備されていますので、それぞれの検査を迅速かつ効率的にすすめることが可能になっています（コース、オプション内容によっては、中央診療棟での検査, 診察になります）。また、各学会の認定医・専門医が多数在籍していますので、より専門的で的確な診断が可能になっています。

2. "点"から"線"の健診

従来の、結果を眺めるだけの"点"の健診ではなく、継続的な健康管理に役立つ"線"の健診を目指しています。特にここ数年来問題視されているメタボリックシンドローム、喫煙関連疾患、ヘリコバクターピロリ菌感染症については、各診療科の専門外来と協力し、継続的な診療を受けていただけるよう心がけています。

3. より"確実"な早期発見

各領域の悪性疾患については、最近の低侵襲治療の発達で、その早期発見はより重要になっています。 また近年、がんに対する様々なリスクファクターが明らかにされており、これらのリスクを考慮したハイリスク検診の試みも始まっています。当健診センターでは、子宮がん検診に、子宮頸がんのリスクファクターとされるhuman papilloma virus (HPV)検査を、胃がん検診に血清ペプシノゲン/血中ヘリコバクターピロリ菌抗体検査を、前立腺癌にPSA測定を導入し、また、2014年10月からPETがん検診を開始し、各疾患の早期発見を目指しています。

4. より"楽"な検査

胃がんの早期発見には内視鏡検査（胃カメラ検査）の有用性が指摘されていますが、受診者にとっては、これまで"つらい"検査の一つでした。当健診センターでは極細径内視鏡による経鼻内視鏡検査を導入し、受診者にとって"つらい"検査から"楽な"検査への転換を図っています。

〈健診コース〉

<table>
<tr><td>基本コース</td><td rowspan="12">★基本コース（一般コース・脳ドック・レディースコース）に加えて、各種オプション（肺：胸部CT検査、婦人科：診察・US、乳がん：マンモグラフィなど）を受診者の希望に応じて実施しています。また、2014年度からPET健診を, 2015年度から胃がん健診を始めました。
★血液サラサラ健診
血液は体内に必要な栄養素, 酵素等を運び、老廃物を取り除く働きをします。
生活習慣病予防のために「血液サラサラ健診」を受けてみませんか？
★鼻から行う内視鏡
鼻から行う内視鏡をご存じですか？
経鼻内視鏡検査は、口からの検査に比べ検査時の吐き気、不快感が少ないものとなっています。</td></tr>
<tr><td>一般健診</td></tr>
<tr><td>脳ドック</td></tr>
<tr><td>レディース</td></tr>
<tr><td>オプション</td></tr>
<tr><td>脳オプション</td></tr>
<tr><td>動脈硬化オプション</td></tr>
<tr><td>血液サラサラ度オプション</td></tr>
<tr><td>骨粗鬆症オプション</td></tr>
<tr><td>各種がんオプション：肺, 前立腺, 乳腺, 子宮</td></tr>
<tr><td>PET健診</td></tr>
</table>

〈サリドマイド健診〉
先行の「全国のサリドマイド胎芽病患者の健康、生活実態に関する研究班」の研究成果を踏まえ、中年期を向かえた患者の今後の医療上・生活上の問題点を明確にし、有効な医療及び支援のあり方を検討する。また、外国での患者に対する医療の取組みに関する調査も進め、国際的な医療情報交換を推進し、患者に対する支援のあり方、取組みを世界的規模で検討していく。
京都医療センター健診センターでは、西日本居住者を対象に健診を実施している。

□ 診療実績（平成30年度）

〈受診者数〉

基本健診	一般健診	生活習慣病	脳ドック	レディース	PET検診	胃がん検診	サリドマイド健診	合計
2012年度	766	11	27	30	-	-	10	844
2013年度	802	6	34	16	-	-	8	866
2014年度	965	6	25	27	11	-	8	1042
2015年度	965	2	29	20	47	4	7	1074
2016年度	992	8	22	22	65	41	9	1159
2017年度	1069	-	25	21	79	70	8	1272
2018年度	1057	-	23	23	97	92	7	1299

オプション	脳	動脈硬化	血液流動性	骨粗鬆症
2012年度	118	94	36	101
2013年度	122	85	43	93
2014年度	144	135	88	135
2015年度	135	133	69	139
2016年度	144	133	72	123
2017年度	148	137	68	122
2018年度	144	123	63	114

がんオプション	肺がん	前立腺がん	乳がん	子宮がん
2012年度	48	161	183	140
2013年度	54	175	197	136
2014年度	76	207	221	138
2015年度	65	215	227	152
2016年度	82	219	212	146
2017年度	79	241	253	184
2018年度	77	208	243	194

胃がんリスク検診	A群	B群	C群	D群	E群（除菌後）	計	当院での除菌数
2014年度	616	88	56	9	168	937	102
2015年度	617	46	17	5	254	939	44
2016年度	549	45	42	60	311	1007	28
2017年度	554	49	51	72	341	1067	38
2018年度	593	38	43	57	394	1125	29

がん検診

上部消化管検査	内視鏡		内視鏡合計	透視	計	がん発見率(%)		
	経鼻	経口				内視鏡	透視	total
2013年度	244(0)	206(5)	450(5)	312(0)	762(0)	1.11	0.00	0.66
2014年度	389(1)	410(2)	799(3)	152(0)	951(3)	0.38	0.00	0.32
2015年度	458(0)	390(2)	848(2)	105(0)	953(2)	0.24	0.00	0.21
2016年度	541(1)	393(2)	934(3)	94(0)	1028(3)	0.32	0.00	0.29
2017年度	678(0)	425(5)	1103(5)	-	1103(5)	0.45	-	0.45
2018年度	702(1)	413(2)	1115(3)	-	1115(3)	0.27	-	0.27

大腸がん検診	便潜血検査		要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	がん	がん発見率(%)
	件数	陽性数						
2013年度	781	73	73	9.3	37	50.7	2	0.26
2014年度	962	162	157	16.3	121	77.0	1	0.10
2015年度	995	145	140	14.9	100	71.4	5	0.50
2016年度	1034	128	117	11.3	75	64.1	4	0.39
2017年度	1077	121	117	10.9	80	68.4	2	0.19
2018年度	1075	108	95	8.8	55	57.9	2	0.19

前立腺がん検診	PSA		要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	がん	がん発見率(%)
	件数	陽性数						
2015年度	215	8	8	3.7	6	75.0	1	0.50
2016年度	255	11	7	2.7	6	85.7	0	0.00
2017年度	241	15	8	3.3	8	100	2	0.83
2018年度	208	10	4	1.9	4	100	3	1.92

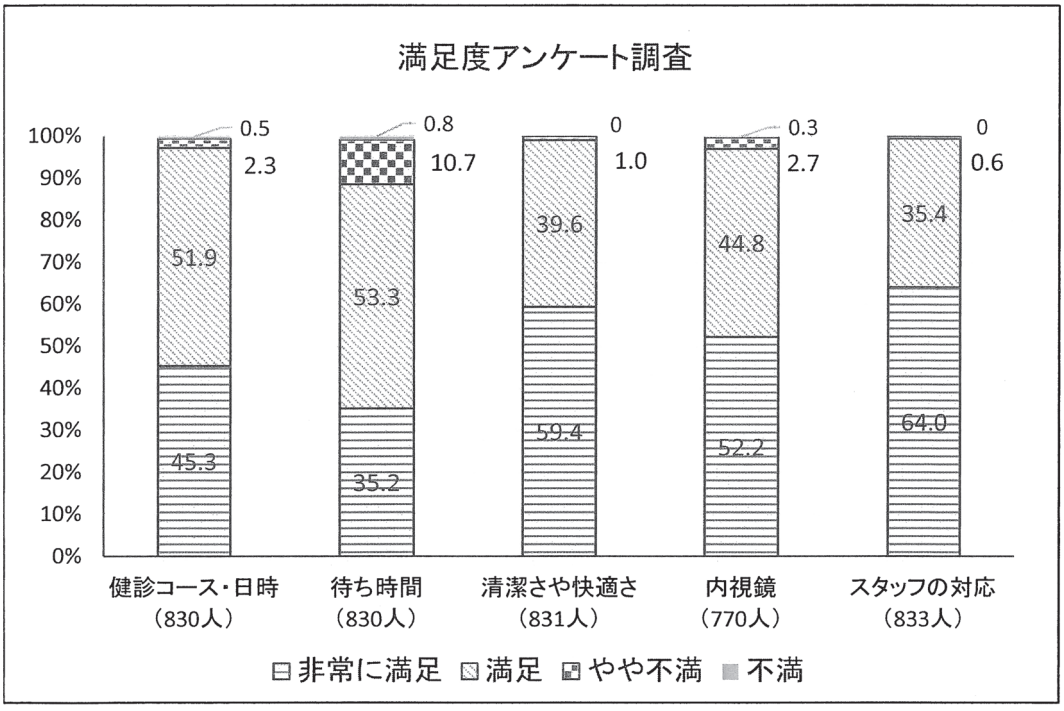
子宮がん検診	子宮頸部細胞診		要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	がん	がん発見率(%)
	件数	陽性数						
2015年度	172	4	4	2.3	4	100	0	0.00
2016年度	173	3	3	1.7	3	100	1(CIN3)	0.58
2017年度	209	1	1	0.5	1	100	0	0.00
2018年度	221	1	1	0.5	1	100	0	0.00

乳がん検診	マンモグラフィー検査		要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	がん	がん発見率(%)
	件数	陽性数						
2015年度	248	99	99	39.9	86	86.9	0	0.00
2016年度	239	69	69	28.9	50	72.5	1	0.42
2017年度	278	80	80	28.8	66	82.5	1	0.36
2018年度	270	51	50	18.5	40	80.0	1	0.37

PET検診	件数	陽性数
2014年度	11	0
2015年度	47	2（肺癌1、乳癌1）
2016年度	65	0
2017年度	79	0
2018年度	97	0

検診で発見された癌（まとめ）

	咽喉頭癌	食道表在癌	早期胃癌	十二指腸癌	大腸癌	乳癌	子宮癌	肺癌	前立腺癌	その他の癌
2013年度	1	1	5	0	2	0	0	0	0	0
2014年度	1	1	3	0	1	1	0	1	0	0
2015年度	0	1	2	0	5	1	0	1	1	白血病1
2016年度	0	0	3	2	4	1	1	0	0	0
2017年度	1	0	5	0	2	1	0	0	2	甲状腺2、膀胱1、胆嚢1、胸腺1
2018年度	0	0	3	0	2	1	0	1	4	胃神経内分泌腫瘍1



□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	島 伸子, 小見山 麻紀, 前川 高天, 田上 哲也, 勝島 慎二	消化器　消化管疾患の診療 当健診センターにおける上部消化管内視鏡検査で発見された胃癌症例の検討	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-10
研究会	田上 哲也	内分泌・代謝障害	第3回サリドマイド胎芽症研究会	東京	2019.2.9	

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文総説・著書（筆頭著者）	田上 哲也		2017 Guide for the Management of Thalidomide Embryopathy			22-23	日ノ下 文彦	医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	2018
英文総説・著書（筆頭著者）	島 伸子、前川 高天		2017 Guide for the Management of Thalidomide Embryopathy			66-67	日ノ下 文彦	医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	2018
和文総説・著書（筆頭著者）	田上 哲也、島 伸子、前川 高天	（独）国立病院機構京都医療センターにおける日帰り人間ドック、健康診断	サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築　平成30年度総括・分担研究報告書			in press	日ノ下 文彦	医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	2018

臨床研究センター

臨床研究センター長
臨床研究企画運営部長(併任)
糖尿病研究部長(併任)
治験管理室長(併任)
研究室長(糖尿病合併症:併任)
島津　章
平成31年3月31日まで

専門医資格等
日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医・指導医
日本糖尿病学会　糖尿病専門医
日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医・指導医
専門分野
内科・内分泌代謝・神経内分泌、検査医学

臨床研究センター長
八十田明宏
平成31年4月1日から

専門医資格等
日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医・指導医
日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医
専門分野
内科・内分泌代謝・骨代謝

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野
展開医療研究部長	長谷川浩二	日本循環器学会 認定循環器専門医 日本内科学会 認定内科医専門医・指導医 アメリカ心臓協会 専門医(FAHA) アメリカ心臓病学会 専門医(FACC) 日本禁煙科学会認定　上級禁煙支援医 日本臨床分子医学会 評議員 日本心不全学会 評議員 日本心血管内分泌学会 評議員 国際心臓研究学会(ISHR) 評議員 日本内科学会近畿支部 評議員 日本禁煙科学会 治療分科会長 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員 認定NPO法人日本心血管協会理事長 日本動脈硬化学会 禁煙推進部会委員 国際心筋症・心筋炎・心不全学会幹事 国際心血管薬物療法学会(ISCP) 理事・前理事長 世界心臓連合タバコ専門家グループ委員 京都大学医学博士 京都大学医学部非常勤講師 大阪医科大学非常勤講師 静岡県立大学客員教授	心不全、虚血性心疾患、心血管危険因子管理・特に禁煙指導、心血管展開医療研究
内分泌代謝高血圧研究部長	浅原　哲子	日本内科学会 認定内科医・指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 日本動脈硬化学会 動脈硬化専門医・評議員 日本病態栄養学会 評議員 日本抗加齢医学会 専門医 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 日本糖尿病学会近畿支部 評議員 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、内分泌、遺伝診療

研究室長（予防医学）	坂根　直樹	日本内科学会 認定医 日本肥満学会 評議員	糖尿病、糖尿病教育
研究室長（先端医療技術開発）	和田　啓道	日本循環器学会 認定循環器専門医 日本内科学会 認定内科医・指導医	内科・循環器内科、リスクファクター管理、臨床研究（バイオマーカー開発、コホート研究）
研究室長（臨床内分泌代謝）	日下部　徹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 京都大学医学博士 京都大学客員研究員	糖尿病、肥満症（メタボリックシンドローム）、脂肪萎縮症、内分泌、サルコペニア、遺伝診療
研究室長（情報化推進：併任）	北岡　有喜	日本産科婦人科学会 専門医・指導医 国立病院等総合情報ネットワーク研究会 副会長 京都府がん医療戦略推進会議 がん登録部会長 ITコンソーシアム京都 医療情報化部会長 地方公共団体情報システム機構　経営審議委員会 委員 総務省 地域情報化アドバイザー 総務省 ICT地域マネージャー 独立行政法人情報処理推進機構「先進的IoTプロジェクト支援事業」メンター 京都大学医学博士 同志社大学博士(政策科学)	生殖分子生理学・医療情報学・情報システム学・政策科学・公共政策学
研究室長（分子内分泌代謝：併任）	田上　哲也	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医，近畿支部評議員 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・教育責任者，評議員 日本甲状腺学会 専門医，評議員、理事 厚生労働省 臨床研修指導医 京都大学医学博士 京都大学 臨床教授・非常勤講師	内科・内分泌代謝 （甲状腺疾患）
研究室長（内分泌系腫瘍：併任）	奥野　博	日本泌尿器科学会 指導医・専門医 日本泌尿器内視鏡学会 代議員 日本生殖医学会 評議員 日本アンドロロジー学会 評議員 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本移植学会 移植認定医 日本内視鏡外科学会 技術認定医 日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医 京都府緩和ケア研修会 修了 京都大学医学博士 京都大学 臨床教授 関西医科大学 臨床教授	男性学 前立腺癌 腹腔鏡手術
研究室長（臨床疫学情報：併任）	小山　弘	日本内科学会 総合内科専門医・認定内科医・指導医	内科一般、内科診断学、医学教育、臨床疫学
研究室長（糖尿病：併任）	河野　茂夫	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会 評議員	糖尿病、足病変

研究室長(血管障害：併任)	塚原　徹也	日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医・評議員 日本脳卒中学会 脳卒中専門医・評議員 日本脳卒中の外科学会 技術指導医	脳卒中外科、脳血管障害、脳腫瘍、脳神経外科一般
研究室長(がん医療：併任)	猪飼伊知夫	日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 外科専門医・指導医 日本肝胆膵外科学会 評議員・肝胆膵外科高度技能指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医 日本肝癌研究会幹事・取扱い規約委員 日本臨床外科学会 評議員 京都大学医学部 臨床教授 京都大学医学博士	肝胆膵外科(肝臓がん、胆道がん、膵臓がん)
研究室長(生命情報科学：併任)	七野　力	厚生労働省による麻酔科標榜許可日本麻酔科学会認定 麻酔科専門医・指導医 日本集中治療医学会認定 集中治療専門医	麻酔科学全般　心臓血管外科手術の麻酔管理 集中治療における呼吸・循環管理
臨床研究企画運営部特別研究員	成瀬　光栄	日本内科学会 指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本腎臓学会 腎臓専門医・指導医 日本高血圧学会 専門医・指導医	内科・内分泌代謝(副腎疾患)・高血圧
流動研究員	井上　隆之		
流動研究員	小西　陽介		
流動研究員	曽和　尚也		
流動研究員	滝川　裕介		

□ 診療(業務)内容

京都医療センターは平成11年3月「内分泌・代謝性疾患」の高度専門医療施設(準ナショナルセンター)として位置づけられ、その研究体制強化の一環として平成15年10月1日付で臨床研究センターが設置されました。国立病院機構の臨床研究体制再構築に伴い、平成20年度から「内分泌・代謝性疾患」にとどまらず、がん診療支援を含めた幅広い分野を臨床研究の活動分野とすることになりました。

今までの研究基盤の上に立ち、内分泌・代謝性疾患に加え、がん医療、成育医療、循環器疾患、腎疾患、感覚器疾患など幅広い医療分野において、他の研究施設や大学には備わっていない当院独自の特性を生かした臨床研究を行う学術機関として位置づけられています。現在、臨床研究センターは、臨床研究企画運営部、内分泌代謝高血圧研究部、糖尿病研究部、展開医療研究部の4部門15研究室から構成され、院内の臨床部門と密接に連携協力し、研究体制の支援、あわせて院外研究員や諸機関と広く協力して、研究施設の効率的運用を図り、医療の向上に資する臨床研究を強力に推進しています。

□ 地域医療連携・広報活動

・指定難病制度について　問題点および課題
　下垂体患者の会　総会　2018.6.24 東京
・間脳下垂体疾患といわれたら　主な疾患の概要、診断と治療の最前線、療養上の注意点
　難病医療講演会　京都難病相談・支援センター主催 2018.09.29福知山市
・「脳梗塞　心筋梗塞ならないために」
　世界心臓の日World Heart Day 記念イベント　2018年9月17日　京都市
・「正しく知って防ごう心臓病!」
　市民公開講座　2019年3月17日　大分市
・「こんなに役立つ遺伝カウンセリング～京都医療センター遺伝診療部の取り組み～」
　伏見医師会ランチョンセミナー 2018年4月13日　京都市

・「高齢者糖尿病の治療戦略」
伏見医師会ランチョンセミナー 2019年3月15日　京都市

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会発表	和田 啓道, 鵜木　崇, 髙木　大輔, 浦 修一, 和田 享万, 井口 守丈, 益永 信豊, 石井 充, 山陰 一, 島津 章, 小谷　和彦, 浅原 哲子, 阿部 充, 赤尾 昌治, 長谷川 浩二	Vascular Endothelial Growth Factor-C and Mortality in Patients With Stable Coronary Heart Disease: A Subanalysis of the ANOX Study	The 23rd Annual Scientific Meeting of International Society of Cardiovascular pharmacotherapy			2018/5/26-27
国際学会発表	和田 啓道, 浅原 哲子, 阿部 充, 赤尾 昌治, 長谷川 浩二	Diagnostic utility of biomarkers to predict coronary artery disease in patients with and without chronic kidney disease	European Society of Cardiology Congress 2018			2018/8/26-28
国際学会発表	和田 啓道, 阿部 充, 赤尾 昌治, 長谷川 浩二	Vascular endothelial growth factor-C and cardiovascular mortality in patients with suspected and a history of coronary artery disease	European Society of Cardiology Congress 2018			2018/8/26-28
国際学会発表	和田 啓道, 鵜木　崇, 髙木　大輔, 浦 修一, 和田 享万, 井口 守丈, 益永 信豊, 石井 充, 山陰 一, 島津 章, 小谷　和彦, 浅原 哲子, 阿部 充, 赤尾 昌治, 長谷川 浩二	Vascular Endothelial Growth Factor-D and Mortality in Patients With Suspected or Known Coronary Artery Disease: From the ANOX Study	American Heart Association Scientific Sessions 2018			2018/10/11-13
国内学会発表	堀尾　綾香、安井みのり、山下大輔、粉川俊則、本田芳久、島津章	治験実施計画書からの逸脱防止への取り組み	第72回国立病院総合医学会			2018/11/9
国際学会発表	成瀬光栄	National PA Registry as a Platform for Standardized Clinical Practice of Primary Aldosteronism in Japan	ENDO2019			2019/3/23
国内学会発表	成瀬光栄、立木美香、馬越洋宜、横本真希、田上哲也、島津章	褐色細胞腫・パラガングリオーマの診断と治療：現状と課題	第115回日本内科学会			2018/4/15
国内学会発表	浅原哲子, 田中将志, 山陰一, 井上隆之, 北野隆司, 村中和哉, 小鳥真司, 日下部徹, 島津章	肥満・糖尿病における新規認知症予知指標・TREM2の病態意義 ―国立病院機構多施設共同研究―	第91回日本内分泌学会学術集会			2018/4/26
国内学会発表	島津章	神経内分泌腫瘍の臨床診断. 共催シンポジウム2.「膵・消化管神経内分泌腫瘍ガイドライン」	第6回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会			2018/9/8-9
国内学会発表	浅原哲子、北野隆司、田中将志、井上隆之、村中和哉、山陰一、日下部徹、島津章	日本人2型糖尿病におけるPICRUSt予測メタゲノム解析を用いた腸内細菌叢プロファイルと宿主の糖代謝との関連解析	第72回国立病院総合医学会			2018/11/9-10
国内学会発表	小西陽介、飛騨美希、和田美智子、橋本有紀子、北誠、日下部徹、荒木由香里、山賀郁、山口建、荒田順、山﨑誠二、浅原哲子、三宅秀彦、高倉賢二、小西郁生	遺伝診療部の取り組み～HBOCワーキンググループの立ち上げから現在まで～	第72回国立病院総合医学会			2018/11/9-10

□ 投稿論文など

著者	タイトル	著書（雑誌）名・巻・号・頁数
Hiromichi Wada, Masahiro Suzuki, Morihiro Matsuda, Yoichi Ajiro, Tsuyoshi Shinozaki, Satoru Sakagami, Kazuya Yonezawa, Masatoshi Shimizu, Junichi Funada, Takashi Takenaka, Yukiko Morita, Toshihiro Nakamura, Kazuteru Fujimoto, Hiromi Matsubara, Toru Kato, Takashi Unoki, Daisuke Takagi, Shuichi Ura, Kyohma Wada, Moritake Iguchi, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Hajime Yamakage, Akira Shimatsu, Kazuhiko Kotani, Noriko Satoh-Asahara, Mitsuru Abe, Masaharu Akao, Koji Hasegawa.	VEGF-C and Mortality in Patients With Suspected or Known Coronary Artery Disease.	Journal of the American Heart Association.2018;7:e010355
Umakoshi H, Tsuiki M, Yokomoto-Umakoshi M, Takeda Y, Takashi Y, Kurihara I, Itoh H, Katabami T, Ichijo T, Wada N, Shibayama Y, Yoshimoto T, Ashida K, Ogawa Y, Kawashima J, Sone M, Inagaki N, Takahashi K, Watanabe M, Matsuda Y, Kobayashi H, Shibata H, Kamemura K, Otsuki M, Fujii Y, Yamamto K, Ogo A, Okamura S, Miyauchi S, Fukuoka T, Izawa S, Yanase T, Hashimoto S, Yamada M, Yoshikawa Y, Kai T, Suzuki T, Kawamura T, Naruse M.	Correlation Between Lateralization Index of Adrenal Venous Sampling and Standardized Outcome in Primary Aldosteronism.	Clin Endocrinol (Oxf).2018;88:645-651
Umakoshi H, Ogasawara T, Takeda Y, Kurihara I, Itoh H, Katabami T, Ichijo T, Wada N, Shibayama Y, Yoshimoto T, Ogawa Y, Kawashima J, Sone M, Inagaki N, Takahashi K, Watanabe M, Matsuda Y, Kobayashi H, Shibata H, Kamemura K, Otsuki M, Fujii Y, Yamamto K, Ogo A, Yanase T, Okamura S, Miyauchi S, Suzuki T, Tsuiki M, Naruse M.	The Occurrence of Apparent Bilateral Aldosterone Suppression in Adrenal Vein Sampling for Primary Aldosteronism.	J Endocr Soc.2018;2:398-407
Shibayama Y, Wada N, Naruse M, Kurihara I, Ito H, Yoneda T, Takeda Y, Umakoshi H, Tsuiki M, Ichijo T, Fukuda H, Katabami T, Yoshimoto T, Ogawa Y, Kawashima J, Ohno Y, Sone M, Fujita M, Takahashi K, Shibata H, Kamemura K, Fujii Y, Yamamoto K, Suzuki T.	Development and validation of subtype prediction scores for the workup of primary aldosteronism.	J Hypertens.2018;36:2269-2276
Takeda M,Yamamoto K,Akasaka H,Rakugi H,Naruse M,Takeda Y,Kurihara I,Itoh H,Umakoshi H,Tsuiki M,Ichijo T,Katabami T,Wada N,Shibayama Y,Yoshimoto T,Ogawa Y,Kawashima J,Sone M,Inagaki N,Rakahashi K,Fujita M,Watanabe M,Matsuda Y,Kobayashi H,Shibata H,Kamemura K,Otsuki M,Fujii Y,Ogo A,Okamura S,Miyauchi S,Yanase T,Suzuki T,Kawamura T,JPAS Study Group.	Clinical characteristics and Postoperative outcomes of Primary aldosteronism in the elderly.	J Clin Endocrinol Metab.2018;103:3620-3629
Ohno Y, Sone M, Inagaki N, Yamasaki T, Ogawa O, Takeda Y, Kurihara I, Umakoshi H, Ichijo T, Katabami T, Wada N, Ogawa Y, Yoshimoto T, Kawashima J, Watanabe M, Matsuda Y, Kobayashi H, Shibata H, Miyauchi S, Kamemura K, Fukuoka T, Yamamoto K, Otsuki M, Suzuki T, Naruse M, JPAS Study Group.	Obesity as a key factor underlying idiopathic hyperaldosteronism.	J Clin Endocrinol Metab.2018;103:4456-4464
Kitahara O, Nishiyama K, Yamamoto B, Inoue S, Inokuchi S.	The prehospital quick SOFA score is associated with in-hospital mortality in noninfected patients: A retrospective, cross-sectional study.	PloS one.2018;13:e0202111
Wada H, Suzuki M, Matsuda M, Ajiro Y, Shinozaki T, Sakagami S, Yonezawa K, Shimizu M, Funada J, Takenaka T, Morita Y, Nakamura T, Fujimoto K, Matsubara H, Kato T, Unoki T, Takagi D, Ura S, Wada K, Iguchi M, Masunaga N, Ishii M, Yamakage H, Shimatsu A, Kotani K, Satoh-Asahara N, Abe M, Akao M, Hasegawa K for the ANOX Study Investigators.	Vascular Endothelial Growth Factor-C and Mortality in Patients With Suspected or Known Coronary Artery Disease.	J Am Heart Assoc.2018;7:e010355
Hayashi M, Futawaka K, Matsushita M, Koyama R, Fun Y, Fukuda Y, Nushida A, Nezu S, Tagami T, Moriyama K.	GH directly stimulates UCP3 expression.	Growth Horm IGF Res.2018;40:44-54
成瀬光栄、立木美香.	特集　内分泌緊急症褐色細胞腫クリーゼの治療.	医学のあゆみ.2018;265:138-142
立木美香、田上哲也、成瀬光栄.	Cushing症候群.	別冊　日本臨牀　領域別症候群シリーズNo.2　内分泌症候群(第3版)Ⅱ.2018;66-70
成瀬光栄、立木美香、田上哲也、田辺晶代.	褐色細胞腫・パラガングリオーマ.	別冊　日本臨牀　領域別症候群シリーズNo.2　内分泌症候群(第3版)Ⅱ.2018:220-225
河野茂夫	２５：その他の糖尿病合併症	.内分泌代謝科専門医研修ガイドブック　第13章　糖尿病.2018:678-680
島津章	視床下部症候群	別冊日本臨牀 領域別症候群シリーズNo.1, 内分泌症候群（第3版）―その他の内分泌疾患を含めて―.2018;別冊:5-8

□ 獲得した競争的研究資金

項目	研究課題	研究者名	研究事業者名	主任／分担	主任研究者	直接経費金額
⑧日本医療研究開発機構研究費	難治性副腎疾患の診療に直結するエビデンス創出	成瀬　光栄	難治性疾患実用化研究事業	主任	1152.8	万円
⑧日本医療研究開発機構研究費	血管のメカノバイオロジー：血流センシングと脳動脈瘤形成の分子機構	福田　俊一	革新的先端研究開発支援事業	主任	829.1608	万円
⑧日本医療研究開発機構研究費	心房細動の発症予測・予後予測とそれに基づく最適な治療戦略の開発を目的とした大規模ｺﾎｰﾄ・ﾚｼﾞｽﾄﾘｰ共同研究班	赤尾　昌治	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	分担	50	万円
⑧日本医療研究開発機構研究費	心房細動発症例における抗血栓療法の問題点の解明とその対処法の開発に関する研究	赤尾　昌治	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	分担	100	万円
⑧日本医療研究開発機構研究費	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準治療に関する研究	畑　啓昭	革新的がん医療実用化研究事業	分担	50	万円
⑧日本医療研究開発機構研究費	肥満症に対する効果的な治療戦略と健康障害の改善に資する減量数値目標を見出すための介入研究	浅原　哲子	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	分担	38.4616	万円
⑧日本医療研究開発機構研究費	高齢者2型糖尿病における認知症予防のための多因子介入研究　―パイロット研究―	浅原　哲子	長寿・障害総合研究事業　認知症研究開発事業	分担	76.9231	万円
⑧日本医療研究開発機構研究費	IoT活用による糖尿病重症化予防法の開発を目指した研究（臨床研究フィールド）	浅原　哲子	IoT等活用生活習慣病行動変容研究事業	分担	30	万円
⑧日本医療研究開発機構研究費	脳卒中高リスク群を抽出する革新的な臨床診断意思決定システムの開発に関する研究	福田　俊一	医療機器開発推進研究事業	分担	20	万円
⑧日本医療研究開発機構研究費	ヒルシュスプルング病類縁疾患診療ガイドライン改定を目指したエビデンス創出研究	北岡　有喜	難治性疾患実用化研究事業	分担	23	万円
⑧日本医療研究開発機構研究費	持続血糖モニタリングから得られる血糖変動性の臨床的意義に関する研究	村田　敬	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	分担	764.352	万円
⑤厚生労働科学研究費	副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	成瀬　光栄	難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）	分担	45	万円
⑤厚生労働科学研究費	サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築	田上　哲也	医薬品・医療機器等ﾚｷﾞｭﾗﾄﾘｰｻｲｴﾝｽ政策研究事業	分担	150	万円
②日本学術振興会科学研究費	TREM2･単球機能を標的とした糖尿病･肥満に伴う認知症予知指標･治療戦略の開発	浅原　哲子	基盤研究(B)	主任	460	万円
②日本学術振興会科学研究費	肥満症発症と減量治療抵抗性に関連する新規バイオマーカーの探索-PTP1Bの意義-	小西　陽介	研究活動スタート支援	主任	120	万円
②日本学術振興会科学研究費	脳動脈瘤発生における血行力学的因子の役割検討および瘤形成抑制への試みに関する研究	福田　俊一	基盤研究(C)	主任	96	万円
②日本学術振興会科学研究費	「健康サポート薬局」における簡便で有効な健康支援プログラムの開発と効果の検証	岡田　浩	基盤研究(C)	主任	100	万円
②日本学術振興会科学研究費	独身男性のための心血管疾患予防食事支援プログラムの開発と効果検証	河口　八重子	基盤研究(C)	主任	97	万円
②日本学術振興会科学研究費	単球機能を標的とした肥満・糖尿病合併CKD進展予防の為の新規バイオマーカーの確立	山陰　一	基盤研究(C)	主任	100	万円
②日本学術振興会科学研究費	買い物支援事業を活用した高齢者及び買い物弱者への効果的な食生活支援に関する研究	藤原　真治	基盤研究(C)	主任	100	万円
②日本学術振興会科学研究費	1型糖尿病の心理社会的及び経済的側面と糖尿病アウトカムに関する前向きコホート研究	吉岡　ふみ	基盤研究(C)	主任	60	万円
②日本学術振興会科学研究費	モデル動物を用いた糖・脂質代謝調節における異所性脂肪蓄積の病態生理的意義の解明	日下部　徹	基盤研究(C)	主任	110	万円
②日本学術振興会科学研究費	継続的rSO2計測に基づいたテーラーメード型心肺停止後ケアの開発	西山　慶	基盤研究(C)	主任	40	万円
②日本学術振興会科学研究費	個人に合わせた生活習慣を提案する糖尿病リスクスコアの開発と効果検証	葛谷　英嗣	基盤研究(C)	主任	100	万円
②日本学術振興会科学研究費	心筋細胞核内情報伝達機構を標的とした新規心不全療法開発のための創薬展開医療研究	長谷川　浩二	基盤研究(C)	主任	120	万円
②日本学術振興会科学研究費	サルコペニア肥満の分子機構の解明と治療への応用	田上　哲也	基盤研究(C)	主任	90	万円

②日本学術振興会科学研究費	アミロイドβ排泄機構を活用した認知症予防に関する研究：ストップ認知症プロジェクト	大谷　良	挑戦的研究（萌芽）	主任	170　万円
②日本学術振興会科学研究費	単球･ミクログリアを介した腸-脳-筋連関による認知症･サルコペニア進展機序の解明	浅原　哲子	挑戦的研究（萌芽）	主任	185　万円
②日本学術振興会科学研究費	マイクロRNAによる原発性アルドステロン症の新規病型診断バイオマーカーの確立	馬越　洋宜	若手研究(B)	主任	50　万円
②日本学術振興会科学研究費	TREM2に着目した肥満・糖尿病合併認知症予防の為の新規評価系・治療戦略の開発	田中　将志	基盤研究(C)	主任	100　万円
②日本学術振興会科学研究費	卵巣癌の上皮間葉転換による免疫抑制機構の解明	安彦　郁	基盤研究(C)	主任	30　万円
②日本学術振興会科学研究費	「平衡障害に対する新規治療法の開発」- iPS細胞による前庭再生医療 -	田浦　晶子	基盤研究(C)	主任	85　万円
②日本学術振興会科学研究費	進行・再発卵巣明細胞癌のゲノム解析	山口　建	基盤研究(Ａ)	分担	10　万円
②日本学術振興会科学研究費	稀少内分泌疾患から生活習慣病へのトランスレーショナルサイエンス	日下部　徹	基盤研究(Ａ)	分担	80　万円
⑥国立高度専門医療センター等研究費	アジア開発途上国における糖尿病足病変の診療ネットワーク構築支援に関する研究	河野　茂夫	国際開発費28指8	分担	45　万円
⑥国立高度専門医療センター等研究費	難治性副腎疾患レジストリと診療実態に関する検討（課題番号　30指1008）	成瀬　光栄	国際開発費30指1008	分担	20　万円
⑥国立高度専門医療センター等研究費	1-2機能性農林水産物・食品による高齢者（健常者・病者）のロコモティブシンドロームおよび脳機能改善効果の検証	坂根　直樹	SIP「次世代農林水産業創造技術」委託試験研究	分担	350　万円
⑨その他財団等からの研究費	腎性貧血におけるリンパ管新生因子VEGF-Cの役割の検討	和田　啓道	公益財団法人日本腎臓財団	主任	60　万円

遺伝診療部

診療部長
髙倉　賢二

専門医資格等　日本産科婦人科学会専門医・指導医・代議員
日本産婦人科腫瘍学会専門医
日本産科婦人科内視鏡学会　評議員
日本内分泌学会　評議員
日本受精着床学会　評議員
京都大学　医学博士
京都大学医学部　非常勤講師
京都大学医学部　臨床教授
関西医科大学　臨床教授

専門分野　婦人科腫瘍
産婦人科手術
内分泌疾患の診断・治療

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
顧　　問	三宅　秀彦	日本産科婦人科学会　専門医 指導医 日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会　臨床遺伝専門医　指導医 日本人類遺伝学会　臨床細胞遺伝学認定士 日本周産期・新生児学会　周産期（母体・胎児）専門医 日本人類遺伝学会：評議員　広報委員会委員長　教育推進委員 臨床細胞遺伝学セミナー実行委員 日本遺伝カウンセリング学会：理事・評議員 日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会共同認定　臨床遺伝専門医制度委員会委員 日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会共同認定　認定遺伝カウンセラー制度委員会　委員 日本家族性腫瘍学会　広報委員 お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻 遺伝カウンセリングコース　教授	産婦人科学 臨床遺伝学	臨床遺伝学（遺伝カウンセリング）・周産期医療
室　　長	浅原　哲子	日本内科学会　認定内科医・指導医 日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本心血管内分泌代謝学会　評議員 日本糖尿病学会　糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会　肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会　評議員 日本動脈硬化学会　動脈硬化専門医・評議員 日本病態栄養学会　評議員 日本抗加齢医学会　専門医 日本人類遺伝学会　臨床遺伝専門医 日本糖尿病学会近畿支部　評議員 日本内科学会　総合内科専門医 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師 国立循環器病研究センター　内分泌代謝ゲノム診療部客員研究員	糖尿病、肥満症（メタボリックシンドローム）、内分泌、遺伝診療	糖尿病、肥満症、内分泌疾患、遺伝性疾患全般

医　　師	日下部　徹	日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会　内分泌代謝科（内科）専門医・指導医 日本糖尿病学会　糖尿病専門医・指導医 日本肥満学会　肥満症専門医・指導医 京都大学大学院医学研究科　客員研究員 京都大学　医学博士	内科、内分泌・代謝	肥満症、糖尿病、サルコペニア
医　　師	橋本　有紀子	日本小児科学会専門医 日本人類遺伝学会　臨床遺伝専門医	小児科全般、小児内分泌、先天代謝異常、新生児、遺伝診療	小児内分泌、先天異常
臨床検査技師 認定遺伝カウンセラー	飛騨　美希	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	検体検査、遺伝カウンセリング	遺伝性疾患全般
認定遺伝カウンセラー	小西　陽介	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	遺伝カウンセリング	遺伝性疾患全般
医　　師	北　　誠	日本小児科学会専門医 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター	未熟児・新生児、小児全般	先天異常
医　　師	馬越　洋宜	日本内科学会　認定内科医 内分泌代謝内科専門医 臨床研修指導医	内科、内分泌・代謝	高血圧、副腎疾患
医　　師	山口　　建	日本産科婦人科学会専門医 日本産科婦人科学会指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 婦人科腫瘍専門医 臨床研修指導医 京都産婦人科医会　理事 日本臨床分子形態学会 評議員 日本エンドメトリオーシス学会 幹事 京都大学　非常勤講師 京都大学　医学博士	産婦人科一般	婦人科腫瘍、がんゲノム
医　　師	江本　郁子	日本産科婦人科学会専門医 日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児） 日本がん治療認定医機構　がん治療専門医	産婦人科一般	周産期一般
医　　師	野崎　　明	臨床腫瘍学会　がん薬物療法専門医・指導医 がん治療認定医機構認定医 静脈経腸栄養学会認定医 内科学会認定医 医師会認定産業医	固形腫瘍一部造血器悪性腫瘍	消化器がん
医　　師	和田　美智子	日本産科婦人科学会専門医・日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児）・ 日本がん治療認定医機構　がん治療認定医	産婦人科一般	周産期一般
臨床心理士	髙垣　愉佳	臨床心理士 准看護師	緩和ケア 遺族カウンセリング 遺伝カウンセリング	腫瘍 神経疾患

□診療科の特徴

施設認定等	臨床遺伝専門医制度委員会　認定研修施設 がんゲノム医療連携病院 遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構　基幹施設

1. 2014年に発足した新しい診療科です。京都府下には遺伝診療科を有する病院が3施設ありますが、当院は京都市および京都府南部の遺伝診療に貢献しています。
2. 臨床遺伝専門医　指導医1名と臨床遺伝専門医2名を含む11名の医師と2名の認定遺伝カウンセラーと1名の臨床心理士が在籍しています。また、臨床遺伝専門医の認定研修施設であり、他施設に在籍する医師の研修も行っています。
3. 全ての疾患領域を対象にカウンセリングを行っています。
4. 院内の各診療科および地域との連携に努め、患者さんがよりよい医療を受けられるようにお手伝いをします。

□ 主な対象疾患

遺伝性乳がん卵巣がん症候群、リンチ症候群、家族性大腸ポリポーシス、神経線維腫症、多発性内分泌腫瘍症、褐色細胞腫、網膜芽細胞腫　などの家族性腫瘍
ファブリー病、ポンペ病、高フェニルアラニン血症、ムコ多糖症、家族性高コレステロール血症、脂肪萎縮症、性分化疾患、尿崩症、ジテルマン症候群、バーター症候群、甲状腺ホルモン不応症　などの代謝疾患・内分泌疾患
ブルガダ症候群、QT延長症候群、エーラス・ダンロス症候群、マルファン症候群およびその類縁疾患、軟骨無形成症、骨形成不全症　などの循環器および骨結合組織疾患
脊髄性筋萎縮症、ハンチントン病、デュシェンヌ/ベッカー型筋ジストロフィー、ミトコンドリア病、副腎白質ジストロフィー、家族性アルツハイマー病、脆弱X症候群　などの神経筋疾患
その他、遺伝性疾患全般

□ 診療（業務）内容

1. 診断を目的として行われる遺伝学的検査のサポートを行います。
2. 遺伝性疾患と診断された後の心理的サポートや情報提供を行い、現在の状況や将来のリスクに適応するためのサポートを行います。
3. 家系内に遺伝性疾患と診断された方がおられる場合の、ご家族の方々の発症リスクや、発症前診断についての検討や情報提供を行い、その人らしい選択ができるようにサポートをします。
4. 保因者診断についての検討とサポートを行います。

□ 診療実績（平成30年度）

外来患者数

年間総患者数	年間初診患者数
31名	20名

主な疾患の件数など

腫瘍	神経筋	内分泌代謝
12件	9件	4件
循環器	小児	周産期
1件	3件	2件

□ 地域医療連携・広報活動

地域における遺伝医療の啓発

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子、飛騨美希、小西陽介、橋本有紀子、北誠	こんなに役立つ遺伝カウンセリング～京都医療センター遺伝診療部の取り組み～	伏見医師会ランチョンセミナー	京都	2018.4.13	2018.4.13

国内学会	和田美智子, 浅原哲子, 北誠, 日下部徹, 田上哲也, 島津章	False-positive TRAb	第91回日本内分泌学会学術集会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-2018.4.29
国内学会	浅原哲子, 田中将志, 山陰一, 井上隆之, 北野隆司, 村中和哉, 小鳥真司, 日下部徹, 島津章	肥満・糖尿病における新規認知症予知指標・TREM2の病態意義 ―国立病院機構多施設共同研究―	第91回日本内分泌学会学術集会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-2018.4.29
国内学会	日下部　徹	ANGPTL8は肥満に合併する高中性脂肪血症発症に関与する可能性がある	第91回日本内分泌学会学術総会、第22回日本心血管内分泌代謝学会学術総会	宮崎	2018.4.28	2018.4.26 ～ 2018.4.29
研究セミナー・シンポジウム等	日下部　徹	サルコペニアと骨粗鬆症	伏見内分泌代謝ネットワーク第29回連携の会	京都	2018.5.10	2018.5.10
国内学会	日下部　徹	AGPAT2遺伝子変異による先天性全身性脂肪萎縮症の臨床的特徴	第61回日本糖尿病学会	東京	2018.5.24	2018.5.24 ～ 2018.5.26
国内学会	浅原哲子、北野隆司、田中将志、井上隆之、横田繁史、村中和哉、山陰一、日下部徹、長谷川浩二、島津章	日本人2型糖尿病におけるPICRUSt予測メタゲノム解析を用いた腸内細菌叢プロファイルと宿主の糖代謝との機能的連関	第61回日本糖尿病学会年次学術集会	東京	2018.5.26	2018.5.24-2018.5.26
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	肥満合併糖尿病の効果的な治療戦略 ー肥満は万病のもとー	第1回肥満と糖代謝異常症を考える会	愛知	2018.6.8	2018.6.8
国内学会	浅原哲子、西田博樹	やせるレシピ本で減量成功し、糖尿病、脂肪肝、うつ状態が劇的に改善した若年症例	第36回日本肥満症治療学会学術集会	東京	2018.6.16	2018.6.15-2018.6.16
国内学会	浅原哲子	肥満治療の最前線・内科治療の進歩は？糖尿病に効く肥満外科治療ってなに？	第36回日本肥満症治療学会学術集会	東京	2018.6.16	2018.6.15-2018.6.16
国内学会	飛騨美希、新井浩司、小西陽介、日下部徹、浅原哲子、三宅秀彦、川﨑薫、高倉賢人、山口建、高倉賢二、橋本有紀子、北誠	無侵襲的胎児遺伝学的検査（NIPT）と胎児超音波検査にて性別が不一致だったため不安を生じた母体に対する遺伝カウンセリングの1例	第45回　国立臨床検査技師協会近畿支部総会・学会	兵庫	2018.6.16	2018.6.16
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子、橋本有紀子、小西陽介	ご存知ですか？遺伝診療	FM845「カラダ元気」	京都	2018.6.26	2018.6.26
国内学会	浅原哲子、小西陽介、飛騨美希、日下部徹、橋本有紀子、馬越洋宜、北誠、川﨑薫、和田美智子、山口建、三宅秀彦、高倉賢二	遺伝カウンセリング普及のための京都医療センター遺伝子診療部の試み	第42回日本遺伝カウンセリング学会総会及び学術集会	宮城	2018.6.29	2018.6.28-2018.7.1
国内学会	小西陽介、飛騨美希、村瀬永子、中村道三、日下部徹、橋本有紀子、馬越洋宜、北誠、川﨑薫、和田美智子、山口建、三宅秀彦、浅原哲子、高倉賢二	保因者診断を主訴に来談したが発症前診断の可能性が考慮されたミトコンドリア病	第42回日本遺伝カウンセリング学会総会及び学術集会	宮城	2018.6.29	2018.6.28-2018.7.1
研究セミナー・シンポジウム等	山口建、山村幸、池田 愛紗美、高倉賢人、江本郁子、宇治田麻里、高尾由美、高倉賢二、小西郁生	腹腔鏡下子宮腺筋症核出術後に妊娠中期で子宮破裂した症例	京都子宮内膜症・腺筋症セミナー	京都	2018.6.30	2018.6.30
国内学会	山口建、林育代、川﨑薫、山村幸、小椋恵利、松坂優、高倉賢人、江本郁子、宇治田麻里、高尾由美、高倉賢二、小西郁生	助産制度利用妊婦はsmall for gestational age児のリスク因子となる	第54回日本周産期・新生児医学会学術集会	東京	2018.7.9	2018.7.8-2018.7.10
国内学会	浅原哲子	「臨床医学からアディポサイエンスを探る」	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会	大阪	2018.7.13	2018.7.12-2018.7.14
国内学会	江本郁子、池田愛紗美、山村幸、髙倉賢人、宇治田麻里、山口建、高尾由美、髙倉賢二、小西郁生	腹腔鏡下卵管切除術後に同側の間質部妊娠を来した3症例	第59回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	松江	2018.8.2	2018.8.2-2018.8.4

国内学会	山口建、山村幸、池田 愛紗美、小椋恵利、松坂優、高倉　賢人、江本郁子、宇治田麻里、川﨑薫、高尾由美、高倉　賢二、小西郁生	腹腔鏡下子宮腺筋症核出術後に妊娠中期で胎盤付着部位に子宮破裂を認め、急激に出血した症例	第59回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	松江	2018.8.4	2018.8.2-2018.8.4
研究セミナー・シンポジウム等	日下部　徹	糖・脂質代謝調整における脂肪組織、骨格筋の役割	脂質・糖代謝異常と心血管疾患～最新知見とホットトピックス～	京都	2018.8.9	2018.8.9
国内学会	浅原哲子、田中将志、山陰一、日下部徹、井上隆之	老年期の血清TREM2が認知症発症におよぼす影響：久山町研究	第40回日本生物学的精神医学会	兵庫	2018.9.7	2018.9.6-2018.9.8
国内学会	和田美智子、山口建、山村幸、池田愛紗美、高倉賢人、江本郁子、宇治田麻里、高尾由美、日下部徹、浅原哲子、高倉賢二、小西郁生	内臓脂肪/皮下脂肪比はType1子宮体癌において予後因子となる	17th Biennial Meeting of the IGCS & 第60回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	京都	2018.9.15	2018.9.14-2018.9.16
国内学会	Yamaguchi K, Wada M, Satoh-Asahara N, Yamamura S, Ikeda A, Takakura M, Emoto I, Ujita M, Takao Y, Kusakabe T, Takakura K, Konishi I	Visceral-to-Subcutaneous Adipose Tissue Ratio is a Prognostic Predictor in Type 1 Endometrial Cancer Patients	17th Biennial Meeting of the IGCS & 第60回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	京都	2018.9.16	2018.9.14-2018.9.16
研究セミナー・シンポジウム等	日下部　徹	骨粗鬆症治療薬とサルコペニアにおける最近の話題	第84回伏見医師学術集談会	京都	2018.10.6	2018.10.6
国内学会	日下部　徹	肥満症・糖尿病におけるサルコペニア進展機序の解明	第39回日本肥満学会	兵庫	2018.10.7	2018.10.7 ～2018.10.8
国内学会	和田美智子、山口建、山陰一、田中将志、井上隆之、高倉賢二、小西郁生、日下部徹、浅原哲子	type1子宮体癌において内臓脂肪/皮下脂肪面積比は予後因子になる	第39回日本肥満学会	兵庫	2018.10.8	2018.10.7-2018.10.8
国内学会	和田美智子、山口建、山陰一、田中将志、井上隆之、高倉賢二、小西郁生、日下部徹、浅原哲子	タイプ子宮体癌において内臓脂肪/皮下脂肪面積比は予後因子になる	第39回日本肥満学会	兵庫	2018.10.8	2018.10.7-2018.10.8
国内学会	浅原哲子	チームで取り組む肥満症治療-効果的な食事療法と心血管病リスク軽減-	第39回日本肥満学会	兵庫	2018.10.8	2018.10.7-2018.10.8
国内学会	浅原哲子	楽しく美味しくやせる食事療法～健康長寿を目指して～	第39回日本肥満学会	兵庫	2018.10.8	2018.10.7-2018.10.8
国内学会	浅原哲子	肥満症に対する効果的な治療戦略と健康障害の改善に有効な減量数値目標を見出すための研究	第39回日本肥満学会	兵庫	2018.10.8	2018.10.7-2018.10.8
国内学会	浅原哲子、小西陽介、飛騨美希、日下部徹、橋本有紀子、馬越洋宜、北誠、川崎薫、和田美智子、山口建、三宅秀彦、高倉賢二	遺伝カウンセリング普及活動～京都医療センター遺伝診療部の試み～	第63回日本人類遺伝学会	横浜	2018.10.12	2018.10.10-2018.10.13
研究セミナー・シンポジウム等	日下部　徹	骨粗鬆症とサルコペニア	伏見内分泌代謝ネットワーク第30回連携の会	京都	2018.10.18	2018.10.18
国内学会	日下部　徹	これからの糖尿病治療戦略について	近畿国立病院薬剤師会学術講演会	京都	2018.10.27	2018.10.27
国内学会	浅原哲子	効果的な肥満・糖尿病治療を目指したチーム医療の構築	第55回日本糖尿病学会近畿地方会	兵庫	2018.10.27	2018.10.27
研究セミナー・シンポジウム等	山口建	子宮内膜症と卵巣明細胞癌	子宮内膜症 若手医師セミナーin米子	米子	2018.10.27	2018.10.27-2018.10.28
国内学会	浅原哲子、北野隆司、田中将志、井上隆之、村中和哉、山陰一、日下部徹、島津章	日本人2型糖尿病におけるPICRUSt予測メタゲノム解析を用いた腸内細菌叢プロファイルと宿主の糖代謝との関連解析	第72回国立病院総合医学会	兵庫	2018.11.9	2018.11.9-2018.11.10

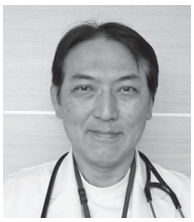
国内学会	小西陽介、飛騨美希、和田美智子、橋本有紀子、北誠、日下部徹、荒木由香里、山賀郁、山口建、荒田順、山﨑誠二、浅原哲子、三宅秀彦、高倉賢二、小西郁生	遺伝診療部の取り組み～HBOCワーキンググループの立ち上げから現在まで～	第72回国立病院総合医学会	兵庫	2018.11.10	2018.11.9-2018.11.10
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	チーム医療による効果的な肥満・メタボリックシンドローム・糖尿病の食事指導～適正な栄養管理について～	北野病院NST勉強会	大阪	2018.11.13	2018.11.13
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	生活習慣病におけるサルコペニアの効果的予防法－マイオスタチンの臨床的意義－	Take A chance with Kowa, Expert of Diabetes and Atherosis Meeting	京都	2018.11.16	2018.11.16
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子		内科・眼科連携を考える 2018	京都	2018.11.29	2018.11.29
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	メタボ型糖尿病患者の治療戦略	kyoto Cardiovascular & Diabetes Conference	京都	2018.12.20	2018.12.20
研究セミナー・シンポジウム等	日下部　徹	骨粗鬆症とサルコペニア－骨と筋肉を鍛えて健康長寿を目指す－	平成30年度内分泌代謝性疾患専門医研修会	京都	2019.1.31	2019.1.31 ～2019.2.1
国内学会	浅原哲子	メタボとそのこわい合併症の効果的な予防法～健康長寿を目指して～	京都府放射線技師会学術大会	京都	2019.2.3	2019.2.3
研究セミナー・シンポジウム等	日下部　徹	「2型糖尿病」に併存するサルコペニア	京都糖尿病学術講演会	京都	2019.3.9	2019.3.9
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	Opening Remarks	京都糖尿病学術講演会～ DM（Diabetes Mellitus）とDM（Diversity Management）を考える～	京都	2019.3.9	2019.3.9
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	高齢者糖尿病の治療戦略	伏見医師会ランチョンセミナー（	京都	2019.3.15	2019.3.15
研究セミナー・シンポジウム等	浅原哲子	肥満合併糖尿病のチーム医療	Diabetes Special Forum 2019	神奈川	2019.3.28	2019.3.28
研究セミナー・シンポジウム等	江本郁子、池田愛紗美、山村幸、高倉賢人、宇治田麻里、山口建、高尾由美、高倉賢二、小西郁生	同側卵管に反復異所性妊娠を来した症例の検討	第19回京都女性のヘルスケア研究会	京都	2018.10.21	2018.10.21

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者以外）	山口建、高尾由美、高倉賢二、小西郁生	Primary retroperitoneal squamous cell carcinoma: a case report with review of the literature	International Cancer Conference Journal	8	2	61-65			2019.4
英文論文（筆頭著者）	和田美智子、北誠、川崎薫、日下部徹、田上哲也、浅原（佐藤）哲子、島津章	False-positive TSH receptor antibody -a pitfall of third-generation TSH receptor antibody measurements in neonates-.	Endocrine Journal	65	5	587-592			2018.5

英文論文（筆頭著者）	北　誠	Familial congenital choanal atresia with GATA3 associated hypoparathyroidism-deafness-renal dysplasia syndrome unidentified on auditory brainstem response	Auris Nasas Larynx	18		30692-8			2018.11
英文論文（筆頭著者）	田中将志、山陰一、井上隆之、北野（大植）隆司、日下部徹、和田啓道、長谷川浩二、島津章、浅原（佐藤）哲子	Role of serum myostatin in the association between hyperinsulinemia and muscle atrophy in Japanese obese patients.	Diabetes Research and Clinical Practice	142	-	195-202			2018.8
和文総説・著書（筆頭著者）		①ステロイド糖尿病 ②膵性糖尿病 ③腎性糖尿	今日の疾患辞典～検査処方例つき～	-	-	-	-	エイド出版	未定（2019年9月以降）
和文総説・著書（筆頭著者）		Ⅳ-その他の内分泌疾患を含めて-「Ⅸ.ホルモン異常による先天性肥満症 3.プロホルモン変換酵素（PC1）遺伝子異常症」	内分泌症候群（第3版）			260-264		日本臨床社	2019.3
和文総説・著書（筆頭著者）	田中将志、山陰一、井上隆之、日下部徹、浅原（佐藤）哲子	Serum soluble TREM2 as a biomarker for incident dementia: the Hisayama Study.	Annals of Neurology	85	1	47-58			2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）		第5章 各種動脈硬化危険因子とCAVI：治療効果も含む 「5.メタボリックシンドロームとCAVI」	動脈弾性指標CAVIのすべて			96-101		日経メディカル開発	2019.3
和文総説・著書（筆頭著者）		特集 心不全と糖尿病：基礎と臨床-膨らむ知見と大きな期待-「糖尿病薬の種類と心血管疾患予防を目指した治療戦略」	循環器内科	85巻	3号	322-340		科学評論社	2019.3
和文総説・著書（筆頭著者）		特集 肥満と消化器「1.肥満の基礎 （2）肥満の発症機序」	臨床消化器内科	34	4	357-364		日本メディカルセンター	2019.3
和文総説・著書（筆頭著者）		肥満症	今日の治療指針2019年版 私はこう治療している	-	-	753-755		医学書院	2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）		肥満症の病態と治療の最前線 「肥満症の行動療法を軸としたチーム医療」	最新医学	74	1	96-103		最新医学社	2019.1
和文総説・著書（筆頭著者以外）		脂肪萎縮症診療ガイドライン	日本内分泌学会雑誌	94		1-31			2018.9

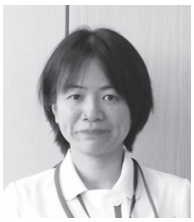
医療安全管理部


医療安全管理部長
白神　幸太郎

医療安全管理副部長
阿部　充

訴訟専門職
赤井　太地

医療安全管理係長
塩　早苗


副看護師長
北野　朋子
平成31年3月31日まで

副看護師長
山本　なお美
平成31年4月1日から

患者安全の確保、医療の質の担保と向上への取り組みは、急性期基幹病院である当院において最も重要な課題であり、安全文化の醸成は医療教育機関としての責務である。これらの課題、責務を達成するために医療安全管理部が活動している。院内に医療安全管理室を設置し、各部署に医療安全推進担当者（リスクマネージャー）をおいて医療安全管理体制を整備している。医療安全管理委員会、リスクマネージャー会議などの定例会議を主催するとともに、随時オカレンス症例検討会、ハイリスク診療検討会などを開催している。また、電子化した報告システムによりインシデント・アクシデント事例を収集し、個々の事例に対応するだけでなく、マニュアル等の定期的な見直しを行い、医療安全管理体制の強化充実を図っている。院内で共有すべき情報については積極的に情報発信を行い、スタッフ教育にも力を注いでいる。医療事故調査制度がスタートしてから3年3ヶ月が経過しており、当院で生じた死亡症例についてはモニタリングし、迅速かつ適切に事例の収集と検討が可能となるシステムが整備された。これらの取り組みを通じて、医療に伴って発生する様々な危険や有害事象をモニターし、調査、分析して医療に反映させること、重大な有害事象に対して病院をあげて迅速に対応すること、スタッフ教育や院内システムの改善に役立てることを目標としている。

1．医療安全管理体制

1）組織図…医療安全管理マニュアル参照

2）構成メンバー

医療安全管理部長　1名
医療安全管理副部長　1名
医療訴訟専門職　1名
医療安全管理係長　1名
看護部医療安全担当副看護師長：1名
医療安全推進担当者（リスクマネージャー）各部署から1名　計58名

2．医療安全に関する日常活動

1）医療安全に関する院内の情報収集及び実態調査(定期的な院内の巡回・点検、マニュアルの遵守状況の点検)
2）マニュアルの作成及び点検と見直しの提言等
3）インシデント・アクシデントレポートの収集、保管、分析、具体的な改善策の提案、分析結果の現場へのフィードバックと集計結果の管理
4）医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知
5）医療安全に関する職員への啓発、広報
6）医療安全に関する教育研修の企画・運営
7）医療安全対策ネットワーク整備事業に関する報告

8）医療安全管理に係る連絡調整に関すること

3．業務実績

1）医療事故に関する会議開催状況　（平成30年度）

(1) 拡大医療安全管理委員会　　1件
(2) 医療事故本部対策会議　　1件
(3) オカレンス事例検討会議　　16件
(4) ハイリスク診療検討会議　　7件

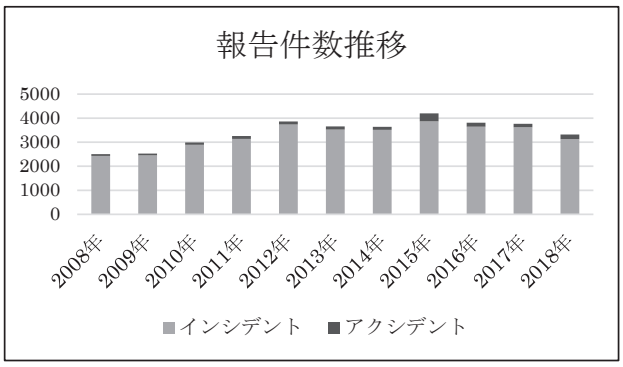
2）マニュアル、ガイドラインの作成・改訂

・中心静脈カテーテル運用マニュアル（2012年）
・インスリン指示に関するテンプレート整備（2017年）
・ロヒプノール院内使用指針（2014年）
・事故防止対策マニュアル（2014年改訂）
・抗血栓薬の適正使用と周術期の取り扱いに関するガイドライン（2017年改訂）
・院内転倒時の頭部打撲対応（2016年）
・深部静脈血栓症・肺塞栓症の予防対策ガイドライン（2016年改訂）
・医療安全管理マニュアル（2016年改訂）
・医療事故防止マニュアル（2019年改訂）

3）インシデント・アクシデントレポート収集

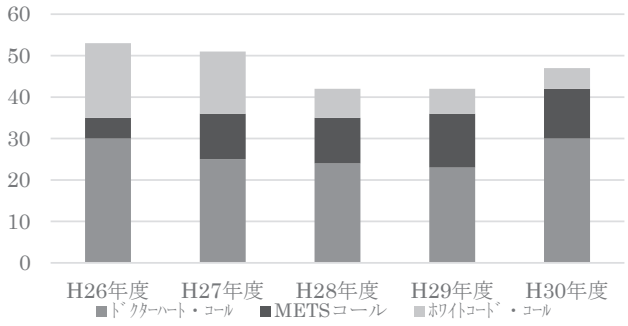
・平成30年度報告件数　　3323件
インシデント3129件

アクシデント194件



4）平成30年度　緊急コール件数

ドクターハートコール：30件
METSコール：12件
ホワイトコードコール：5件



5）医療安全に関する活動及び情報提供

・医療安全管理委員会　1回/月　計12回
・リスクマネージャー会議　1回/月　計12回
・診療科長会議、医局会、管理診療会議での情報提供
・事故事例の情報発信等
・医療安全カレンダー作成、配布
・各部門カンファレンス・検討会等参加

6）医療安全に関する教育研修

（1）医療安全研修会

第1回「全職員で取り組む医療安全」外部講師　平成30年5月25日

第2回「みんなで知ろう!各部署における医療安全の取り組み」平成31年1月23日開催

（2）医療事故防止研修会　計7回開催

開催日	＜テーマ＞
平成30年7月18日	糖尿病の薬物療法の基礎知識とリスクマネジメント インスリンを正しく理解しエラーを防ぐ～管理から投与まで～
平成30年7月25日	インスリンの取り扱い・指示出しをもう一度振り返る
平成30年9月6日	個人情報保護
平成30年9月12日	院内・院外でも役立つ急変時対応
平成30年11月19日	気管切開チューブの安全管理
平成31年2月25日	知らないではすまされない!麻薬の管理
平成31年3月7日	心電図モニタの安全管理

（3）医局会において「医療安全アップデート」として10テーマについて情報発信

開催日	＜テーマ＞
平成30年4月20日	アスピレーションカテーテル固定方法の統一
平成30年5月18日	オカレンス事例検討、同意書の重要性
平成30年6月15日	カルテ記載、特に理学所見の記載について
平成30年7月20日	死亡症例報告の意義と提出状況
平成30年10月19日	気管切開チューブの逸脱、迷入について
平成30年11月16日	院内圧縮空気圧の低下と対処
平成30年11月16日	死亡事例報告について
平成30年12月21日	麻薬事故多発
平成31年1月18日	インフォームドコンセントについて
平成31年2月15日	心電図モニタ管理について

7）医療安全に関する講義

新採用者研修、看護助手等採用時研修、幹部看護師任用候補者研修、看護学校講義

医療安全管理研修、スペシャルメディカルクラーク研修　　等

8）平成30年度学会発表

（1）第71回　国立病院総合医学会（神戸コンベンションセンター）3題

『医療事故調査制度に対応する院内体制整備とその効果』

口述：白神　幸太郎

『転倒・転落防止対策への取り組み～ピクトグラム導入後の現状と効果～』

ポスター：塩　早苗

『CT画像診断の見落とし対策』

ポスター：北野　朋子

（2）近畿地区国立病院　第60回　看護学会（大阪国際交流センター）1題

『転倒・転落防止対策への取り組み～ピクトグラム導入後の現状と効果～』

口述：北野　朋子

医療情報部

部長
情報システム管理室室長
診療情報管理室室長
臨床研究センター
政策医療企画研究部
情報化推進研究室室長
北岡　有喜

専門医資格等　京都大学博士（医学）
同志社大学博士（政策科学）
社会医学系専門医協会　専門医・指導医
日本産科婦人科学会　専門医・指導医
日本専門医機構　産婦人科専門医
臨床研修指導医
九州大学医学部　非常勤講師
京都情報大学院大学　客員教授
医学研究所北野病院　第11研究部長（客員）
総務省　地域情報化アドバイザー
地方公共団体情報システム機構経営審議委員会　委員
独立行政法人情報処理推進機構
「先進的IoTプロジェクト支援事業」メンター
ITコンソーシアム京都　医療情報化部会　部会長
都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会
　がん登録部会委員・データ利用審査委員会委員
京都府がん医療戦略推進会議
　院内がん登録部会　部会長
国立病院等総合情報ネットワーク研究会　副会長

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　名	専門医資格等
副部長	八幡　兼成	京都大学博士（医学） 日本腎臓学会　専門医・指導医 日本透析医学会　専門医・指導医 日本糖尿病学会　専門医 日本内科学会　専門医
診療情報管理室　室員	秋好　香織	診療情報管理士・院内がん登録実務初級者
診療情報管理室　室員	前田　夕子	診療情報管理士・院内がん登録実務中級者・医療情報技師
診療情報管理室　室員	口村　恭子	診療情報管理士・院内がん登録実務初級者
診療情報管理室　室員	上田　好美	診療情報管理士・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	木村　仁美	眼科担当
スペシャル医療クラーク	長谷川紗世	内分泌代謝センター担当
スペシャル医療クラーク	宮田　朋代	泌尿器科担当
スペシャル医療クラーク	赤井　樹理	外科担当・院内がん登録実務初級者・日本癌治療学会認定データマネージャー・JCOG臨床試験セミナー入門編修了
スペシャル医療クラーク	西田千賀子	産婦人科・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	甲田　実樹	呼吸器内科担当・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	柴田　暢子	形成外科担当・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	品川　智子	循環器内科担当・薬剤師
スペシャル医療クラーク	中村　繭子	消化器内科・内視鏡センター担当・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	村上　雅代	救命センター担当

スペシャル医療クラーク	小川　文代	呼吸器外科担当・管理栄養士
スペシャル医療クラーク	中條　夏子	脳神経センター担当
スペシャル医療クラーク	中尾　真理	腎臓内科担当
スペシャル医療クラーク	三浦　圭代	小児内科担当
スペシャル医療クラーク	加藤由美子	緩和ケア科担当
スペシャル医療クラーク	南野　和代	整形外科担当・院長室
スペシャル医療クラーク	田中　直美	心臓外科担当
スペシャル医療クラーク	黒田　果奈	脳神経センター担当
スペシャル医療クラーク	金山　聡美	整形外科担当
スペシャル医療クラーク	山崎真理子	眼科担当
スペシャル医療クラーク	細川真莉奈	麻酔科担当
スペシャル医療クラーク	川口裕希子	消化器内科・内視鏡センター担当・院内がん登録実務初級者
スペシャル医療クラーク	金本　知恵	皮膚科担当
スペシャル医療クラーク	藤澤　静香	耳鼻科担当
スペシャル医療クラーク	牧原麻理子	糖尿病センター
医療クラーク	松本紀美子	事務助手（地域連携室担当）
医療クラーク	戸田由美子	事務助手（手術室担当）
システムエンジニア	横田　健吾	情報セキュリティマネジメント試験合格者
情報システム管理室　室員	園田　　淳	運用管理職員（委託）
情報システム管理室　室員	太田　佳子	運用管理職員（委託）
情報システム管理室　室員	村岡　大督	運用管理職員（委託）
情報システム管理室　室員	天野　浩行	運用管理職員（委託）
流動研究員	滝川　裕介	システムエンジニア・情報セキュリティマネジメント試験合格者・医療情報技師
研究員	湊　　拓巳	臨床工学技士
研究員	小川　麻理	日医認定ITインストラクター・情報処理士
研究員	小森　由宗	システムエンジニア
研究員	小森谷祥明	システムエンジニア
研究員	松島　大介	システムエンジニア・データベーススペシャリスト・情報セキュリティスペシャリスト・ソフトウェア開発技術者

□ 診療科の特徴

1. 京都医療センター医療情報部は、独立行政法人化以前の2003年7月に国立病院としては初めて設置が認可された医療情報部です。
2. 医師と情報システムエンジニアの資格を持つ人材が部長を担当しており、ベンダーに依存することなく、医療現場のニーズにマッチした情報システムの要件定義や開発・導入・構築を迅速かつ適価で行っています。
3. 京都府・京都市が設置した情報基盤協議会である「ITコンソーシアム京都」医療情報化部会と連携し、「ポケットカルテ」などの二次医療圏を包括する地域医療連携基盤の企画・設計・開発・構築・運用・整備なども行っています。
4. 情報システムや診療記録管理だけでなく、診療諸記録作成の専門職として「スペシャル医療クラーク」を独自に育成し各診療科に配置することで、医師・看護師などの専門職が専門業務に集中出来る環境を構築すると共に、診療諸記録の質の向上ならびに診療の質の向上に努めています。

□ 診療（業務）内容

医療情報部は3部署で構成されています。各部署の名称と主な業務内容は以下の通りです。

1. 病院情報システム管理室
   病院情報システム（電子カルテシステム）の開発・構築・運用・整備および将来計画に関すること
2. 診療情報管理室
   診療諸記録及び診療情報の管理・調査・研究およびがん登録に関すること
3. 診療支援チーム
   スペシャル医療クラークを独自に育成し、各診療科などに配置することで、医師など専門職の事務作業を軽減すると共に、診療諸記録の精度向上や処理を迅速化すること

また、研究業務は臨床研究センター情報化推進研究室と一体化し、医療情報の研究、教育及び利用、病院の運営及び診療の管理に係る情報化などの研究開発を行っています。

□ 活動実績

2017年度

1. 情報管理教育研修　　2回開催
2. 医療情報委員会　　12回開催
3. 医療情報小委員会　45回開催
4. 医療情報セミナー　　1回開催
5. 「地域ICT利活用広域連携事業」地域共通診察券運営協議会　12回開催
6. 京都府がん医療戦略推進会議　院内がん登録部会　5回開催
7. 京都府がん医療戦略推進会議　院内がん登録部会　登録実務WG　5回開催
8. 京都府がん医療戦略推進会議　院内がん登録部会研修会　5回開催
9. 京都府院内がん登録セミナー　1回開催
10. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会ーがん登録部会　1回参加
11. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会「データ利用審査員会」　5回参加
12. 一般社団法人 京都府病院協会「スペシャル医療クラーク（SMC）育成コース」を1クール開催

□ 地域医療連携・広報活動

院内がん登録部会, 京都医療センター, 2018年4月12日
院内がん登録実務WG, 京都医療センター, 2018年4月12日
第92回地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」北岡有喜ほか, 京都医療センター, 2018年4月19日
院内がん登録部会, 京都医療センター, 2018年6月14日
院内がん登録実務WG, 京都医療センター, 2018年6月14日
院内がん登録部会研修会, 京都医療センター, 2018年6月14日
第93回地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」北岡有喜ほか, 京都医療センター, 2018年6月21日
第94回地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」北岡有喜ほか, 京都医療センター, 2017年8月17日
院内がん登録部会, 京都医療センター, 2018年8月23日
院内がん登録実務WG, 京都医療センター, 2018年8月23日
院内がん登録部会研修会, 京都医療センター, 2018年8月23日
MDV病院経営セミナー「クリティカルパスから医療と経営の質改善を考える」北岡有喜, メルパルク大阪, 2018年8月31日

第95回地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」北岡有喜ほか, 京都医療センター, 2018年10月18日
（第7回）院内がん登録セミナー 2018京都, 京都医療センター，2018年9月29日, 10月20日
岡山県立岡山操山中学校　「探求学習中学生研修受入」北岡有喜, 京都医療センター, 2018年11月15日
第96回地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」北岡有喜ほか, 京都医療センター, 2018年12月20日
情報セキュリティセミナー「情報セキュリティ　10大脅威とその対策」北岡有喜ほか、京都医療センター, 2018年12月20日
院内がん登録部会, 京都医療センター，2018年12月23日
院内がん登録実務WG, 京都医療センター，2018年12月23日
院内がん登録部会研修会, 京都医療センター，2018年12月23日
平成30年度ファーストレベル教育課程講師」北岡有喜, 公益社団法人福岡県看護協会, 2019年1月11日
スペシャル医療クラーク育成コース/京都府病院協会医師事務作業補助者スキルアップ研修　北岡有喜ほか, 京都医療センター, 2019年2月4日～ 2019年3月1日
第97回地域ICT利活用広域連携事業「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」北岡有喜ほか, 京都医療センター, 2019年2月21日
院内がん登録部会, 京都岡本記念病院，2019年2月28日
院内がん登録実務WG, 京都岡本記念病院，2019年2月28日
院内がん登録部会研修会, 京都岡本記念病院，2019年2月28日
京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院インターンシップ講師　北岡有喜, 京都医療センター, 2019年3月4日～ 2019年3月15日

□ 学会活動報告（学会・研究発表など）

演 者 ・ 演 題 ・ 学 会 名
北岡有喜, 来るべき少子高齢化・人口減少社会に対して、健康・医療・福祉・介護 ICT/IoTをどのように活用すべきか?, ITコンソーシアム京都, 2018年7月9日;京都
湊 拓巳, 滝川 裕介, 北岡 有喜,「病院運営・管理ーモチベーションを上げる」当院をウェブで検索した際に、上位に表示させるための対策（SEO対策）とその効果, 第72回国立病院総合医学会, 2018年11月9日; 神戸
北岡有喜,「働き方改革を支援する医療分野のIoT：スマートグラスについて」, 第38回医療情報学連合大会（第19回日本医療情報学会学術大会）, 2018年11月25日;福岡
湊 拓巳,「スマートグラスによる体外循環技術の安全性向上の試み」, 第38回医療情報学連合大会（第19回日本医療情報学会学術大会）, 2018年11月25日;福岡
大岩 秀行,「メガネ型ウェアラブル端末「b.g.（ビージー）」ご紹介と医療分野への応用」, 第38回医療情報学連合大会（第19回日本医療情報学会学術大会）, 2018年11月25日;福岡
守屋 文彦,「弊社モバイルエッジコンピューティングデバイスのご紹介と医療分野での活用」, 第38回医療情報学連合大会（第19回日本医療情報学会学術大会）, 2018年11月25日;福岡
湊 拓巳, スマートグラスとエッジコンピューティングを利活用した人工心肺業務の働き方改革の試み, 日本医工学治療学会第35会学術大会, 2019年2月24日;東京

□ 投稿論文など

著書・雑誌名	著　書　・　タ　イ　ト　ル
循環plus	北岡　有喜. 患者自己管理のすすめ ポケットカルテと自己情報コントロール権. 循環plus. 2018 ;vol.17, No.11 : 10-12
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）「小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究」（H29-難治等（難）-一般-015） 平成29年度 総括・分担研究報告書	北岡　有喜. 平成29年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）「小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究」 総括研究報告書. 2018 : 3-17
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）「小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究」（H29-難治等（難）-一般-015） 平成29年度 総括・分担研究報告書	北岡　有喜. 平成29年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）「小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究」 分担研究報告書 疾患登録と長期フォローアップ体制の構築；13. 既存の登録システムについて;ポケットカルテ.2018; 158
京都コンピュータ学院 アキューム	北岡　有喜. ポケットカルテ®を医療費適正化の切り札に～「健康費」のすゝめ～. 2018 ;25 :50-50
ITコンソーシアム京都平成30年度講演会資料	北岡　有喜. ポ来るべき少子高齢化・人口減少社会に対して、健康・医療・福祉・介護ICT/IoTをどのように活用すべきか?. 2018 ; 1-19
月刊 J-LIS February 2019	北岡　有喜. 遠隔医療でノウハウを継承. 2019 ;5 :11: 3-6
医工学治療	湊 拓巳. ICTを利活用した血液浄化装置の遠隔監視の試み. 日本臨床工学技士会会誌. 2019;31 :1 :12-184

□ 賞罰

総務省　地方創生に資する「地域情報化大賞」 大賞／総務大臣賞受賞 「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」2015,3,6

厚生労働省　第4回健康寿命をのばそうアワード　厚生労働省健康局長優良賞受賞 「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」2015,11,16

□ 院内情報処理業務支援

２０１８年度	病診連携用画像DVDR作成件数（放射線科、手術術野動画等）	5801件	（月平均507件）
２０１７年度	病診連携用画像DVDR作成件数（放射線科、手術術野動画等）	4448件	（月平均371件）
２０１６年度	病診連携用画像DVDR作成件数（放射線科、手術術野動画等）	4672件	（月平均389件）
２０１５年度	病診連携用画像DVDR作成件数（放射線科、手術術野動画等）	3453件	（月平均288件）
〃	病診連携用画像CD-R作成件数（放射線科、内視鏡センター）	1129件	（月平均194件）
２０１４年度	病診連携用画像CD-R作成件数（放射線科、内視鏡センター）	5271件	（月平均439件）
２０１３年度	病診連携用画像CD-R作成件数（放射線科、内視鏡センター）	3771件	（月平均314件）
２０１２年度	病診連携用画像CD-R作成件数（放射線科、内視鏡センター）	3684件	（月平均307件）

感染制御部

感染制御部長
奥野　博

専門医資格等
日本泌尿器科学会専門医・指導医
京都大学臨床教授
関西医科大学臨床教授
日本生殖医学会評議員
日本アンドロロジー学会評議員
日本癌治療認定医
日本移植学会腎移植認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本泌尿器内視鏡学会・腹腔鏡技術認定医
京都大学医学博士

専門分野
泌尿器科一般

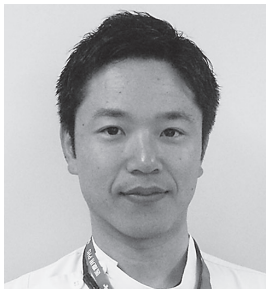
得意疾患
前立腺がん
男性学
尿路感染症

副部長
(専任)
ICTリーダー
小田垣孝雄

専門医資格等
ICD：Infection　Control Doctor
日本内科学会総合内科専門医/指導医
日本化学療法学会抗菌化学療法指導医
日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医/指導医
日本医師会認定産業医

専門分野
内科一般、感染制御

得意疾患
一般内科疾患



副看護師長
（専従）
森　誠司

専門医資格等
CNIC：Certified Nurse Infection Control
感染管理認定看護師

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　師	畑　　啓昭	日本外科学会　外科専門医・指導医 日本消化器外科学会　消化器外科専門医・指導医 日本内視鏡外科学会　内視鏡外科技術認定医・評議員 日本食道学会　食道科認定医 日本がん治療認定医機構　がん治療認定医 日本消化器外科学会　消化器がん外科治療認定医 ICD（インフェクションコントロールドクター） 日本外科感染症学会　周術期感染管理認定医・教育医・評議員・教育委員会委員長・編集委員会委員 日本感染症学会　評議員・臨床研究促進委員会委員 日本化学療法学会　評議員・抗菌化学療法認定医制度審議委員会委員・国際渉外委員会委員 日本化学療法学会・日本感染症学会　薬剤耐性菌感染症を対象とした抗菌薬ガイドライン作成に関する合同委員会委員・Journal of Infection and Chemotherapy, Senior Editor ダ・ヴィンチ　コンソール術者ライセンス取得 京都大学　医学博士	上部消化管外科感染症	胃がん 食道がん

医　師（非常勤）	遠藤　文司	ICD：Infection control doctor 日本内科学会　認定内科医 日本消化器病学会　消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会　消化器内視鏡専門医・学会本部学術評議員・近畿支部評議員 日本肝臓学会　肝臓専門医 日本消化器がん検診学会　認定医（胃・肝胆膵） 日本化学療法学会　抗菌化学療法認定医・指導医 日本医師会　認定産業医 臨床研修指導医 難病指定医 大阪市介護保険認定審査委員 身体障害者福祉法第15条第1項による指定医師	内科、消化器内科全般	胆道・膵疾患検査・治療
薬剤師（専任）	中野　一也	感染制御認定薬剤師		
薬剤師	宮地由香里			
検査科（専任）	田栗　貴博			
検査科（専任）	吉川　耕平	感染制御認定臨床微生物検査技師		
経営企画室長	梶田　佳範			
事　務	諸木　真知			

□ 診療（業務）内容

平成9年4月に院内感染対策チームが（ICT）設立し、平成22年4月にはICTを核とする感染制御部が発足しました。そのモットーは院内の感染管理と職員の健康管理を通じて、患者さんが安心して診療を受けられる環境を提供することを目標としています。

さらにその使命として医師、看護師、リンクナース、薬剤師、臨床検査技師、事務など多くの職員がそれぞれに得意とする分野を分担し、責任をもってこれを行っています。実務はICTリーダーを中心に週に１回ICTミーティングを行い、さらに週に1回定期的に院内ICTラウンドを実施しています。また日常の感染対策に関する相談に関しても随時対応しています。

活動例）

①インフルエンザ、感染性胃腸炎、結核などの院内感染対策業務
②手術部位感染、中心静脈カテーテル関連血流感染などのサーベイランス業務
③針刺し・切創事故対応業務
④職員対象の各種ワクチン接種業務
⑤抗菌薬適正使用推進業務
⑥その他、院内感染対策に必要とされる業務

この活動内容は病院長直轄の「院内感染対策委員会」（月1回）と平成22年4月に発足した「抗菌薬の適正使用に関する小委員会」（月1回）にて報告・審議・決定がなされるシステムとなっています。

平成24年度には感染防止対策推進に関する診療報酬が改定され、これまで以上に感染対策チーム（ICT）の活動が求められるようになりました。平成26年度の改訂でも大きな変更点はなく継承されています。

＊感染防止対策加算２を算定する当院連携施設：浩照会 伏見桃山総合病院　弘仁会 大島病院
　淀さんせん会 金井病院　医聖会 学研都市病院　医聖会 八幡中央病院

□ 地域医療連携・広報活動

院内感染対策講習会 第1回「感染管理　基本のキ」2018年5月10日
院内感染対策講習会 第2回「入院中の下痢　～感染対策と治療～」2018年11月1日、11月2日

抗菌薬適正使用教育セミナー「注射用抗菌薬　ダメな使い方、よい使い方（β-ラクタム編）」2018年7月5日
抗菌薬適正使用教育セミナー「非βラクタム系抗菌薬の特徴・上手な使い方」2019年3月14日

第1回感染防止対策地域連携カンファレンス　「抗菌薬適正使用支援チーム（AST）の活動開始について」2018年6月8日
第2回感染防止対策地域連携カンファレンス　「Entero bacterにおけるAmpC過剰産生に対する抗菌薬について」2018年9月7日
第3回感染防止対策地域連携カンファレンス　「検体の取扱いについて」2018年12月7日
第4回感染防止対策地域連携カンファレンス　「感染防止対策総括」2019年2月8日

感染防止対策地域連携加算相互評価：京都市立病院 2018年11月15日・12月6日

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会（総会）	勝島慎二, 中野重治, 江坂直樹, 米田俊貴, 滝本見吾, 赤松友梨, 浜田聖子, 筑後孝紀, 下釜翼, 太田義之, 遠藤文司, 岩本 諭, 笠原勝宏、水本吉則	IFNフリー DAA治療後SVR例の生命予後と他臓器発癌	第104回日本消化器病学会総会	東京	2018.4.21	2018.4.19 ～ 2018.4.21
研究セミナー・シンポジウム等	畑啓昭	適正抗菌薬使用について	愛知県がんセンター中央病院感染対策研修会	愛知	2018.5.18	2018.5.18 ～ 2018.5.18
国内学会	畑啓昭	ワークショップ1　あなたの日常診療を科学にしよう Accepted Paper Session-臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有するー　4.Clinical QuestionからRCTの企画・立案・実施・論文化までの経験	第92回日本感染症学会学術講演会　第66回日本化学療法学会総会　合同学会	岡山	2018.5.31	2018.5.31 ～ 2018.6.2
国内学会（総会）	勝島慎二, 中野重治, 米田俊貴, 筑後孝紀, 遠藤文司, 岩本論, 笠原勝宏, 滝本見吾	C型肝炎SVR例の生命予後	第54回日本肝臓学会総会	大阪	2018.6.15	2018.6.14 ～ 2018.6.15
研究セミナー・シンポジウム等	畑啓昭	手術創感染について	公立豊岡病院 院内感染対策講演会	兵庫	2018.10.19	2018.10.19 ～ 2018.10.19
国内学会	宮地由香里　中野一也 本田芳久　森誠司　田栗貴博 吉川耕平　畑啓昭　小田垣孝雄 奥野博	Antimicrobial Stewardshipにおける薬剤師の役割	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9 ～ 2018.11.10
国内学会	中野一也、宮地由香里、本田芳久、小田垣孝雄、奥野　博	特定抗菌薬のTDM実施率向上へ向けた取り込み	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.09 ～ 11.10
国内学会	畑啓昭	パネルディスカッション：周術期抗菌薬の問題点「予防抗菌薬投与期間適正化への課題」	第88回日本感染症学会西日本地方会学術集会 第61回日本感染症学会中日本地方会学術集会 第66回日本化学療法学会西日本支部総会　三学会合同開催	鹿児島	2018.11.17	2018.11.16 ～ 2018.11.18

国内学会	畑啓昭	Pro and Con 2 「大腸手術における術前経抗菌薬　Pro」	第31回日本外科感染症学会学術集会	大阪	2018.11.28	2018.11.28 ～ 2018.11.29
国内学会	畑啓昭	教育委員会企画プログラム 外科でできる抗菌薬適正使用　プレゼンター	第31回日本外科感染症学会学術集会	大阪	2018.11.28	2018.11.28 ～ 2018.11.29
国内学会	畑啓昭	第295回ICD講習会　周術期および院内感染対策「新しい手術部位感染対策ガイドラインについて」	第31回日本外科感染症学会学術集会	大阪	2018.11.29	2018.11.28 ～ 2018.11.29
研究セミナー・シンポジウム等	畑啓昭	教育講演「外科医に関係する感染症領域の最近の話」	平成30年度京都大学外科冬季研究会プログラム	京都	2018.12.1	2018.12.1 ～ 2018.12.1
研究セミナー・シンポジウム等	畑啓昭	手術室看護師が知っておくべき周術期の感染管理	日本手術看護学会近畿地区京都ブロックセミナー	京都	2018.12.15	2018.12.15 ～ 2018.12.15
国内学会	畑啓昭	シンポジウム8　SSI対策：ガイドラインの現場での標準化　術前腸管処置の標準化	第34回日本環境感染症学会総会	神戸	2019.2.22	2019.2.22 ～ 2019.2.23
国内学会	畑啓昭	第297回ICD講習会　抗菌薬の適正使用　4.術後感染予防抗菌薬	第34回日本環境感染症学会総会	神戸	2019.2.23	2019.2.22 ～ 2019.2.23
国内学会	畑啓昭	ビデオセッション6（シンポジウム）　ICTが見ておきたい手技：SSI予防のための術中手技：消化管外科医の立場から	第34回日本環境感染症学会総会	神戸	2019.2.23	2019.2.22 ～ 2019.2.23
研究セミナー・シンポジウム等	畑啓昭	最近のSSI予防ガイドラインのトッピックス	第17回東海院内感染対策フォーラム	名古屋	2019.3.16	2019.3.16 ～ 2019.3.16
研究セミナー・シンポジウム等	畑啓昭	最近の手術部位感染予防ガイドラインと術後感染症治療薬の適正使用について	京都第一赤十字病院　院内感染対策講演会	京都	2019.4.12	2019.4.12 ～ 2019.4.12

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文原著	Katsushima S, Esaka N, Endoh B, Nakano S, Komeda T	High Incidence of Non-Liver Cancer Following Direct-Acting Antiviral Therapy for Hepatitis Cvirus Infection	Journals of Gastroenterology & Hepatology	2	1			南江堂	2018
和文総説	遠藤文司	救急・ICUの頻用薬を使いこなせ! ～薬の実践的な選び方や調整・投与方法がわかり、現場で迷わず処方できる 第7章（2）消化器用薬	レジデントノート	20	11 増刊	154 ～ 164		羊土社	2018
和文総説・著書（筆頭著者）	畑啓昭	WHO, CDC, ACS, AORNのSSI防止に関するガイドラインについて. 2018; 25（1）: 3-9,	感染と消毒	25	1	3-9			2018.4
和文総説・著書（筆頭著者）	畑啓昭	REPORT Discover Local and Global 第33回日本環境感染学会総会・学術集会 Professional SCOPE.	INFECTION CONTROL.	27	7	7-8			2018.7
和文総説・著書（筆頭著者）	畑啓昭	SSIガイドライン	消化器外科	41	12	1617-1623			2018.11
和文総説・著書（筆頭著者）	畑啓昭	V-4.　術後感染予防抗菌薬	厚生労働省委託事業 平成30年度院内感染対策講習会テキスト			88-92	一般社団法人日本感染症学会		2018.11

和文総説・著書（筆頭著者）	畑啓昭	私を変えたあの一言	INFECTION CONTROL	28	1	1			2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）	畑啓昭	Ⅴ.医療手技に関連する感染症　4.手術部位感染（SSI）	感染症最新の治療　2019-2021			224-226		南江堂	2019.2
和文総説・著書（筆頭著者）	畑啓昭	Ⅱ処置・手技　4.留置ドレーン・管類の管理：早期抜去に向け考えるべきこと	ER・ICU　100のピットフォール			34-35		中外医学社	2019.3

教育研修部

教育研修部長
小山　弘

専門医資格等　日本内科学会内科指導医
日本内科学会総合内科専門医
京都大学医学部臨床教授
日本内科学会専門医部会企画担当幹事
医療系大学間共用試験実施評価機構医学系OSCE実施小委員会委員／ Post-CC OSCE実施管理小委員会

□ 教育研修部の特徴

施設認定等	臨床研修指定病院

1. スーパーローテーション方式を採用し、各科を広く経験しています。
2. 臨床研修医は、ERの担当を通じ幅広く急性疾患、外傷に対応する能力を習得すると同時に、地域医療に貢献しています。
3. 古くからの教育病院として、臨床研修医を教える文化のある病院です。

※　臨床研修医との懇談会、伏見地区総合診療臨床カンファレンス、地域医療研修など、伏見医師会の先生方には多大なご支援をいただき深く感謝しております。

□ 診療（業務）内容

当院の臨床研修プログラムに所属する臨床研修医、および京都大学医学部、京都府立医科大学、滋賀医科大学などの臨床研修プログラムに所属する臨床研修医で、協力病院として当院で研修を行う臨床研修医の、研修に関する諸問題を担当しています。

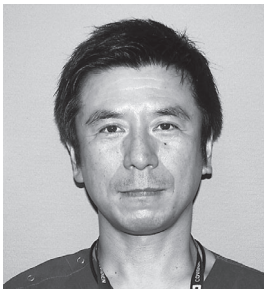
また、京都府医師会臨床研修のあり方に関する検討委員会の委員として、京都府全体の臨床研修に関する活動を行っています。

□ 地域医療連携・広報活動

伏見総合診療臨床カンファレンス（伏見医師会館にて）
京都府医師会臨床研修のあり方に関する検討委員会委員長
京都府地域医療支援センター運営会議委員
伏見医師会理事

地域医療部

地域医療部長
猪飼　伊和夫
平成30年9月30日まで



地域医療部長
瀬田　公一
平成30年10月1日から

□ 平成30年度、地域連携支援センターは新体制となりました。

平成30年度の診療報酬改定では、地域包括ケアシステムの構築に向けて、さらに踏み込んだ方向性が示されました。入院時支援加算もその一つです。この加算の意味として、入院早期から退院困難な要因を有する患者を抽出して退院支援に取り組むことで、患者が安心して入院、そして退院できるようするにという国の意向があると思われます。そこで、京都医療センターでは、退院支援を行っている地域医療連携の部門で、入院支援センターの運用を開始しました。さらに、入院支援センターを設置するにあたって、従来の「地域医療連携室」の呼称を「地域連携支援センター」と改め、その内部を、それぞれの機能に合わせて、「退院支援センター」（3階）、「診療受付センター」（2階）とし、 1階には入院支援センターのほかに、「患者相談窓口」「がん相談支援センター」を設けました。

これからも、地域に密着した急性期医療、安心・安全で納得できる質の高い医療を提供できるよう、地域医療部として努力を続けていきます。

地域医療部長　瀬田公一

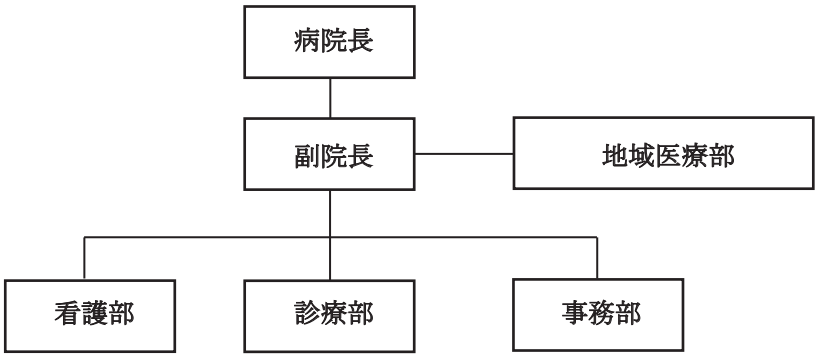
□ スタッフ

地域連携支援センター長補佐・経営企画室長	梶田　佳範
病床管理師長	紀田　幸子
副看護師長	井垣　美紗子
地域医療連携係長	柴田　匡佑
主任医療社会事業専門員	弘中　孝佳
看護師	塗師　雅美
看護師	松村　直美
看護師	太田　香織
看護師	松尾　さやか
看護師	松岡　和子
看護師	鈴木　里香
看護師	中窪　美奈
看護師	人見　真理
看護師	西廣　優一
看護師	小山田　素子
看護師	山野　奈流美

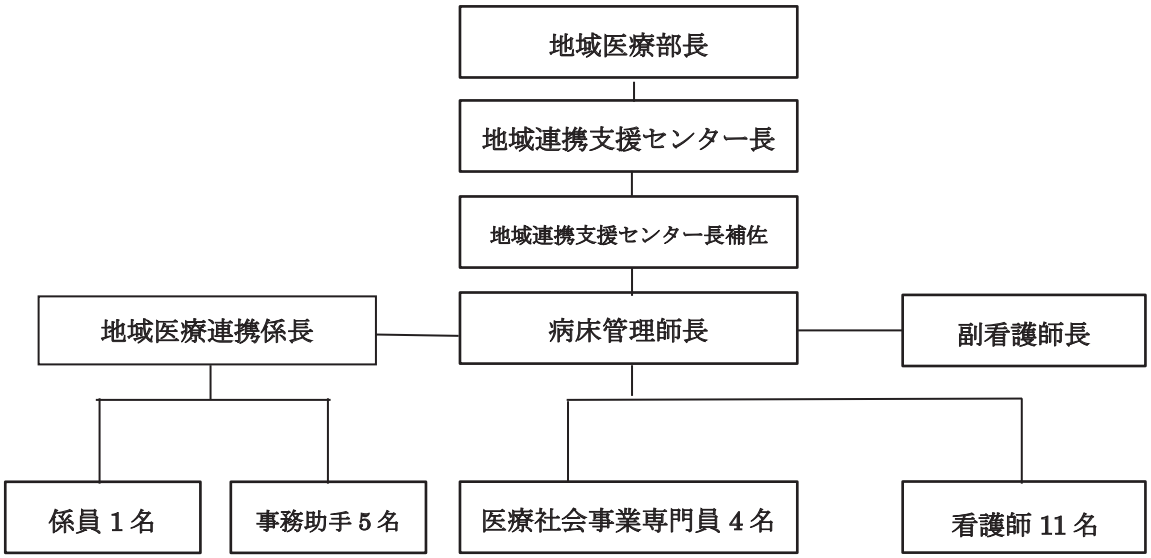
医療社会事業専門員	石田　沙友梨
医療社会事業専門員	吉岡　孝師
医療社会事業専門員	仲江　陽大
予約担当	諸木　真知
予約担当	薄井　智子
予約担当	真下　紀子
予約担当	伊東　理沙
予約担当	川﨑　小枝子

1．沿革と体制

2002年　地域医療連携室設置
2007年　地域がん診療拠点病院の指定
2008年　地域医療支援病院の承認
2018年　地域連携支援センターへ名称変更



構成メンバー



2. 地域連携支援センターの日常活動

〈診療受付センター〉

●診察・検査事前予約
●診療情報の提供、依頼
●救急紹介受診の受付
●他院からの転院調整
●セカンドオピニオンの受付

〈退院支援センター〉

●退院支援（転院や退院の調整）
●医療、介護、福祉に関わる機関との連携
●訪問看護指示書、訪問リハビリ指示書の管理

〈入院支援センター〉

●入院前までの患者情報の聴取
●利用している社会資源（介護サービス等）の確認
●内服中の薬剤の確認

〈患者相談窓口・がん相談支援センター〉

●療養に関すること
●福祉制度（介護保険、障害制度、難病等）に関する説明、相談
●医療費、生活費などの経済的問題についての相談
●がんに関する相談

〈その他〉

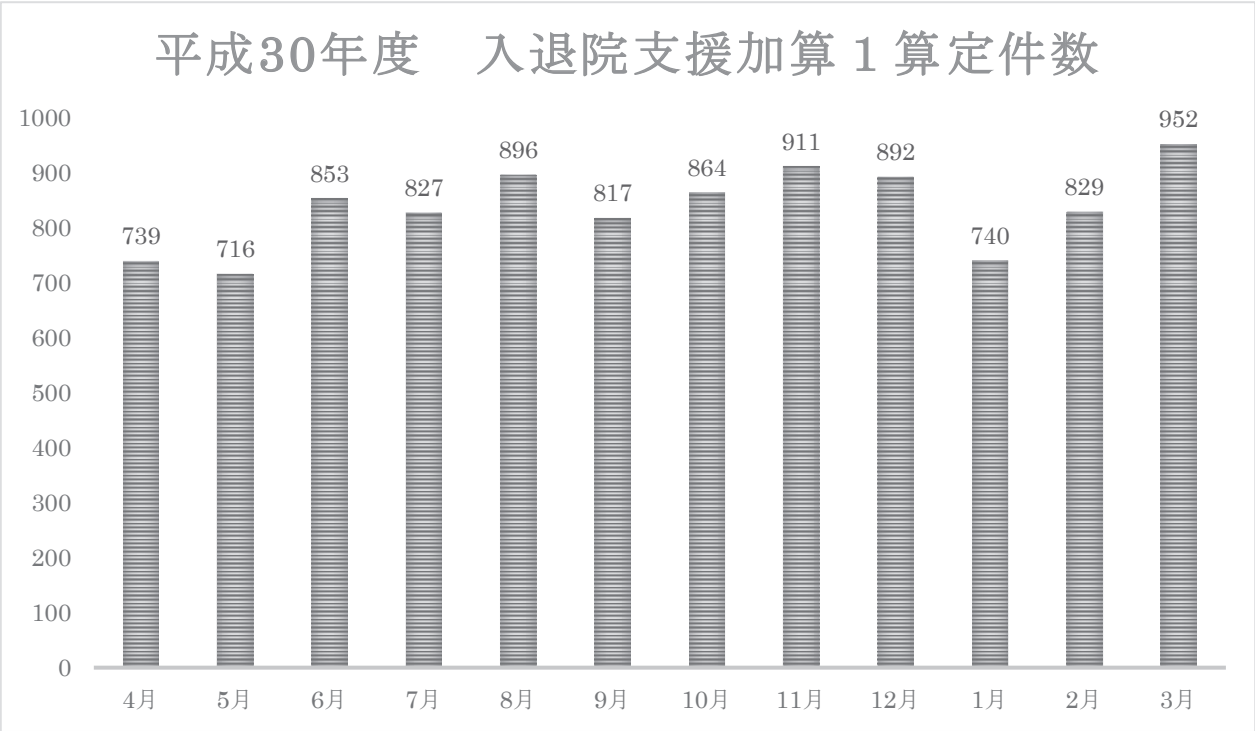
●開放型病床のデータ管理
●居宅介護支援計画連絡票の受付
●市民公開講座、各種講演会の開催
●広報誌、外来担当医表等の送付
●各医療機関への訪問

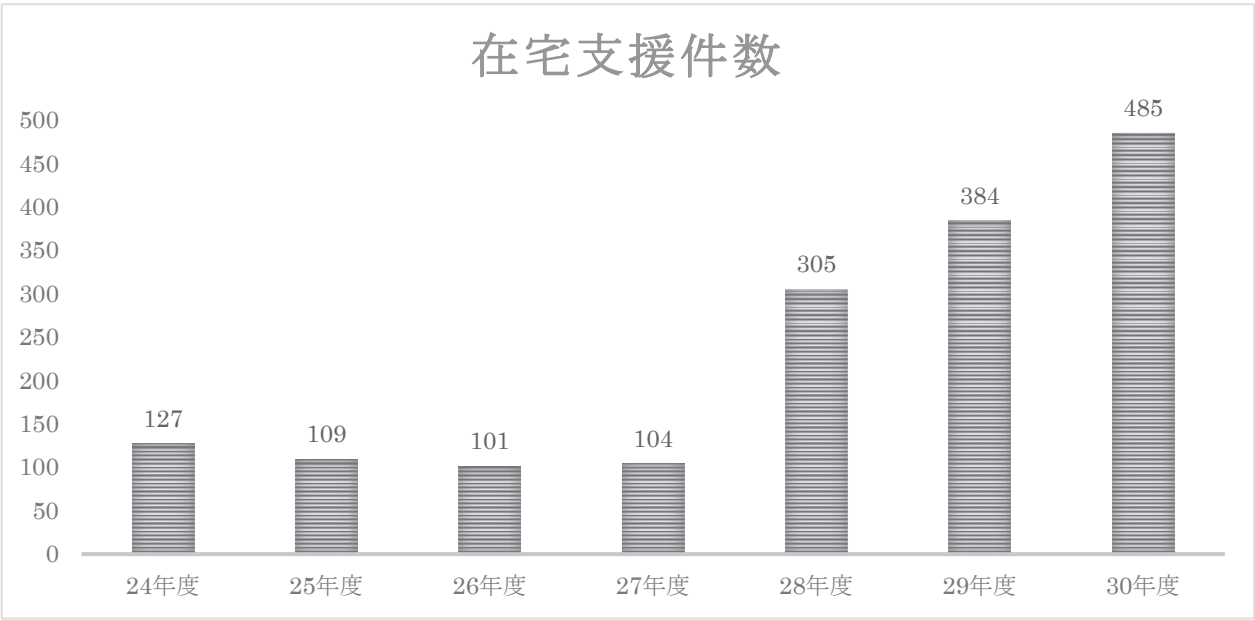
3. 業務実績（2018年実績）

地域連携支援センター経由予約件数　診療予約9,462件　検査予約978件
1日平均（診療予約）38.7件　1日平均（検査予約）3.9件
相談件数18,631件　転院支援件数960件
転院支援件数在院日数31.5日　地域連携診療計画管理料算定件数210件
救急受診受付1074件　救急受診受入後入院件数525件
セカンドオピニオン相談件数127件　セカンドオピニオン実績件数24件
紹介率71.8%　逆紹介率86.0%　開放型病床登録医数129件
地域医療連携委員会　1回/月
地域支援病院運営委員会　四半期1回

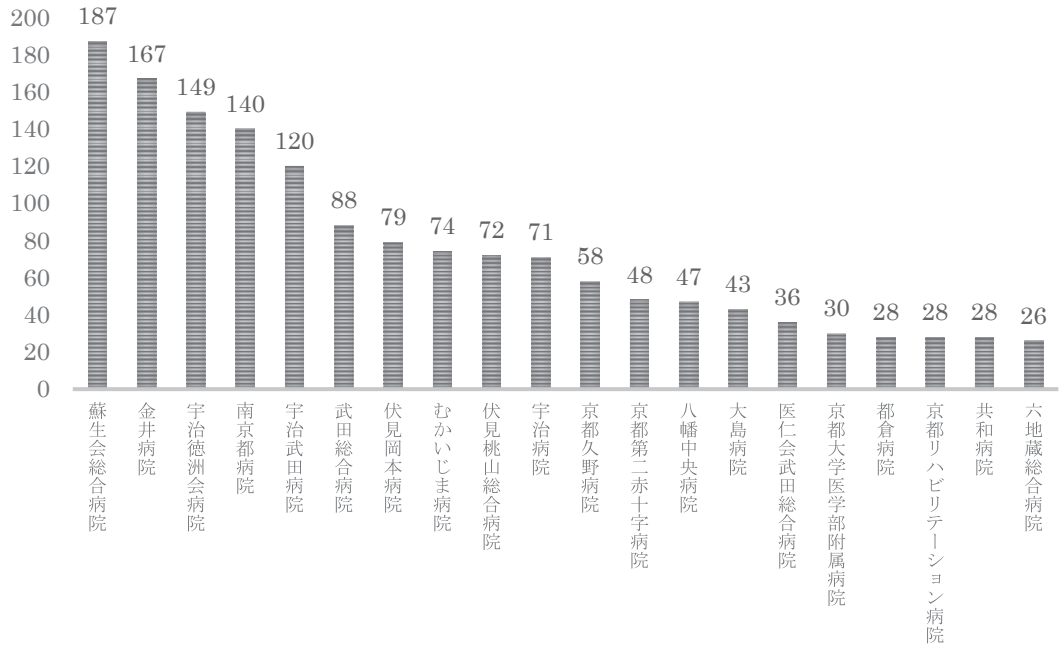
学会発表
平成30年11月9 ～ 10日（金・土）第72回国立病院総合医学会
「AKIとCKD ～京都医療センターの取り組み～」　ランチョンセミナー

院内発表
平成31年2月23日（土）成果発表会
「入院支援センターの活動報告と今後の課題－円滑な業務運営のために－」　ポスター

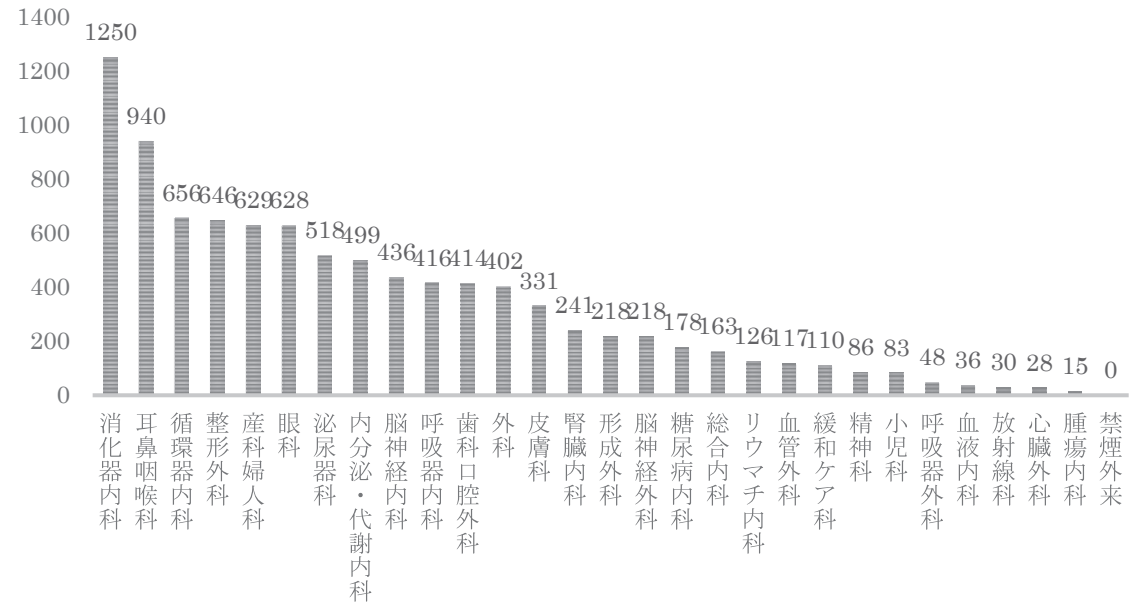

平成30年度　入退院支援加算１算定件数
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0
739
716
853
827
896
817
864
911
892
740
829
952
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月


在宅支援件数
500
450
400
350
300
250
200
150
100
50
0
127
109
101
104
305
384
485
24年度
25年度
26年度
27年度
28年度
29年度
30年度

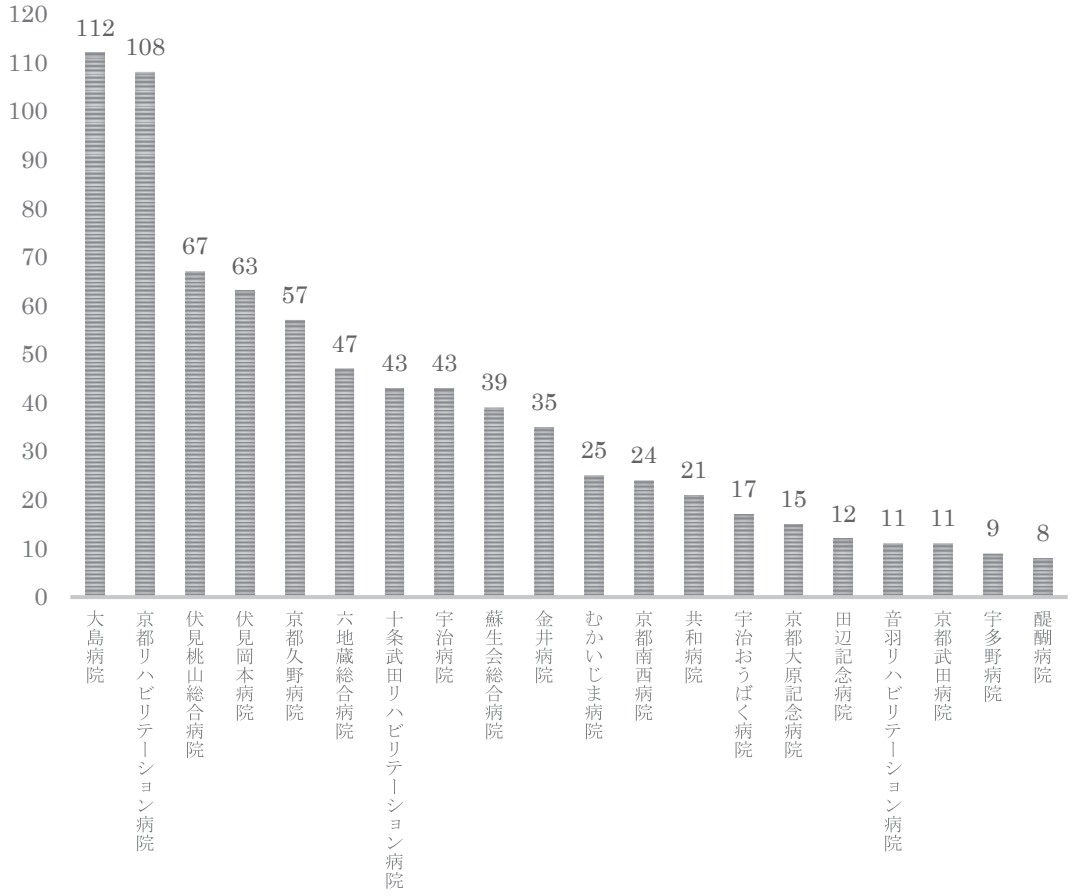
平成30年度　診療予約件数（病院別）



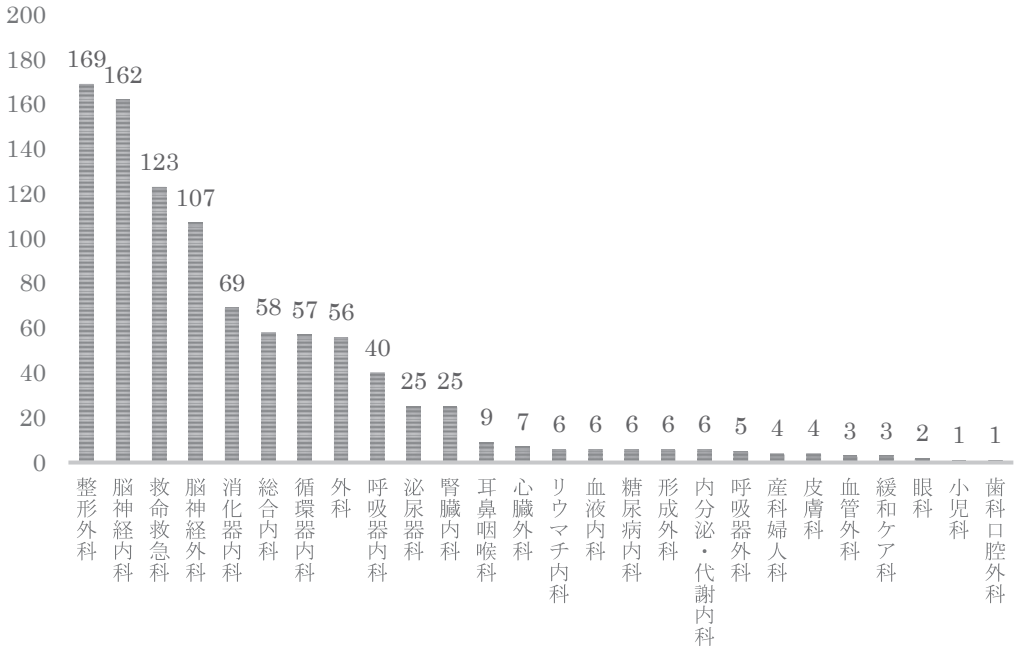
平成30年度　診療予約件数（診療科別）



平成30年度　転院支援件数（病院別）



平成30年度　転院支援件数（診療科別）



□ 地域医療連携・広報活動

・指定難病制度について　問題点および課題
　下垂体患者の会　総会　2018.6.24 東京
・間脳下垂体疾患といわれたら　主な疾患の概要、診断と治療の最前線、療養上の注意点
　難病医療講演会　京都難病相談・支援センター主催 2018.09.29福知山市
・「脳梗塞　心筋梗塞ならないために」
　世界心臓の日World Heart Day 記念イベント　2018年9月17日　京都市
・「正しく知って防ごう心臓病!」
　市民公開講座　2019年3月17日　大分市
・「こんなに役立つ遺伝カウンセリング～京都医療センター遺伝診療部の取り組み～」
　伏見医師会ランチョンセミナー 2018年4月13日　京都市
・「高齢者糖尿病の治療戦略」
　伏見医師会ランチョンセミナー 2019年3月15日　京都市

薬剤部

薬剤部長
本田　芳久
平成30年4月1日現在

専門医資格等　薬剤師認定制度認証機構認証生涯研修認定薬剤師（KLEC）
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
日本病院薬剤師会認定指導薬剤師
京都薬科大学特定教授
大阪大谷大学薬学部臨床教授

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等
副薬剤部長	粉川　俊則	
副薬剤部長	山下　大輔	KLEC認定薬剤師、日本医療薬学会指導薬剤師、日本病院薬剤師会感染制御専門薬剤師
治験主任	安井みのり	日本臨床薬理学会認定CRC、日本アンチ・ドーピング機構スポーツファーマシスト、KLEC認定薬剤師
調剤主任	畑　　裕基	日本病院薬剤師がん薬物療法認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、認定実務実習指導薬剤師、日本医療薬学会がん専門薬剤師
薬務主任	小田　亮介	日本臨床救急医学会救急認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、認定実務実習指導薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師、生涯研修履修認定薬剤師
医薬品情報管理主任	辰己　晃造	日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、認定実務実習指導薬剤師、日本アンチ・ドーピング機構スポーツファーマシスト、日本在宅薬学会在宅療養支援認定薬剤師
製剤主任	井上　咲姫	外来がん治療認定薬剤師、KLEC認定薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師
研究教育主任	池上　洋平	KLEC認定薬剤師
病棟業務管理主任	中野　一也	日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、認定実務実習指導薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師、感染制御認定薬剤師、KLEC認定薬剤師
薬剤師	馬場　雅子	
薬剤師	物部加容子	
薬剤師	神林　由樹	
薬剤師	岩上　祥愛	日本病院薬剤師会生涯研修履行認定薬剤師
薬剤師	岸本　周子	
薬剤師	堀尾　綾香	
薬剤師	喜田　孝史	小児薬物療法認定薬剤師、日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤師	植田　裕美	日本薬剤師会研修センター研修認定薬剤師、日本糖尿病療養指導士認定機構日本糖尿病療養指導士
薬剤師	小玉美希子	
薬剤師	宮地由香里	
薬剤師	杉本　有香	
薬剤師	田渕　寿美	

薬剤師	熊谷　康平	
薬剤師	白井　祐也	
薬剤師	佐々木祐太	
薬剤師	西村　容徳	
薬剤師	松本真理子	日本病院薬剤師会生涯研修履行認定薬剤師、日本糖尿病療養指導士認定機構日本糖尿病療養指導士
薬剤師	前川由季菜	
薬剤師	井上　麻美	
薬剤師	沖　遼子	
薬剤師	市原　英則	麻薬教育認定薬剤師
薬剤師	野田　拓誠	
薬剤師	安達昴一郎	
薬剤師	岡　知代	
薬剤師	柴　俊輔	
薬剤師	半井　春香	
薬剤師	藤本　佳奈	
薬剤師	岩上　祥愛	日本病院薬剤師会生涯研修履行認定薬剤師

□ 診療科の特徴

1. 各病棟に担当薬剤師を配置し、病棟薬剤業務実施加算を特殊病棟を含め実施している。
2. 外来化学療法室での抗がん剤無菌調整、レジメンチェック、服薬指導を実施している。
   また、薬剤師外来（化学療法）を設置し、がん患者管理指導料算定業務をおこなっている。
3. 救命救急、ICU、NICU病棟に専任の薬剤師を配置し、ハイケア患者に対する薬物療法の質の向上を図っている。
4. ICT、NST、がん、緩和医療をはじめとしたチーム医療と各診療科の専属薬剤師が連携を取り、医師やその他の医療従事者と共働で入院患者の薬物療法の質の向上に努めている。
5. 早期体験実習生、長期実務実習生の受け入れなど質の高い教育研修を行っている。
6. 平成24年度に京都薬科大学と、また平成28年度に摂南大学と包括協定を締結し、教育や臨床研究の発展を図っている。
7. 治験・臨床研究実施におけるCRC業務等を実施している。

□ 診療（業務）内容

「薬学的介入によるアウトカムの検証」

＜病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務＞

医師、看護師らとの連携により、可能な限り入院患者の初回投与時及び退院時の服薬指導を実施するとともに、薬剤管理指導の増大と医療の質の向上に寄与する。

＜医薬品の安全性の確保＞

積極的に副作用情報を収集し、医薬品の安全性を確保するとともに医薬品情報の収集・提供体制の強化を図る。さらに、プレアボイド情報の収集に努め、迅速な対応を行う。また、医薬品関連インシデントの解析から、病棟専任薬剤師が医療事故防止策に積極的にアプローチする。

＜注射薬の無菌調整業務＞

全診療科の抗悪性腫瘍剤の無菌調整を実施し、医療従事者の安全性を確保するとともに医療事故の防止に努める。

患者の安全性確保のため抗悪性腫瘍剤のレジメン管理の適正化を薬剤師主導で実施する。

＜医薬品管理の適正化＞

薬事委員会を通じて同種同効薬の整理を行い、採用医薬品数の縮減に努める。

＜教育研修・研究＞

積極的に各種研修に参加し資格認定及び専門薬剤師等の取得に努める。

薬学実務実習生、研修生を積極的に受け入れ、質の高い教育研修を行う。また、業務の効率化及び医療の質の向上を目的とした研究業務を行い、学会などに積極的に参加する。

＜調剤過誤防止＞

ヒヤリ・ハット報告の収集・分析・対策を迅速に行い、再発防止に努めるとともに監査の徹底により調剤過誤を減少させる。

＜チーム医療、クリニカルパスへの参画＞

薬剤師の専門性を活かした業務を推し進め、緩和ケア、糖尿病療養、ICT、NST、救命救急などのチーム医療に貢献する。また、クリニカルパスの運用において、薬剤部として積極的に関わり薬物療法の適正化に努める。

＜地域医療連携の強化＞

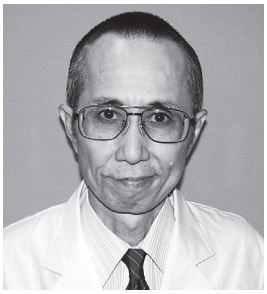
地域連携パスにおいて、服用薬の管理等、薬学的管理事項に関与し、在院日数の短縮に貢献するとともに、お薬手帳で薬薬連携の充実を図る。

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	中野一也、宮地由香里、本田芳久、小田垣孝雄、奥野博	特定抗菌薬のTDM実施率向上へ向けた取り組み	国立病院総合医学会	神戸国際展示場・神戸国際会議場	2018年11月10日（土）	2018年11月9日（金）～11月10日（土）
国内学会	中野一也、本田芳久	大阪南医療センターにおける薬剤管理指導件数の増加にむけた取り組み	国立病院総合医学会	神戸国際展示場・神戸国際会議場	2018年11月9日（金）	2018年11月9日（金）～11月10日（土）
国内学会	喜田孝史、畑裕基、山下大輔、粉川俊則、本田芳久	抗がん剤調整業務における屋根瓦式教育の導入	国立病院総合医学会	神戸国際展示場・神戸国際会議場	2018年11月10日（土）	2018年11月9日（金）～11月10日（土）
国内学会	喜田孝史、物部加容子、中野一也、池上洋平、山下大輔、粉川俊則、本田芳久	SGLT2阻害薬、GLP-1受容体作動薬を含む複数の糖尿病薬を妊娠21週まで使用した妊婦より出生した児の一例	日本小児臨床薬理学会学術集会	東京ビッグサイトTFTホール	2018年10月6日（土）	2018年10月6日（土）～7日（日）
国内学会	沖遼子、半井春香、喜田孝史、物部加容子、山下大輔、粉川俊則、本田芳久、黒須英雄	「授乳婦のお薬相談窓口」を開設して	国立病院総合医学会	神戸国際展示場・神戸国際会議場	2018年11月9日（金）	2018年11月9日（金）～11月10日（土）
国内学会	佐々木祐太、畑裕基、池上洋平、山下大輔、粉川俊則、山口健、本田芳久	パクリタキセル/カルボプラチン併用療法におけるアプレピタントの安全性の検討	臨床腫瘍薬学会	札幌コンベンションセンター	2019年3月23日（土）	2019年3月23日（土）～24日（日）
国内学会	野田拓誠	脳転移を有する患者へナルデメジンを使用し疼痛悪化を来した1例	日本緩和医療薬学会年会	東京ビッグサイトTFTホール	2018年5月26（土）	2018年5月25（金）～27（日）
国内学会	野田拓誠、池上洋平、辰己晃造、山下大輔、本田芳久	脳転移患者へのナルデメジン開始前後の疼痛への影響	国立病院総合医学会	神戸国際展示場・神戸国際会議場	2018年11月9日（金）	2018年11月9日（金）～11月10日（土）
国内学会	植田裕美、井上麻美、野田拓誠、物部加容子、馬場雅子、畑裕基、山下大輔、粉川俊則、本田芳久	外来がん化学療法を支える薬剤師外来の役割	国立病院総合医学会	神戸国際展示場・神戸国際会議場	2018年11月10日（土）	2018年11月9日（金）～11月10日（土）

国内学会	井上麻美、畑啓昭	術後感染予防抗菌薬の適正使用に向けた 病棟担当薬剤師の取り組み	第88回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第61回日本感染症学会中日本地方会学術集会・第66回日本化学療法学会西日本支部総会（3学会合同開催）	かごしま県民交流センター	22018年11月17日（土）	2018年11月16日（金）～18日（日）
国内学会	宮地　由香里、中野　一也、本田　芳久、森　誠司、田栗　貴博、吉川　耕平、畑　啓昭、小田垣　孝雄、奥野　博	ASTにおける薬剤師の役割	国立病院総合医学会	神戸国際展示場・神戸国際会議場	2018年11月10日（土）	2018年11月9日（金）～11月10日（土）
国内学会	市原英則、中野一也、山下大輔、粉川俊則、本田芳久	京都医療センターにおけるポリファーマシーの取り組みと成果	国立病院総合医学会	神戸国際展示場・神戸国際会議場	2018年11月9日（金）	2018年11月9日（金）～11月10日（土）
国内学会	小玉美希子、辰己晃造、畑裕基、池上洋平、山下大輔、粉川俊則、本田芳久、河鰭憲幸、青木友和	ナルデメジンの効果に対するPerformance Statusの影響	日本病院薬剤師会近畿学術大会	なら100年会館、ホテル日航奈良	平成31年1月19日（土）	平成31年1月19日（土）・20日（日）
国内学会	安達昂一郎、吉水浩史、小田亮介、中野一也、池上洋平、山下大輔、粉川俊則、本田芳久	救命救急センターにおける病棟薬剤業務の成果	国立病院総合医学会	神戸国際展示場・神戸国際会議場	2018年11月9日（金）	2018年11月9日（金）～11月10日（土）
国内学会	安達昂一郎、吉水浩史、白井祐也、小田亮介、中野一也、池上洋平、山下大輔、粉川俊則、本田芳久	SLED施行中の敗血症患者にVCMを投与し有効な血中濃度を維持出来た一例	医療薬学会年会	神戸国際展示場、神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル	2018年11月23日（金）	2018年11月23日（金・祝）～25日（日）
国内学会	白井祐也、中野一也、山下大輔、粉川俊則、本田芳久	当センターにおけるインスリン関連インシデントの減少に向けた取り組み	国立病院総合医学会	神戸国際展示場・神戸国際会議場	2018年11月9日（金）	2018年11月9日（金）～11月10日（土）
国内学会	堀尾　綾香、安井みのり、山下大輔、粉川俊則、本田芳久、島津章	治験実施計画書からの逸脱防止への取り組み	国立病院総合医学会	神戸国際展示場・神戸国際会議場	2018年11月9日（金）	2018年11月9日（金）～11月10日（土）

臨床検査科



専門医資格等
日本整形外科学会専門医
中部日本整形外科災害外科学会評議員
京都大学博士（医学）

臨床検査科長
藤森　洋一

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等
臨床検査技師長	新井　浩司	日本適合性認定協会臨床検査室技術審査員
副臨床検査技師長	田栗　貴博	
副臨床検査技師長	河合　　健	認定輸血検査技師
主任臨床検査技師	篠浦　久嗣	超音波検査士（消化器）
主任臨床検査技師	溝上　泰司	
主任臨床検査技師	村上伊久子	超音波検査士（循環器）、ペースメーカ／ ICD関連情報担当者、心臓リハビリテーション指導士
主任臨床検査技師	谷口　美奈	超音波検査士（循環器）、糖尿病療養指導士
主任臨床検査技師	安達名緒子	超音波検査士（循環器）
主任臨床検査技師	小森　法子	2級血液臨床検査士、認定血液検査技師（骨髄検査技師）
主任臨床検査技師	寺野　雅美	超音波検査士（循環器、血管）、血管診療技師
主任臨床検査技師	吉川　耕平	認定臨床微生物検査技師
臨床検査技師	楠木　秀和	日本細胞検査士、国際細胞検査士
臨床検査技師	益田　喜信	認定臨床化学者
臨床検査技師	島田　良員	
臨床検査技師	窪内　弘道	
臨床検査技師	黒川美和子	
臨床検査技師	大上　哲也	日本細胞検査士、国際細胞検査士
臨床検査技師	西山　智美	超音波検査士（循環器）、認定緊急臨床検査士、管理栄養士
臨床検査技師	相原美奈子	認定輸血検査技師、認定緊急臨床検査士
臨床検査技師	大平真梨子	
臨床検査技師	永阪麻衣子	2級病理臨床検査士
臨床検査技師	飛驒　美希	認定遺伝カウンセラー
臨床検査技師	園田美代子	
臨床検査技師	山本　紗綾	認定緊急臨床検査士
臨床検査技師	内山有里紗	2級血液臨床検査士、認定血液検査技師、認定緊急臨床検査士
臨床検査技師	前川美翠穂	超音波検査士（循環器）
臨床検査技師	伊藤　大輔	
臨床検査技師	近澤　　薫	

臨床検査技師	中村　美咲	認定緊急臨床検査士
臨床検査技師	片山　由衣	日本細胞検査士
臨床検査技師	平野　花奈	認定緊急臨床検査士
臨床検査技師	丸野　大輝	認定緊急臨床検査士
臨床検査技師	金丸　青空	認定緊急臨床検査士
臨床検査技師	道面　将嗣	日本細胞検査士
臨床検査技師	松本　泰三	
臨床検査技師	吉廣　優希	
非常勤臨床検査技師	井本　元治	超音波検査士（消化器）、診療情報管理士
非常勤臨床検査技師	三浦　辰朗	
事務助手	岡　由美	
事務助手	中尾　弥生	
事務助手	村井　佳世	
事務助手	森園　郁子	

□ 科(室)の特徴

1. 正しいデータを臨床側に返すことは、臨床検査技師の大切な任務であり、その命ともいえる精度管理に大きなエネルギーを注いでいます。
2. 当センターは日本の政策医療で、内分泌・代謝性疾患の基幹的役割を担っています。当科は臨床検査のトップ集団であることを自覚し、政策医療関連の検査の充実を図っています。
3. 緊急検査は、24時間対応しています。
4. 感染防御という立場から積極的に取り組むため、ICT（感染防御チーム）の活動に臨床検査技師も参加しています。
5. 輸血業務を一元化し、安全かつ適正な輸血管理業務を行っています。

□ 診療（業務）内容

当科の業務は臨床検査を行うことであり、臨床検査は検体検査と生理機能検査の２つの分野に大きく分かれます。

1. 検体検査：血液、尿、便、痰、手術により切り出された組織、穿刺液等を用いて行う検査です。肝機能検査や生活習慣病の血糖・尿糖検査、貧血検査、がん細胞検査等がこの中に含まれます。検査部門としては血液学検査、生化学検査、免疫学検査、輸血関連検査、微生物学検査、病理学検査、一般検査があります。
2. 生理機能検査：直接患者さんの身体に接して、体内からの情報や変化の状態を数字や画像に変換して目で見えるようにする検査です。分野別に心電図検査、肺機能検査、脳波検査、筋電図検査、超音波検査、聴力検査、睡眠時無呼吸検査、出血時間検査があります。

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

演者・演題・学会名
吉川耕平 医療連携に参画する臨床検査技師として現場の立場から 国臨協近畿支部マネジメント研修会　2018.8.25：大阪
吉川耕平 ASTの概要 国臨協近畿支部微生物研修会　2018.9.29：大阪
大上哲也 泌尿器科領域 第34回細胞診教育セミナー　2018.7.12：京都

大上哲也 包埋カセット印字装置を用いた当センターの切り出しについて 平成30年度京臨技病理検査講演会（第4回みやこ病理検査講演会）　2018.12.16：京都
大上哲也 細胞診検査精度管理報告と解説 平成30年度京臨技病理細胞検査精度管理報告会ならびに病理細胞検査講演会　2019.2.24：京都
大上哲也 細胞診検査精度管理報告と解説 第34回京臨技精度管理調査合同報告会　2019.3.2：京都
飛驒美希 無侵襲的胎児遺伝学的検査（NIPT）と胎児超音波検査にて性別が不一致だったため不安を生じた母体に対する遺伝カウンセリングの1例 第45回国立臨床検査技師協会近畿支部総会・学会　2018.6.16：兵庫
飛驒美希 検査依頼より診療に繋げる試み 第72回国立病院総合医学会　2018.11.9：兵庫
浅原哲子、飛驒美希、小西陽介、橋本有紀子、北誠 こんなに役立つ遺伝カウンセリング～京都医療センター遺伝診療部の取り組み～ 伏見医師会ランチョンセミナー　2018.4.13：京都
金丸青空 pure erythroid leukemiaの一症例 第72回国立病院総合医学会　2018.11.10：兵庫
大平真梨子 Heart Modelによる左房容積の算出はルーチン検査に利用できるか 第43回日本超音波検査学会　2018.6.2：大阪
大平真梨子 Heart Modelアプリケーションによる左房容積算出はルーチン検査に利用できるか 第72回国立病院総合医学会　2018.11.10：兵庫
新井浩司 医療連携に参画する臨床検査技師として、管理の立場から 国立病院臨床検査技師協会近畿支部スキルアップ研修会教育講演　2018.8.25：大阪
新井浩司 多様性に富む臨床検査部門で"個が輝く"臨床検査技師の資質とは 第72回国立病院総合医学会　2018.11.10：兵庫
新井浩司 臨地実習に向けての心得 日本医療学院専門学校教育講演　2019.3.15：大阪
新井浩司 臨床検査部門の経営改善に向けて 事務部長協議会近畿支部経営部会会議　2019.3.22：大阪

病理診断科

専門医資格等
病理専門医
細胞診専門医
死体解剖資格

病理診断科長
森吉　弘毅

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野
医　　師	川畑　　茂	死体解剖資格	病理全般
臨床検査技師	楠木　秀和	日本細胞検査士 国際細胞検査士	
臨床検査技師	大上　哲也	日本細胞検査士 国際細胞検査士	
臨床検査技師	片山由衣	日本細胞検査士	
臨床検査技師	道面　将嗣	日本細胞検査士	

□ 科の特徴

1. 病理医2名でダブルチェックを行い、診断精度の向上を図っています。
2. 細胞検査士の資格を持つ検査技師と協力し、細胞診業務を行っています。
3. コンサルテーション等で京大病院病理診断科との協力体制を築いています。
4. 組織診、細胞診、術中迅速診断、病理解剖、CPCのいずれについても正確かつ迅速な診断を心がけています。
5. カンファレンス等を通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

□ 診療（業務）内容

1. 組織診断：生検や手術によって採取された検体に対し、良悪性の判定、炎症の有無などを調べ、診断名を確定します。また、治療効果や腫瘍のステージ、転移の有無などの判定を行い、以後の治療方針の決定に役立てています。2018年は8425件の組織診断を行いました。
2. 細胞診：子宮頸部擦過、尿、喀痰、甲状腺やリンパ節の穿刺などによって得られた細胞を観察し、良悪性の判定を行います。2018年は8016件の細胞診を行いました。
3. 他院標本診断：セカンドオピニオンや転院によって当院を受診された患者さんが持参された標本を改めて検討し、診断の確認を行っています。2018年は組織診128件、細胞診10件の他院標本診断を行いました。

4. 術中迅速診断：手術中に提出された検体を15-20分程度で診断し、手術範囲や術式の決定に役立てています。2018年は464件の術中迅速診断を行いました。
5. 病理解剖：亡くなられた患者さんのご遺体を解剖し、病態を詳しく調べて、生前に分からなかった事も解明しています。2018年は15件の病理解剖を行いました。
6. CPC：臨床各科と合同で病理解剖症例の検討を行い、様々な視点から病態を調べて、今後の診断や治療に役立てています。また、研修医と共に発表を行い、医学教育に寄与しています。
7. カンファレンス：臨床各科と定期的にカンファレンスを実施し、臨床情報と病理所見の摺り合わせを行っています。また、手術検体の切り出しの際の外科医立ち会いや、個別症例についてのディスカッションを通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	森吉 弘毅, 川畑 茂	2種類の血管内皮細胞からなる肝血管腫瘍の一例	第107回日本病理学会総会	札幌	2018.6.21 〜 2018.6.23	2018.6.21
国内学会	川畑 茂, 馬越 洋宜, 森吉 弘毅	膵insulinomatosisの2例	第107回日本病理学会総会	札幌	2018.6.21 〜 2018.6.23	2018.6.21
国内学会	片山 由衣, 大上 哲也, 楠木 秀和, 道面 将嗣, 川畑 茂, 森吉 弘毅	当院で経験した肺胞蛋白症の一例	第57回日本臨床細胞学会秋期大会	横浜	2018.11.17 〜 2018.11.18	2018.11.17

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
和文原著論文（筆頭著者）	川畑 茂, 馬越 洋宣, 森吉 弘毅	膵insulinomatosisの2例	診断病理	35	2	140 〜 145		日本病理学会	2018.04
英文論文（筆頭著者以外）	藤田 浩平, 内田 尚宏, 堀本 かんな, 橋本 雅之, 中谷 光一, 森吉 弘毅, 澤井 聡, 三尾 直士	Two cases of cavitary lung cancer with concomitant chronic infectious disease.	Respiratory Medicine Case Reports.	11	24	122 〜 124		Elsevier	2018.05
英文論文（筆頭著者以外）	内田 尚宏, 辻 誠士郎, 藤田 浩平, 小泉 三輝, 森吉 弘毅, 三尾 直士	Nivolumab-induced severe acute kidney injury with a long latent phase in a patient with non-small-cell lung cancer: A case report.	Clinical Case Reports.	6	11	2185 〜 2188		Wiley	2018.10

臨床栄養科

臨床栄養科長
大谷　哲之

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等
栄養管理室長	西田　博樹	
副栄養管理室長	鳥山　明子	NST専門療法士
主任栄養士	大谷　弥里	NST専門療法士
栄養士	北川　洋子	
栄養士	出島　美咲	
栄養士	廣部　香奈	
栄養士	中村玲欧菜	
調理師長	福井　　勝	
副調理師長	石井　俊雄	
副調理師長	山田　弘喜	
主任調理師	西田　正直	
主任調理師	坂本　尚人	
調理師	蒲生　　亘	
調理師	博多　健二	
調理師	桝村　勝利	
調理師	荒川　和彦	
調理師	澤邊　元弘	
調理師	松尾　隆生	
調理師	河添　幸弘	
非常勤栄養士	藤井　恵子	
非常勤栄養士	大牧　尚子	
非常勤栄養士	苅谷　衣純	
非常勤栄養士	杉原加奈子	
非常勤栄養士	平松　寛子	
非常勤事務助手	山城智佐子	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設

1. 管理栄養士専従による栄養サポートチーム活動
2. 専門外来栄養指導の実施
3. 特別メニュー食の提供
4. 個人対応食（PS食）の提供
5. 緩和ケア病棟での特別行事食の実施

□ 診療（業務）内容

1. 食事の提供

入院患者を対象に大量調理施設衛生マニュアルに基づいた管理のもと、安全な食事（一般食及び治療食）を提供している。患者サービス、喜ばれる食事の一環として、週3回の選択食や月2回以上の行事食を実施すると共に、特別個室病棟を対象に特別献立による提供を行っている。緩和ケア病棟、化学療法における食欲不振時には、低食欲時食や個人対応食（PS食）を提供している。今年度は嗜好調査の結果や患者への食事調整の内容を加味し、軟菜食や分菜食の食事形態を見直し、献立の充実を目指して調整を進めている。 2019年3月より変更予定。

2. 栄養食事指導

外来及び入院患者を対象に個人指導や糖尿病教室、母親教室などの集団指導を実施。個人指導では、１型糖尿病ポンプ外来や１型糖尿病専門外来、メタボリックシンドローム外来などの専門外来指導も実施している。

3. チーム医療

栄養サポートチーム（管理栄養士専従）や、摂食嚥下対策チーム、緩和ケアチーム、糖尿病透析予防チームなどチームの一員として管理栄養士が積極的に参加している。今年度はリハビリテーション科より栄養サポートチームへの参加希望があり、低栄養患者に対し嚥下リハビリを併行しながら栄養状態改善に寄与できるように、 12月の活動開始に向けて準備を進めている。

4. 教育研修

今年度は６大学より、２６名の実習生を受入れた。

5. レシピの提供

院内レストランに低カロリー、減塩のランチメニューのレシピを提供している。

□ 地域医療連携・広報活動

第36回サマーキャンプ　低学年勉強会　2018/8/5
第21回伏見栄養療法・在宅医療研究会「在宅に向けての当院栄養士の関わり」2018/8/25
第11回医療連携フォーラム「糖尿病"手こずり症例"生活習慣の改善が困難な肥満症例、
認知機能障害により自己管理が困難な症例」2018/9/8
第9回腎臓病教室「フレイル・サルコペニアを防ぐ食事」2018/9/8
伏見内分泌代謝ネットワーク第30回連携の会「骨粗鬆症とダイエット」2018/10/18
第16回脳卒中市民公開講座「食事から防ぐ!～脳卒中のいろは～」2018/12/1
第18回メタボ会「もう一度振り返ろう～食事療法～当院レシピ本の活用」2019/1/12
京都市社会福祉協議会「食べることがこれからの身体をつくる」2019/2/5
第12回医療連携フォーラム「糖尿病性腎症の重症化予防への介入～透析予防外来の効果～」2019/2/23
TV出演　西田博樹「サイレントキラー脂肪"異所性脂肪"」NHKあさイチ　2018/5/7

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
研究セミナー・シンポジウム等	西田　博樹	やせるレシピ本で減量成功し、糖尿病、脂肪肝、うつ状態が劇的に改善した若年症例	第36回日本肥満症治療学会学術集会	東京	2018.6.16	2018.6.16
研究セミナー・シンポジウム等	鳥山　明子	当院における透析予防指導の現状と課題　～栄養士の立場から～	第61回日本糖尿病学会年次学術集会	東京	2018.5.25	2018.5.25 ～ 26
研究セミナー・シンポジウム等	大谷　哲之	がん治療における口腔ケア、外科医の立場からの口腔ケア	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9 ～ 10
研究セミナー・シンポジウム等	鳥山　明子	1型糖尿病外来及びCSⅡ外来における栄養士の関わり	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9 ～ 10
研究セミナー・シンポジウム等	大谷　弥里	管理栄養士が1型糖尿病患者に関わる上で最も大切なこと	第18回日本先進糖尿病治療研究会/第16回1型糖尿病研究会（合同開催）	神戸	2018.9.29	2018.9.29
研究セミナー・シンポジウム等	西田　博樹	糖尿病腎症の重症化予防への介入～透析予防外来の効果～	第12回医療連携フォーラム	京都	2019.2.23	2019.2.23

医療技術部　臨床工学科

医療技術部長
伊藤　剛

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等
主任臨床工学技士	柳澤　雅美	3学会合同呼吸療法認定士・透析技術認定士・不整脈治療専門臨床工学技士
臨床工学技士	清水　真樹子	3学会合同呼吸療法認定士
臨床工学技士	湊　　拓巳	体外循環技術認定士・透析技術認定士
臨床工学技士	大谷　直哉	体外循環技術認定士・3学会合同呼吸療法認定士・医療情報技師
臨床工学技士	中村　健志	
臨床工学技士	嵯峨根　由奈	3学会合同呼吸療法認定士・体外循環技術認定士
臨床工学技士	丸宮　千冬	3学会合同呼吸療法認定士
臨床工学技士	瀬津　健太郎	
臨床工学技士	植田　哲朗	
臨床工学技士	串田　博紀	
臨床工学技士	永田　京夏	

□ 診療科の特徴

患者さんへ安全かつ安心して、高度な医療技術が受けていただける環境づくりに努める。

□ 業務内容

臨床工学科の業務内容
臨床工学の業務は、大きく【臨床支援業務】と【医療機器管理業務】の2つの分野があります。
『臨床支援業務』：呼吸・循環・代謝に関わる生命維持装置の操作
『医療機器管理業務』：院内での医療機器の効率的な運用を行う為、機器の選定から廃棄に至るまで医療機器の総合的管理
日々高度化する医療において、不可欠な人工呼吸器（呼吸療法）・人工透析（血液浄化療法）・人工心肺（体外循環）など、生命に直結する重要な生体機能を代行する医療機器の管理と操作のプロフェッショナルとして活動しています。また、患者さんの状態に合わせて安全に最適な条件で治療の手助けを行い、病院内の医療機器全般について、いつでも、有効かつ安全・安心して臨床使用できるように運用・保守管理するという重要な役割も担っています。医療の中心にある患者さんを見据え、臨床工学技士として、必要な専門知識と技術を『工学分野』と『医学分野』を交え日々努力しています。

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	柳澤　雅美	上室性頻拍アブレーションの典型例と非典型例	KCJL	大阪	2018.4.13	2018.4.11 〜13
国内学会	大谷　直哉	臨床工学技士が病院の財務状況を知る	第5回全国国立病院機構臨床工学技士協議会学術大会	大阪	2018.5.13	2018.5.13
国内学会	柳澤　雅美	Wide QRS頻拍に対するアブレーション中に同期下cardiovationを契機に心室細動に移行した1例	第36回京滋奈良ハートリズム研究会	京都	2018.5.19	2018.5.19
国内学会	嵯峨根　由奈	機器管理システムを活用した固定資産台帳の整備	第28回日本臨床工学技士会	神奈川	2018.5.26	2018.5.26 〜27
国内学会	柳澤　雅美	フットポンプの突然停止を経験して	第28回日本臨床工学技士会	神奈川	2018.5.27	2018.5.26 〜27
国内学会	柳澤　雅美	集学的な急性期医療を実践へ〜 MEにできること〜	集中治療医学会第2回関西支部学術集会	大津	2018.7.7	2018.7.7
国内学会	柳澤　雅美	当院におけるReveak LINQの運用と管理の現状	第65回日本心電図	東京	2018.7.12	2018.7.11 〜14
国内学会	湊　拓巳	スマートグラスによる体外循環技術の安全性の試み	第38回医療情報学連合大会	福岡	2018.11.25	2018.11.22 〜25
国内学会	丸宮　千冬	フットポンプの突然停止から考える安全管理	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9 〜10
国内学会	瀬津　健太郎	在宅血液透析導入時に災害教育を取り入れて	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9 〜10
国内学会	柳澤　雅美	臨床工学技士として病院経営を考える	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9 〜10
国内学会	湊　拓巳	スマートグラスとエッジコンピューテングを利活用した人工心肺業務の働き方改革の試み	日本医工学治療学会第35回学術大会	東京	2019.2.24	2019.2.22 〜24

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者以外）	柳澤　雅美	Ventilator-associated Events: Prevalence and Mortality in Japan	Journal of Thoracic Disease	10	12	6942-6949			2018.

看護部

看護部長
西本　京子
平成31年3月31日まで

看護部長
池田　仁美
平成31年4月1日から

国立病院機構の理念に沿った病院の使命を認識し、機構の看護職員として以下の役割を果たす

1. 機構及び病院の理念を踏まえた良質の看護サービスの提供に努める
2. 看護の質の向上を目指し、臨床看護の研究、業務の改善を行う
3. 良質な看護を提供するために、看護職員をはじめ看護に関係する職員の教育研修を行う
4. 看護の提供と経営効率の調和を図り、病院経営に参画する
5. チーム医療推進のための調整を図る
6. 地域住民への健康教育活動に参画する

□ 看護部の理念

私たちは、常に患者さんと共に歩み、
安心して納得のいく医療を受けていただくために、
わかりやすく丁寧な看護を提供いたします

□ 看護部の目標

【平成３０年度　看護部目標】

スローガン　「高い倫理観をもって、優しく丁寧に確実に」

1. 急性期医療を担う看護力の向上
2. 地域のニーズに応える看護連携の推進
3. 病院経営への積極的な参画
4. チームワークの強化・連携による働き方改革

□ 看護部の組織

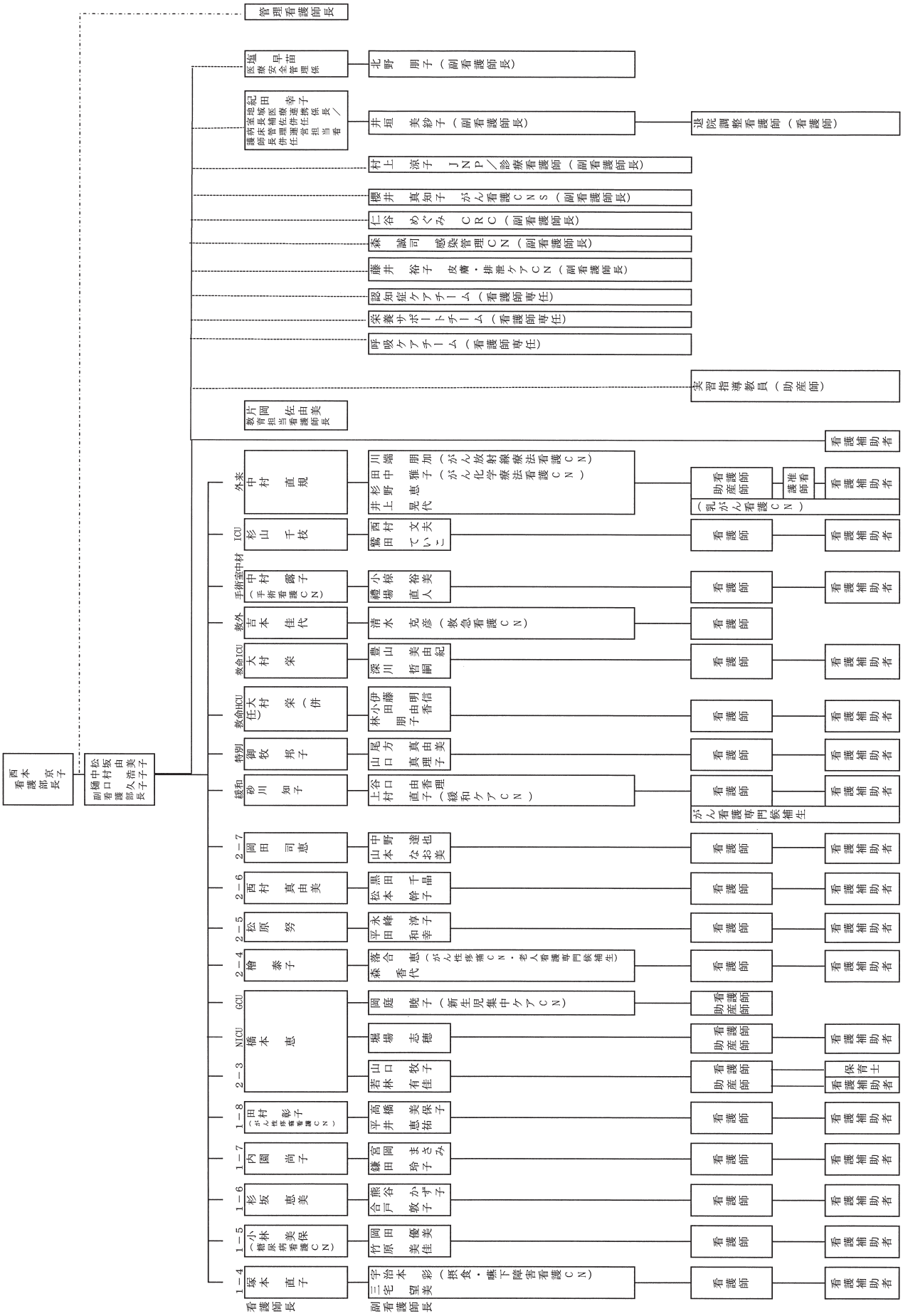
Ⅰ. 看護部組織図
（別紙１：看護部組織図）

Ⅱ. 看護部会議・委員会
（別紙２：看護部会議・委員会機能図）

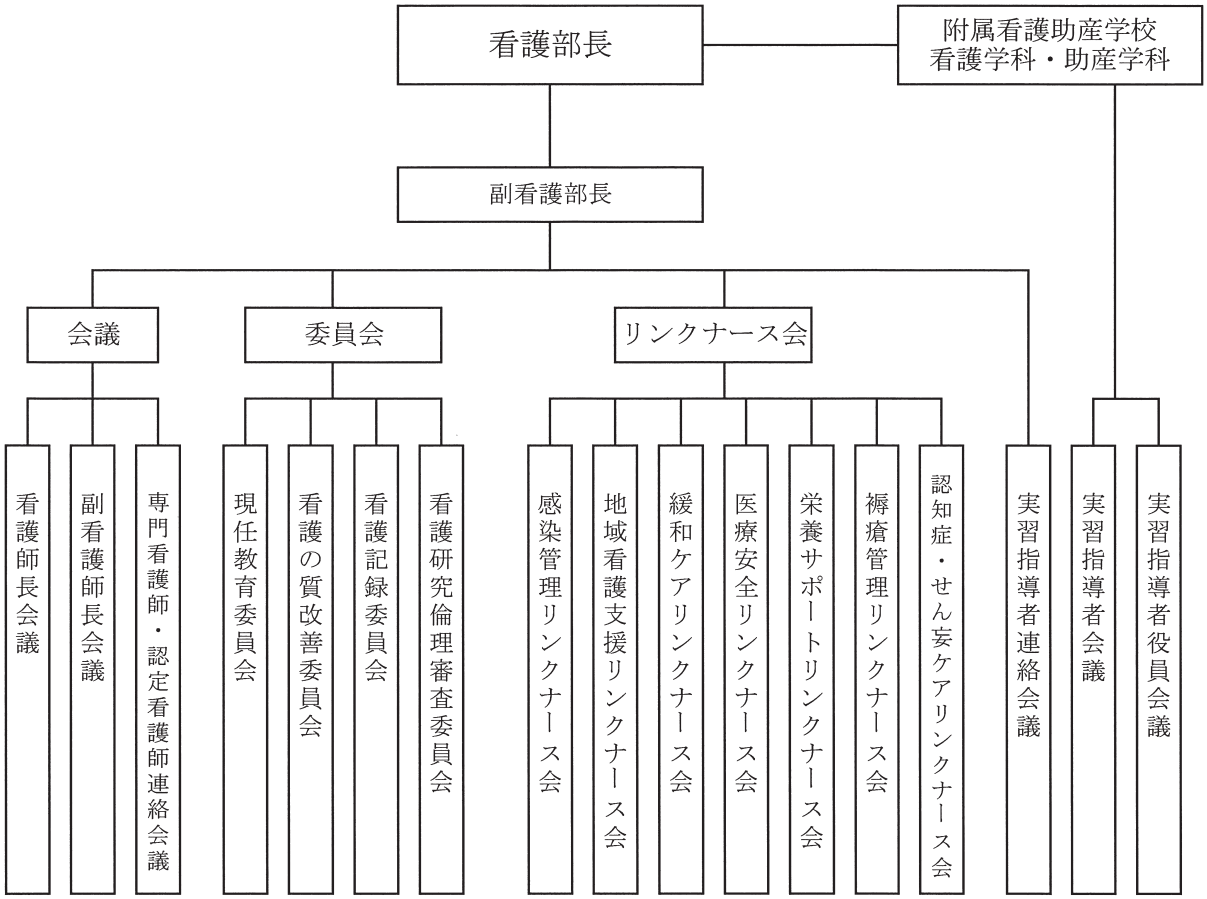
□ 看護部の活動

（別紙３：看護部の活動）

別紙１：看護部組織図


西本京子 看護部長
副看護部長 中口村坂松由久子子子子
管理看護師長
医療安全管理係 早苗
北野 朋子（副看護師長）
看護師長 地域連携室 医療安全管理係 幸子
井垣 美紗子（副看護師長）
退院調整看護師（看護師）
村上 涼子 JNP／診療看護師（副看護師長）
櫻井 真知子 がん看護CNS（副看護師長）
仁谷 めぐみ CRC（副看護師長）
森 誠司 感染管理CN（副看護師長）
藤井 裕子 皮膚・排泄ケアCN（副看護師長）
認知症ケアチーム（看護師専任）
栄養サポートチーム（看護師専任）
呼吸ケアチーム（看護師専任）
実習指導教員（助産師）
教育担当看護師長 片岡 由美
看護補助者
外来 中村 直規
井上 杉野 晃代 田中 雅子 川端 朋加 （がん化学療法看護CN）
（乳がん看護CN）
助産師 看護師 准看護師
ICU 杉山 千枝
鷲田 西村 文子 いこ
手術室中材 （手術看護CN） 中村 露子
礒場 小椋 裕美 直人
救外 吉本 佳代
清水 克彦（救急看護CN）
救命ICU 大村 栄
深川 豊山 哲嗣 美由紀
救命HCU （任）大村 栄（併）
林 小伊藤 朋子 香侑 由男
特別 御牧 邦子
山口 尾方 真理子 真由美
緩和 砂川 知子
上村 谷口 直子 香理 （緩和ケアCN）
がん看護専門候補生
2－7 岡田 司恵
山本 中野 なお 達也 美
2－6 西村 真由美
松本 黒田 幹子 千晶
2－5 松原 努
平永 田峰 和幸 淳子
2－4 檜 泰子
森落合 香代 恵（がん性疼痛CN・老人看護専門候補生）
GCU
2－3 NICU 橋本 恵
岡庭 暁子（新生児集中ケアCN）
助看護師
堀場 志穂
若林 山口 有佳 牧子
保育士
1－8 （がん化学療法看護CN） 田村 彰子
平井 高橋 恵祐 美保子
1－7 内園 尚子
鎌田 宮岡 玲子 まさみ
1－6 杉坂 恵美
合戸 熊谷 敦子 かず子
1－5 （糖尿病看護CN） 小林 美保
竹原 岡田 美佳 優美
1－4 塚本 直子
三宅 谷治本 望美 彩（摂食・嚥下障害看護CN）
副看護師長

別紙２：看護部会議・委員会組織図（機能図）



看護部が関わる主な病院諸会議

○管理診療会議
○経営企画・業績評価委員会
○サービス向上委員会
○薬事委員会・医療材料委員会
○診療報酬管理委員会
○病床管理委員会・小委員会
○外来管理委員会
○手術室運営委員会
○集中治療室運営委員会
○救命救急委員会
○緩和ケア運営委員会
○地域医療連携委員会
○褥瘡対策委員会
○栄養管理委員会・NST委員会
○倫理委員会・小委員会
○透析委員会・小委員会
○臨床検査委員会
○輸血療法委員会・小委員会
○化学療法委員会
○医療安全管理委員会
○医療事故対策委員会
○リスクマネージャー会
○院内感染対策委員会
○災害対策委員会　・小委員会
○医療機器安全管理委員会
○医療情報委員会・小委員会
○クリティカルパス委員会
○広報委員会
○安全衛生委員会
○過半数代表者会議・選出選挙委員会

別紙３：看護部委員会活動状況

	委員会名	活動目標	活動計画
委員会	現任教育	1．ラダー別研修計画の企画運営ができ、研修生が到達目標を達成することができるよう支援する 2．集合教育と機会教育の連携を強化し、教育体制を充実させる。 3．キャリアアップと離職防止につながる支援を行う。	1. 看護職員能力開発プログラム到達目標に沿った集合研修の企画運営と評価 2. 機会教育における研修前、研修後の計画的な支援と指導者への周知 3. 質の高い看護職員の確保・看護職員の離職防止に向けた活動
	看護の質改善	1．看護手順の見直しを行い、看護実践に活用できる 2．身だしなみ・マナー・接遇基準を周知徹底し実践できる 3．退院時アンケートの内容を分析・評価し、看護の質に活用できる	1.「治療を受ける患者の看護手順」と「日常生活援助の看護手順」の一部改訂 2. 身だしなみ・マナー・接遇調査（5月・10月） 3. 退院時アンケート調査（6月・11月）
	看護記録	1. 看護記録記載基準・要領の活用 2. 看護過程の展開がわかる記録記載 3. 看護記録の質を高める	1. 看護記録記載要領の効果的な活用を促す 2. テンプレートの活用と整理 1. 記録要領を踏まえた、看護記録の事例検討（急変） 2. 看護過程の展開と継続看護 1. 標準看護計画追加・活用 2. 看護記録監査 3. テンプレートの修正と新規作成
	看護研究倫理審査	1. 看護研究の倫理審査を行う 2. 看護研究能力向上への支援を行う	看護研究倫理審査小委員会の開催
チーム会	感染管理チーム	1．感染症のアウトブレイクを防止するために、院内感染対策マニュアルを遵守できる 2．感染防止の視点で環境整備ができる 3．ICTの活動について理解し、自部署の感染対策に協働できる。	1-1. 手指衛生遵守への取り組み 1-2. インフルエンザ、ノロウイルス対策の周知 2-1. 環境ラウンド 2-2. 環境整備への課題抽出と改善への取り組み 3-1. ゴージョー使用量データ収集及び各種調査
	地域看護支援チーム	1．各病棟の退院支援の現状分析から課題を明らかにして、時期をのがさず退院支援ができる 2．院内・院外の連携・協働を推進する地域包括ケアシステムの考え方をベースに外来・病棟看護師の役割を拡大する	1. 退院前後訪問の実践 2. 退院支援ファイルの見直し 1. 京都南部地域連携交流会参加 2. 地域連携支援センター院内留学 3. 訪問看護ステーションの実習
	緩和ケアリンクナース会	1．がん患者の心身の苦痛に対する評価ができ、看護介入できる 2．非がん患者も含めた緩和ケアの質の向上をはかる	1．STAS-Jでの心身の苦痛に対する評価 2．がん患者指導管理料の確実な取得および心理的サポートへの看護介入 2．症状緩和、意思決定支援・ＡＣＰ
	医療安全チーム	1．患者誤認事故防止策の実施 2．薬剤関連事故防止策の実施 3．転倒転落事故防止策の実施	1. 患者誤認事故防止手順の周知 2. 患者誤認事故防止手順の自己監査及び他者監査 3. 患者誤認事故の発生要因分析 1. 薬物療法看護手順の周知 2. 薬物療法看護手順の自己監査及び他者監査 3. 薬剤関連事故の発生要因分析 1. ピクトグラムの活用推進 2. 離床センサーの適正使用 3. 転倒転落事故の発生要因分析
	栄養サポート看護チーム	1．摂食機能療法についての知識・技術を習得し、実践力向上を図ることができる。 2．摂食機能療法算定件数を昨年度より増加することができる。	1. 摂食機能療法実施状況の共有 2-1. 摂食機能療法の対症患者の抽出と看護計画の立案、ケア実践 2-2. 摂食機能療法についての技術習得
	褥瘡管理チーム	1．スタッフが正しくポジショニングを身につけ実践できる 2．リスク評価ができ、マニュアルを活用した個別性のある看護計画立案と実践ができる	1-1. ポジショニング指導者の育成 1-2. マニュアルを活用しての勉強会の実施 2-1. 褥瘡に関するマニュアルの周知方法の検討と使用の徹底 2-2. リスク評価後の看護計画立案状況調査 2-3. 褥瘡派生、予防カンファレンスの継続
	認知症・せん妄ケアチーム	1．認知症ケアマニュアルおよび認知症・せん妄ケア標準看護計画の活用推進 2．認知症・せん妄患者個々に適切なケア提供ができる 3. 適切に認知症ケア加算が取得できる	1. 認知症ケアマニュアルの活用、認知症ケアラウンド 2. せん妄リーフレットを活用したせん妄予防に対する標準ケアの確立と事例検討会 3. 看護記録監査による認知症ケア加算取得の適切性の評価および改善点の明確化
連絡会	専門看護師・認定看護師連絡会	1．組織横断的な活動を行い、実践や集合教育を通して当院の看護実践力の強化する 2．院内外に向けた広報活動ができる	1. セミナーや院内研修・学習会の企画・運営・評価 2. 院内の情報や、病棟管理者のニーズを把握して、OJTの活動を増やす 3. ポスター、ホームページの更新、連絡会が企画する学習会の広報

平成30年度　病院目標　：　経営基盤の安定化と地域のニーズに応える高度急性期医療の推進

平成30年度　看護部スローガン「高い倫理観を持って　優しく丁寧に確実に　」

看護部目標	1-4	1-5	1-6	1-7	1-8	2-3	NICU/GCU	2-4	2-5	2-6	2-7
急性期医療を担う看護実践力の向上	1. 1)専門的知識を深め、安全・安心の看護が実践できる。 2)集合研修と機会教育の連携を充実さ	1. 急性期の状態変化を予測できるアセスメント能力を身につける	1. 疾患の理解と確実な看護技術に基づいた安全で専門性の高い看護の提供	1. 消化器疾患を担う看護実践力の向上	1. チーム力により実践力を高め、アセスメント力を向上させる	1. 急変予測とフィジカルアセスメントを強化し、急性期医療に対応できる看護の提供	1. ハイリスク新生児とその家族に対する看護実践能力の向上を図る	1. 脳神経疾患及び内分泌疾患の専門性を発揮できるよう看護実践能力を強化し、個々の患者に適切な看護を提供す	1. 急性期医療に対応できる看護技術の習得と、整形外科看護実践能力の強化ができる	1. 急性期看護の基礎看護力を向上する	1. 根拠に基づいた循環器看護が実践できる人材の育成
地域のニーズに応える地域連携の推進	2. 入院時より退院を見据えた看護介入を実践し、地域との連携を強化する	2. 入院時から多職種と連携し、積極的に介入し効果的な退院支援を実施する	2. 患者の意思決定を尊重した、退院支援の強化	2. 入院時、退院後の生活を踏まえたカンファレンスの充実と地域連携の推進	2. 患者、家族が望む療養場所で過ごせるよう、多職種と協働し退院支援を充実させる。	2. 入院支援センターと連携し、個別性に応じたスムーズな退院支援	2. 継続した退院支援を行い、地域連携へとつなげることができる	2. 多職種と連携し、患者が安心して退院できるよう支援できる	2. 地域及び、多職種間連携を強化し、退院支援が推進できる	2. 多職種との連携を強化し、入院前から患者・家族の希望する退院後の生活を見据えた支援ができる	2. 多職種との連携強化により在院日数の短縮
病院経営への積極的な参画	3. 病院の経営方針を理解し、自科が担う役割を認識し効率的な病棟運営を行う	3. 経営に関する知識を高め、処置伝票の取り漏れをなくす .2)重症度、医療・看護必要度基準値の維持	3. 経営についての意識向上と、適切な病床管理・物品管理	3. 確実な処置入力と正確な重症度、医療・看護必要度入力	3. 効果的・効率的な病床管理による経営への貢献	3. 病床稼働率の安定を目指し、経営意識を持って病棟運営に参画	3. 医療物品の管理、処置漏れを防止、コスト削減が実施できる	3. 適切な病床運営とコスト意識をもち、病院経営に積極的に参画できる	3. 効率的な病床管理、経営意識の向上により、病院経営に参画できる	3. 適切な病床管理、看護必要どの正確な入力を行うことで病院経営に参画できる	3) 1)重症度、医療・看護必要度30%以上維持 .2)コスト漏れの削減
チームワーク強化・連携による働き方改革	4. 話しやすい職場風土をつくり、働きやすい職場環境の推進を行う	4. 固定チームナーシングを定着し、働きやすい環境をつくる	4. チーム力の向上と、何でも話せる職場作り	4. チーム医療の推進と労働環境の整備	4. 固定チームナーシングの強化によるチーム力の向上	4. 7診療科に対応できる看護業務の標準化とチームとの連携推進	4. 外来との連携を強化し、業務改善ができる	4. 固定チームナーシングの強化を図り、効率的で効果的な看護が実践できる	4. チームワーク強化、看護業務の見直しにより、働きやすい職場作りができる	4. コミュニケーションを活発に行い、チームワーク力を高め患者を思いやる看護ができる	4. 1)看護実践を通じての倫理観の育成 2)患者満足が得られる看護の提供

平成30年度　病院目標　：　経営基盤の安定化と地域のニーズに応える高度急性期医療の推進

平成30年度　看護部スローガン「高い倫理観を持って　優しく丁寧に確実に　」

看護部目標	特別室個室	緩和	ICU	HCU	救外	手術室	集中治療室	外来	地域医療連携室
急性期医療を担う看護実践力の向上	1．全診療科に対応できる急性期看護実践力の向上	1．根拠に基づいた看護実践力を高め、アセスメント能力の向上を目指す	1．救命救急センターICU入院患者の満足度を高める看護実践力の向上	1． 1）集中治療領域における看護実践力の強化 2）倫理的観点の基づいた看護の提供ができる	1．救急外来受診患者の満足度向上を目指した看護実践の強化	1．根拠を持った質の高い看護ケアの提供	1．機会教育の充実と看護実践力の強化	1． 1）急性期医療を担う外来看護実践力の向上 2）看護倫理に基づいた看護の実践	1．入退院支援の実践力の向上
地域のニーズに応える地域連携の推進	2．入院時より退院を見据えた多職種と連携した看護介入	2．緩和ケア外来を通し、院内・院外との連携強化とシステム構築	2．地域医療構想の中で三次救急病院としての役割を発揮する	2．入院時から退院後の生活を視野に入れた看護の実施と一般病棟との連携の強化	2．地域医療構想の中で三次救急病院としての役割を発揮する		2．病棟との連携強化による継続看護	2．病棟、地域社会福祉、訪問看護師との連携強化	2．多職種と連携・協働し入退院支援を行う
病院経営への積極的な参画	3．看護必要度30％以上を維持する病床管理	3．院内・院外との連携を強化し、病床利用率をあげる	3．特定集中治療管理加算料2の新要件にもとづいた病床管理	3．経営への意識を高め、物品管理や病床管理ができる	3．カテーテルを受ける患者への看護実践力の強化	2．多職種と連携をした効率的な手術室運営	3．特定集中治療室の重症度、医療・看護必要度に応じた病床運営と確実な診療報酬請求	3．管理加算算定への積極的な参画	3．正確な在宅関連算定と適切なコスト管理
チームワーク強化・連携による働き方改革	4．ベテラン看護師のキャリア支援	4．チーム力強化と働きやすい職場環境の整備をおこなう	4．医師・コメディカルと連携した早期リハビリ実践	4． 1）受け持ち看護師としての関わりの強化 2）働きやすい職場環境作り	4．医師・研修医・コメディカルとの連携強化	3．チーム力強化による環境改善	4．看護業務見直しと改善による時間外勤務の縮減	4．多職種との連携によるチームワーク強化	4．入院支援部門、救急受け入れ部門、後方連携部門に関わる連携室の多職種とのチーム医療により働きやすい環境を構築する

看護部院内発表

シンポジウム

4－1）	働きやすい職場作り	2病棟5階	長峰　淳子

口述発表

4－2）	タブレット端末を利用した患者満足度とその改善項目の抽出 ～V 字回復に向けて　外来部門（内視鏡）の取り組み～	内視鏡センター	北野　由美
4－3）	治療継続を望む終末期にある肺がん患者と妻への意思決定支援	1病棟8階	布施　克己

ポスター発表

4－4）	泌尿器がん患者の退院前退院後訪問を行ってみえたこと	1病棟5階	平野衣梨佳
4－5）	病床再編成に動じない！糖尿病看護の質を高めるために ～糖尿病看護教育ラダーの開発～	1 病棟6階	合戸　敦子
4－6）	呼吸器科病棟における看護師の口腔ケアに対する意識・行動の変化 ～歯科医師との協働による口腔ケア回診を実施して～	1 病棟8階	塩見　みず帆
4－7）	退院支援への取り組み ～退院前・退院後訪問を通して～	1病棟8階	上野　こむぎ
4－8）	看護学生が病棟のカンファレンスに参加することによる影響	1病棟8階	上田　彩子
4－9）	ハイリスク妊産婦連携指導料加算算定への取り組み	2病棟3階	吉川　麻衣
4－10）	NICU における物品の適正管理について ～SPD 物品コスト削減に向けて～	NICU	内山　優紀
4－11）	急性期病院における認知症ケアチームの活動と今後の課題	2病棟4階	落合　恵
4－12）	人工呼吸器管理の患者の退院調整	2病棟4階	佐藤　菜月
4－13）	チームカンファレンスの定着、充実にむけて	2病棟4階	中井　和香緒
4－14）	コストの算定漏れを減らすために ～スタッフの知識の向上と意識改革に向けて～	2病棟5階	藤川　宣也
4－15）	チームでの患者カンファレンスの導入	2病棟7階	下川　絵理奈
4－16）	カンファレンスでの情報共有体制の強化 ～ヒヤリ・ハット報告を始めて～	手術室	藤尾　未来
4－17）	アンギオ室の教育への取り組み ～はじめて教育ラダーを導入して～	救急外来	池本　知子
4－18）	当院における多数傷病者の受け入れ報告と今後の課題	救急外来	清水　克彦
4－19）	救急外来における診察時間短縮へ向けた取り組み	救急外来	北村　友香
4－20）	タスク・シフテイング！みんながハッピー☆☆ ～IV ナース導入による変化～	外来化学療法センター	田中　雅子
4－21）	入院支援センターの活動報告と今後の課題 ～円滑な業務運営のために～	地域連携支援センター	松岡　和子

4－22）	副看護師長会経営グループの取り組み	副看護師長会 経営グループ	竹原　美佳
4－23）	実習教員の役割と効果	看護部長室	田仲　有季子

看護部院外発表

第60回 近畿地区国立病院看護学会（ 10月13日）

口述発表

5－1）	転倒・転落防止への取り組み ～ピクトグラム導入後の現状と取り組み～	医療安全管理室	北野　朋子

ポスター発表

5－2）	嘔吐を繰り返すがん患者に対し、口腔内保清への介入 ～含嗽とブラッシングを通して～	1病棟6階	神崎　菜都実

第72回 国立病院総合医学会（11月9日～11月10日）

シンポジウム

5－3）	多様性を活かした組織づくり ～個を活かした人材活用～　子育てしながら働く者の立場から	2病棟4階	落合　　恵

ポスター発表

5－4）	安心して在宅を目指す看護 ～Let、s　連携～	1病棟4階	坂本　里佳
5－5）	硝子体手術後のうつむき安静による苦痛緩和への援助	1病棟5階	寺本　智美
5－6）	生活のしやすさに関する質問票の症状　7項目の数値の実態	1病棟6階	余頃　楓
5－7）	ナーシングガイドの使用状況と今後の課題 ～消化器内科の看護の質の向上を目指して～	1病棟7階	福田　繭子
5－8）	一般病棟で出来る緩和ケアを考える ～生活のしやすさの質問票を用いて～	1病棟8階	布施　克美
5－9）	新婚で子宮頸がんと診断された患者との関わり ～問題解決型危機理論を用いて～	2病棟3階	菅　柚貴
5－10）	急性期病棟における保育士の活動報告	2病棟3階	江戸川　志帆
5－11）	出生前診断で胎児異常を示唆された妊婦への妊娠期からの関わり ～Dr o tarの危機回復過程を用いて～	2病棟3階	塩川　紗衣
5－12）	当院 NICU における「低出生体重児における乳房からの哺乳行動の発達スケール（PIBBS）」の使用状況の実態調査	NICU	崎山　麻衣
5－13）	新生児の痛みのケアに対する実態調査	NICU	内山　優紀
5－14）	認知症患者のケア実践時における看護師の行動と心理	2病棟4階	泉谷　聖子
5－15）	看護師によるストーマ装具選択の過程を振り返り現状を明らかにする	2病棟6階	早川　智美
5－16）	手術室における医療安全の取り組み	手 術 室	瀧下　遥奈

5－17）	病院経営についての手術室の取り組み	手 術 室	禮場 直人
5－18）	手術室の新人教育 ～ステップアップ表を使用した効果～	手 術 室	松林 はるか
5－19）	適切な手技衛生のための取り組み	集中治療室	富田 有香
5－20）	グリーフケアとしての遺族への手紙の取り組み	緩和ケア	谷山 千賀子
5－21）	卒後教育における「急変前気づき研修」プログラムの評価	看護部長室	片岡 佐由美
5－22）	CT 画像診断の見落とし対策	医療安全管理室	塩 早苗
5－23）	転倒転落防止対策への取り組み ピクトグラム導入後の現状と効果	医療安全管理室	北野 朋子

第15回 国立病院看護研究学会学術集会

口述発表

5－24）	臨床推論能力の育成に向けた「急変前気づき研修」の評価 ～多職種と企画運営する演習を用いて～	看護部長室	片岡 佐由美

ポスター発表

5－25）	生活のしやすさに関する質問票の症状7項目の数値の変化の実態調査 ～入院1日目・7日目の評価を通して～	1病棟6階	神崎 菜都実

第38回日本看護科学学会学術集会

口述発表

5－26）	中間看護管理者が抱くやりがい感と負担感 ～役割および看護師の特性の検討～	看護部長室	村上 涼子

International Conference on Canser Nursing （ICCN 2018）（9月23日～9月26日）

ポスター発表

5－27）	Efficcy of the experience philosophical dialogue educadion program for to support canncer survivor	緩和ケア	坂井 みさき

第33回日本がん看護学会（2月23日～2月24日）

ポスター発表

5－28）	緩和ケア病棟看護師の専門的緩和ケア実践能力の実態と その関連要因～一看護師の対処能力の一面から～	緩和ケア	坂井 みさき

学術活動

6－1） メデイカ出版	消化器ナーシング 2019 春季増刊　通巻310号	第2章　やってみよう！ 消化器病棟の日常的ケア 1．ベットまわりの環境整備 2．手術前後のケア 4．チューブ・ドレーンの管理	2病棟6階	黒田千秋晶・松本幹子 今村美紀・田中美穂 手島麻貴・村山絢美 早川智美・飛鳥居朋子 北川真弓・櫻井実沙季 森冴子・川上早紀 山崎なつ子
6－2） メデイカ出版	消化器ナーシング 2019 春季増刊　通巻310号	第2章　やってみよう！ 消化器病棟の日常的ケア 3．内視鏡治療・検査前後のケア	1病棟7階	宮岡まさみ　青木優 都留江里子・富田咲 中藤佑香・藤澤里穂 前川詩歩・

FM845出演

7－1）紹介します。診療看護師の役割　　看護部長室　　村上　涼子

7－2）この冬、感染症にかからないために　　看護部長室　　森　誠司

京都看護助産学校

副学校長
池田　仁美
平成31年3月31日まで

副学校長
前中　由美
平成31年4月1日から

助産学科　教育主事
伊藤　美栄

看護学科　教育主事
釘宮　泰子
平成31年3月31日まで

看護学科　教育主事
伊藤　睦美
平成31年4月1日から

看護学科　教育主事
谷口　秀美

□教育理念

感じる心、考える力、主体的な行動

人間愛を基盤とし、生命の尊厳と人権の尊重ができる感性豊かな人間性を育てることに主眼をおき、看護専門職として必要な基礎的知識、技術、態度を習得し、保健医療福祉の変化に対応できる人材を育成する。

□教育目的

看護師若しくは助産師として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

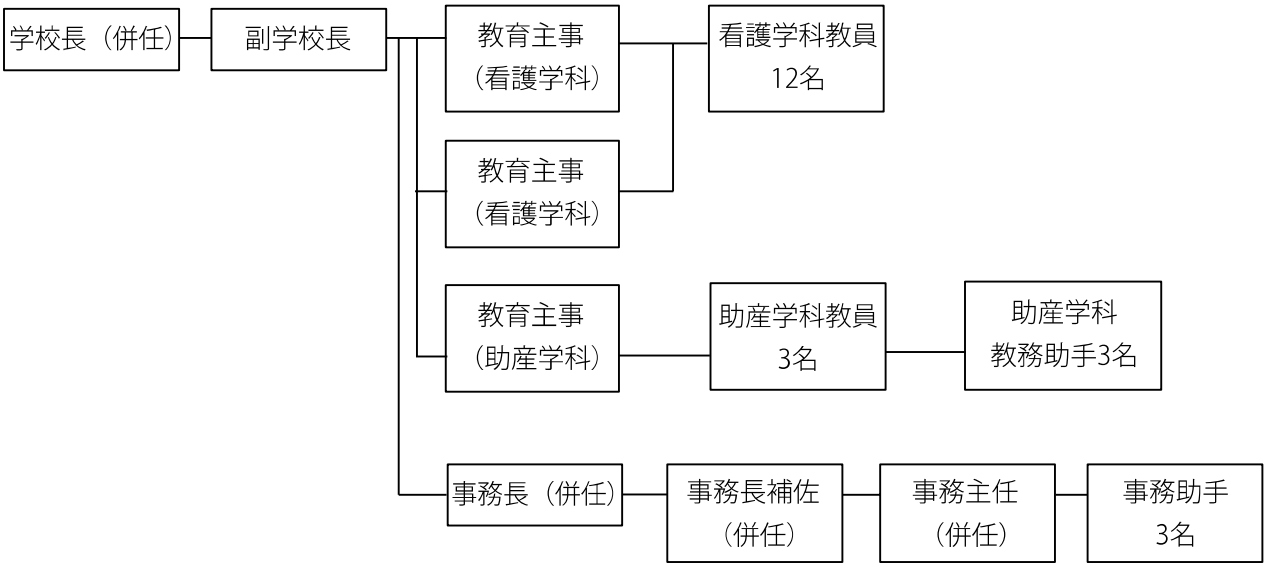
□教育目標

1. 生命の尊厳と個々の人権を尊重できる感性豊かな人間性を養う。
2. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解し、看護師としての人間関係を形成する能力を養う。
3. 看護師としての責務を自覚し、倫理に基づいた看護を実践する。
4. 科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する基礎的能力を養う。
5. 健康の保持・増進、疾病の予防および健康の回復に関わる看護を、健康状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う。
6. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割および他職種の役割を理解し、他職種と連携・協働する基礎的能力を養う。
7. 社会の動向に関心を持ち、常に主体的に看護を探求する姿勢と自己研鑽し続ける能力を養う。

□課程・定員

課程	学科	入学定員	総定員	在籍者数（平成31年3月1日）			
				1年生	2年生	3年生	合計
看護専門課程	看護学科（3年課程）	80人	240人	75人	90人	76人	241人
看護専門課程	助産学科（1年課程）	25人	25人	22人			22人
計		105人	265人	97人	90人	76人	263人

□本学の組織



□平成30年度　部門目標

部門目標		30年度重点目標
1	国立病院機構及び地域に貢献できる優秀な人材の確保と育成	広報活動の推進（リアルタイムな情報発信、学生の意見・教員の意見　掲載）
		臨床との連携による看護実践教育の充実 ①実習指導者会活動の活性化　②演習授業への指導者の参加促進
		国立病院機構への就職率看護学科70%以上、助産学科50%以上
		国家試験合格率が当該年度の国立病院機構全国平均以上 ①1年次からの国家試験対策　②実習学習とリンクする国家試験対応
2	学生が主体的に学ぶ力を育成できる教育実践能力の向上	自己の研究テーマを持ち、研究に取り組む
		研修、学会等への参加により自己啓発を図る
		専門領域等の実務研修に1回以上参加し最新の知識・技術を吸収する
		自校・他校における研究授業に参加し、授業方法を研鑽する
		当校における授業研究での意見交換等により他科目との関連を理解する
3	学生にとって学びやすい学校組織の充実	教員の担任制から担当制へ　～全員で学生にかかわる組織づくり～
		学生による授業評価から課題を明確にし、改善に取り組むと共に学生に公表する
		継続的な自己点検・自己評価（及び第三者評価）を実施し、学生・保護者へ公表
		卒業時カリキュラム評価の目標平均値3.0以上
4	学校経営基盤の安定化	業務の可視化をはかり、連携・調整により超過勤務の減少に努める
		経費節減に取り組み、無駄な支出を減らす

□平成30年度プロジェクト活動

コストパフォーマンスプロジェクト	
メンバー	仙波伊知子（リーダー）、住田尚子、寺田博子、中溝好美、林田聖子、谷口秀美
活動課題	1．時間のコスト意識：業務の計画的な遂行、超過勤務の減少と人件費削減 2．物品の有効活用： 3．学校の特色のPR活動 4．ムダをなくす
活動内容	1．超過勤務時間の見える化や業務調整の声掛け 2．シミュレーター教材の作成・活用説明、標本物品の活用計画 3．PR内容を考案、京都府看護学校補助金の確保 4．学校の収支状況の把握、コストの見える化、省エネ行動の動機づけ、計画的な教材購入の検討
成果	・コストの見える化（収支状況・超過勤務時間・光熱通信費）、資料のペーパーレス化と計画的な物品購入・整備を図ることにより支出を抑制することができた。 ・各種シミュレーターの作成、講師用標本作成、使用しない物品（水銀使用物品）の廃棄処分により、効率・効果的な教材の活用・整備を図ることができた。

危機管理プロジェクト	
メンバー	稲垣寿美（リーダー）、北井英子、榮 圭子、中村なぎさ、伊藤智美、釘宮泰子
活動課題	地震時、火災時、風水害時の（防災）マニュアルを作成する。
活動内容	1．地震時・火災時・風水害時それぞれの（防災）マニュアル作成 2．緊急連絡網・緊急連絡体制の検討・確立 3．定期的日常的な安全点検の方法の検討・確立 4．学生・教員の備蓄品の内容と保管場所の検討・確立 5．教職員の研修計画の検討・実施
成果	1．地震時・火災時・風水害時それぞれのマニュアルの検討を行い、完成した。 2．緊急連絡網・緊急連絡体制の検討をおこない、病院のシステムに乗せてもらうこととなった。現在病院のシステム確立を待っている状況。 3．定期的日常的な安全点検の方法の検討を行い、安全点検表を作成した。 4．学生・教員の備蓄品の内容と保管場所の検討を行い、備蓄品の購入保管をした。 5．教職員の研修計画の検討と研修会の企画を行い、3月に実施した。

情報管理プロジェクト	
メンバー	近藤尚子（リーダー）、大上寿子、太田恵子、寺田美鳥、伊藤美栄
活動課題	1．文書管理の管理方法に関するマニュアルの作成 2．情報セキュリティマニュアルの完成 3．プロジェクト終了後も文書管理が継続されるようなルール化とシステムづくり
活動内容	1．文書管理について 1）文書管理規程に基づく文書ファイル等の整理、管理マニュアルの作成 2）文書管理規程に基づく廃棄文書の整理と廃棄 2．情報管理について 1）共通フォルダ内のデータ内容の整理とHDDへのバックアップ作業 2）教務室内のUSBの整理と管理方法の検討 3）情報セキュリティマニュアルの内容の検討
成果	1．「法人文書管理簿」「機密文書管理簿」を完成させ、年度末には各種文書ファイルの整理と文書廃棄をした。 2．　8月のサーバー更新によりシステムダウンのリスクは軽減した。共通フォルダ内の標題作成等のルール化はできなかった。情報セキュリティマニュアルは作成継続が必要。

□学生募集

入学試験実施状況

看護学科	一次試験	二次試験	合格発表
一般入試	平成31年1月24日(木)	平成31年1月26日(土)	平成31年1月31日(木)
社会人入試	平成30年11月14日(木)	平成30年11月16日(土)	平成30年11月21日(木)
公募推薦入試	平成30年11月14日(木)	平成30年11月16日(土)	平成30年11月21日(木)
推薦入試	平成30年11月15日(木)		平成30年11月21日(木)

助産学科	一次試験	二次試験	合格発表
一般入試	平成31年1月24日(木)	平成31年1月26日(土)	平成31年1月31日(木)
特別選抜入試	平成30年11月15日(木)		平成30年11月22日(木)

□入学状況

＜看護学科＞

年度(回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
平成28年(第15回生)	推薦	16	16	16	16		
	社会人	23	22	10	10		
	一般	69	69	56	44(4)	1	
	合計	108	107	82	70		70
平成29年(第16回生)	推薦(学校)	10	10	10	10		
	推薦(公募)	25	25	24	24	1	
	社会人	28	28	16	15		
	一般	106	103	65	39	1	
	合計	169	166	115	88	2	
平成30年(第17回生)	推薦(学校)	19	19	19	19	1	
	推薦(公募)	24	24	20	20		
	社会人	13	13	6	6		
	一般	102	100	55	32	1	
	合計	158	156	100	77	2	
令和元年(第18回生)	推薦(学校)	19	19	19	19		
	推薦(公募)	17	17	15	15		
	社会人	18	18	12	12		
	一般	80	76	58(3)	39		
	合計	134	130	104(3)	85		

(　　)内補欠合格者

＜助産学科＞

年度(回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
平成28年(第48回生)	特別選抜(学校)	8	8	8	8		8
	特別選抜(施設)	3	3	3	3		3
	一般	73	63	19(1)	13(1)		13(1)
	合計	84	74	30	24		24
平成29年(第49回生)	特別選抜(学校)	11	11	11	11		11
	特別選抜(施設)	0	0	0	0		0
	一般	58	54	18	14	2	12
	合計	69	65	29	25	2	23
平成30年(第50回生)	特別選抜(学校)	10	10	10	10		10
	特別選抜(施設)	1	1	1	1		1
	一般	60	53	11(4)	11(1)		11(1)
	合計	71	64	22	22		22
令和元年(第51回生)	特別選抜(学校)	14	14	9	9		
	特別選抜(施設)	2	2	1	1		
	一般	45	35	8(3)	8		
	合計	61	51	18(3)	18		

(　　)内補欠合格者

□学生募集活動(ガイダンス)

月	日	曜	内容	場所	出席者	実績数
4	13	木	TAP主催進学説明会(京都精華学園高等学校)	京都テルサ	中村なぎさ	5
	23	月	進学相談会(さんぽう)	天王寺ミオ	池田仁美	6
	28	土	就職・就学フェア(京都府看護協会)	みやこめっせ	池田仁美 谷口秀美	40
	29	日	進学相談会(さんぽう)	メルパルク京都	釘宮泰子	13
5	16	金	ケーホウ主催進学相談会(府立亀岡高校)	亀岡高校	釘宮泰子	11
	16	金	鳥取城北高校(教員対象)	当校	谷口秀美	3
6	1	金	TAP主催進学説明会(京都廣学館高等学校)	けいはんなホール	太田恵子	3
	10	日	進学相談会(さんぽう)	梅田スカイビル タワーウエスト	中村なぎさ	11
	25	月	高校2年生　看護コース対象説明会 (京都聖母学院高等学校)	京都聖母学院高等学校	中村なぎさ	
7	11	水	進学相談会(昭栄広報　府立北嵯峨高等学校)	みやこめっせ	釘宮泰子	12
	13	金	高等学校と看護系教育機関との進路研修会	光華女子大学	中村なぎさ	
8	8	水	学校説明会	宇多野病院	寺田博子	
	9	水	学校相談会(京都予備校)	京都予備校	池田仁美	41
3	13	水	TAP主催進学説明会(大津高校)	ピアザ淡海	中村なぎさ	5

□オープンキャンパス

看護学科	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開催回数	6回	6回	6回
参加者延人数	270人	304人	277人

助産学科	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開催回数	3回	3回	3回
参加者延人数	140人	146人	198人

□卒業生の進路

＜看護学科＞

年度	回生	卒業者数	就職						進学				未就職
			国立病院機構		官公立	法人	その他	看護職以外	保健師	助産師	養護教諭	大学	
			自施設	他施設									
平成25年度	第10回生	80	32	28	3	3	0	0	0	9	0	5	0
平成26年度	第11回生	70	36	24	3	1	0	0	0	4	0	2	0
平成27年度	第12回生	69	41	18	1	0	4	0	0	3	0	2	0
平成28年度	第13回生	82	43	29	1	0	2	0	0	6	0	0	1
平成29年度	第14回生	87	42	29	4	3	3	0	0	6	0	0	0
平成30年度	第15回生	73	22	29	11	3	0	0	0	4	0	1	3

＜助産学科＞

年度	回生	卒業者数	就職						進学	未就職
			国立病院機構		官公立	法人	その他	看護職以外		
			自施設	他施設						
平成25年度	第45回生	24	6	10	6	2	0	0	0	0
平成26年度	第46回生	25	4	10	8	3	0	0	0	0
平成27年度	第47回生	23	4	9	7	2	0	0	0	1
平成28年度	第48回生	24	4	9	6	5	0	0	0	0
平成29年度	第49回生	23	2	10	5	6	0	0	0	0
平成30年度	第50回生	22	2	7	8	5	0	0	0	0

□国家試験合格状況

＜看護学科＞

		全体（%）	機構附属（%）		
			全国	近畿	本校
105回（H28.3）	全体（新卒）	89.4（94.9）	98.0（98.4）	99.4	100
106回（H29.3）	全体（新卒）	88.5（94.3）	88.5（94.3）	98.6	96.8
107回（H30.3）	全体（新卒）	91.0（96.3）	98.4（98.8）	99.7	100
108回（H31.3）	全体（新卒）	89.3（94.7）	97.3（98.1）	99.0	95.9

＜助産学科＞

		全体（%）	機構附属（%）	
			全国	本校
99回（H28.3）	全体（新卒）	99.8（99.8）	100	100
100回（H29.3）	全体（新卒）	99.8（99.8）	100	100
101回（H30.3）	全体（新卒）	98.7（99.4）	100	100
102回（H31.3）	全体（新卒）	99.6（99.9）	100	100

□学会発表（院外）

日程	学会名	テーマ	研究者（○発表）
H30.5.26	第74回日本助産師学会	「マイ助産師制度」の実現に向けた活動報告（第1報）～出産ケア政策会議の研修生募集から国会議員へのロビイング活動・成果報告まで～	○他校教員 林田聖子 （ポスター）
		「マイ助産師制度」の実現に向けた活動報告（第2報）～マイ助産師制度とは～	○他校教員 林田聖子 （ポスター）
		「マイ助産師制度」の実現に向けた活動報告（第3報）～実現に向けた第一歩：研修生による活動実践報告～	○他校教員 林田聖子 （ポスター）
		「マイ助産師制度」の実現に向けた活動報告（第4報）アンケート集計結果報告	○林田聖子 他校教員 （ポスター）
H30.8.28	第28回日本看護学教育学会	分娩期の臨床推論学習プログラムの評価	○伊藤美栄 （ポスター）
H30.8.29	第28回日本看護学教育学会	看護専門学校教員のアクティブラーニング型授業の認識と学習パラダイムの関連	○谷口秀美 （口述）
		基礎看護学実習において学生はどのような経験を振り返るのかー学生アンケートの結果よりー	○釘宮泰子 （ポスター）
H30.9.8	ICM地域学術集会2018（ドバイ）	The challenge of implementing “My midwife system”:advocating for continuity of case of Japan	○他校教員 林田聖子 （口演）
H30.10.19	第59回日本母性衛生学会	実習時期別にみた助産学生の分娩期ケア能力の到達度	○北井英子 伊藤美栄 （ポスター）
H30.11.9	第72回国立病院総合医学会	統合実習における「学生によるチーム実習」の学びと課題	○住田尚子 （ポスター）
H30.11.9	第72回国立病院総合医学会	医療事故シミュレーション演習の学びと課題	○寺田博子 （ポスター）
H30.11.10	第72回国立病院総合医学会	中堅看護教員研修「学校の危機管理」の実践報告	○伊藤美栄 他校教員 （口演）
H30.11.10	第72回国立病院総合医学会	シンポジウム：患者・家族の意思決定支援を支える看護のあり方 「意思決定支援に対する看護師の困難感の軽減につながる教育方法の検討」	○榮　圭子 （ｼﾝﾎﾟｼﾞｽﾄ）
H30.12.8	第16回国立病院看護研究学会学術集会	看護学生の学校生活における危機に対する意識と行動の実態調査	○他校教員 中溝好美 住田尚子 （ポスター発表）

日程	学会名	テーマ	研究者（○発表）
H30.12.8	第 16 回 国立病院看護研究学会 学術集会	生活環境からイメージしている対象理解のための内容 ～訪問看護実習における学生へのインタビューを通して～	○太田恵子 仙波伊知子 他校教員 （ポスター発表）
H30.12.8	第 16 回 国立病院看護研究学会 学術集会	学校運営マニュアル活用状況に関する調査と今後の課題	○他校教員 寺田　美鳥 （ポスター発表）
H31.3.2	第 33 回 日本助産学会	助産師教育課程終了時の分娩期ケア OSCE のトライアル～臨床推論を組み込んだ課題設定と評価表の開発～	○伊藤美栄 他校教員 （ポスター発表）
		助産師教育課程終了時の分娩期ケア OSCE のトライアル～臨床推論を組み込んだ OSCE の学生から見た評価～	○他校教員 伊藤美栄 （ポスター発表）
		多施設協働での臨床推論を組み込んだ OSCE 実施への取り組み	○他校教員 伊藤美栄 （ポスター発表）

□共同研究活動

研究課題	活動実績	研究者（○代表者）
OSCE による助産師教育課程修了時の到達度評価	・神戸市看護大学紀要論文投稿 1 編 ・研究成果まとめおよび学会報告 （日本助産学会 3/2）	伊藤美栄 （他施設） ○神戸市看護大学 8 名 同志社女子大学 2 名
出産ケア政策会議研修会	・活動成果報告 日本助産師学会 4 題、ICM1 題 ・マイ助産師制度の実現に向けたロビイング活動	林田聖子 （他施設） ○佛教大学　1 名 日本妊産婦支援協議会他

□執筆・論文投稿

収蔵誌	出版社	タイトル	教員（○筆頭）
助産師　2018.8 Vol.72 No.3	公益社団 法人 日本助産師 会機関紙	助産師教育機関紹介シリーズ 京都医療センター附属京都看護助産学校　助産学科 （紹介記事）	○伊藤美栄
神戸市看護大学紀要　第 23 巻 p13-22 2019	神戸市看護大学	臨床推論を組み込んだ分娩期 OSCE の評価～助産師教育課程修了時の学生の視点から～	○他校教員 伊藤美栄

□院内成果発表

日程	テーマ	研究者（○発表）
H31.2.23	実習時期別にみた助産学生の分娩期ケア能力到達度	○北井英子、林田聖子、伊藤美栄（ポスター発表）
H31.2.23	実習前の妊婦健診 OSCE がもたらす助産学生への教育効果の検討	○伊藤美栄、北井英子、林田聖子 田仲有季子 （ポスター発表）
H31.2.23	母性看護学実習におけるリプロダクティブヘルス／ライツの学びの内容	○住田尚子、北井英子、林田聖子（ポスター発表）
H31.2.23	平成 30 年度　実習指導者会議における取り組み	○中溝好美、近藤尚子 仙波伊知子、榮圭子、寺田美鳥 釘宮泰子（ポスター発表）
H31.2.23	学生の非常時における判断・行動力を養うための取り組み	○中村なぎさ、太田恵子 （口述発表）

□授業研究

日程	授業内容	教員
H30.10.26	統合実習におけるカンファレンスの　検討	稲垣寿美
H30.11.26	基礎看護技術Ⅴ（検査）校内公開授業	榮　圭子
H30.12.4	老年看護援助技術：排泄（演習）　教育担当師長研修公開授業	伊藤智美
H30.12.6	看護の統合と実践Ⅳ 教員研修会公開授業	太田恵子
H30.12.13	看護の統合と実践Ⅳ 教育担当師長研修公開授業	太田恵子
H31.2.5	老年看護援助技術：薬物療法 教員インターンシップ研修公開授業	伊藤智美
H31.2.18	助産学科　卒業前演習「分娩介助 OSCE」	伊藤美栄、北井英子、 林田聖子 （外部参加者） 神戸市看護大学　１名

□教員研修会　研究活動

	テーマ	教員
合同 1G	学校運営マニュアル活用状況に関する調査と今後の課題	○他校教員　寺田　美鳥
合同 2G	看護専門学校における臨地実習での看護援助の経験と学生の困難感の実態調査	○他校教員　大上　寿子
合同 3G	臨地実習で初めて看護過程の展開を行った学生の困難感についての調査	○ 中村なぎさ
合同 4G	生活環境から対象理解するための訪問看護実習前研修の導入の成果	○太田　恵子 仙波伊知子
京都 1G	教員の防災に対する意識と効果的な防災教育の検討	○稲垣　寿美 中溝　好美　榮　圭子
京都 2G	母性看護学実習におけるリプロダクティブヘルス／ライツの学びの内容	○住田　尚子 北井　英子　林田　聖子
京都 3G	アクティブラーニングを取り入れた教育方法の検討	○寺田　博子 近藤　尚子　伊藤　智美

□研修受講

1）中堅看護教員研修（主催：副学校長・教育主事協議会）

日程	研修内容	担　当	参加者
平成30年9月20日	副学校長・教育主事協議会 平成30年度 第1回中堅看護教員研修 「カリキュラム開発」グループ討議	伊藤美栄 谷口秀美	太田恵子 寺田美鳥

2）1,2年目教員研修（主催：副学校長・教育主事協議会）

日程	研修内容	担　当	参加者
平成30年5月31日	平成30年度1・2年目教員研修 ・経験学習シートによる自己の授業の振り返り ・Good jobカードによるフィードバック ・授業研究の参観と学びの共有 ・「教育実践場面で困っていること、判断に困る場面の共有」	池田仁美 釘宮泰子	林田聖子 伊藤智美
平成30年10月29日	平成30年度1・2年目教員研修 ・授業案の検討および発表、グループ討議 ・経験学習シートの発表、共有	池田仁美 釘宮泰子	伊藤智美

□実務研修

日程	研修内容		教員
平成30年8月6日 ～8月7日 2日間	NHO宇多野病院	神経変性疾患のある患者の看護の実際 家族支援や退院支援の実際	伊藤智美
平成30年8月9日 1日間	NHO京都医療センター	2-4病棟での看護実践	寺田博子
平成30年8月14日 1日間	NHO京都医療センター	病院内におけるチーム活動（呼吸ケアチーム・認知症ケアチーム）	榮圭子
平成30年8月14日 1日間	あそかビハーラ病院	終末期の看護の実際	太田恵子 中溝好美
平成30年8月15日 9月10日 2日間	NHO京都医療センター	教育師長へのシャドーイング実務研修の見学	住田尚子
平成30年8月16日 1日間	NHO京都医療センター	医療安全係長へのシャドーイング	稲垣寿美
平成30年8月17日 1日間	NHO京都医療センター	医療安全係長へのシャドーイング	大上　寿子
平成30年8月21日 1日間	NHO京都医療センター	地域連携支援センターにおける退院支援の実際	中村なぎさ
平成30年9月　3日 9月11日 2日間	NHO京都医療センター	手術室実習指導の実際	寺田　美鳥
平成30年　9月10日 1日間	NHO京都医療センター	卒後教育の実際（1年目研修の実際）	近藤尚子

2）学内講習会

日程	研修内容	担　当	参加者
平成30年5月9日	講義「臨床推論と学習プログラム」	伊藤美栄	看護職員26人 教員　　7人

□公開講座

日　程	テーマ	参加者数
平成 30 年 6 月 24 日（日）	看護学生体験：血圧測定、呼吸音聴取、高齢者体験	27 人
平成 30 年 7 月 29 日（日）	看護学生体験：血圧測定、呼吸音聴取、高齢者体験	60 人
平成 30 年 8 月 19 日（日）	看護学生体験：血圧測定、呼吸音聴取、高齢者体験	66 人
平成 30 年 9 月 9 日（日）	看護学生体験：血圧測定、呼吸音聴取、高齢者体験	24 人
平成 30 年 10 月 27 日（土）	看護学生体験：血圧測定、呼吸音聴取、高齢者体験	34 人
平成 30 年 10 月 27 日（土）	公開講座「自然災害への備え　～防災への意識と健康の維持について考えよう～」	10 人
平成 30 年 9 月 15 日（土）	性教育講座（小中高生対象） 「出逢うキセキ　生まれるキセキ」	12 人
平成 30 年 9 月 30 日（土）	ファミリー教室（妊産婦とその家族） 「Happy Family　Happy　Life～家族で育てよう新しい命～」	7 人
平成 30 年 7 月 13 日（土）	助産学生体験：モデル人形による分娩介助体験	48 人
平成 30 年 8 月 19 日（土）	助産学生体験：モデル人形による分娩介助体験	117 人
平成 30 年 9 月 1 日（土）	助産学生体験：モデル人形による分娩介助体験	33 人
	合計	438 人

□講習会、研修等の講師派遣

日程	研修内容	教員
平成 30 年 6 月～7 月	近畿グループ 平成 30 年度保健師助産師看護師 実習指導者講習会　講義講師	池田仁美（1 回） 釘宮泰子（1 回） 谷口秀美（1 回）
	近畿グループ 平成 30 年度保健師助産師看護師 実習指導者講習会 演習指導案助言講師	仙波伊知子
平成 30 年　5 月 9 日 6 月 6 日 12 月 12 日	京都医療センター附属 京都看護助産学校 実習指導者研修プログラム （第 1 回～第 3 回）	池田仁美 釘宮泰子 谷口秀美 仙波伊知子 中溝好美 榮圭子 寺田博子
平成 30 年 9 月 20 日	副学校長・教育主事協議会 平成 30 年度 第 1 回中堅看護教員研修 グループ討議　助言講師	伊藤美栄 谷口秀美
平成 30 年 11 月 10 日（土）	第 72 回国立病院総合医学会 シンポジウム座長：患者・家族の意思決定支援を支える看護のあり方	釘宮泰子

日程	研修内容	教員
平成30年12月26日	近畿グループ　平成30年度 中堅看護教員研修 グループ討議　助言講師	池田仁美 伊藤美栄 谷口秀美
平成30年7月7日 平成31年1月31日	京都母性衛生学会理事会（全2回） 理事 会計副委員長 会計委員	 伊藤美栄 林田聖子 北井英子
平成30年8月2日～3日	公益社団法人）全国助産師教育協議会 助産師教育研修研究センター主催 ファーストステージ研修　講師 「助産師教育方法論-教育評価-」 10時間　受講者15名	伊藤美栄
平成30年5月25日 配信期間： 2018.7.2-2019.1.31	一般財団法人）日本助産評価機構 助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証制度 研修プログラム e-ラーニング 必須研修「臨床推論」オンデマンドコンテンツ講師	伊藤美栄

□研修生受け入れ

日程	研修内容		受け入れ数
平成29年10月17日 ～10月20日	教員インターンシップ	近畿グループ主催	1人
平成29年10月23日	教員インターンシップ	副学校長・教育主事協議会主催	1人

看護学科

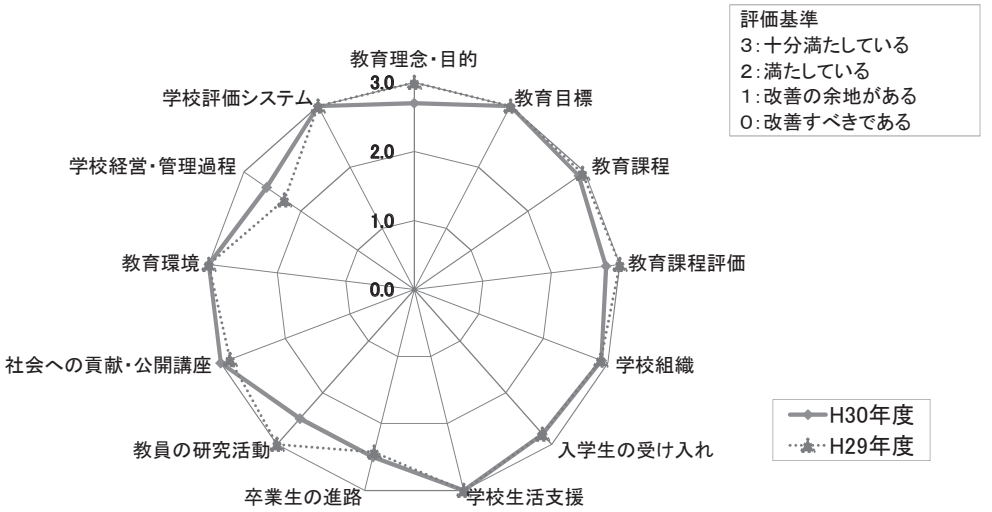
平成30年度　学校評価結果

独立行政法人国立病院機構　京都医療センター附属京都看護助産学校

学校評価の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。

平成年度は国立病院機構近畿グループ5校の副学校長・教育主事・教員による学校相互評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。



平成30年度　看護師養成所自己点検・自己評価結果
（看護学科）

	評価項目	評価の視点	H30年度	H29年度
Ⅰ	教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。	2.7	3.0
Ⅱ	教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒後教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。	3.0	3.0
Ⅲ	教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているかについて評価します。	2.9	3.0
Ⅳ	教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。	2.8	3.0
Ⅴ	学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適正であるかと防災対策や個人情報保護について評価します。	2.9	2.9
Ⅵ	入学生の受け入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。	2.8	2.8
Ⅶ	学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。	3.0	3.0
Ⅷ	卒業生の進路	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。	2.5	2.4
Ⅸ	教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。	2.5	3.0
Ⅹ	社会への貢献・公開講座	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズをふまえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。	3.0	2.9
ⅩⅠ	教育環境	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。	3.0	3.0
ⅩⅡ	学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。	2.6	2.3
ⅩⅢ	学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。	3.0	3.0
		全　体　平　均	2.8	2.7

助産学科

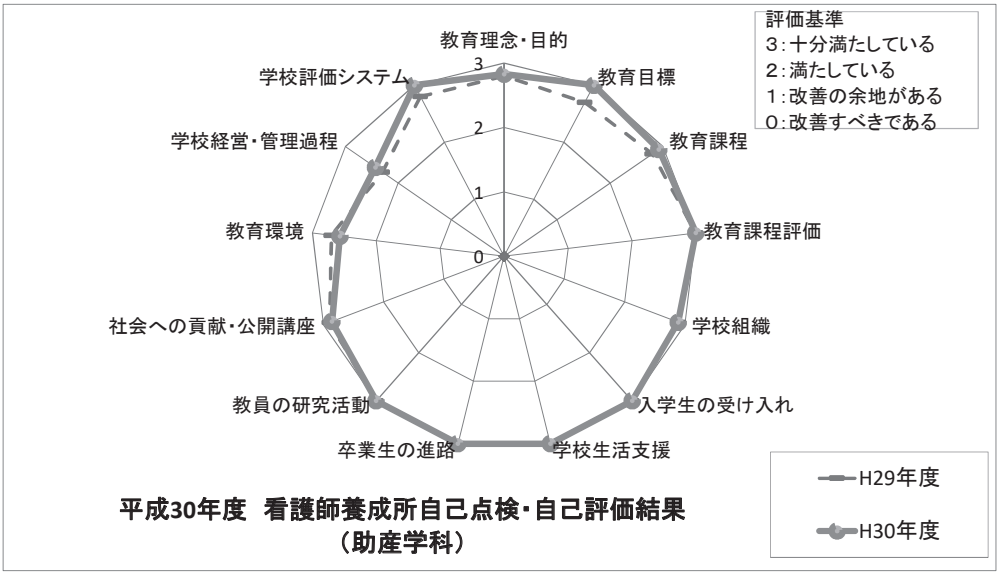
平成30年度　学校評価結果

独立行政法人国立病院機構　京都医療センター附属京都看護助産学校

学校評価の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。

平成29年度は国立病院機構近畿グループ5校の副学校長・教育主事・教員による学校相互評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。



平成30年度　看護師養成所自己点検・自己評価結果
（助産学科）

	評価項目	評価の視点	H30年度	H29年度
Ⅰ	教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。	2.8	2.8
Ⅱ	教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒後教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。	3.0	2.7
Ⅲ	教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているかについて評価します。	2.9	2.8
Ⅳ	教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。	3.0	3.0
Ⅴ	学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適正であるかと防災対策や個人情報保護について評価します。	2.9	2.9
Ⅵ	入学生の受け入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。	3.0	3.0
Ⅶ	学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。	3.0	3.0
Ⅷ	卒業生の進路	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。	3.0	3.0
Ⅸ	教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。	3.0	3.0
Ⅹ	社会への貢献・公開講座	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズをふまえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。	2.9	2.9
ⅩⅠ	教育環境	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。	2.6	2.7
ⅩⅡ	学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。	2.4	2.3
ⅩⅢ	学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。	3.0	2.8
		全　体　平　均	2.9	2.8

編集後記

平成30年度のアニュアルレポートが完成しました。

京都医療センターにおける診療の第一の柱は、『救命救急医療』であり、当院の救命救急センターでは、365日、24時間体制で、脳卒中、心筋梗塞などをはじめ、生命の危機に直結する疾患に対応しております。本年、令和二年には、新たに、『ハイブリッド手術室』の建設に取りかかり、これまで以上の診療レベルに到達することを目指しております。

診療の第二の柱は『がん診療』であります。私たちは、地域がん診療連携拠点病院として、がん診療に力をいれており、平成30年4月には、がんゲノム医療連携病院にも指定されています。さらに、本年、令和2年3月より、待望の高精度リニアック治療棟が稼働しますので、『高度型のがん治療センター』としての機能がすべてそろい、より高度ながん診療が可能な体制が整います。

京都医療センターは、また、京都南部地域で最も大きな役割を持った、地域医療支援病院、京都府災害拠点病院として、地域に少しでも貢献できるよう努めてきました。平成30年は、西日本で地震や豪雨など天災がたくさん発生した年でした。6月18日の大阪府北部地震では、当院の災害派遣医療チーム（DMAT）が大阪に駆けつけ、支援活動を行いました。

平成23年度から再スタートしたこのアニュアルレポートですが、年々ページ数が増えています。これは当院の活動内容が毎年増加していることを示しているだけでなく、職員一同が自分たちの活躍をひろく知っていただこうと思っている現れです。これからも病院一丸となっての努力の歩みを職員個々人が共有することで当院のさらなる発展を目指していきます。

広報委員会
瀬田公一　地域医療部長
塚原徹也　副院長